

**令和7年度  
産業保安等調査研究事業  
(火薬類事故防止対策、火薬類国際化対策事業)  
報告書**

**分冊1：火薬類事故防止対策事業**

令和8年3月

公益社団法人 全国火薬類保安協会

## 目 次

はじめに .....	1
1. 事故防止対策委員会 .....	1
1.1 委員会組織 .....	1
1.2 委 員 .....	2
1.3 委員会の審議状況 .....	3
1.4 事故発生場所の現地調査 .....	4
2. 事故等の概要 .....	5
2.1 事故分類等の改正 .....	5
2.2 令和 6 年の事故件数の修正 .....	8
2.3 令和 7 年の事故等概要 .....	9
2.4 年別比較（5 年間） .....	10
2.5 事故等発生件数の推移 .....	12
2.6 事故による死傷者数の推移 .....	12
3. 産業火薬類の製造中の事故等 .....	18
3.1 製造中の事故等の概要 .....	18
3.2 大分県大分市の燃烧試験中の火災の異常事象（製造中事故等 No.1） .....	20
3.3 愛知県武豊町の電気雷管性能評価試験中の暴発事故（製造中事故等 No.2） .....	25
3.4 広島県江田島市の炸薬圧填中の暴発事故（製造中事故等 No.3） .....	28
3.5 茨城県桜川市の爆粉成分分析中の発火事故（その他事故等 No.1） .....	35
4. 産業火薬類の消費中の事故等 .....	38
4.1 消費中の事故等の概要 .....	38
4.2 滋賀県草津市の採石場における飛石事故（事故等 No.3） .....	40
4.3 茨城県笠間市の採石場における雷管暴発事故（事故等 No.7） .....	45
4.4 宮崎県えびの市の採石場における飛石の異常事象（事故等 No.11） .....	53
5. 産業火薬類の運搬中の事故等 .....	58
5.1 運搬中の事故等の概要 .....	58
5.2 熊本県宇城市の含水爆薬落下の異常事象（事故等 No.1） .....	59
6. 産業火薬類の玩弄中及びその他の事故等 .....	63
7. 煙火及びがん具煙火関係の事故等 .....	65
7.1 煙火及びがん具煙火関係事故等の概要と検討内容 .....	65
7.2 煙火消費中事故等のまとめ .....	86
7.3 煙火及びがん具煙火関係事故等の特記すべき事項と課題 .....	88
別添資料 経済産業省大臣官房産業保安・安全グループ鉱山・火薬類監理官 「花火大会における煙火消費中の事故発生について(注意喚起)」 .....	92
参考資料 経済産業省「火薬類事故対応 実施細目」 .....	93
附録 過去 10 年間の事故等一覧表 .....	99

## はじめに

事故防止対策委員会は、平成 6 年(1994 年)に火薬類の事故防止体制の整備・強化を図り、事故の原因の究明、事故の原因となった火薬類取扱い作業における問題点の明確化、再発防止対策の検討及び再発防止対策のフォローアップ等を行うために設置され、本年で 32 年を経過した。

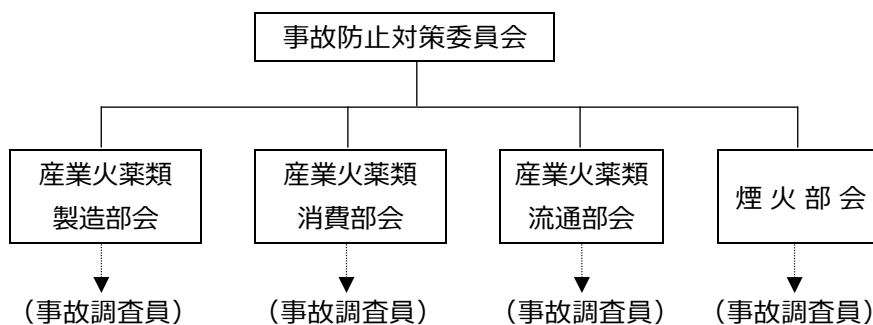
本報告書では、令和 7 年(2025 年)に発生した火薬類の事故について、事故防止対策委員会(本委員会)、産業火薬類製造部会、産業火薬類消費部会、産業火薬類流通部会及び煙火部会において事故の原因、再発防止対策について審議し、取りまとめた内容と、令和 7 年(2025 年)に発生した火薬類の事故にかかる現地調査の実施状況について報告する。

編纂(さん)に当たっては、公益社団法人日本煙火協会、日本火薬工業会をはじめとして、事故防止対策委員会委員の皆様のご協力、ご指導をいただき、厚く御礼申し上げる次第である。

## 1. 事故防止対策委員会

### 1.1 委員会組織

事故防止対策委員会の組織は、次のとおりである。



## 1.2 委員

### (1) 事故防止対策委員会 (本委員会)

委員長	小川 輝繁	横浜国立大学 名誉教授、(公財)総合安全工学研究所 理事
委員	新井 充	東京大学 名誉教授、(公財)総合安全工学研究所 理事長
	緒方 雄二	産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 シニアマネージャー
	久保田 士郎	産業技術総合研究所 安全科学研究部門 爆発安全研究グループ 上級主任研究員
	山本 雅昭	日本火薬工業会 技術部長

### (2) 産業火薬類製造部会

部会長	新井 充	東京大学 名誉教授、(公財)総合安全工学研究所 理事長
委員	利 紀之	日本工機(株) 環境安全統括室 安全グループチーフ
	久保田 士郎	産業技術総合研究所 安全科学研究部門 爆発安全研究グループ 上級主任研究員
	多田 達士	中国化薬(株) 吉井工場 安全環境管理室長
	田中 昭彦	日本化薬(株) セイフティシステムズ事業部 品質安全統括部 環境安全管理部長
	福田 光寿	(株)カーリット 赤城工場 工場長
	三沢 慶祐	カヤク・ジャパン(株) 環境安全品質保証本部 環境安全部長
	村下 剛	旭化成(株) ライフイノベーション事業本部 化薬事業部 環境安全・品質保証部長
	根岸 洋吉	日油(株) 化薬事業部 企画室 技術担当部長
	山本 雅昭	日本火薬工業会 技術部長

### (3) 産業火薬類消費部会

部会長	小川 輝繁	横浜国立大学 名誉教授、(公財)総合安全工学研究所 理事
委員	青木 就二	(株)カコー 取締役 発破事業部長
	岩田 幸浩	(一社)日本砕石協会 技術部長
	緒方 雄二	産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 シニアマネージャー
	川島 義和	(一社)日本建設業連合会 火薬対策部会 企画専門部会 主査
	児島 寛	(一社)日本発破・破砕協会 代表理事会長、多摩火薬機工(株) 相談役
	佐々木 重幸	カヤク・ジャパン(株) 営業本部 技術部長
	笹田 崇	日本ロックエンジニアリング(株) 東日本支店 支店長
	山本 雅昭	日本火薬工業会 技術部長

### (4) 産業火薬類消費部会ワーキンググループ

委員長	緒方 雄二	産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 シニアマネージャー
委員	山本 雅昭	日本火薬工業会 技術部長
参考人	蛭谷 康晴	日本工機(株) 美唄製造所 安全環境統括室長 兼 技術部長
	長谷川 庸介	(株)長谷清 代表取締役社長 (事故調査員)

### (5) 産業火薬類流通部会

部会長	新井 充	東京大学 名誉教授、(公財)総合安全工学研究所 理事長
委員	大岩 伸夫	(一社)日本火薬銃砲商組合連合会 専務理事
	利 紀之	日本工機(株) 環境安全統括室 安全グループチーフ
	金澤 修治	日本火薬卸売業会 事務局長、(株)三田商店 取締役 東京支店長
	久保田 士郎	産業技術総合研究所 安全科学研究部門 爆発安全研究グループ 上級主任研究員
	多田 達士	中国化薬(株) 吉井工場 安全環境管理室長
	田中 昭彦	日本化薬(株) セイフティシステムズ事業部 品質安全統括部 環境安全管理部長
	福田 光寿	(株)カーリット 赤城工場 工場長
	三沢 慶祐	カヤク・ジャパン(株) 環境安全品質保証本部 環境安全部長
	村下 剛	旭化成(株) ライフイノベーション事業本部 化薬事業部 環境安全・品質保証部長
	根岸 洋吉	日油(株) 化薬事業部 企画室 技術担当部長
	山本 雅昭	日本火薬工業会 技術部長

### (6) 煙火部会

部会長	新井 充	東京大学 名誉教授、(公財)総合安全工学研究所 理事長
委員	生島 雄作	(公社)日本煙火協会 副会長、(株)生島煙火 代表取締役
	河野 晴行	(公社)日本煙火協会 専務理事
	今野 義和	(公社)日本煙火協会 副会長、(株)北日本花火興業 代表取締役
	崎村 あかね	愛知県 防災安全局 防災部 消防保安課 産業保安室 室長補佐
	所 賢二	東京都 環境局 環境改善部 環境保安課 統括課長代理
	丸山 聡	埼玉県 危機管理防災部 化学保安課 技師

## 1.3 委員会の審議状況

本委員会、各部会及びワーキンググループの審議状況は、次のとおりである。

#### (1) 事故防止対策委員会（本委員会）

- ・第1回委員会 令和8年3月18日(水) (男女平等センター会議室及び Web 会議)
  - ・各部会報告の審議
  - ・報告書(案)の検討

#### (2) 産業火薬類製造部会

- ・第1回部会 令和8年1月21日(水) (男女平等センター会議室及び Web 会議)
  - ・製造中及びその他の事故の検討
- ・第2回部会 令和8年2月20日(金) (ハイテクセンター会議室及び Web 会議)
  - ・製造部会報告(案)の検討

#### (3) 産業火薬類消費部会

- ・第1回部会 令和8年2月3日(火) (ハイテクセンター会議室及び Web 会議)
  - ・消費中の事故の検討
- ・第2回部会 令和8年3月3日(火) (男女平等センター会議室及び Web 会議)
  - ・消費部会報告(案)の検討

(4) 産業火薬類消費部会ワーキンググループ

- ・第1回 令和7年11月12日(水) (全国火薬類保安協会会議室)  
・笠間市の雷管暴発事故の原因検討
- ・第2回 令和8年1月13日(月) (全国火薬類保安協会会議室及びWeb会議)  
・笠間市の雷管暴発事故の原因検討、報告書(案)の検討

(5) 産業火薬類流通部会

- ・第1回部会 令和8年1月21日(水) (男女平等センター会議室及びWeb会議)  
・運搬中の事故の検討
- ・第2回部会 令和8年2月20日(金) (ハイテクセンター会議室及びWeb会議)  
・流通部会報告(案)の検討

(6) 煙火部会

- ・第1回部会 令和8年1月28日(水) (男女平等センター会議室及びWeb会議)  
・煙火関係事故の検討
- ・第2回部会 令和8年2月27日(金) (男女平等センター会議室及びWeb会議)  
・煙火部会報告(案)の検討

## 1.4 事故発生場所の現地調査

令和7年に発生した産業火薬類の消費中の事故について、事故の情報を適切に把握するため、事故発生場所の現地調査を、次のとおり実施した。

(1) 滋賀県草津市で、令和7年2月25日(火)に発生した産業火薬類消費中の事故

- ・現地調査実施日： 令和7年3月10日(月)
- ・事故調査員： (公社)全国火薬類保安協会登録講師 吉田 陽一郎

(2) 茨城県笠間市で、令和7年7月29日(火)に発生した産業火薬類消費中の事故

- ・現地調査実施日： 令和7年8月4日(月)、8月18日(月)
- ・事故調査員： (公社)全国火薬類保安協会登録講師 長谷川 庸介

(3) 宮崎県えびの市で、令和7年12月18日(木)に発生した産業火薬類消費中の事故

- ・現地調査実施日： 令和8年1月8日(木)
- ・事故調査員： (公社)全国火薬類保安協会登録講師 秋丸 進

## 2. 事故等の概要

### 2.1 事故分類等の改正

#### (1) 新しい事故分類の定義

令和7年(2025年)5月30日、経済産業省は、事故の定義、分類、事故発生時の対応を定める「**火薬類事故対応実施細目**」を改定した。改定の概要は、従来のC2級事故(異常事象)を事故の分類からはずして、「異常事象」と定義したこと、従来のC1級事故を2つに分割して、被害額1千万円以下の物的被害のみの事故をC2級事故と定義したことである。以下、事故の分類に関する事項を抽出して、その内容を示す。

○**人的被害**：死者、重傷者及び軽傷者が生じた人的被害であって、通常、医療施設において治療の必要がないと認められる軽度の負傷を除く。

- ・**死者**：事故発生後、5日以内に死亡が確認された者
- ・**重傷者**：事故発生後、30日以上の治療を要する負傷をした者
- ・**軽傷者**：事故発生後、30日未満の治療を要する負傷をした者
- ・**軽度の負傷**：医療機関における治療を要しない程度の負傷（絆創膏の貼付けや家庭用外傷消毒液の塗布で足りるもの）や医療機関において検査、診察又は診断を行ったが特に治療の必要なしと判断された場合など

○**事故等の分類**：火薬類の事故は、人的被害及び物的被害の規模に応じた分類とするが、これに含まれない喪失及び盗取事故は、別に分類する。また、危険な事象であって、火薬類の事故とならなかったものについては、異常事象として分類する。

- ・**A級事故**：
  - ①死者5名以上のもの
  - ②死者及び重傷者が合計して10名以上であって、①以外のもの
  - ③死者、重傷者及び軽傷者が合計して30名以上であって、①及び②以外のもの
  - ④爆発又は火災等により大規模な建物又は構造物の破壊、倒壊、滅失等の甚大な物的被害（直接に生じる物的被害の総額が5億円以上）が生じたもの
  - ⑤大規模な火災等が進行中であって、大きな災害に発展するおそれがあるもの
- ・**B1級事故**：
  - ①死者1名以上4名以下のもの
  - ②重傷者2名以上9名以下であって、①以外のもの
  - ③重傷者及び軽傷者の合計が6名以上29名以下であって、①及び②以外のもの
  - ④爆発又は火災等により大規模な建物又は構造物の損傷等の多大な物的被害（直接に生じる物的被害の総額が1億円以上5億円未満）が生じたもの
- ・**B2級事故**：
  - ①A級、B1級又はC1級事故が発生した日から1年を経過しない間に、同一事業所においてC1級事故が発生した場合
  - ②B2級事故が発生した日から1年を経過しない間に、再び同一事業所においてC1級事故が発生した場合
- ・**C1級事故**：
  - ①重傷者及び軽傷者の合計が1名以上5名以下かつ重傷者1名以下のもの
  - ②爆発又は火災等により建物又は構造物の損傷等の物的被害（直接に生ずる物的被害の総額が1千万円以上1億円未満）が生じたもの
- ・**C2級事故**：爆発又は火災等により建物又は構造物の損傷等の物的被害（直接に生ずる物的被害の総額が1千万円未満）が生じたもの
- ・**異常事象**：上記のいずれの事故にも該当しないものの、事故又は災害に繋がる可能性のあった危険な事象（ヒヤリハット事象）で、事故及び災害防止の観点から、広く関係者に共有すべきもの

(2) 事故分類の定義の変遷

事故の分類については、過去に何回も改定が重ねられてきた。大きな改定があったのは、平成 29 年(2017 年)からの分類で、それまで A、B、C 級だけであったものを、A、B1、B2、C1、C2 級に細分化し、C2 級を異常事象と定義した。次に、令和 3 年(2021 年)からの改定で、報道が多く社会的影響が大きいものを A、B1 級に分類する定義が削除された。その後、本年、令和 7 年(2025 年)からは前ページに記述した改定が適用されることとなった。この一連の改定内容の変遷を、簡潔な記述にして表 2-1 に示す。

表 2-1 事故分類の定義改定の変遷

級	平成 29 年～	令和 3 年～	令和 7 年～
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死者 ≥ 5 名</li> <li>・ 死者+重傷者 ≥ 10 名</li> <li>・ 死者+負傷者 ≥ 30 名</li> <li>・ 物的被害額 ≥ 5 億円</li> <li>・ 大きな災害が進行中</li> <li>・ 全国紙/放送 ≥ 10 社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死者 ≥ 5 名</li> <li>・ 死者+重傷者 ≥ 10 名</li> <li>・ 死者+負傷者 ≥ 30 名</li> <li>・ 物的被害額 ≥ 5 億円</li> <li>・ 大きな災害が進行中</li> <li>←全国紙/放送が 10 社以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死者 ≥ 5 名</li> <li>・ 死者+重傷者 ≥ 10 名</li> <li>・ 死者+重軽傷者 ≥ 30 名</li> <li>・ 物的被害額 ≥ 5 億円</li> <li>・ 大きな災害が進行中</li> </ul>
B1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死者 ≥ 1 名</li> <li>・ 重傷者 ≥ 2 名</li> <li>・ 負傷者 ≥ 6 名</li> <li>・ 物的被害額 ≥ 1 億円</li> <li>・ 全国紙/放送 ≥ 3 社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死者 ≥ 1 名</li> <li>・ 重傷者 ≥ 2 名</li> <li>・ 負傷者 ≥ 6 名</li> <li>・ 物的被害額 ≥ 1 億円</li> <li>←全国紙/放送が 3 社以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 死者 ≥ 1 名</li> <li>・ 重傷者 ≥ 2 名</li> <li>・ 重軽傷者 ≥ 6 名</li> <li>・ 物的被害額 ≥ 1 億円</li> </ul>
B2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同一事業所で C1 級事故が発生した日から 1 年以内に発生した C1 級事故</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A、B1、C1 級事故が発生した日から 1 年以内に、同一事業所で発生した C1 級事故</li> <li>・ B2 級事故が発生した日から 1 年以内に、再び同一事業所で発生した C1 級事故</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A、B1、C1 級事故が発生した日から 1 年以内に、同一事業所で発生した C1 級事故</li> <li>・ B2 級事故が発生した日から 1 年以内に、再び同一事業所で発生した C1 級事故</li> </ul>
C1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 負傷者 ≥ 1 名</li> <li>・ 重傷者 ≤ 1 名</li> <li>・ 物的被害額 &lt; 1 億円</li> <li>・ 人的/物的被害が発生していないものの、特に危険な事象が生じたもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 負傷者 ≥ 1 名</li> <li>・ 重傷者 ≤ 1 名</li> <li>・ 物的被害額 &lt; 1 億円</li> <li>・ 人的/物的被害が発生していないものの、特に危険な事象が生じたもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重軽傷者 ≥ 1 名</li> <li>・ 重傷者 ≤ 1 名</li> <li>・ 物的被害額 ≥ 1 千万円</li> <li>←人的/物的被害が発生していないものの、特に危険な事象が生じたもの</li> </ul>
C2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A～C1 級事故のいずれにも該当しないもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A～C1 級事故のいずれにも該当しないもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>←A～C1 級事故のいずれにも該当しないもの</li> <li>・ 物的被害額 &lt; 1 千万円</li> </ul>
異常事象			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ A～C2 級事故いずれにも該当しないものの、事故又は災害に繋がる可能性のあった危険な事象(ヒヤリハット事象)で、事故及び災害防止の観点から、広く関係者に共有すべきもの</li> </ul>

(3) 煙火消費中の事故等の事故分類

事故分類の定義において、特に煙火の消費中の事故等の C1 級以上、C2 級及び異常事象の分類については、事象ごとに例示を挙げて細かく指定されている。これについても、令和 7 年(2025 年)の改定で大きく変更されたので、従前の平成 29 年(2017 年)からの分類と対比させる形で、それぞれ「新分類」及び「旧分類」として表 2-2 に示す。

表 2-2 煙火消費中事故等の分類定義の変遷

事象	人的・物的被害の状況			旧分類	新分類	
火災	人的被害あり	-			C1 級以上	C1 級以上
	人的被害なし	物的被害あり	被害額 1 千万円以上		C1 級以上	C1 級以上
			被害額 1 千万円未満		C1 級	C2 級
		物的被害なし	安全距離外で、 下草・枯草の焼失のみ	火災認定あり	C1 級	異常事象
				火災認定なし	事故としない	異常事象
	物的被害なし	安全距離内で、 下草・枯草の焼失のみ	火災認定あり	C2 級(異常事象)	異常事象	
火災認定なし			事故としない	事故・異常事象としない		
黒玉	人的被害あり	-			C1 級以上	C1 級以上
	人的被害なし	物的被害あり	被害額 1 千万円以上		C1 級以上	C1 級以上
			被害額 1 千万円未満		C1 級	C2 級
		物的被害なし	規制開始から現場片付け及び清掃が完了するまでに発見	安全距離外	C2 級(異常事象)	異常事象
				安全距離内	事故としない	事故・異常事象としない
物的被害なし	上記以降に発見	-	C2 級(異常事象)	異常事象		
部品落下 残滓	人的被害あり	-			C1 級以上	C1 級以上
	人的被害なし	物的被害あり	被害額 1 千万円以上		C1 級以上	C1 級以上
			被害額 1 千万円未満		C1 級	C2 級
		物的被害なし	危険事象 <sup>*1</sup> あり		C1 級	異常事象
危険事象 <sup>*1</sup> なし			事故としない	事故・異常事象としない		
過早発 低空開発 地上開発 筒ばね 異常飛翔 異常燃焼	人的被害あり	-			C1 級以上	C1 級以上
	人的被害なし	物的被害あり	被害額 1 千万円以上		C1 級以上	C1 級以上
			被害額 1 千万円未満		C1 級	C2 級
		物的被害なし	危険事象 <sup>*2</sup> あり		C1 級	異常事象
危険事象 <sup>*2</sup> なし			C2 級(異常事象)	異常事象		

\*1) 想定外に大きいものが落下した場合、想定外の遠方距離まで飛散した場合等

\*2) 観客席近傍での地上開発、作業員近傍での誤発射、異常燃焼による破片の遠方や観客近傍への飛散等の場合

## 2.2 令和6年の事故件数の修正

令和6年(2024年)の事故については、令和7年(2025年)3月の火薬類事故防止対策事業報告書により報告した。しかし、その後、令和7年(2025年)5月になって、令和6年(2024年)8月宮城県石巻市で煙火の消費中の事故が1件起きていたことが発覚した(表2-3)。また、令和6年(2024年)12月岐阜県関ヶ原町の猿駆逐のため使用した爆竹で竹林122m<sup>2</sup>を焼失した事故が物的被害なしと判明したためC1級をC2級(異常事象)に修正した。事故件数を修正した令和6年(2024年)の事故総括表を表2-4に示す。

表2-3 追加された令和6年(2024年)の煙火消費中事故の概要

No.	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	8月3日(土) 19:30~21:00	宮城県 石巻市	0	0-0	C1	【残滓】花火大会において、煙火の残滓が風の影響で消費位置から約650m(安全距離外)の中古車販売店に落下し、車両63台の塗装が変色した。事故の発生は、翌年の花火大会実行委員会と消防本部との打合せ会議において覚知された。

注)「死」欄は死者数、「傷」欄は重傷者数-軽傷者数、「級」欄は事故分類(A~C2)を示す。

表2-4 令和6年(2024年)の事故総括表

項目		事故件数(A~C1)		異常事象件数(C2)		死者数		負傷者数(重傷者数 - 軽傷者数)	
取扱	種類別	件数	計	件数	計	人数	計	人数	計
製造中	産業火薬	1	1	0	0	0	0	1-0	1-0
	煙火	0		0		0		0-0	
	がん具煙火	0		0		0		0-0	
消費中	産業火薬	7	40	3	4243	0	0	2-5	4-19
	煙火	1920		31		0		1-8	
	がん具煙火	113		89		0		1-6	
運搬中	産業火薬	0	0	0	0	0	0	0-0	0-0
	煙火	0		0		0		0-0	
	がん具煙火	0		0		0		0-0	
貯蔵中	産業火薬	0	0	0	0	0	0	0-0	0-0
	煙火	0		0		0		0-0	
	がん具煙火	0		0		0		0-0	
玩弄中	産業火薬	1	1	0	0	0	0	1-0	1-0
	煙火	0		0		0		0-0	
	がん具煙火	0		0		0		0-0	
その他	産業火薬	2	3	0	0	0	0	0-2	0-3
	煙火	1		0		0		0-1	
	がん具煙火	0		0		0		0-0	
合計	産業火薬	11	45	3	4243	0	0	4-7	6-22
	煙火	2021		31		0		1-9	
	がん具煙火	113		89		0		1-6	

## 2.3 令和7年の事故等概要

令和7年(2025年)の事故総括表を、事故(A~C2級)件数及び死傷者数と、異常事象を分けて表記する新様式で表2-5に示す。

令和7年(2025年)の事故(A~C2級)は、総件数44件、死者なし、負傷者37名(重傷者7名、軽傷者30名)であった。その内訳は、製造中の事故が2件(産業火災2件)、消費中の事故が38件(産業火災2件、煙火24件、がん具煙火12件)、玩弄中の事故が2件(産業火災1件、がん具煙火1件)及びその他の事故が2件(産業火災2件)であった。なお、運搬中及び貯蔵中の事故は発生しなかった。

また、令和7年(2025年)は異常事象が、総件数77件報告された。その内訳は、製造中2件(産業火災2件)、消費中72件(産業火災9件、煙火51件、がん具煙火12件)、運搬中1件(産業火災1件)及びその他2件(煙火2件)であった。

表2-5 令和7年(2025年)の事故総括表

項目		事故件数 (A~C2)		死者数		負傷者数 (重傷者数 - 軽傷者数)		異常事象 件数	
取扱	種類別	件数	計	人数	計	人数	計	件数	計
製造中	産業火災	2	2	0	0	1 - 2	1 - 2	2	2
	煙火	0		0		0 - 0		0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0		0	
消費中	産業火災	2	38	0	0	1 - 0	5 - 26	9	72
	煙火	24		0		4 - 20		51	
	がん具煙火	12		0		0 - 6		12	
運搬中	産業火災	0	0	0	0	0 - 0	0 - 0	1	1
	煙火	0		0		0 - 0		0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0		0	
貯蔵中	産業火災	0	0	0	0	0 - 0	0 - 0	0	0
	煙火	0		0		0 - 0		0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0		0	
玩弄中	産業火災	1	2	0	0	0 - 1	1 - 1	0	0
	煙火	0		0		0 - 0		0	
	がん具煙火	1		0		1 - 0		0	
その他	産業火災	2	2	0	0	0 - 1	0 - 1	0	2
	煙火	0		0		0 - 0		2	
	がん具煙火	0		0		0 - 0		0	
合計	産業火災	7	44	0	0	2 - 4	7 - 30	12	77
	煙火	24		0		4 - 20		53	
	がん具煙火	13		0		1 - 6		12	

## 2.4 年別比較（5年間）

令和3年(2021年)から令和7年(2025年)までの5年間の種類別、取扱別事故等件数等の年別比較表を表2-6(1)に示す。表中の「件」欄は、令和3年(2021年)から令和6年(2024年)までの4年間は事故(A~C1級)件数-異常事象(C2級)件数、令和7年(2025年)は事故(A~C2級)件数-異常事象件数を表す。その他、「死」欄は死者数、「傷」欄は重傷者数-軽傷者数を表す。

表2-6(1) 年別比較表（令和3年～7年の5年間、令和3年～6年は旧分類のまま）

種類	令和年	製造中			消費中			運搬中			貯蔵中			玩弄中			その他事故			合計		
		件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷
産業 火薬	3	1-0	0	0-1	2-0	0	0-1	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-2	0-0	0	0-0	4-0	0	0-4
	4	2-1	1	0-7	3-0	0	1-3	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	2-0	0	2-2	8-1	1	3-13
	5	0-1	0	0-0	0-2	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	1-0	0	0-0	2-3	0	0-1
	6	1-0	0	1-0	7-3	0	2-5	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	1-0	2-0	0	0-2	11-3	0	4-7
	7	2-2	0	1-2	2-9	0	1-0	0-1	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	2-0	0	0-1	7-12	0	2-4
煙火	3	1-0	0	1-2	2-10	0	0-1	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	2-0	0	1-1	5-10	0	2-4
	4	1-0	0	0-1	11-19	0	1-14	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	12-19	0	1-15
	5	0-0	0	0-0	20-42	0	5-8	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	2-0	0	0-0	22-42	0	5-8
	6	0-0	0	0-0	20-31	0	1-8	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	21-31	0	1-9
	7	0-0	0	0-0	24-51	0	4-20	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-2	0	0-0	24-53	0	4-20
がん具 煙火	3	0-0	0	0-0	5-3	0	0-3	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	5-3	0	0-3
	4	0-0	0	0-0	6-5	0	0-4	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	6-5	0	0-4
	5	1-0	0	0-1	6-11	0	1-3	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-0	8-11	0	1-4
	6	0-0	0	0-0	13-9	0	1-6	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	13-9	0	1-6
	7	0-0	0	0-0	12-12	0	0-6	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	1-0	0-0	0	0-0	13-12	0	1-6
合計	3	2-0	0	1-3	9-13	0	0-5	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-2	2-0	0	1-1	14-13	0	2-11
	4	3-1	1	0-8	20-24	0	2-21	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	2-0	0	2-2	26-25	1	4-32
	5	1-1	0	0-1	26-55	0	6-11	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	4-0	0	0-0	32-56	0	6-13
	6	1-0	0	1-0	40-43	0	4-19	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	1-0	3-0	0	0-3	45-43	0	6-22
	7	2-2	0	1-2	38-72	0	5-26	0-1	0	0-0	0-0	0	0-0	2-0	0	1-1	2-2	0	0-1	44-77	0	7-30

次に、令和3年(2021年)から令和6年(2024年)までの4年間について、令和7年(2025年)に改定された新分類で見直した5年間の種類別、取扱別事故等件数等の年別比較表を表2-6(2)に示す。表中の「件」欄は事故(A~C2級)件数-異常事象件数で、その他の欄は表2-6(1)と同じである。なお、新分類で見直した結果、煙火消費中の事故7件が異常事象に分類された。件数の変化があった箇所は赤い文字で示している。

表2-6(2) 年別比較表（令和3年～7年の5年間、令和3年～6年は新分類で見直し）

種類	令和年	製造中			消費中			運搬中			貯蔵中			玩弄中			その他事故			合計		
		件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷	件	死	傷
産業 火薬	3	1-0	0	0-1	2-0	0	0-1	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-2	0-0	0	0-0	4-0	0	0-4
	4	2-1	1	0-7	3-0	0	1-3	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	2-0	0	2-2	8-1	1	3-13
	5	0-1	0	0-0	0-2	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	1-0	0	0-0	2-3	0	0-1
	6	1-0	0	1-0	7-3	0	2-5	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	1-0	2-0	0	0-2	11-3	0	4-7
	7	2-2	0	1-2	2-9	0	1-0	0-1	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	2-0	0	0-1	7-12	0	2-4
煙火	3	1-0	0	1-2	2-10	0	0-1	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	2-0	0	1-1	5-10	0	2-4
	4	1-0	0	0-1	10-20	0	1-14	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	11-20	0	1-15
	5	0-0	0	0-0	17-45	0	5-8	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	2-0	0	0-0	19-45	0	5-8
	6	0-0	0	0-0	17-34	0	1-8	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	18-34	0	1-9
	7	0-0	0	0-0	24-51	0	4-20	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-2	0	0-0	24-53	0	4-20
がん具 煙火	3	0-0	0	0-0	5-3	0	0-3	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	5-3	0	0-3
	4	0-0	0	0-0	6-5	0	0-4	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	6-5	0	0-4
	5	1-0	0	0-1	6-11	0	1-3	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-0	8-11	0	1-4
	6	0-0	0	0-0	13-9	0	1-6	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	13-9	0	1-6
	7	0-0	0	0-0	12-12	0	0-6	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	1-0	0-0	0	0-0	13-12	0	1-6
合計	3	2-0	0	1-3	9-13	0	0-5	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-2	2-0	0	1-1	14-13	0	2-11
	4	3-1	1	0-8	19-25	0	2-21	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	2-0	0	2-2	25-26	1	4-32
	5	1-1	0	0-1	23-58	0	6-11	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	0-1	4-0	0	0-0	29-59	0	6-13
	6	1-0	0	1-0	37-46	0	4-19	0-0	0	0-0	0-0	0	0-0	1-0	0	1-0	3-0	0	0-3	42-46	0	6-22
	7	2-2	0	1-2	38-72	0	5-26	0-1	0	0-0	0-0	0	0-0	2-0	0	1-1	2-2	0	0-1	44-77	0	7-30

## 2.5 事故等発生件数の推移

事故防止対策委員会が設置された平成 6 年(1994 年)から令和 7 年(2025 年)までの過去 32 年間の「事故件数」の推移を表 2-7(1)及び図 2-1(1)に、また、ヒヤリハット相当の「異常事象件数」の推移を表 2-7(2)及び図 2-1(2)に示す。

ここで、「事故件数」は、令和 6 年(2024 年)以前は A~C1 級の件数、令和 7 年(2025 年)は A~C2 級の件数で表し、「異常事象件数」は、令和 6 年(2024 年)以前は C2 級(異常事象)の件数、令和 7 年(2025 年)は異常事象の件数で表している。なお、平成 6 年(1994 年)から平成 28 年(2016 年)の事故等の件数は、平成 29 年(2017 年)に改定された事故分類に則って、事故の内容を評価し A~C2 各級及び事故としない事象の再割り当てを行った結果を表示している。

令和 7 年(2025 年)の事故件数は 44 件で、令和 6 年(2024 年)の 45 件より 1 件少なくなった。図 2-1(1)からわかるように、コロナ禍で事故件数の少なかった令和 2 年(2020 年)及び令和 3 年(2021 年)以降の事故件数の増加傾向が高止まりになったものと思われる。

一方、令和 7 年(2025 年)は異常事象が 77 件報告され、令和 6 年(2024 年)の 43 件から大幅に増加し、過去 32 年間で最も異常事象件数の多い年となった。図 2-1(2)からわかるように、異常事象の報告件数は、コロナ禍で件数の少なかった令和 2 年(2020 年)及び令和 3 年(2021 年)を除けば、ヒヤリハット相当の事故も報告が推奨されるようになった平成 22 年(2010 年)あたりから徐々に増加し、C2 級(異常事象)が定義された平成 29 年(2017 年)からさらなる増加傾向が続いている。

## 2.6 事故による死傷者数の推移

事故等件数と同様に、事故防止対策委員会が設置された平成 6 年(1994 年)から令和 7 年(2025 年)までの過去 32 年間の事故による死傷者数の推移を表 2-8 及び図 2-2 に示す。

表 2-8、図 2-2 から平成 12 年(2000 年)の死傷者数 191 名が突出して多いのがわかる。この年は、愛知県の火薬工場での無煙火薬の爆発事故(A 級)で負傷者 79 名、「筒ばね」に起因する煙火の事故で負傷者が岐阜県(A 級)で 60 名、佐賀県(B 級)で 12 名、岡山県(B 級)で 12 名と、大きな事故が続いた年であった。

また、令和 4 年(2022 年)は、産業火薬の事故による死傷者が死者 1 名を含む 17 名で、過去 32 年で 2 番目に産業火薬の事故による死傷者数が多い年であった。宮崎県の火薬工場におけるニトログリセリンの爆発事故(B1 級)で、死者 1 名を含む死傷者 8 人が発生したことに起因している。

令和 7 年(2025 年)は、煙火の事故による重軽傷者が 24 名と多く、前年の令和 6 年(2024 年)の 10 名の 2 倍以上となり、過去 10 年で煙火の事故による重軽傷者数が最も多い年となった。令和 7 年(2025 年)4 月の京都府における演出効果用煙火の事故(C1 級)及び令和 7 年(2025 年)10 月の山梨県における小型煙火の事故(C1 級)で、それぞれ軽傷者が 5 名も発生したことが主な要因である。

表 2-7(1) 事故件数(令和 6 年以前は A~C1 級の件数、令和 7 年は A~C2 級の件数)の推移表

平成-令和 年		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	
産業火薬	製造中	1	5	5	2	4	2	2	1	4	1	1	2	1	2	5	2	1	1		2	1	1	2	1				1	2		1	2	
	消費中	3	13	7	9	5	8	8	4	5	7	10	5	2	5	7	1		2	4	2		5	4	6	6	3	4	2	3		7	2	
	玩弄中		1	1	2					1																			1	1	1	1	1	
	その他			1			1	2	2		3	1	1		3		2	1	2	1	2	3	1	4	1				2	1	2	2		
	計	4	19	14	13	9	11	12	7	10	11	12	8	3	10	12	5	2	5	5	6	4	7	10	8	6	3	4	4	8	2	11	7	
煙火	製造中	3		2	2			1		3	1				4			2					2		2				1	1				
	消費中	17	16	16	12	6	19	21	24	20	20	20	20	30	24	27	16	21	10	25	40	33	21	15	14	11	16	5	2	11	20	20	24	
	玩弄中		1		1				1																									
	その他				1				1	3		1	1			1	1	2	2			1	1	1	2	1	2	1	2		2	1		
	計	20	17	18	15	7	19	22	26	26	21	21	21	30	28	28	17	25	12	25	40	34	22	18	16	14	18	6	5	12	22	21	24	
がん具煙火	製造中	1	1	1	1			1						1					1		1										1			
	消費中	3	2	2	2	3	1	2	1	2	2		4		2	3		5	3	7	10	12	8	8	10	8	9	6	5	6	6	13	12	
	玩弄中		5	2		1			1		1	2	1	1	1	1																		1
	その他			1		1										1	1		1									1			1			
	計	4	8	6	3	5	1	3	2	2	3	2	5	2	4	4	0	6	3	8	10	13	8	8	10	8	9	7	5	6	8	13	13	
合計	製造中	5	6	8	5	4	2	4	1	7	2	1	2	2	6	5	2	3	1	1	2	2	1	4	1	2			2	3	1	1	2	
	消費中	23	31	25	23	14	28	31	29	27	29	30	29	32	31	37	17	26	15	36	52	45	34	27	30	25	28	15	9	20	26	40	38	
	玩弄中		7	3	3	1			2	1	1	2	1	1	1														1	1	1	1	2	
	その他			2		2	1	2	3	3	3	2	2		4	2	3	4	4	1	2	4	2	5	3	1	2	2	2	2	4	3	2	
	合計	28	44	38	31	21	31	37	35	38	35	35	34	35	42	44	22	33	20	38	56	51	37	36	34	28	30	17	14	26	32	45	44	

(注) 「運搬中」、「貯蔵中」の事故件数は、「その他」の事故件数に加えている。

表 2-7(2) 異常事象件数(令和 6 年以前は C2 級(異常事象)の件数、令和 7 年は異常事象の件数)の推移表

平成-令和 年	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	
産業火薬	製造中														1															1	1		2
	消費中					1							2	2						2	1				4	1	1			2	3	9	
	玩弄中																																
	その他		1													1								1									1
	計	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	0	0	0	2	1	0	0	1	4	1	1	0	1	3	3	12
煙火	製造中																																
	消費中	1		4			2	2	4		2	4		2	5	3	1	3	7	18	21	25	24	30	16	30	21	5	10	19	42	31	51
	玩弄中																																
	その他						1						1																				2
	計	1	0	4	0	0	2	3	4	0	2	4	0	3	5	3	1	3	7	18	21	25	24	30	16	30	21	5	10	19	42	31	53
がん具煙火	製造中																																
	消費中			3			3				1		1					1							7	10	5	9	3	5	11	9	12
	玩弄中																																
	その他					1																											
	計	0	0	3	0	1	3	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7	10	5	9	3	5	11	9	12
合計	製造中														1															1	1		2
	消費中	1		7			6	2	4		2	5		5	7	3	1	3	8	18	23	26	24	30	23	44	27	15	13	24	55	43	72
	玩弄中																																
	その他		1			1	1						1			1									1								3
	合計	1	1	7	0	1	6	3	4	0	2	5	0	6	7	4	2	3	8	18	23	26	24	30	24	44	27	15	13	25	56	43	77

(注) 「運搬中」、「貯蔵中」の異常事象の件数は、「その他」の異常事象の件数に加えている。また、平成28年以前は「事故としない事象」も加えている。

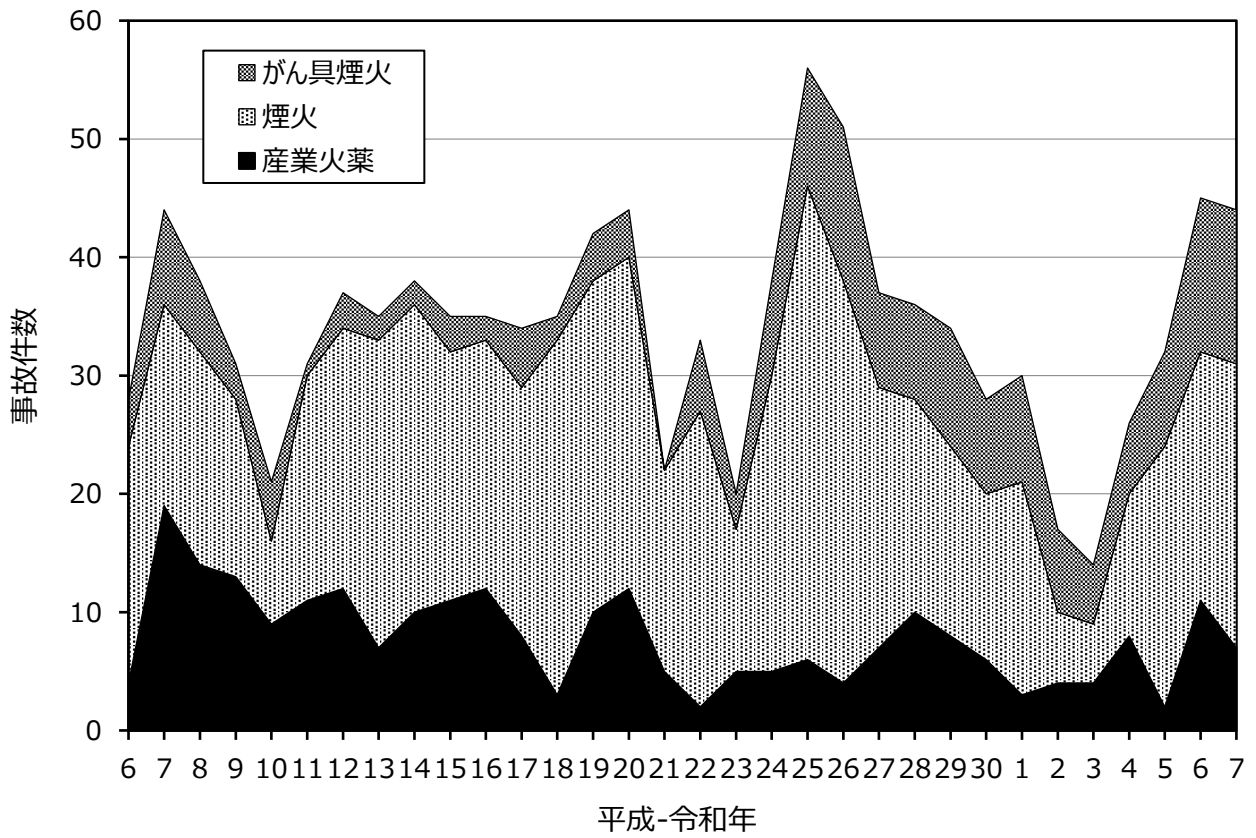


図 2-1(1) 事故件数(令和 6 年以前は A~C1 級の件数、令和 7 年は A~C2 級の件数)

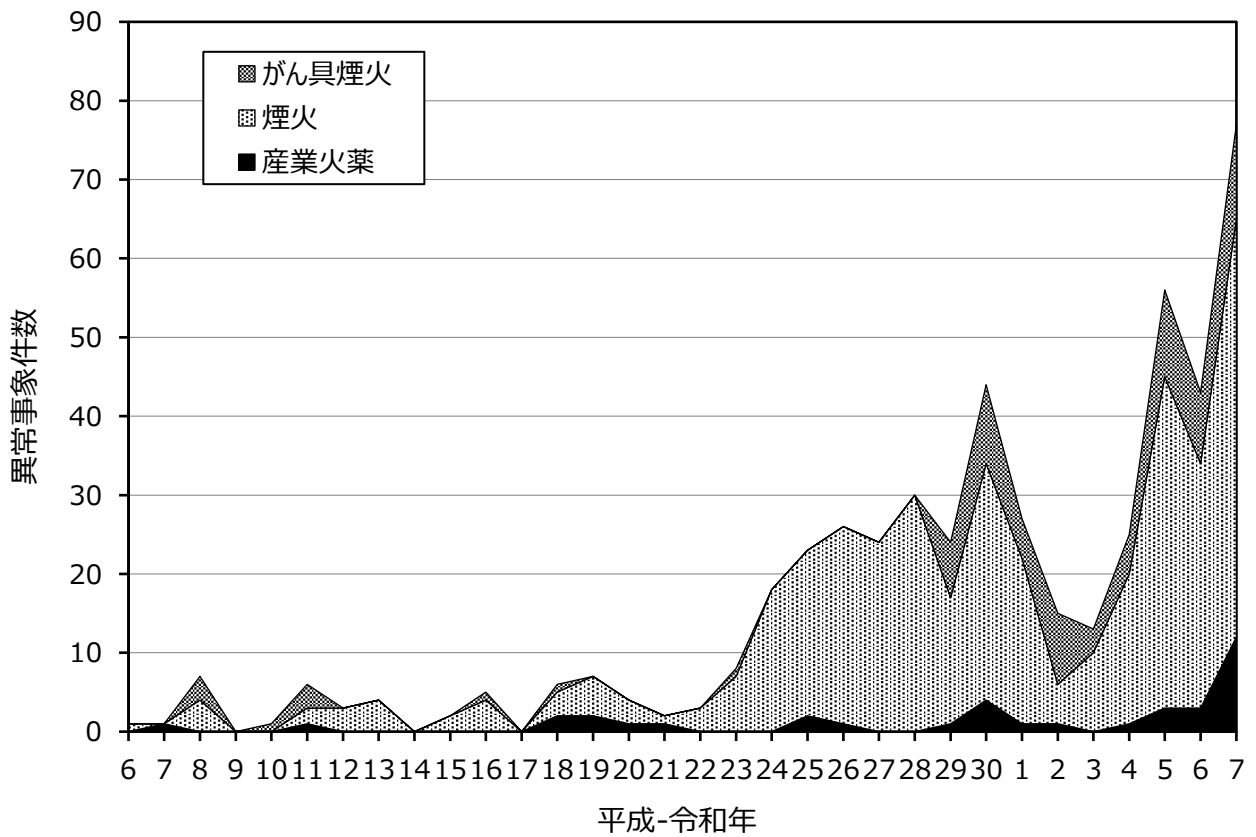


図 2-1(2) 異常事象件数(令和 6 年以前は C2 級(異常事象)の件数、令和 7 年は異常事象の件数)

表 2-8 事故件数(令和 6 年以前は A~C1 級の件数、令和 7 年は A~C2 級の件数)と死傷者数の推移

平成-令和 年	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	
産業火災	件数	4	19	14	13	9	11	12	7	10	11	12	8	3	10	12	5	2	5	5	6	4	7	10	8	6	3	4	4	8	2	11	7
	死者		1	4	2		2					2			1	1									1	1				1			
	重傷者		2	3	1	2	2	1		1	4	2	2	1		4		1	1	1	1	1	1	2	2		1			3		4	2
	軽傷者	2	7	8	3	4	5	81	2	7	5	4	2		3	5	1	1	2	2	3	4	5	7	1	2	1	2	4	13	1	7	4
計	2	10	15	6	6	9	82	2	8	9	6	6	1	3	10	2	2	3	3	4	5	6	9	4	3	2	2	4	17	1	11	6	
煙火	件数	20	17	18	15	7	19	22	26	26	21	21	30	28	28	17	25	12	25	40	34	22	18	16	14	18	6	5	12	22	21	24	
	死者	4			2	1	1	1			13		1		2										2								
	重傷者	18	5	9	2	1	8	7	9	6	5	1	2	5	9	5	3	4	3	3	4	4	3	5	1	1	3		2	1	5	1	4
	軽傷者	56	34	82	50	15	26	99	34	35	22	41	24	36	36	52	29	26	13	24	32	23	32	10	16	15	9		4	15	8	9	20
計	78	39	91	54	17	35	107	43	41	40	42	26	42	45	59	32	30	16	27	36	27	35	15	17	18	12	0	6	16	13	10	24	
がん具煙火	件数	4	8	6	3	5	1	3	2	2	3	2	5	2	4	4	0	6	3	8	10	13	8	8	10	8	9	7	5	6	8	13	13
	死者												1																				
	重傷者		4	1	1	2		1	1	2	2	2	1		1	1				1										1	1	1	
	軽傷者		7	9	12	1		1			1	6	1	5	3		2	17	4	8	4	2	3	6	4	8	5	3	4	4	4	6	6
計	0	11	10	13	3	0	2	1	2	2	3	7	2	6	4	0	2	17	4	9	4	2	3	6	4	8	5	3	4	5	7	7	
合計	件数	28	44	38	31	21	31	37	35	38	35	35	34	35	42	44	22	33	20	38	56	51	37	36	34	28	30	17	14	26	32	45	44
	死者	4	1	4	4	1	3	1			13		2	2		3	1							1	3					1			
	重傷者	18	11	13	4	5	10	9	10	9	11	5	5	6	10	10	3	5	4	4	6	5	4	7	3	1	4		2	4	6	6	7
	軽傷者	58	48	99	65	20	31	181	36	42	27	46	32	37	44	60	30	29	32	30	43	31	39	20	23	21	18	7	11	32	13	22	30
計	80	60	116	73	26	44	191	46	51	51	51	39	45	54	73	34	34	36	34	49	36	43	27	27	25	22	7	13	37	19	28	37	

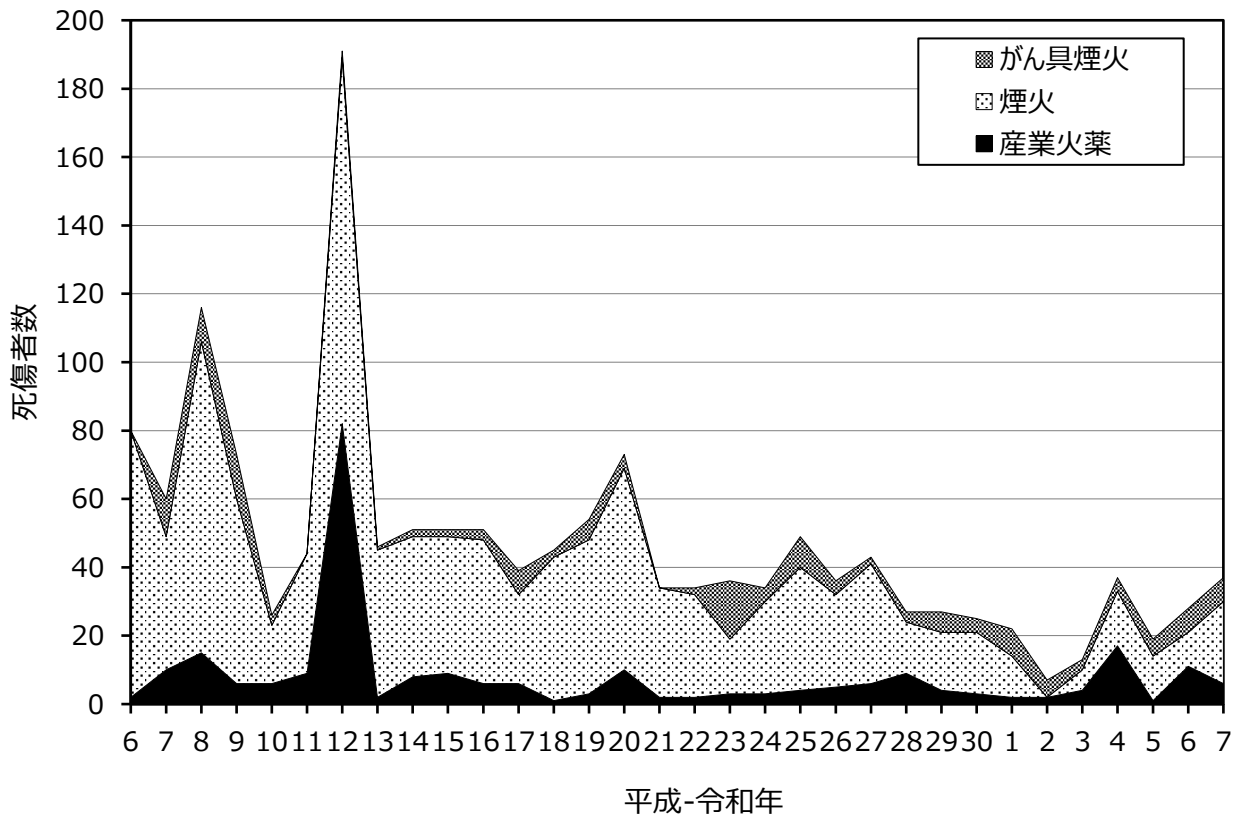


図 2-2(1) 死傷者数の推移

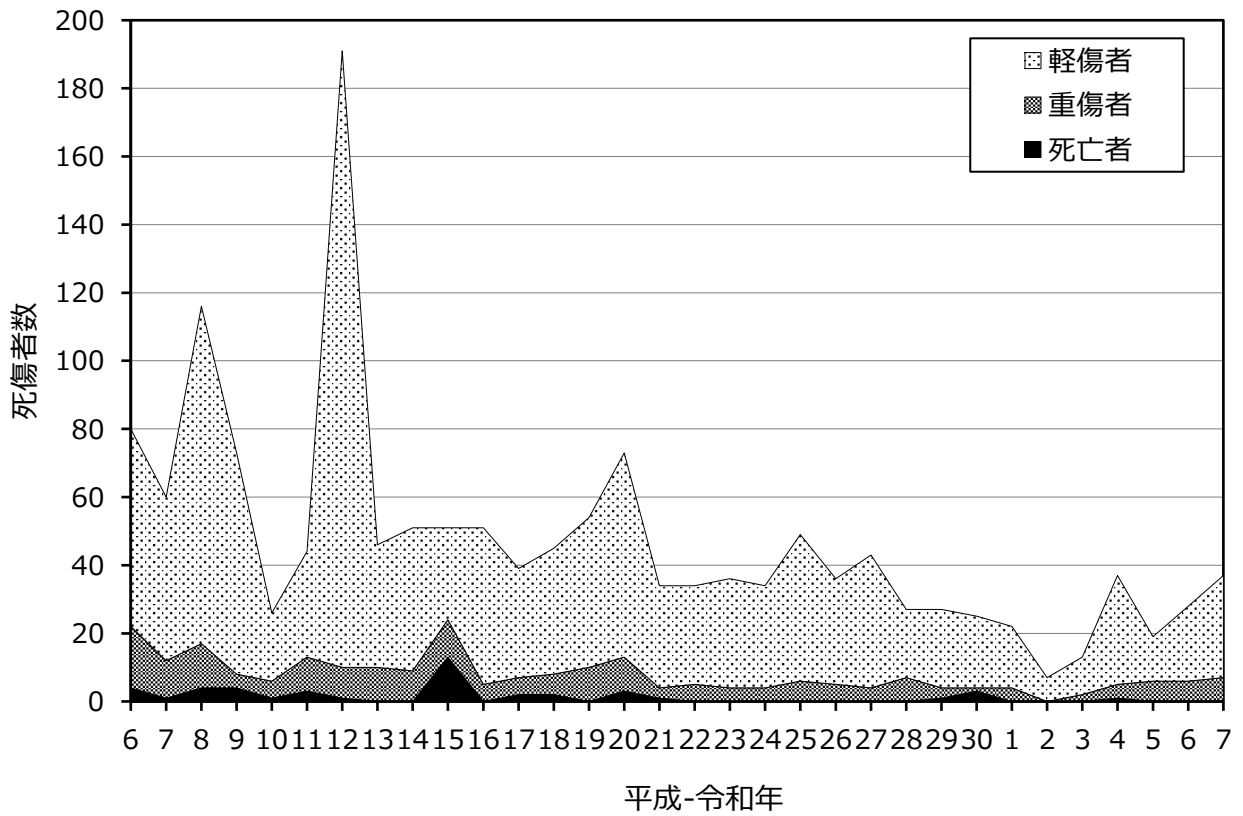


図 2-2(2) 死傷者数の推移

### 3. 産業火薬類の製造中の事故等

#### 3.1 製造中の事故等の概要

令和7年(2025年)1～12月の産業火薬類の製造中の事故件数は2件で、被災者数は重傷者1名、軽傷者2名であった。前年の令和6年(2024年)の産業火薬類の製造中の事故件数は1件で、重傷者1名であり、令和7年(2025年)は、事故件数、被災者数ともに増加した。また、令和7年(2025年)の産業火薬類の製造中の異常事象の件数は2件で、これも、前年の令和6年(2024年)の異常事象の件数0件より増加した。

令和7年(2025年)の産業火薬類の製造中の事故等の概要を表3-1に、また、製造中の事故ではないが、製造所内の危険区域外の事故でその他に分類された事故の概要を表3-2に示す。

産業火薬類製造部会では、産業火薬類の製造中の事故2件及び異常事象1件並びに製造所内のその他の事故1件、計4件の事故等について、事故発災者より提出・説明された事故報告書を基に、その内容を精査し、事故原因及び再発防止対策について検討を行った。その結果を次項以降の3.2項から3.5項までに示す。

表3-1 産業火薬類の製造中の事故等概要

No.	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故等概要
1	1月30日(木) 14:40頃	大分県 大分市	0	0-0	H	【火災】【試験中】火薬類製造所の燃焼試験室において、過塩素酸塩を主とする火薬(推進薬)約1.2kgの燃焼試験中、燃焼室内圧力が異常に上昇したため、圧力を解放する安全装置が作動して火薬の一部が試験室外に飛散し、試験室周囲と土堤法面の下草に着火、延焼して約71m <sup>2</sup> を消失した。
2	9月2日(火) 10:00頃	愛知県 知多郡 武豊町	0	1-2	C1	【暴発】【試験中】火薬類製造所の爆発試験場において、試作した電気雷管の性能評価試験を実施した後、未作動であった3本の電気雷管を取り扱っていたときに、そのうちの1本が暴発して、作業員3名が負傷し、うち1名は手指欠損の重傷を負った。
3	10月23日(木) 09:12頃	広島県 江田島市	0	0-0	C1	【暴発】火薬類製造所の仕上工室で、砲弾内にRDXを主とする爆薬(Comp.A-3)を入れ油圧プレスで圧填作業を行っていたところ、突然、爆薬1.75kgが爆発し、油圧プレス・シリンダ、搬送架台、監視モニタ等の設備と工室の窓、壁、屋根等を破損した。
4	11月12日(水) 11:30頃	福岡県 北九州市	0	0-0	H	【その他】石灰石鉱山において移動式製造設備で硝安油剤爆薬を製造中、エアータンクの異常による圧縮空気漏れのため、製造を中止して火薬類を排出した後、移動区域外の硝安倉庫まで製造設備を移動してタンク内の硝安を排出しようとしたところ、誤って製造のスイッチを入れたため硝安800kgと硝安油剤爆薬200kgをフレコンバッグ内に排出してしまった。

注) 「死」欄は死者数、「傷」欄は重傷者数－軽傷者数、「級」欄は事故分類(A～C2)又は異常事象(H)を示す。

表 3-2 産業火薬類のその他の事故等概要

No.	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故等概要
1	2月6日(木) 13:30頃	茨城県 桜川市	0	0-1	C1	【発火】【試験中】火薬類製造所の危険区域外にある分析室で、銃用雷管に用いる爆粉(DDNPを主とする起爆薬)の成分分析のため、乾燥を終え容器の底に固着した爆粉を剥がそうと薬さじで力を加えたときに爆粉(約2g)が発火し、従業者が両手に火傷と裂傷を負った。

注) 「死」欄は死者数、「傷」欄は重傷者数－軽傷者数、「級」欄は事故分類(A～C2)又は異常事象(H)を示す。

## 3.2 大分県大分市の燃焼試験中の火災の異常事象（製造中事故等 No.1）

### (1) 事故の概要

令和7年1月30日(木)14時30分頃、大分県大分市の火薬類製造所の燃焼試験室において、過塩素酸塩を主とする火薬（推進薬）約1.2kgの燃焼試験中、燃焼室内圧力が異常に上昇したため、圧力を解放する安全装置が作動して火薬の一部が燃焼室外に飛散し、燃焼室周囲と土堤法面の下草に着火、延焼して約71m<sup>2</sup>を消失した。

### (2) 事故原因

推進薬燃焼試験の試験品の組立作業時に、点火薬包の固定に接着剤（樹脂）を使用しているが、燃焼時に接着樹脂部が剥がれ、ノズル内を通過して詰まったために、燃焼室内の圧力が急激に上昇したものと推定される。

### (3) 問題点

- ・ 異常事象が発生した推進薬燃焼試験品の組立作業は、前回までとは異なる担当者が接着（充填）作業を実施しており、注意すべきポイントが十分に伝承・習得されていなかった。
- ・ 本燃焼試験の性質上、安全装置が作動し、ノズル部及び燃焼中の推進薬が飛散する恐れがあることは事前に想定していたが、飛散後、火災発生を防止するための安全対策（飛散防止措置や事前散水等の管理）が不十分であった。

### (4) 再発防止策

- ・ 点火薬包の接着方法、注意点を組立基準書に追加し、組立作業を作業者認定制に変更する。
- ・ 試験品の大小にかかわらず、燃焼試験前に事前散水することを基準化し、試験ごとに散水確認とチェックシートへの記録を実施する。
- ・ 応急的な飛散物対策として、金属他部品や火薬類（推進薬）が遠方へ飛散しないように、燃焼スタンド前方にL型擁壁、土嚢等を設置する。
- ・ さらに、恒久的な飛散物対策として、L型擁壁、土嚢に加え、ボックスカルバートの設置を検討する。

### (5) 教訓と今後の課題

作業の担当者を変更する際は、作業内容を文書にして、確実に引き継ぐことは当然のこととして、安全に関する注意点や作業のノウハウやコツなどまで引継ぎが行われること、また、引き継いだ作業の習熟度を評価・判定できる運用にすることが望ましい。

また、火薬類が飛散するおそれがある場合は、最悪の事態を想定して、火薬類の飛散を防止する防護設備の設置、事前散水や消火設備の能力拡充など、十分な安全措置を講じなければならない。

## 事業者からの異常事象報告

1. 発生日時 2025年1月30日(木曜日) 14時30分頃
2. 発生時の気象状況 晴れ、気温9℃、北北西の風 約5m/s
3. 発生場所 大分県大分市 火薬類製造所 総合試験場(小型燃焼試験室)



試験場の立地概要(国土地理院データより抜粋)

### 4. 異常事象の概要

総合試験場の小型燃焼試験室にて推進薬試験品の燃焼試験中に、試験品の燃焼室内が異常圧力となり、安全装置(※)が作動して、構成部品の一部と推進薬が飛散したため、小型燃焼試験室周辺や土堤の法面など、計3ヶ所で枯草に伝火(着火)し、焼失した。

※:燃焼室内の圧力が過剰に高まる前にノズル部を切り離して、圧力を開放するための安全機構(安全リング)

### 5. 火薬類の種類と数量

- 1) 種類 過塩素酸塩を主とする火薬(推進薬)
- 2) 数量 約1.2kg(燃焼試験実施前の火薬量)

### 6. 被害状況

- 1) 人的被害 なし
- 2) 物的被害 なし
- 3) その他 小型燃焼試験室周辺地面、土堤の法面等の計3ヶ所、計約71m<sup>2</sup>の枯草焼失(補修等は不要)

## 7. 異常事象発生の際の経緯

- 1) 当日は計 3 回の燃焼試験が計画されていた。
- 2) 1 回目の燃焼試験を終え、2 回目の燃焼試験準備を実施し点火を開始したところ、直後に燃焼室内の圧力が異常上昇したため、安全装置が作動してノズル部の部品及び推進薬が飛散して、枯草に伝火(着火)した。

※点火作業、計測作業等は別室にて操作・作業を実施(試験エリアは無人の状態)



燃焼前

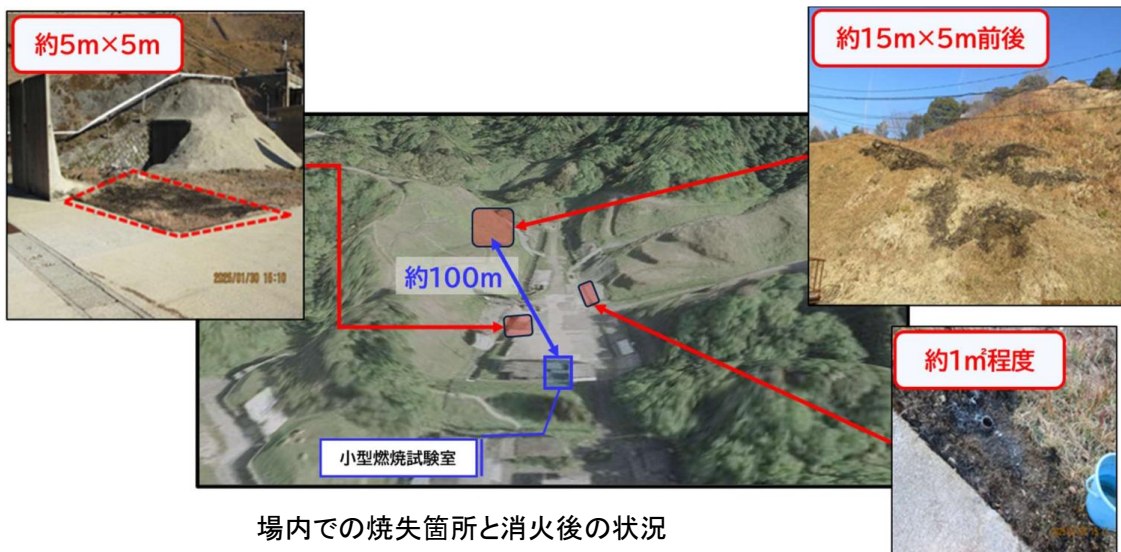


点火直後



安全装置作動によりノズル部飛散

- 3) 直ちに、従業員による初期消火として、自衛消防用バケツでの散水を実施した他、消火栓及び土堤に設置してあるスプリンクラーによる消火活動を実施して、延焼拡大を防止した。



場内での焼失箇所と消火後の状況

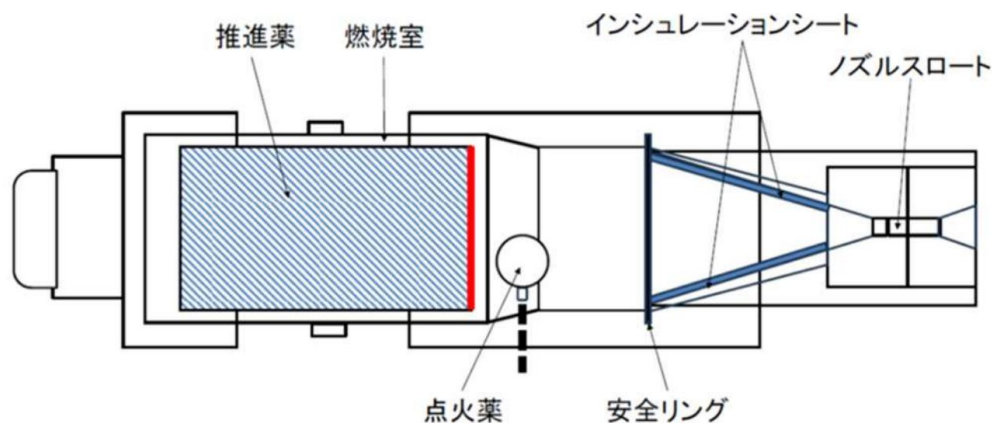
## 8. 異常事象発生時の時系列

- 午前中 準備作業実施
- 13:50 試験 1 回目の燃焼試験開始
- 14:30 1 回目の燃焼試験完了
- 14:35 2 回目の燃焼試験の開始
- 14:40 点火直後に、映像から先端部品の飛散等を確認  
現場状況確認したところ火災を発見し、初期消火活動を開始
- 14:42 事務所(工場)に火災発生を連絡、工場長に連絡し、消防への通報を指示
- 14:50 工場の防災本部を立上げ
- 14:57 初期消火完了(火・煙の発生が無くなった)
- 15:05 警察に通報
- 15:20 情報錯綜の為、消防に通報されていないことが判明し、ホットラインにて通報
- 15:34 消防団(地元)現地到着、現場確認開始
- 15:35 公設消防現地到着、現場確認開始
- 15:37 公設消防の鎮火確認
- 15:44 警察が現地到着、現場確認開始
- 17:10 公設消防撤収
- 17:18 警察撤収

## 9. 異常事象の発生原因

### 9.1 直接原因

推進薬燃焼試験の試験品の組立作業時に、点火薬包の固定に接着剤(樹脂)を使用しているが、燃焼時に接着樹脂部が剥がれ、ノズル内を通過したために(詰まったために)、燃焼室内の圧力が急激に上昇したものと推定。



推進薬の燃焼試験品の概略図(赤線が燃焼波面)

### 9.2 間接原因

- 1) 異常事象が発生した推進薬燃焼試験品の組立作業は、前回までとは異なる担当者が接着(充填)作業を実施しており、また、注意すべきポイントが十分に伝承・習得されていなかった。
- 2) 本燃焼試験の性質上、安全装置が作動し、ノズル部及び燃焼中の推進薬が飛散する恐れがあることは事前に想定していたが、飛散後、火災発生を防止するための安全対策(飛散防止措置や事前散水等の管理)が不十分であった。

## 10. 再発防止対策

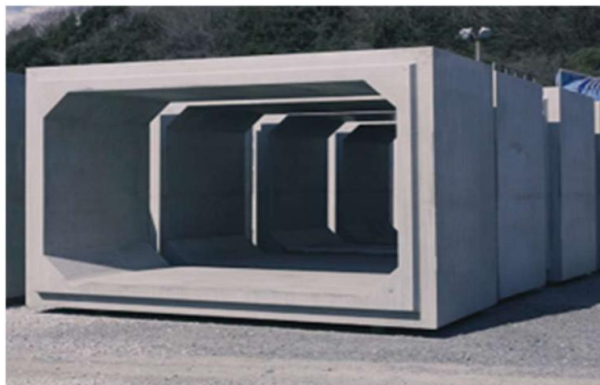
### 10.1 応急対策

- 1) 点火薬包の接着方法、注意点を組立基準書に追加し、組立作業を作業者認定制に変更。  
(作業者変更の際、技能習得度合いを定量的に評価・判定しない運用だった。)
- 2) 試験品の大小にかかわらず、燃焼試験前に事前散水することを基準化し、試験毎に散水確認とチェックシートへの記録実施。  
(小型推進薬の燃焼試験時には、事前に散水を行う運用では無かった。)
- 3) 応急的な飛散物対策として、金属他部品や火薬類(推進薬)が遠方へ飛散しないように、燃焼スタンド前方にL型擁壁、土嚢を設置。



### 10.2 恒久対策

飛散物対策として、L型擁壁、土嚢に加え、ボックスカルバートの設置を検討中。



ボックスカルバート(イメージ)



ボックスカルバート後方に  
L型擁壁+土嚢設置

### 3.3 愛知県武豊町の電気雷管性能評価試験中の暴発事故（製造中事故等 No.2）

#### (1) 事故の概要

令和7年9月2日(火) 10時00分頃、愛知県知多郡武豊町の火薬類製造所の爆発試験場において、試作した電気雷管の性能評価試験を実施した後、未作動であった3本の電気雷管を取り扱っていたときに、そのうちの1本が暴発して、作業員3名が負傷し、うち1名は手指欠損の重傷を負った。

#### (2) 事故原因

半導体集積回路を組み込んだ電気雷管（試作品）の性能評価試験中、試験で受けた衝撃の影響により、半導体集積回路の「点火信号の受信から通電までの時間を制御する機能」が不安定となり、発破シーケンスが一時的に動作を中断した後、回収時に予期しないタイミングで動作を再開し、電気雷管（試作品）の作動に至ったと推定される。

#### (3) 問題点

所定の衝撃を印加する性能評価試験を経て未作動となった電気雷管（試作品）に関して、発破シーケンスが一時的に中断・再開するといった故障モードを予測しておらず、未作動の状態を想定した試験形態になっていなかった。

#### (4) 再発防止策

- ・ 性能評価試験形態を見直し、衝撃により半導体集積回路が影響を受け誤作動した場合でも、作業員が被災することのない形態とする。具体的には、起爆薬と添装薬を内包しない瞬発電気雷管形状の火工品を使用する。そのため、作動しても火工品の外観上の変化はなく、作業員が被災することはない。
- ・ 性能評価試験に関する規定の見直し及び作業方法等の教育を実施する。
- ・ 本事故事例の保安教育資料へ反映し、繰り返し教育を実施する。

#### (5) 教訓と今後の課題

火薬類を扱う新たな試験を行う場合は、徹底したリスク評価と安全対策が重要である。安全対策を講じたとしても、想定外の原因で火薬類が発火又は爆発する可能性があることを念頭に置き、作業員の保護対策を十分にするほか、できれば火薬類を代替品に変更する、または、火薬類を必要最小限の量にする試験設計も検討することが望まれる。

## 事故発災者からの事故報告

1. 発生日時 2025年(令和7年)9月2日(火)10時00分頃

2. 発生場所 愛知県知多郡武豊町 火薬類製造所 爆発試験場(図1)

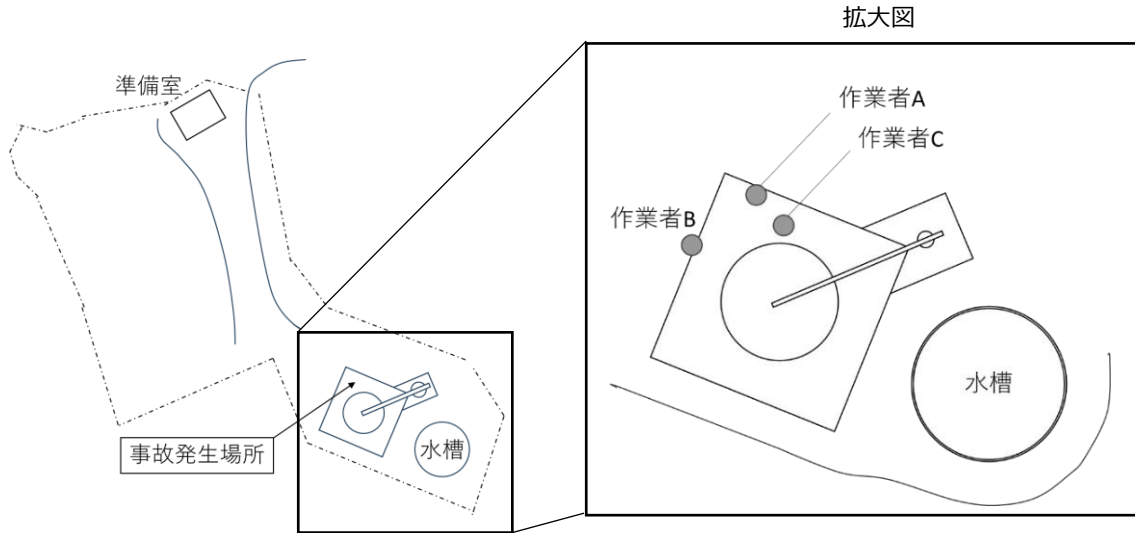


図1 爆発試験場概要図

### 3. 事故概要

1) 当日、電気雷管(試作品)<sup>(注1)</sup>の性能評価試験を火薬類製造所の爆発試験場で実施していた。

注1: 半導体集積回路と瞬発電気雷管を接続し、樹脂ケース内に封入した火工品

2) 衝撃に対して健全に作動する作動条件を評価するための性能評価試験後、10分間の待機時間を経て、3本の未作動<sup>(注2)</sup>電気雷管(試作品)に対し、取り付けしていた含水爆薬33gを取り外す作業を行った際、1本の電気雷管(試作品)が作動して作業者3名が負傷した。

注2: 本試験は、所定の衝撃を印加した際の電気雷管(試作品)の作動有無確認を目的とする。作動は設計の妥当性を示し、未作動は設計の最適化に資するデータとなる。

3) 作動した電気雷管(試作品)に装着した33gの含水爆薬、残り2本の電気雷管(試作品)及びそれぞれに装着した33gの含水爆薬は反応しておらず<sup>(注3)</sup>、破裂したのは電気雷管(試作品)に組み込まれた瞬発電気雷管1本のみであった。

注3: 含水爆薬は性能評価試験の際に受けた衝撃により不活性化していたと推定される。

### 4. 事故に関連する火薬類の種類と数量

1) 種類 電気雷管(試作品)(図2参照)

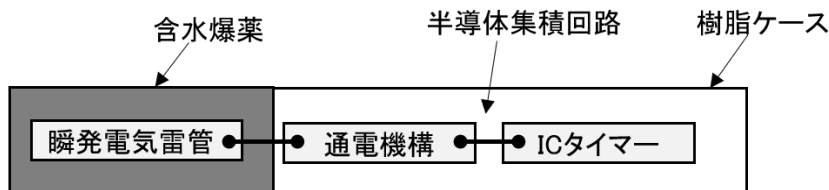


図2 電気雷管(試作品)概念図

2) 数量 電気雷管(試作品): 1本

## 5. 被害状況

- 1) 人的被害 従業員 A: 右示指切断指、左第 3-5 指指挫創  
従業員 B: 右膝挫滅創  
従業員 C: 右前腕挫滅創、右音響外傷の疑い
- 2) 物的被害 なし

## 6. 事故の原因

### 1) 作動原理

電気雷管(試作品)は、半導体集積回路と瞬発電気雷管を接続し、樹脂ケース内に封入した火工品である。点火信号を受信後、内蔵 IC タイマーが秒時を計測し、設定された遅延時間後に瞬発電気雷管を起爆させる。

### 2) 推定原因

調査結果より、事故発生原因は以下の通りであると推定した。

#### [直接原因]

性能評価試験中に受けた衝撃の影響により、試験構成品(半導体集積回路)の「点火信号の受信から通電までの時間を制御する機能」が不安定となり、発破シーケンスが一時的に動作を中断した後、回収時に予期しないタイミングで動作を再開し、電気雷管(試作品)の作動に至ったと推定される。

#### [間接原因]

当該試験を経て未作動となった電気雷管(試作品)に関して、発破シーケンスが一時的に中断・再開するといった故障モードを予測しておらず、未作動の状態を想定した試験形態になっていなかった。

## 7. 再発防止対策

### 1) 性能評価試験形態の見直し

性能評価試験の衝撃により半導体集積回路が影響を受け誤作動した場合でも、作業者が被災することのない形態<sup>(注4)</sup>とする。

注 4: 起爆薬と添装薬を内包しない瞬発電気雷管形状の火工品を使用する。そのため、作動しても火工品の外観上の変化はない。

### 2) 当該性能試験に関する規定の見直し及び作業方法等の教育実施

### 3) 当該事故事例の保安教育資料への反映及び繰り返し教育実施

以上

### 3.4 広島県江田島市の炸薬圧填中の暴発事故（製造中事故等 No.3）

#### (1) 事故の概要

令和7年10月23日(木) 09:12頃、広島県江田島市の火薬類製造所の仕上工室で、砲弾内にRDXを主とする爆薬(Comp.A-3)を入れ油圧プレスで圧填作業を行っていたところ、突然、爆薬1.75kgが爆発し、油圧プレス・シリンダ、搬送架台、監視モニタ等の設備と工室の窓、壁、屋根等を破損した。

#### (2) 事故原因

- ・ 圧填に使用したComp.A-3の組成はRDX 91%、鈍感剤（ワックス）9%であり、TNTなどの炸薬に使用する爆薬の中では比較的鋭敏である。
- ・ 3発の圧填作業終了後、圧搾棒に爆薬が付着しており、4発目の1回目（7回の分填）の圧填時に、付着していた爆薬が弾口部分に装着した案内金上部に落下し、そこへ芯ずれ（偏り）が発生した状態で降りてきた圧搾棒と案内金の狭い隙間で摩擦が発生し、落下した爆薬が発火、燃焼し、最終的に底部の爆薬が爆轟したと推定される。

#### (3) 問題点

- ・ 圧搾棒の清掃条件について作業手順書に明確にされていなかった。手順書には「状況に応じて圧搾棒の付着薬を除去すること」となっており、どの程度まで付着したら清掃をしなければならないか、また清掃方法についても明確でなかった。
- ・ 始業点検時に案内金と圧搾棒の接触がないことを確認しているが、ゲージ等による隙間の測定はしていないため、圧搾棒周辺の隙間の偏りの確認は不十分であり、芯ずれが発生していた可能性がある。

#### (4) 再発防止策

- ・ プレス圧填作業時の清掃手順の明確化を行う。
  - － 圧搾棒の清掃は、「状況に応じて圧搾棒の付着薬を除去すること」を、「必ず1回圧填毎に爆薬の付着状況を確認し、圧搾棒に付着薬がある場合は除去すること」に変更し、清掃の頻度を明確にする。
  - － 清掃に際しては、圧搾棒の側面、底面の付着薬を軟質材（ウエス、竹へら、真鍮へら等）の治具等を用いて清掃を行う。
  - － 圧搾棒と案内金間での芯ずれによる爆薬への摩擦印加を防止するため、作業前点検時にゲージ等を用いて芯ずれの発生が無いことを確認し、チェックシートに明記する。芯ずれが認められた場合は、芯出しを行う。
- ・ 圧搾棒と案内金間での爆薬の摩擦を防止するためゲージを製作し、芯ずれの発生を防止する。
- ・ 毎年、この事故についての教育を行う。

#### (5) 教訓と今後の課題

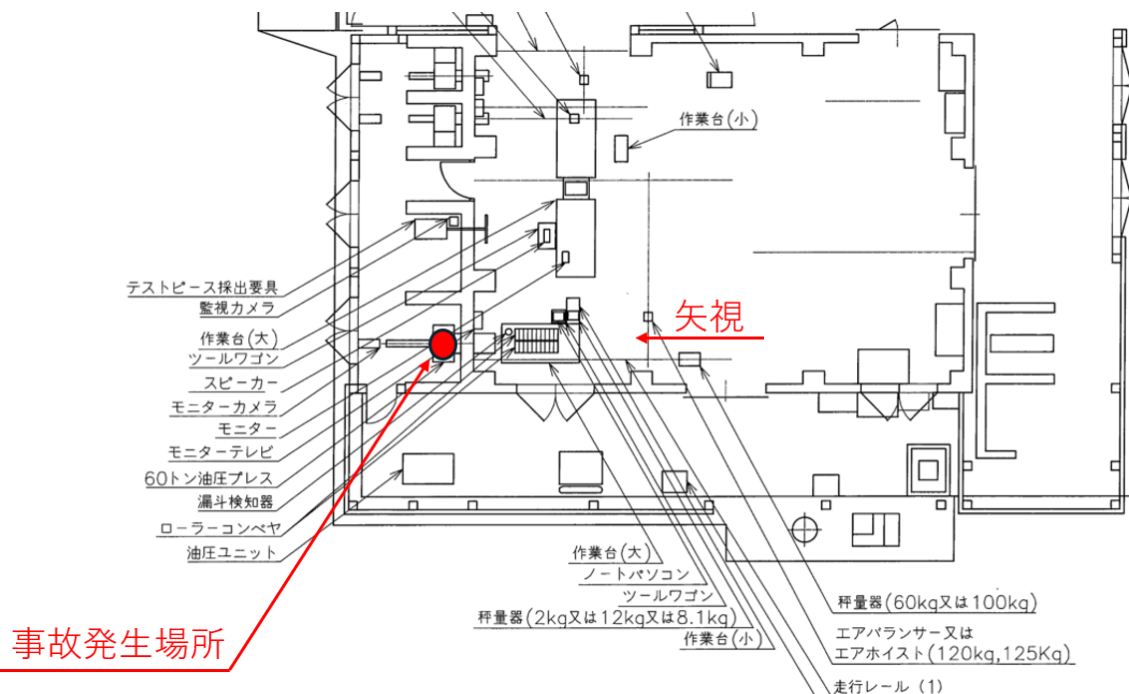
作業手順書への重要確認項目の記載は、作業者が理解しやすいように、できるだけ具体的作業内容を記載する必要がある。また、なぜその作業が必要なのか、作業手順が守られなかったときにどのような危険性があるのかまで理解できるよう教育を行うべきである。

## 事故発災者からの事故報告

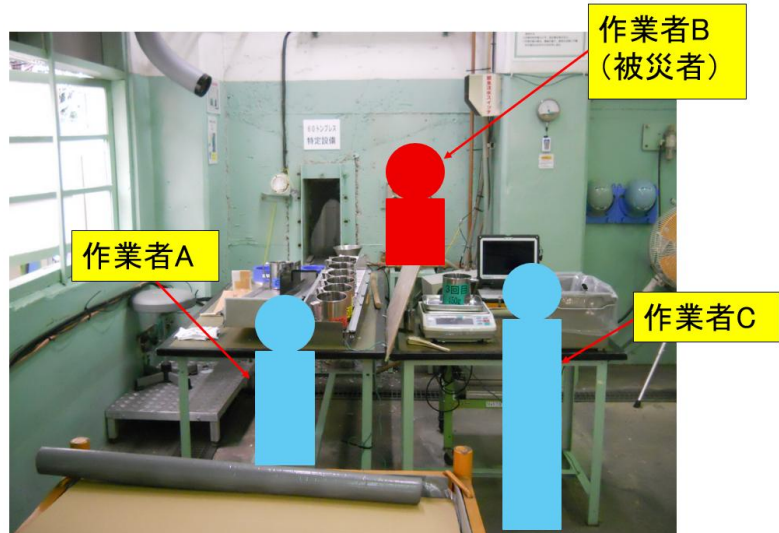
1. 発生日時 2025年10月23日(木) 9時12分頃
2. 発生時の気象状況 気温 19℃、湿度 56%
3. 発生場所 広島県江田島市 火薬類製造所 第1仕上工室
4. 発生場所における製造工程  
5インチ対空弾の製造工程のうち、爆薬を秤量し、弾体内部へ填薬、圧填作業を行う工程

### 5. 事故の概要

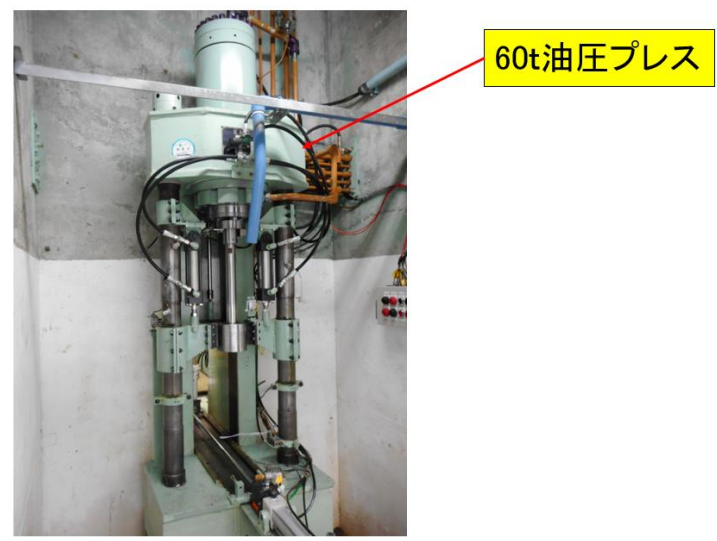
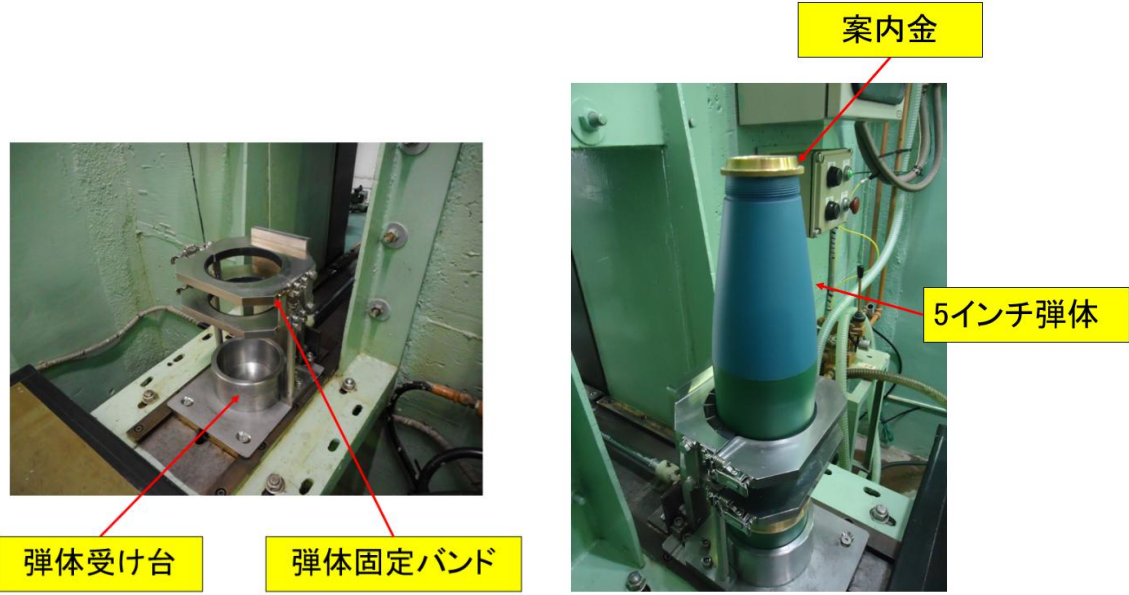
- ・ 8:30頃から第1仕上工室で5インチ対空弾の圧填作業を3名で実施していた。
- ・ 使用した爆薬はCompA-3(1.75kg)で、弾体内に充填後、防爆壁内に移送し、圧填プレスを作動させた。
- ・ 圧力ゲージが所定の数値になり、圧力保持時間のタイマーを始動しようとした際、爆発が起こった。
- ・ 防爆壁内を監視するモニターが衝撃で落下し、傍にいた作業員Bに当たり打撲を受けた。もう一人は、爆発の影響で首の違和感及び気分不良を訴えたので、念のため両名とも、社用車にて病院に搬送し診断を受けた。
- ・ 当日は、3発完成しており、4発目作業中に爆発が起こった。



事故が発生した工室のレイアウト(平面図)



工室のレイアウト(矢視)



圧搾作業使用設備

## 6. 事故に関連する火薬類の種類と数量

- 1) 種類      CompA-3 爆薬(ニトロ基を3以上含む爆薬(トリメチレントリニトロアミンを主とする爆薬))  
                 組成:RDX 91%/鈍感剤(ワックス) 9%
- 2) 数量      不規発爆薬 1.75 kg
- 3) 感度      落つい感度      JIS 5 級  
                 摩擦感度          JIS 5 級  
                 静電気感度      1/10 発火エネルギー 100 mJ 以上  
                 発熱開始温度    191℃

## 7. 被害状況

### 1) 人的被害

軽度の負傷者 1 名: 右腕打撲、不休

防爆壁内監視用モニターが衝撃で落下し、作業者に右腕にあたったもの

体調不良者 1 名: 6.5 日休業

爆発の影響で首の違和感及び気分不良を訴えたもの

※ 両名とも病院にてレントゲン及び血液検査を受けたが、特に異常は無かった。

### 2) 物的被害

全損:            60t油圧プレス、油圧シリンダ、搬送架台、油圧ユニット、監視モニター、カメラ、下屋

一部破損: 窓、屋根、壁、配管



60 t 油圧プレス



防爆壁 シャッター



破断した押棒



防爆壁破損状況



圧填室側破損状況



圧填室側(搾孔機側)破損状況



圧填室側破損状況(土堤上部より)



圧填室側破損状況(土堤上部より)

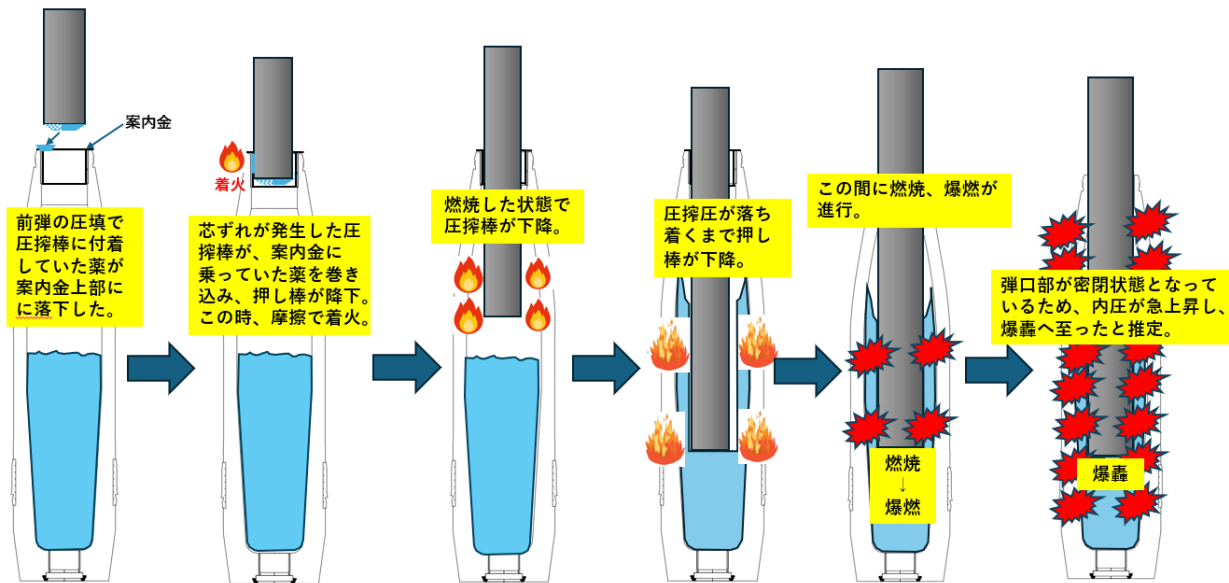
## 8. 事故の原因

FTA(Fault Tree Analysis)(別添参照)により、事故の原因を分析したところ、圧填に使用するComp.A-3の組成はRDX 91%、鈍感剤(ワックス)9%であり、TNTなどの炸薬に使用する爆薬の中では比較的鋭敏である。

事故現場の圧搾棒が黒く焦げている様子から、圧搾棒と弾口部分で摩擦が発生し発火が起こり、弾体内部の爆薬に伝火し、爆燃、爆轟に至ったものと推定した。

### 1) 直接原因

3発の圧填作業を終了後、圧搾棒に爆薬が付着しており、4発目の1回目(7回の分填)の圧填時に、付着していた爆薬が弾口部分に装着した案内金上部に落下した。そこへ芯ずれ(偏り)が発生した状態で降りてきた圧搾棒と案内金の狭い隙間で摩擦が発生し、落下した爆薬が発火、燃焼し、燃焼ガスの断熱圧縮により弾体内部の温度、圧力が急激に上昇することにより、最終的に底部の爆薬が爆轟したと推定した。(下図参照)



発生のメカニズム

## 2) 間接原因

圧搾棒の清掃条件について作業標準書に明確にされていなかった。

始業点検時に案内金と圧搾棒の接触がないことを確認しているが、ゲージ等による隙間の測定はしていないため、圧搾棒周辺の隙間の偏りの確認は不十分であった。

## 9. 原因に至った要因

- 1) 手順書には「状況に応じて圧搾棒の付着薬を除去すること」となっており、どの程度まで付着したら清掃をしなければならないか、また清掃方法についても明確でなかった。
- 2) 始業点検時に圧搾棒と案内金が接触していないことを確認していたが、隙間は測定していなかったため、芯ずれが発生していた可能性がある。

## 10. 対策

### 1) プレス圧填作業時の清掃手順の明確化

- a) 圧搾棒の清掃は、「状況に応じて圧搾棒の付着薬を除去すること」を、「必ず1回圧填毎に爆薬の付着状況を確認し、圧搾棒に付着薬がある場合は除去すること」に変更し、清掃の頻度を明確にする。
- b) 清掃に際しては、圧搾棒の側面、底面の付着薬を軟質材(ウエス、竹へら、真鍮へら等)の治具等を用いて清掃を行う。
- c) 圧搾棒と案内金間での芯ずれによる爆薬への摩擦印加を防止するため、作業前点検時にゲージ等を用いて芯ずれの発生が無いことを確認し、チェックシートに明記する。芯ずれが認められた場合は、芯出しを行う。

### 2) 設備の対策

圧搾棒と案内金間での爆薬の摩擦を防止するためゲージを製作し、芯ずれの発生を防止する。

### 3) その他教育について

毎年この事故についての教育を行う。

「5インチ圧填作業中に炸薬が発火した」に関するF T A

凡例：○要因である、△要因である可能性がある、×要因でない

発生事象	要 因		調査結果	判定	
5インチ圧填作業中に炸薬が発火した	作業員	作業員の習熟度	作業員の経験不足により通常と異なる作業をした	作業員A：36年勤務、当作業8年従事 作業員B：2年勤務、当作業2年従事 作業員C：3年勤務、当作業は殆どなし 圧填者は経験豊富な作業員A、Bで行っていた。 作業員Cは経験が少ないため計量作業を担当しており、要因であるとは考えにくい。	×
		原材料	Comp A-3	Comp A-3の感度が高かったため発火した	摩擦、落槌、熱感度(DSC)を測定し、問題ないことを確認した。
	内面塗料		圧力印加時に弾殻内部とComp A-3の摩擦により発火した	内面を目視により確認した。 塗装ムラはあるが、摩擦等により発火に至るとは考えにくい。	×
	設備		圧搾棒	金属疲労により加圧時に座屈したことにより周辺のComp A-3が発火した	2025年6月に非破壊検査を実施し、異常のないことを確認している。
		受け台	受け台が変形していたことにより、圧搾棒と弾体とに位置がずれて摩擦し発火した	受け台は2019年から変更なく、要因であるとは考えにくい。 搬送シリンダーについては、2025年10月16日更新時に芯ずれがないことを確認している。	×
		軸の芯ずれ	圧搾棒と案内金の軸がずれていたため、圧搾棒降下時の摩擦により発火した	今ロット立ち上がり時(8月)に芯出し調整を行っている。また、始業点検時に案内金と圧搾棒の接触がないことを確認しているが、ゲージ等による測定はしていないため、軸の芯ずれが発生し、押し棒周辺のクリアランスに偏りが出来ていた可能性は否定できない。	△
		ストローク	圧搾棒が弾底部まで到達し、Com A-3を圧縮し発火した	最も下がった状態で弾底に25mmの間隙があたため、要因であるとは考えにくい。	×
		弾体固定バンド	圧搾時弾体固定バンドを占めていなかったため、圧搾棒と案内金が接触した	閉められていないと圧填室側へ移動できない構造となっており、また、作業時にバンドが確実に固定されていることを確認しているため、要因であるとは考えにくい。	×
		方法	圧填圧	圧力が通常より高かったため、Com A-3が爆轟した	通常の圧力であったことを作業員は確認しており、要因ではない。
	圧填スピード		圧填スピードが遅いため、案内金に接触した場合に発火に至る確率が高くなる	作業前点検で目視により作業員が、いつもと同じ速さであることを確認している。	×
	異物の混入(搬入前)		異物が弾体内部に混入したことにより発火した	填薬前に全数弾体内部の異物の有無を確認し異物は認められていなかったため、要因であるとは考えにくい。	×
	異物の混入(搬入後)		異物が弾体内部に混入したことにより発火した	防爆壁内側は、弾体搬送中に異物が侵入する恐れはなく、要因であるとは考えにくい。	×
	仮圧填作業		仮圧填作業を忘れた、若しくは押し方が甘い場合、弾口にComp A-3が押し上がる量が多くなり、発火につながった	作業員の聞き取りにより、しっかり仮圧填を行っており、仮圧填作業を行ったことを確認した。	×
	圧搾棒に爆薬が付着		圧搾棒にComp A-3が付着しており、案内金との接触により発火した。	押し棒の先端には爆薬が付着しており、2回/日(昼、夕)の頻度で清掃をしていた。 付着した爆薬を弾口部より上に持って上げるため、剥離した爆薬が落下する可能性が否定できない。案内金上に落下した爆薬が、案内金と圧搾棒の間に侵入した状態で圧搾棒が下降し、摩擦により発火した。これが要因の一つであると考えられる。	△

### 3.5 茨城県桜川市の爆粉成分分析中の発火事故（その他事故等 No.1）

#### (1) 事故の概要

令和 7 年 2 月 6 日(木) 13:30 頃、茨城県桜川市の火薬類製造所の危険区域外にある分析室で、銃用雷管に用いる爆粉(DDNP を主とする起爆薬)の成分分析のため、乾燥を終え容器の底に固着した爆粉を剥がそうと葉さじで力を加えたときに爆粉(約 2 g)が発火し、従業者が両手に火傷と裂傷を負った。

#### (2) 事故原因

- ・ 乾燥した爆粉は、落つい感度 1 級、摩擦感度 2 級であり、打撃や摩擦に非常に鋭敏な火薬類である。
- ・ 乾燥後の爆粉は、容器の秤量瓶の底に固着した状態となるため、その乾燥爆粉を必要量に取り分ける際に、秤量瓶の底から乾燥爆粉を剥がすのに、乾燥爆粉に対し直接力を加える必要があった。
- ・ 通常より乾燥爆粉の取扱量が多く、乾燥爆粉は大きな塊であった。

#### (3) 問題点

- ・ 乾燥爆粉に打撃又は摩擦を加える作業であった。
- ・ 乾燥爆粉の取扱量が多かった。
- ・ 乾燥爆粉の取扱いに対し、手に対する保護具が不十分で、手順書には面付ヘルメットの記載のみであった。

#### (4) 再発防止策

- ・ 乾燥爆粉を必要量に分ける作業を中止し、打撃又は摩擦に鈍感な湿爆粉で必要量に分ける作業に変更する。
- ・ 湿爆粉の取扱量を減らし、製造グループからの受領量をこれまでの約 2g から約 1g に変更する。
- ・ 手順書の保護具に、革手袋等を追加する。
- ・ 手順書変更後に作業者に教育を実施する。

#### (5) 教訓と今後の課題

日常的に火薬類を取り扱っていると、火薬類の危険性の認識が薄れ、「これくらいなら・・・」等の安易な考えで危険な作業を行ってしまうことが危惧される。特に、今回取り扱っていたのは非常に危険な爆粉であり、火薬類の危険性を正しく認識し、作業手順書を順守するように、繰り返し教育を行う必要がある。

また、危険区域外の実験・研究施設での火薬類の取扱いであるため、感度が鋭敏な火薬類の取扱いに対して十分な安全対策が行われていなかったと思われる。危険区域外であっても、取り扱う火薬類の危険性を十分に理解してリスクアセスメントを実施し、安全な作業手順を定め、十分な安全対策を施すべきである。

## 事故発災者からの事故報告

1. 発生日時 2025年2月6日(木) 13時30分頃

2. 発生場所 茨城県桜川市 火薬類製造所 分析室(104号家)

### 3. 発火した火薬類

- ・ 火薬類の名称: 銃用雷管用無鉛爆粉(DDNPを主とする起爆薬)
- ・ 主な組成: DDNP、テトラセン、三硫化アンチモン、カルシウムシリコン、硝酸バリウム
- ・ 用途: 小火器用の弾薬に使用する銃用雷管
- ・ 発火した火薬類の量: 乾燥爆粉約2g

### 4. 被害状況

- ・ 人的被害: 軽傷1名 右手:火傷(Ⅰ度)、左手:火傷(Ⅱ度)、裂傷(母指基部6針縫合)
- ・ 物的被害: なし

### 5. 事故の概要

爆粉の成分分析のため、製造グループで採取した湿爆粉約2g(樹脂製秤量瓶入り)を受領し、竹ぐしで湿爆粉をほぐし広げた後、乾燥させた乾燥爆粉を必要量に取り分けるため、薬さじ(樹脂製)を使用して約0.5gを秤量瓶から取り出そうとした際に爆粉が発火した。

### 6. 事故原因

- ・ 乾燥爆粉は、秤量瓶に固着した状態となるため、乾燥爆粉を必要量に分ける際に、秤量瓶から乾燥爆粉を剥がすのに乾燥爆粉に対し直接力を加える必要があった。
- ・ 通常より乾燥爆粉の取扱量が多く、乾燥爆粉は大きな塊であった。(手順書では約1gを乾燥)

### 7. 問題点

- ・ 乾燥爆粉に打撃又は摩擦を加える作業であった。  
(摩擦感度:湿爆粉4級、乾燥爆粉2級 落つい感度:湿爆粉2級、乾燥爆粉1級)
- ・ 乾燥爆粉の取扱量が多かった。
- ・ 乾燥爆粉の取扱いに対し、手に対する保護具が不十分であった。  
(手順書には、保護具は面付ヘルメットの記載のみであった。)

### 8. 再発防止策

- ・ 乾燥爆粉を必要量に分ける作業を中止し、打撃又は摩擦に鈍感な湿爆粉で必要量に分ける作業に手順書を変更した。
- ・ 湿爆粉の取扱量を減らした。(製造グループからの受領量約2g→約1g)
- ・ 手順書に保護具を追加した。(革手袋等)
- ・ 手順書変更後に作業者に教育を実施した。
- ・ 有鉛爆粉の分析も無鉛爆粉と同様の手順に変更した。

### 9. 教訓と今後の課題

爆粉の分析作業については、理化学上の実験での取扱いとして、感度が鋭敏な火薬類の取扱いに対して十分な安全対策が行われていなかった。今後は理化学上の実験で取扱いを行う物質（火薬類含む）に関しても、その特性を十分に理解して、リスクアセスメントを実施し、安全な作業手順を構築する。

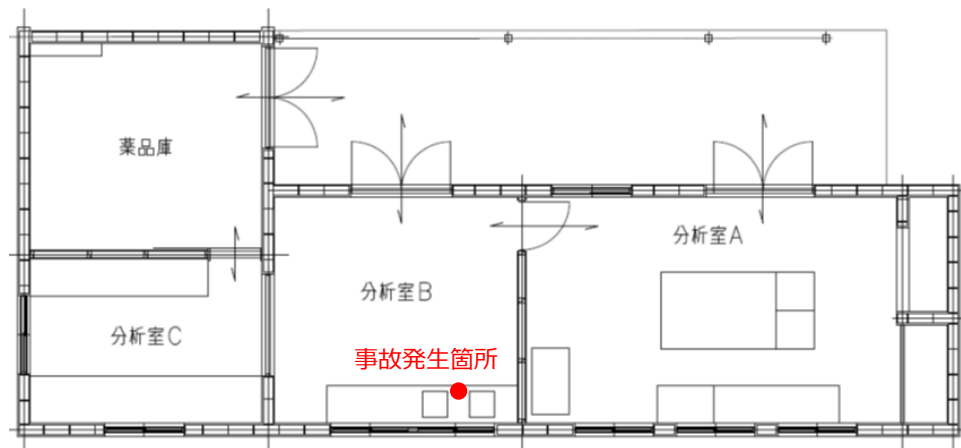


図 1 分析室



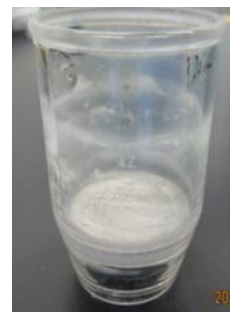
図 2 事故発生場所



薬さじ(樹脂製)  
長さ 183 mm  
幅 8 mm



秤量瓶(樹脂製)  
内径  $\phi$  40 mm  
深さ 28 mm



ガラスフィルタ  
内径  $\phi$  34 mm  
深さ 43 mm x 高さ 60 mm

図 3 使用治具

## 4. 産業火薬類の消費中の事故等

### 4.1 消費中の事故等の概要

令和7年(2025年)の産業火薬類の消費中の事故は2件発生し、異常事象が9件報告された。異常事象の9件のうち、2件を除く7件が信号炎管による火災の異常事象であった。事故等の概要を表4-1に示す。

また、最近10年間の産業火薬類の消費中の事故等の推移を表4-2に示す。なお、令和7年以前の9年間の事故等については、令和7年の事故分類の見直しに則って新分類に見直した結果を示している。

産業火薬類消費部会は、事故等No.3及びNo.7の2件の事故について、並びに飛石の異常事象である事故等No.11の異常事象について、事故調査員から報告された事故調査表を基に、その内容を精査し、事故原因及び再発防止策について検討を行った。その結果を、次項以降の4.2項から4.4項に示す。

表4-1 産業火薬類の消費中の事故等概要(1/2)

No.	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故等概要
1	1月31日(金) 12:37頃	広島県 広島市	0	0-0	H	【火災】高速道路において、管理会社の従業員が道路作業用信号炎管(火薬量約320g)を使用後、消火するため踏みつけたところ衝撃で信号炎管内の火薬が飛散し、付近の法面枯草に着火し約39m <sup>2</sup> を消失した。
2	2月10日(月) 10:50	埼玉県 さいたま市	0	0-0	H	【火災】鉄道会社の訓練センターで信号炎管(火薬量50g)10本を用いた訓練を行っていたところ、信号炎管の火が付近の枯草に着火して約1m <sup>2</sup> を消失した。
3	2月25日(火) 15:30頃	滋賀県 草津市	0	0-0	C2	【飛石】採石場でベンチ発破を行ったところ、発破場所から約70mの隣接敷地の建物まで飛石と込め物(7号砕石)が飛散し、建物屋根の太陽光パネル1枚を損傷した。
4	4月17日(木) 12:40頃	長野県 東筑摩郡 筑北村	0	0-0	H	【火災】高速道路において、管理会社の従業員が道路作業用信号炎管(火薬量約130g)を使用したところ、信号炎管が何らかの理由で法面に移動し、法面下草に着火し約3,000m <sup>2</sup> を消失した。
5	5月20日(火) 08:25頃	長野県 安曇野市	0	0-0	H	【火災】高速道路において、管理会社の従業員が道路作業用信号炎管(火薬量約130g)を使用したところ、信号炎管の火の粉が風で舞い、法面下草に着火し約130m <sup>2</sup> を消失した。
6	6月6日(金) 13:15頃	長野県 安曇野市	0	0-0	H	【火災】高速道において、管理会社の従業員が道路作業用信号炎管(火薬量約320g)を使用したところ、信号炎管の火が風で飛ばされ法面下草に着火し約540m <sup>2</sup> を消失した。

表 4-1 産業火薬類の消費中の事故等概要(2/2)

No.	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故等概要
7	7月29日(火) 13:10頃	茨城県 笠間市	0	1-0	C1	【その他】岩石採取のための発破作業中、水孔だったので親ダイを薬量の大きいものに作り変えるため、発破場所において、含水爆薬(Φ30mmx100g)から電気雷管(MS5段、脚線6m)を指で摘んで引き抜いた際に雷管が暴発し、従事者1名が右手指2本を欠損する重傷を負った。
8	8月28日(木) 11:10頃	岐阜県 各務原市	0	0-0	H	【その他】工場内で航空機の飛行試験前の点検中、緊急時に座席シートベルトを外すための火工品が何らかの原因で不時作動した。
9	9月22日(月) 12:40	兵庫県 神戸市	0	0-0	H	【火災】高速道路の設備点検のため道路作業用信号炎管(火薬量約330g)を高速道に設置していたところ、信号炎管が走行車両に跳ね飛ばされて法面の雑草に着火し約15m <sup>2</sup> を消失した。
10	10月17日(金) 14:50	兵庫県 神戸市	0	0-0	H	【火災】高速道路の設備点検のため道路作業用信号炎管(火薬量約330g)を高速道に設置していたところ、信号炎管の火の粉により法面の雑草約62m <sup>2</sup> を消失した。
11	12月18日(木) 11:00	宮城県 えびの市	0	0-0	H	【飛石】採石場でベンチ発破を行ったところ、飛石が生じ、切羽から約200mの市道に約4cmの大きさの4個の石が飛散した。

注) 「死」欄は死者数、「傷」欄は重傷者数－軽傷者数、「級」欄は事故分類(A～C2)又は異常事象(H)を示す。

表 4-2 産業火薬類の消費中事故等件数の推移

年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 1年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年	令和 6年	令和 7年
消費事故等件数	4(0)	6(0)	10(4)	4(1)	5(1)	2(0)	3(0)	2(2)	10(3)	11(9)
うち発破関係の 事故等件数	4(0)	4(0)	6(2)	3(1)	2(0)	2(0)	3(0)	0(0)	5(0)	3(1)
そのうち飛石の 事故等件数	1(0)	2(0)	4(1)	3(1)	2(0)	1(0)	3(0)	0(0)	4(0)	2(1)

注) 件数の欄は、「事故(A～C2級)件数」+「異常事象(H)件数」で、カッコ内は異常事象(H)件数を示す。

## 4.2 滋賀県草津市の採石場における飛石事故（事故等 No.3）

- (1) 発生日時 令和 7 年 2 月 25 日（火） 15 時 30 分頃
- (2) 発生場所 滋賀県草津市立クリーンセンター（飛石発生元は滋賀県草津市の採石場）
- (3) 使用火薬類 爆薬： 含水爆薬（ $\phi 50$  mm $\times$ 750 g） 2.25 kg $\times$ 40 孔 計 90 kg  
電気雷管： DS 1~10 段各 2 個、11~15 段各 4 個 計 40 個
- (4) 発破諸元 ベンチ発破  
穿孔径：80 mm 穿孔角度：90° 穿孔長：3.5 m  
穿孔間隔：2.5 m 最小抵抗線：3.0 m 穿孔数：40 孔  
発破係数： $0.1 \text{ kg/m}^3 = 2.25 \text{ kg}/22.5 \text{ m}^3 (2.5 \times 3.0 \times 3.0)$
- (5) 被害状況 人的被害：なし  
物的被害：太陽光パネル 1 枚に数か所の割れとゆがみ

### (6) 事故の概要

採石場で発破したところ、発破場所から約 70m の隣地の草津市立クリーンセンターの建屋に居た職員が屋根に硬いものが当たった音に気付き、周辺を調べたら複数個の細かい石を発見した。集めると両手を合わせて持てる 0.5 L 程度だった。さらに、当該建屋屋根に複数個設置してあった太陽光発電パネルの中の 1 枚において、数か所の割れとゆがみが発生していることを確認した。

### (7) 推定原因

- ・ 発破係数  $0.1 \text{ kg/m}^3$  のベンチ発破で、穿孔間隔が穿孔長と同程度の長さであり、部分的な弱装薬の鉄砲飛石が推定される。
- ・ 防護は防爆シートを使用したか、全体を覆ってはいなかったため、隙間から飛石が起きたと思われる。

### (8) 対策

- ・ 徹底した飛石防護が必要で、防爆シートに加えて防護マットあるいは鉄板防護を追加する。
- ・ 穿孔間隔と最小抵抗線を穿孔長より短くして、上方への飛石を防止する。
- ・ 穿孔口方向を保安物の反対とし、鉄砲飛石が起きても保安物へ向かわないようにする。

火薬類事故調査表 (1/3)			
事故名	滋賀県草津市の採石場における飛石事故		事故調査員氏名 吉田陽一郎
事故分類	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input checked="" type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2		調査年月日 令和07年03月10日
発生日時	令和07年02月25日(火)15時30分頃		報告年月日 令和07年03月24日
気象状況	天候:晴 気温:7.8℃ 風速:1.7m/s(気象庁提供)		報告段階 <input type="checkbox"/> 速報 <input checked="" type="checkbox"/> 確報
発生場所	滋賀県草津市立クリーンセンター		別添資料 <input checked="" type="checkbox"/> 有 図面等1枚
現場区分	<input type="checkbox"/> 貯蔵所 ( <input type="checkbox"/> 火薬庫 <input type="checkbox"/> 庫外貯蔵所) <input checked="" type="checkbox"/> 消費場所 大区分 ( <input checked="" type="checkbox"/> 採石 <input type="checkbox"/> 土木 <input type="checkbox"/> トンネル <input type="checkbox"/> その他) 小区分 ( <input type="checkbox"/> 切羽 <input type="checkbox"/> 取扱所 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 廃棄場所 <input type="checkbox"/> 試験場所 <input type="checkbox"/> 運搬路 <input type="checkbox"/> その他 ( )		業種 <input type="checkbox"/> 鉱山 <input type="checkbox"/> 石炭 <input type="checkbox"/> 石灰石 <input type="checkbox"/> 土木 <input checked="" type="checkbox"/> 採石 <input type="checkbox"/> その他 ( )
事故区分	事故状況	<input type="checkbox"/> 爆発 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 落石 <input type="checkbox"/> 爆風 <input checked="" type="checkbox"/> 飛石 <input type="checkbox"/> 落盤 <input type="checkbox"/> その他	
	従事作業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 消費作業 <input type="checkbox"/> 発破等準備 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 発破等本作業 (ベンチ発破) ( ) <input type="checkbox"/> 発破等後処理 ( ) <input type="checkbox"/> 廃棄作業 ( ) <input type="checkbox"/> 運搬作業 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )	
事故概要	<p>事故当日、採石場で発破作業を実施したところ、直後に道路を挟んで隣接する草津市立クリーンセンターの計量所建屋内で業務にあっていた職員が建屋の屋根から連続して硬いものが直撃するような音を聞いたので、建屋周囲及び当該建屋の屋根を確認したところ、細かい石(画像添付)が複数個落下しており、集めると全部で0.5リットル程度(両手を合わせて持てるくらい)が回収され、さらに当該建屋の屋根に複数個設置してあった太陽光発電パネルの中で、1枚において数か所の割れとゆがみが発生していることを確認した。</p>		
作業従事者	従事者数 2人 手帳所持者 黒手帳 1人、青手帳 1人、黄手帳 0人		
被害状況	人的被害		物的被害
	死亡	人 ( )	被害物件
	重傷	人 ( )	太陽光発電パネル 1
	軽傷	人 ( )	事故発生場所からの距離
	計	人 ( )	70m
※ ( )内は第三者被害者数			

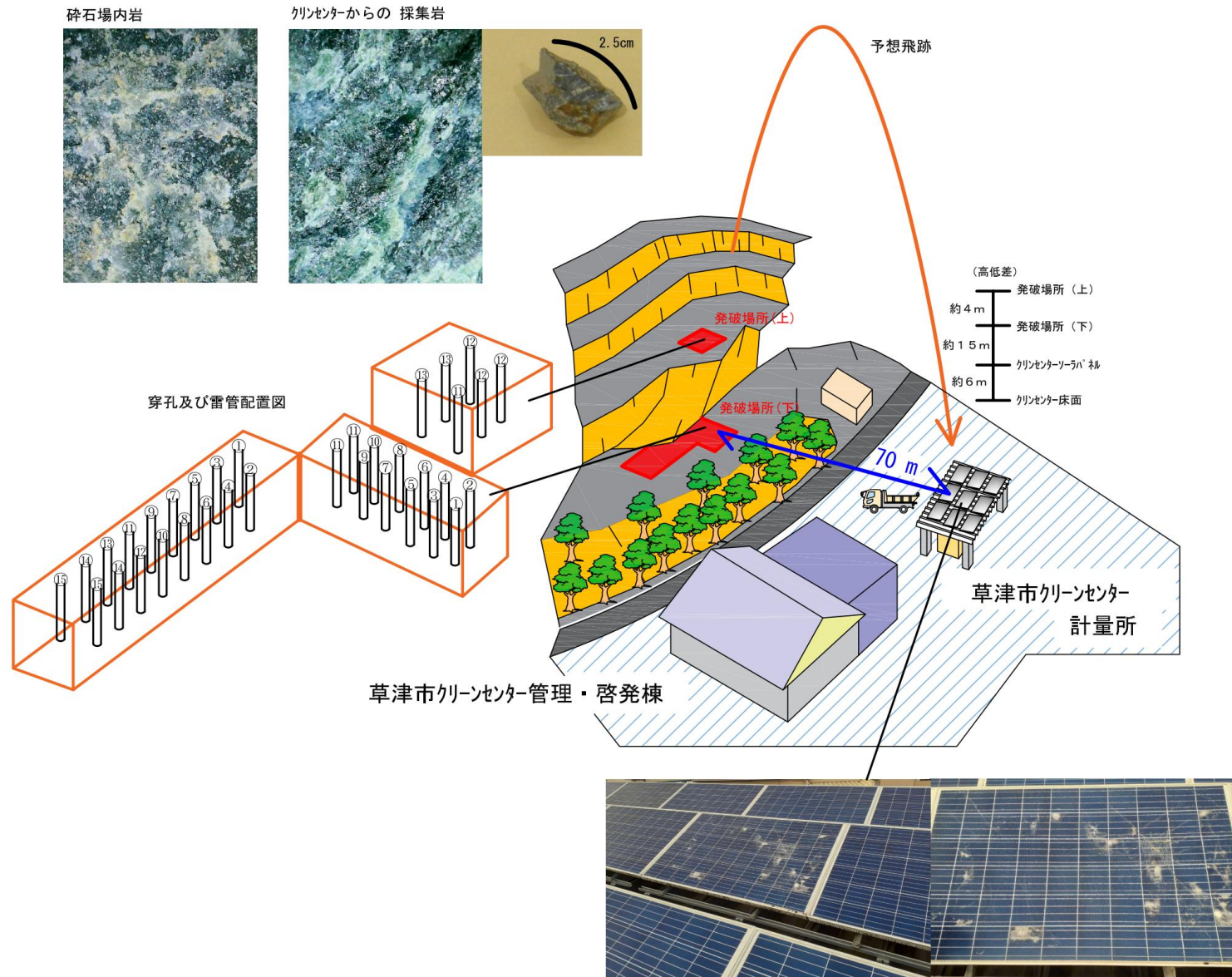
### 火薬類事故調査表 (2/3)

発破設計	発破種別	■ベンチ □トンネル □小割 □盤下げ □その他 ( )		
	爆薬の種類・サイズ	(親ダイ) 50×750 含水爆薬 (増ダイ) 50×750 含水爆薬		
	雷管の種類・段数	■電気雷管 □瞬発 個 □MS 個(段数 ) ■DS 40 個(1~15 段) □非電気式雷管 ( ) (1~10段各2本、11~15段各4本)		
	導火線/導爆線	なし		
	穿孔	穿孔径 80 mm 穿孔間隔 2.5 m	穿孔長 3.5 m 最小抵抗線 3.0 m	穿孔角度 90° 穿孔数 40 孔
	込め物	種類: 砂+7号碎石 長さ: 2.0 m (薬長 0.35×3≒1.0)		
	火薬数量	爆薬: 90 kg (孔当たり薬量) 2.25 kg/孔 × 40 孔		
	発破係数	0.1 kg/m <sup>3</sup> [ 2.25 kg/( 2.5 m× 3.0(穿孔有効長)m× 3.0m) ]		
	発破器	100 発掛		
	岩質とその状況	岩質: □珪岩 □硬砂岩 □花崗岩 □輝緑岩 □安山岩 □玄武岩 □石灰岩 ■砂岩 □頁岩 □その他 ( ) 岩の状況:		
発破作業 管理	防護措置	一次(直接)防護: 防護シート 二次(間接)防護:		
	点火、退避、見張	点火位置: 山腹の裏側で重機の陰 退避場所: " 見張所の位置: 入口の休憩所の陰にいて 10t ダンプトラックの進入を止める。		
	点火時の退避・ 確認手順	場内にいる作業員が発破場所から 50m 以上離れた重機の陰、見張り人が休憩所の後ろにいることを確認する。		
	点火合図・ 周知方法	発破の合図はサイレンを鳴らす。出入りするダンプトラックの運転手には発破予定日の朝に重機のオペレータが通知する。		
	事故日の保安措置・ 緊急措置	翌日、草津市立クリーンセンターより滋賀県商工労働部の採石業の登録窓口へ飛び石について通報。 後日、警察へ報告。		
	保安管理者の配置	管理者氏名 ( ○○○○ ) 資格 ■有 ( ) □無		
	保安管理上特に 留意している事項			

**火薬類事故調査表 (3/3)**

事故調査員 の意見	直接原因	<input type="checkbox"/> 不適正装薬 <input type="checkbox"/> 結線不良 <input type="checkbox"/> 摩擦・衝撃 <input type="checkbox"/> 早期接近 <input type="checkbox"/> 遅延爆発 <input type="checkbox"/> 静電気 <input type="checkbox"/> 雷 <input type="checkbox"/> 漏洩電流 <input type="checkbox"/> 警戒・連絡不良 <input type="checkbox"/> 取扱不良 <input type="checkbox"/> 焚火・タバコの火 <input type="checkbox"/> 運搬方法等不適 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 防護・発破方法検討の不徹底 ）
	間接原因	<input type="checkbox"/> 保安体制の未確立 <input type="checkbox"/> 遵法意識の欠如 <input type="checkbox"/> 保安教育・訓練の不徹底 <input type="checkbox"/> 施設・設備の不備 <input type="checkbox"/> 運搬方法等不適 <input type="checkbox"/> その他（      ）
	<p>・ 添付資料に図示したとおり、発破場所と被害個所の距離が近いこと、今回の発破に際しては事前に十分な検討と防護が必要であった。</p> <p>・ 当該事故によって破損が生じた太陽光発電パネルには主に同心円状の亀裂が発生しているため、パネルに対して横からではなく、垂直に近い角度で落下してきた飛石が直撃したことが伺える。</p> <p>・ 穿孔内にあった小さい石と込め物である7号砕石がほぼ垂直に打ち出されたのであれば、穿孔から打ち出される飛散物が保安対象に当たらないような穿孔の方向を実施することも、効果があるのかもしれない。</p> <p>・ また、飛び石が発生した場合でも、飛翔前に受け止めることができるように、防護マット等を隙間なく、末端の部分はよく重ねて使用することも徹底してもらいたい。</p> <p>・ マイクロスコープを使用して、飛散したと思われる岩と砕石場内の岩を見比べたところ、ほぼ間違いなく当該採石場から飛散したものであると判断できる。</p> <p>・ 回収された岩は数センチ程度の小さなものであったが、太陽光発電パネルの破壊状況から直撃の際に細かく砕けたものの、直撃前の時点ではもう少し大きな岩であったことが予想される。</p> <p>※距離に関する測定機器：Nikon LASER 350                  拡大鏡 マイクロスコープ：SKY BASIC デジタル顕微鏡 2MP/ 出力 iphone SE</p>	

# 添付資料



### 4.3 茨城県笠間市の採石場における雷管暴発事故（事故等 No.7）

- (1) 発生日時 令和 7 年 7 月 29 日（火） 13 時 10 分頃
- (2) 発生場所 茨城県笠間市の採石場
- (3) 使用火薬類 含水爆薬 φ30mm×100g 50 本  
含水爆薬 φ50mm×1000g 98 本  
電気雷管 MS(6.0m) 1 段～6 段 32 本  
電気雷管 MS(9.0m) 1 段～6 段 32 本
- (4) 発破諸元 ベンチ発破（32 孔 3 列）
- (5) 被害状況 人的被害： 従業員 1 名が右手指 2 本欠損の重傷  
物的被害： なし

#### (6) 事故の概要

岩石採取のための発破作業中、水孔だったので親ダイを薬量の大きいものに作り変えるため、発破場所において、含水爆薬(φ30mm×100g)から電気雷管(MS5 段、脚線 6m)を指で摘んで引き抜いた際に雷管が暴発し、従事者 1 名が右手指 2 本を欠損する重傷を負った。

#### (7) 推定原因

高温多湿下での作業中に、被災者は帯電防止対策がなく体内に静電気が蓄積した可能性が高い。被災者が、雷管管体または脚線に触れることで帯電し、管体と脚線の間で電位差が発生し、電橋線付近で放電し、点火玉に着火したと推定される。また、この他に落雷や迷走電流と誘導電流の可能性もあるが、現場の状況から可能性は低い。

#### (8) 対策

- ・ 親ダイの作製や解体作業は、必ず、除電して火工所で行う。
- ・ 静電気対策としては、帯電防止用衣類や帯電防止安全靴を使用する。
- ・ 穿孔作業と装薬作業は、同時に行わない。穿孔作業後に、孔の状況を確認し装薬作業を実施する。

## 火薬類事故調査表

調査日(1) 2025年8月4日(月) 10時

調査日(2) 2025年8月18日(月) 14時

調査員 長谷川 庸介

1. 事故名: 茨城県笠間市の採石場における雷管暴発事故
2. 事故分類: C1 級
3. 発生日時: 2025年7月29日(火)13時10分頃 (天候 晴れ、気温 35°C)
4. 発生場所: 茨城県笠間市の採石場
5. 事故概要: 岩石採取のための発破作業中、水孔だったので親ダイを薬量の大きいものに作り変えるため、発破場所において、含水爆薬(Φ30 mm×100 g)から電気雷管(MS 5 段、脚線長 6 m)を指で摘んで引き抜いた際に雷管が暴発し、従事者 1 名が右手指 2 本を欠損する重傷を負った。
6. 人的被害: 重傷 (右手の親指の第 1 関節と人差し指の第 2 関節より先が欠損。人差し指の側面の皮が残り、人差し指の先端が残っていたので、人差し指の先端を親指に移植手術。ただし、顔や手の甲、手の掌に、電気雷管の破片の傷は見当たらない。)  
物的被害: なし (作業服、手袋は、家族が処分。ヘルメット、眼鏡や長靴に、電気雷管の破片の傷は見当たらない。)
7. 使用火薬類

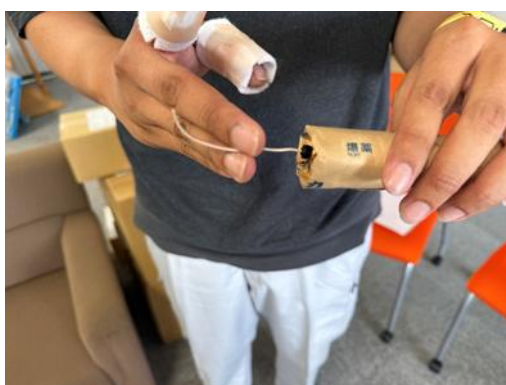
含水爆薬 ハイジエックス	φ30×100g	50 本
含水爆薬 ハイジエックス	φ50×1000g	98 本
アンホ重袋		500 kg
MS6.0 ①～⑥ (6, 6, 5, 5, 5, 5)		32 個
MS9.0 ①～⑥ (6, 6, 5, 5, 5, 5)		32 個
8. 当日の発破パターン

φ30 × 100 g 2 本+アンホ 20 kg	ポリチューブ使用
φ50 × 1000 g 14 本	ポリチューブ不使用
φ50 × 1000 g 7～8 本+アンホ	ポリチューブ使用
9. 作業従事者: A、B の 2 名。両名とも、甲種火薬類取扱保安責任者免状所持及び黒手帳所持で、A は当該消費場所の火薬類取扱副保安責任者。
10. 事故に至る経緯
  - ・ 8:40 頃、火薬類取扱所で火薬類(雷管、爆薬等)受け取り。
  - ・ 8:50 頃から、火工所において親ダイ作成。
  - ・ 作成後、親ダイ(φ30×100g-50 本、φ50×1000g-14 本)を運搬箱に入れて、切羽に移動。

- ・ 9:30 頃から、切羽において発破準備。
- ・ 削孔は 32 孔(前日に 10 本程度削孔)。
- ・ 削孔と装薬は炎天下で暑いため、1 時間程度で 2 人で交代しながら実施していた。
- ・ 事故時、25～26 本装薬完了していた。

#### 11. 事故時の状況

- ・ 作業員 B が装薬しようとする発破孔が水孔だったので、作業員 A に報告して、アンホから含水爆薬へのパターンに変更する(同様の変更はあまりない)旨の確認、了承を受けた。
- ・ 発破パターンの変更により、親ダイを  $\phi 30 \times 100 \text{ g}$  から、 $\phi 50 \times 1000 \text{ g}$  に変更する必要が生じた。
- ・ 本来、火工所に戻って、作業すべきところ、発破現場で雷管を入れ替えることとした。
- ・ 立って親ダイ  $\phi 30 \times 100 \text{ g}$  から電気雷管 MS 6.0 ⑤を抜いた。(次の 2 段階)
- ・ まず、脚線を軽く引っ張った。(一気に引っ張ると、脚線が切れたりする可能性があるため。)
- ・ 電気雷管を、親指と人差し指で持ち、抜いた。
- ・ 親ダイから電気雷管を抜いた直後に電気雷管が暴発した。
- ・ 本人は何が起きたか分からず、気が付いたら腕が勢いで右上方向にあった(下図参照)。
- ・ 親ダイの変更中、ぶつかけたり、ひっかけたりはしていない。
- ・ 変更予定の  $\phi 50$  は近くにあったと思う。用意していたかは覚えていない。
- ・ 親ダイは、立って抜き、短絡はしてあった。(親ダイ作成時に短絡確認済み。)
- ・ 親ダイはセットしていないので、雷管の脚線は束ねたままいじっていない。
- ・ 無線、携帯電話は持っていなかった。



親ダイから電気雷管を抜く工程①



親ダイから電気雷管を抜く工程②



暴発したと思われる電気雷管の位置



気付いた時の腕の位置



量販店で購入した軍手

#### 12. 推定される事故原因

- ・ 親ダイから電気雷管を抜き、電気雷管 MS 5 段の秒時(100ms)後に電気雷管が暴発したものと考えられる。(軍手をしており、除電も行っていない。)その時、親ダイの 30×100 や交換予定 50×1000、装薬済みの爆薬には、殉爆していない。聞き取り調査内容からは、原因は特定出来ない。ヒューマンエラーなのか、その時の環境要因なのか？軍手のまま、除電もせずに行った為、静電気が発生した為なのか？雷も当時は無かったとの報告を受けている。親ダイも火薬箱の中で切羽に 3 時間程度は炎天下の中に置いてあったが、この関連はあるのか？
- ・ 被害は被災者の右母指と右示指の 2 本のみ。その他の被害は確認されていない。これは、写真を見て頂くと電気雷管が右下 45 度位置にあり、電気雷管の上部は指で衝撃を受け、下部の衝撃・破片は身体を外れて地面に飛散したものと推定する。よって、被害が指 2 本のみになったと考える。

#### 13. この事故の問題点

- ・ 切羽で軍手のまま、除電も行わず親ダイから電気雷管を抜いた。時間短縮の為、火工所で行わず、切羽で親ダイから電気雷管を抜いた。

#### 14. 今後の対策

- ・ 法令遵守を徹底する。今回の直接原因は分からないが、電気雷管を扱う際に行わなければならない火工所で除電をしてからという行為を行っていない。今の電気雷管は耐静電気雷管ではあり、耐静電気雷管になってから静電気による事故は聞いた事がないが、絶対安全ではない。基本に忠実に万が一の場合を常に考えて、被害が最小限になるように保安責任者が考え行動する事が大切である。
- ・ 今回は、指切断という被害は大きいですが、親ダイの含水爆薬 30×100 や交換予定の 50×1000、装薬予定の他の爆薬などが殉爆しなかった事は幸いである。爆薬が殉爆していたら、被害は甚大なものになっていた。
- ・ 消費許可等受権者の採石場の常務から、今後は時間の余裕を持って作業できるように作業計画を立てるよう改善する旨報告があった。

(その他写真)



切羽(1)



切羽(2)



火工所



火工所の中



火薬類運搬箱



ポリチューブ(耐静電気用)

## 産業火薬類消費部会 ワーキンググループ 報告書

## 1. はじめに

令和 7 年 7 月 29 日に茨城県笠間市の採石工場で発生した産業火薬の事故(注に概要を示す。)については、事故調査員を派遣して情報収集に当たったものの、依然不可解な点が多い。そこで、産業火薬類消費部会での審議に先立って、少人数による事前検討を行うためワーキンググループ(WG)を設け、事故調査員や雷管メーカーからも参考人として参画していただき、議論した。その概要をまとめる。

(注)岩石採取のための発破作業中、水孔だったので親ダイを薬量の大きいものに作り変えるため、発破場所において、含水爆薬(Φ30 mm×100 g)から電気雷管(MS 5 段、脚線長 6 m)を指で摘んで引き抜いた際に雷管が暴発し、従事者 1 名が右手指 2 本を欠損する重傷を負った。【C1 級】

WG に参加した委員および参考人等は以下に示すとおり。

委員： 緒方雄二〇、山本雅昭 (〇:リーダー)

参考人： 長谷川庸介(事故調査員、株式会社社長谷清社長)

蛭谷 康晴(日本工機株式会社美唄製造所 安全環境統括室長兼技術部長)

事務局(全火協): 飯田光明、中塚漢二、廣崎義一

## 2. 事故原因以外の情報

事故の原因以外に関して、WG で追加調査した事項も含め、以下に示す。

- ・ 被災者の受傷は指 2 本のみであり、顔面その他の部所には全く被害がない。電気雷管 1 個でも、爆発すれば特に添装薬の周囲方向には細かな破片が飛散し、衣服を貫通することも十分考えられるが、その状況は認められない。爆発した電気雷管の向き(位置関係)でたまたま指以外の方向に破片が飛ばなかったと考えられる。高速度カメラでは電気雷管の破片は、管底方向のジェットを除いて横方向にしか飛ばない。指で掴んでいた雷管の破片で指を損傷したものと考えられる。
- ・ この現場の特異的な点は以下のとおり。
  - － クローラドリルの削孔と親ダイ変更作業の場所が近く、くり粉が舞っていると考えられる。(参考人)
  - － 親ダイを 2 個作って、孔底起爆を行っていると考えられる。デッキチャージではない。最初に親ダイ、続いて増ダイを入れ、ポリチューブを差し込んで ANFO を入れている。
  - － 穿孔長は 9.0 m であった。ポリチューブが用いられるのは次の 3 つの発破パターンのうち[1]と[3]であるが、当日は [1] → [2]に変更しようとして、親ダイから雷管を抜く作業を行っていた。
    - [1] φ30 × 100 g 2 本+アンホ 20 kg ポリチューブ使用
    - [2] φ50 × 1000 g 14 本                      ポリチューブ不使用
    - [3] φ50 × 1000 g 7~8 本+アンホ ポリチューブ使用

## 2. 事故原因の推定

電気雷管が暴発した原因としてはいくつか考えられるが、それらを要因別にまとめる。

## [迷走電流]

- ・ クローラドリルで穿孔中に、6~8 m 離れた場所で爆発(暴発)が起きたが、クローラドリルからの漏洩電流または迷走電流によって発火した可能性は低い(考えにくい)と思われる。

#### [電波]

- ・ AM 放送局が近くにあれば、脚線を伸ばしたときに電磁誘導で発火する可能性があるが、事故現場のすぐ近くにはそのような放送局はない。
- ・ 事故があった切羽のすぐ近くにダンプカーの走路がある。事故当時(装薬中)、一般の積み込みダンプは走行していなかったが、重ダンプは走行していた。ダンプカーに装備されている無線機からの電波も発火の要因として考えられるものの、その可能性は低いと思われる。

#### [物理的要因]

- ・ 脚線が相当な力で引かれたときに点火玉が引き抜かれた事例が過去にはあった。その対策として脚線が塞栓の中で千切れるようにされている(いわゆる「ずる剥け対策」)。事故当日は脚線をほどく行為は行っていない(その必要がなかった)。したがって、本要因は考えにくい。

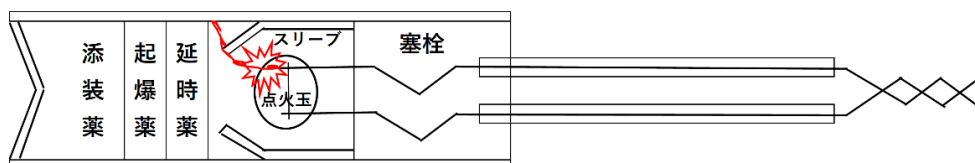
#### [温度的要因]

- ・ 35～36℃の環境下で数時間運搬箱に存置されていたが、発火するような温度には達していないと考えられる。

#### [静電気]

- ・ 雷管の耐静電気試験を定期的(年に数回、数十本程度)に実施しているが、JIS 規格である 2000 pF、8 kV でしか行っていない。過去の検査においてすべて不発火である。過去のデータからは、15 kV くらいまでは発火しないと考えられる。(参考人)
- ・ 人体は電気を通す導体であり、電気を蓄える能力である静電容量を持つ。この人体の静電容量は、通常 60 pF から 300 pF 程度の範囲にあるとされるが、姿勢や周囲の環境によって変化する。汗をかいていない状態の場合、皮膚表面は比較的乾燥しており、衣服も乾いているため、衣服は絶縁体として働き、人体と外部との電氣的結合が弱い。その結果、人体の静電容量は数十 pF 程度とされる。一方、汗で衣服がびしょ濡れの状態の場合、人体と衣服の間に導電性の層ができ、外部との結合が強化される。結果として、人体の静電容量は大きく増加し、条件によっては数百 pF 以上になることもある。
- ・ 事故当時、被災者は会社支給の帯電防止の作業服を着用していたが、事故当時の気温は高く、装薬終了間際でもあったため、汗で作業服はびしょ濡れの状態だったと被災者自身が述べている。着用していた靴は、量販店で購入した鉄心入りの長靴(導電性ではない)であった。また、同様に量販店で購入した軍手もゴム手袋であるので、その中は汗で濡れた状況であった。すなわち、被災者は地面に対して絶縁された状態にあり、かつ、汗で全身が濡れた状態であった。
- ・ このような状態で、電気雷管の脚線の末端がたとえ閉じていたとしても、作業服に接触すると、人体に溜まっていた電荷が脚線に流れ込んで人体とほぼ同じ電位にまで帯電し、特に脚線の先端である電橋部分の電界が非常に強くなって、ゴム手袋で人体と絶縁された管体との間で放電が発生して発火した可能性がある。
- ・ 一方、ゴム手袋が汗で濡れた状態で若干でも導電性を帯びた場合は、管体が人体とほぼ同電位に帯電し、脚線(電橋)との間で放電が発生して発火した可能性も考えられる。なお、ゴム手袋が導電性を帯びた場合は、脚線が人体に触れたとしても、管体と脚線は同じ極性のほぼ同電位に近くなると考えられ、放電は考えられない。放電の可能性が高くなるのは、脚線が地面に触れた場合だが、被災者は脚線は束ねられたままだったと述べており、可能性は小さい。
- ・ 雷管内で放電が起きた原因として、誘導帯電(静電誘導)も考えられる。薄いゴム(絶縁体)を通して、人体の電荷により、雷管管体に電荷の偏り(分極)が生じ、局部的に管体と脚線(電橋)との間に大きな電位差が発生して放電したとも考えられる。しかし、誘導帯電で管体に分極が生じたとしても、その電位差はそれほど大きくなるとは考えにくく可能性は小さい。

### 静電気放電による電気雷管の発火(イメージ)



報告書の文書		人、管体、脚線は浮いた導体。 人は仮に+に帯電したとする。
ケース 1	脚線が作業服に接触すると、人体に溜まっていた電荷が脚線に流れ込んで人体とほぼ同じ電位にまで帯電し、特に脚線の先端である電橋部分の電界が非常に強くなって、ゴム手袋で人体と絶縁された管体との間で放電が発生して発火した可能性がある。	
ケース 2	ゴム手袋が汗で濡れた状態で若干でも導電性を帯びた場合は、管体が人体とほぼ同電位に帯電し、脚線(電橋)との間で放電が発生して発火した可能性も考えられる。	
ケース 3	なお、ゴム手袋が導電性を帯びた場合は、脚線が人体に触れたとしても、管体と脚線は同じ極性のほぼ同電位に近くなると考えられ、放電は考えられない。	
ケース 4	薄いゴム(絶縁体)を通して、人体の電荷により、雷管管体に電荷の偏り(分極)が生じ、局部的に管体と脚線(電橋)との間に大きな電位差が発生して放電したとも考えられるが、可能性は小さい。	

#### 4.4 宮崎県えびの市の採石場における飛石の異常事象（事故等 No.11）

(1) 発生日時 令和7年12月18日（木） 11時00分

(2) 発生場所 宮崎県えびの市 採石場

(3) 使用火薬類 爆薬：含水爆薬（ $\phi 25$  mm $\times$ 100 g） 1.0 kg  
アンホ爆薬（重袋） 50.0 kg  
電気雷管：瞬発 10 個

(4) 発破諸元 ベンチ発破（1列10孔）  
穿孔径：65 mm 穿孔角度：70° 穿孔長：3.0 m  
穿孔間隔：3.0 m 最小抵抗線：2.0 m 穿孔数：10 孔  
発破係数：0.28 kg/m<sup>3</sup> [5.1kg 孔/(3m $\times$ 2m $\times$ 3m)]

(5) 被害状況 人的被害：なし  
物的被害：なし（市道に約40 mmの石が4個飛散のみ）

#### (6) 事故の概要

採石場でベンチ発破を行ったところ、飛石が生じ、切羽から約200 mの市道に約40mmの石が4個飛散した。

#### (7) 推定原因

- ・ 切羽の状態から発破孔の右端の孔が一部軟弱な岩盤があったため、結果、過装薬となり斜め横方向に飛石したものと推定される。
- ・ 1孔当りの装薬量が多く、込め物長不足も原因の一つと推定される。（当該切羽では込め物長1 m程度）

#### (8) 対策

- ・ 発破前に地盤状況を確認し、軟弱な地盤の場合は装薬量を減らす。
- ・ 発破前に切羽状況をよく確認して、必要に応じて防護措置等を実施する。
- ・ 発破点火時は常時道路の両側に見張人を立て交通遮断をする。
- ・ 飛石事故に関する保安教育を実施する。
- ・ ベンチ設計は、最小抵抗線<込め物長とする。

※込め物長は一般的に最小抵抗線と同じか又は少し長くする。

**火薬類事故等調査表 (1/3)**

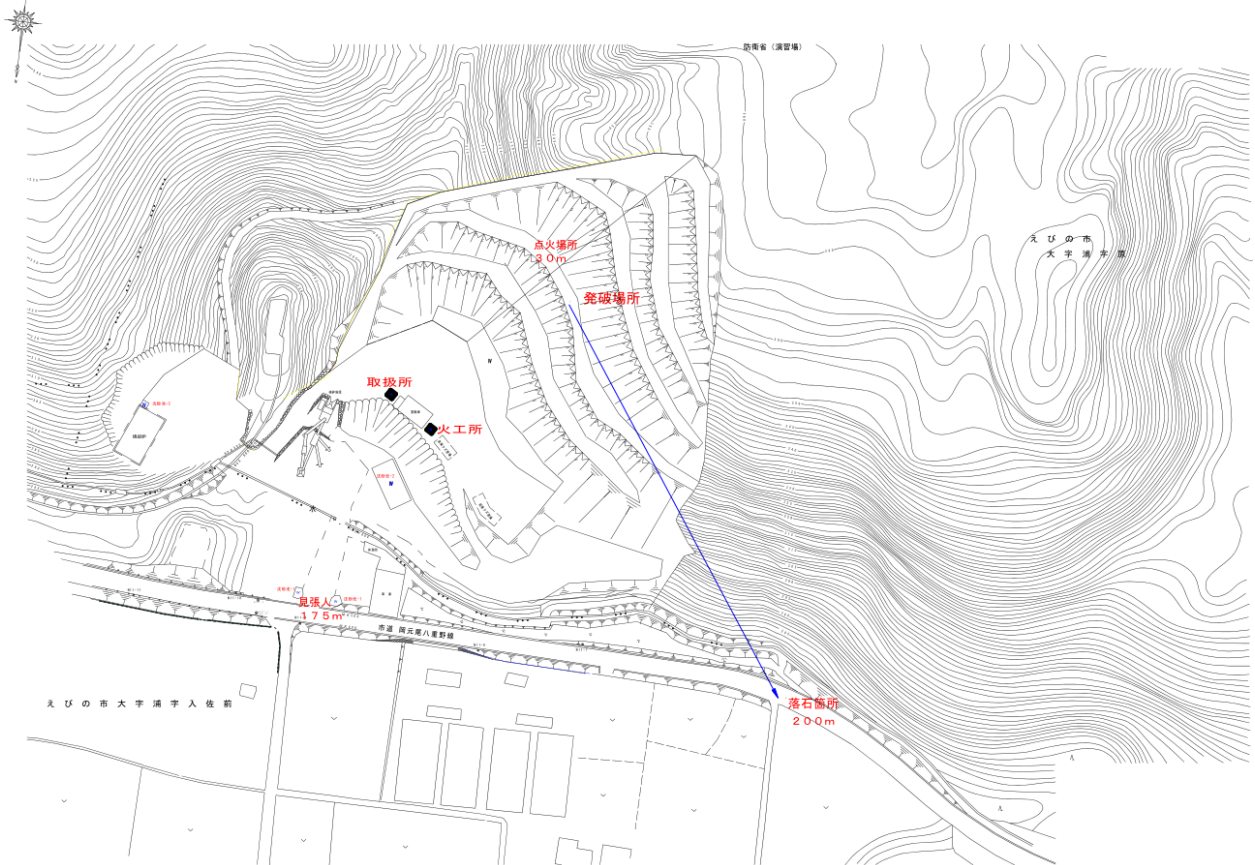
事 故 名	宮崎県えびの市の採石場における飛石事故		事故調査員 氏名	秋丸進
事故分類	<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B1 <input type="checkbox"/> B2 <input type="checkbox"/> C1 <input type="checkbox"/> C2 <input checked="" type="checkbox"/> 異常事象		調査年月日	令和8年1月8日
発生日時	令和7年12月18日(木曜日)11時00分頃		報告年月日	令和8年1月14日
気象状況	天候：晴れ 気温：10.4 風速：0.8 m/s		報告段階	<input type="checkbox"/> 速報 <input checked="" type="checkbox"/> 確報
発生場所	切羽から約200mの市道		別添資料	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
現場区分	<input type="checkbox"/> 貯蔵所 ( <input type="checkbox"/> 火薬庫 <input type="checkbox"/> 庫外貯蔵所) <input checked="" type="checkbox"/> 消費場所 大区分 ( <input checked="" type="checkbox"/> 採石 <input type="checkbox"/> 土木 <input type="checkbox"/> トンネル <input type="checkbox"/> その他) 小区分 ( <input type="checkbox"/> 切羽 <input type="checkbox"/> 取扱所 <input type="checkbox"/> その他) <input type="checkbox"/> 廃棄場所 <input type="checkbox"/> 試験場所 <input type="checkbox"/> 運搬路 <input type="checkbox"/> その他 ( )		業 種	<input type="checkbox"/> 鉱山 <input type="checkbox"/> 石炭 <input type="checkbox"/> 石灰石 <input type="checkbox"/> 土木 <input checked="" type="checkbox"/> 採石 <input type="checkbox"/> その他 ( )
事故区分	事故状況	<input type="checkbox"/> 爆発 <input type="checkbox"/> 火災 <input type="checkbox"/> 落石 <input type="checkbox"/> 爆風 <input checked="" type="checkbox"/> 飛石 <input type="checkbox"/> 落盤 <input type="checkbox"/> その他		
	従事作業 区分	<input checked="" type="checkbox"/> 消費作業 <input type="checkbox"/> 発破等準備 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 発破等本作業 ( ) <input type="checkbox"/> 発破等後処理 ( ) <input type="checkbox"/> 廃棄作業 ( ) <input type="checkbox"/> 運搬作業 ( ) <input type="checkbox"/> その他 ( )		
事故概要	採石場でベンチ発破を行ったところ、飛石が生じ、切羽から約200mの道路(市道：岡元小八重線)に約40mmの4個の石が飛散した。			
作業従事者	従事者数 5人 (正社員 5人、臨時社員 0人) 手帳所持者 黒手帳 3人、青手帳 0人、黄手帳 0人			
被害状況	人的被害		物的被害	
	死亡 0人 (0人) 重傷 0人 (0人) 軽傷 0人 (0人) 計 0人 (0人) ※ ( )内は第三者被害者数	被害物件	事故発生場所からの距離	
		なし	m	

火薬類事故調査表 (2/3)		
発破設計	発破種別	■ベンチ □トンネル □小割 □盤下げ □その他 ( )
	爆薬の種類・サイズ	(親ダイ) 含水爆薬 Φ25mm×100g (増ダイ) アンホ爆薬 重袋
	雷管の種類・段数	■電気雷管 ■瞬発 10個 □MS 個(段数 ) □DS 個(段数 ) □非電気式雷管 ( )
	導火線/導爆線	なし
	穿孔	穿孔径 65mm 穿孔長 3m 穿孔角度 70° 穿孔間隔 3m 最小抵抗線 2m 穿孔数 10孔
	込め物	種類: 砂
	火薬数量	爆薬: 51.0 kg (孔当たり薬量) 5.1kg/孔
	発破係数	0.28 kg/m <sup>3</sup> [ 5.1 kg/(3m×2m×3m) ]
	発破器	50 発掛け (出力 )
	岩質とその状況	岩質: □珪岩 □硬砂岩 □花崗岩 □輝緑岩 ■安山岩 □玄武岩 □石灰岩 □砂岩 □頁岩 □その他 ( ) 岩の状況: 節理あり
発破作業 管理	防護措置	一次(直接)防護: なし 二次(間接)防護: なし
	点火、退避、見張	点火位置: 切羽上段 35m 地点 (重機の裏に点火者 1 名および退避者 2 名) 退避場所: 点火位置と同じ 見張所の位置: 切羽から約 175m 地点の採石場入口 (見張人 2 名)
	点火時の退避・ 確認手順	発破準備完了後、トランシーバーで見張人に発破時刻連絡 → 見張人定位置に移動 → 安全確認後、点火者に連絡
	点火合図・ 周知方法	点火 1 分前にサイレンを鳴らし、直前に再度サイレンを鳴らし、点火
	事故日の保安措置・ 緊急措置	・令和 7 年 12 月 18 日に近所住民が警察へ第 1 報連絡 ・令和 7 年 12 月 18 日に警察から事業者連絡 ・令和 7 年 12 月 18 日に事業者から宮崎県に報告 ・令和 8 年 1 月 8 日に現場確認
	保安管理者の配置	管理者氏名 (○○○○) 資格 ■有 (火薬類取扱保安責任者免状) □無
	保安管理上特に 留意している事項	火薬類の取扱い全般

### 火薬類事故調査表 (3/3)

	直接原因	<input checked="" type="checkbox"/> 不適正装薬 <input type="checkbox"/> 遅延爆発 <input type="checkbox"/> 警戒・連絡不良 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 結線不良 <input type="checkbox"/> 静電気 <input type="checkbox"/> 取扱不良	<input type="checkbox"/> 摩擦・衝撃 <input type="checkbox"/> 雷 <input type="checkbox"/> 焚火・タバコの火	<input type="checkbox"/> 早期接近 <input type="checkbox"/> 漏洩電流 <input type="checkbox"/> 運搬方法等不適
	間接原因	<input type="checkbox"/> 保安体制の未確立 <input checked="" type="checkbox"/> 保安教育・訓練の不徹底 <input type="checkbox"/> 運搬方法等不適			
事故調査員の意見	<p>1. 推定原因</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>切羽の状態から発破孔の右端孔が一部軟弱な岩盤があったため、結果、過装薬となり斜め横方向に飛石したものと推定される。</li> </ul> <p>2. 対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>右側（軟弱切羽側）の発破の時は装薬量を減らす。</li> <li>発破前に切羽の状況をよく確認し、必要に応じて防護措置等を実施する。</li> <li>発破時は常時道路の両側に見張人を立てる。</li> <li>飛石事故に関する保安教育を実施する。</li> </ul> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">断面図</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">装薬配列図</div> </div>				

### 添付資料 1 採石場平面図



### 添付資料 2 発破現場写真



### 添付資料 3 飛石落下現場写真



## 5. 産業火薬類の運搬中の事故等

### 5.1 運搬中の事故等の概要

令和7年(2025年)1～12月の産業火薬類の運搬中の事故はなかったが、異常事象が1件発生した。運搬中の事故等が発生したのは19年ぶりである。令和7年(2025年)の産業火薬類の運搬中の事故等の概要を表5-1に、また、参考までに過去に発生した運搬中の事故例で新しいもの3件の概要を表5-2に示す。

産業火薬類流通部会では、運搬中の異常事象1件について、当該事業者より提出・説明された報告書を基に、その内容を精査し、異常事象の発生原因及び再発防止対策について検討を行った。その結果を次項5.2項に示す。

表5-1 産業火薬類の運搬中の事故等概要

No.	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故等概要
1	3月19日(水) 15:30頃	熊本県 宇城市	0	0-0	H	【散乱】含水爆薬、硝安油剤爆薬及び電気雷管を火薬類運搬車で国道を運搬中、荷台にかけたシートを固定するゴムバンドの1本が外れて隙間ができ、そこから含水爆薬2箱(60本、45kg)が道路上に落下したことを、到着後の火薬庫搬入時に覚知した。警察からの連絡により、道路上に散乱した含水爆薬48本(36kg)は袋のまま、12本(9kg)は車両に踏まれ飛散した状態で回収した。

注) 「死」欄は死者数、「傷」欄は重傷者数－軽傷者数、「級」欄は事故分類(A～C2)又は異常事象(H)を示す。

表5-2 過去の産業火薬類の運搬中の事故概要

No.	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	平成19年 (2007年) 12月18日(火) 11:00～14:30	鹿児島県 瀬戸内町	0	0-0	C1	【散乱】火薬類販売業者がトンネル工事で使用された残火薬類である含水爆薬を譲渡され、火薬庫に運搬中に16本(100g/本)が車両から落下した。15本は回収したが、残り1本は未発見である。
2	平成14年 (2002年) 2月1日(金) 12:53	静岡県 藤枝市	0	0-0	C1	【開発】工場から火薬庫まで(距離約10km)打揚煙火(3～7号玉)計14箱を運搬するため、幌型トラックの荷台に後方からフォークリフトでパレットごと積み込んで輸送したところ、4号玉1箱(30玉/箱)が路上に転落し、後方から来たセメントミキサー車の下部に箱ごと巻き込まれ、約20m引きずられた後、煙火玉が開発した。
3	平成13年 (2001年) 1月25日(木) 6:17	栃木県 矢板市	0	0-0	C1	【散乱】群馬県の販売店から福島県の販売店へ運搬するため、火薬運搬車(4トン車)が東北自動車道を走行中、後方から大型トラックに追突されたため、積載していた含水爆薬が落下し、路上約15mの範囲に散乱した。なお、散乱した含水爆薬は、関係者により回収された。

注) 「死」欄は死者数、「傷」欄は重傷者数－軽傷者数、「級」欄は旧事故分類(A～C2)を示す。

## 5.2 熊本県宇城市の含水爆薬落下の異常事象（事故等 No.1）

(1) 発生日時 令和7年3月19日(水) 15:30頃

(2) 発生場所 熊本県宇城市不知火町の国道上

(3) 事故に関する火薬類	含水爆薬 (φ50×750 g)	450 本	337.5 kg
	アンホ爆薬 (φ50×750 g)	1,200 本	900.0 kg
	爆薬合計		1,237.5 kg
	瞬発電気雷管 (脚線長 4.5 m)		500 個

(4) 被害状況 人的被害：なし  
物的被害：なし（国道の舗装面汚損）

### (5) 事故の概要

含水爆薬、硝安油剤爆薬及び電気雷管を火薬類運搬車で運搬中、荷台にかけたシートを固定するゴムバンドの1本が外れて隙間ができ、そこから含水爆薬2箱(60本、45kg)が道路上に落下したことを、到着後の火薬庫搬入時に覚知した。警察からの連絡により、道路上に散乱した含水爆薬48本(36kg)は袋のまま、12本(9kg)は車両に踏まれ飛散した状態で回収した。

### (6) 推定原因

荷造りをした際、本来は「アオリ」のコンパネを両サイドに立て、シートをかけてゴムバンドで固定し、さらにその上からロープで固定しなければならないとしていたが、当日はシートのみで運搬していたため、シートのゴムバンド1か所（トラック左後方）が外れて隙間ができ、そこから積み荷が滑落したと推定される。

### (7) 再発防止策

- ・ 今後は、強固な「アオリ」を荷台の左右と後方に立ててシートで覆い、その上からロープを掛け、運搬中転落することがないように積載方法を講じる事を徹底する。
- ・ 適正な積載状況の確認を徹底するために、出発前に荷送人も交え、積載状況を確認し、その写真を社内で共有して確認する。加えて、運搬経路の中間辺りの安全な場所で、ロープのゆるみがないかをチェックし、この写真も社内で共有して確認する。
- ・ 以上の再発防止策及び火薬類取締法、同規則及び火薬類の運搬に関する内閣府令等、同様の災害の再発を防止するため、従業者に対する保安教育の徹底を継続して行う。

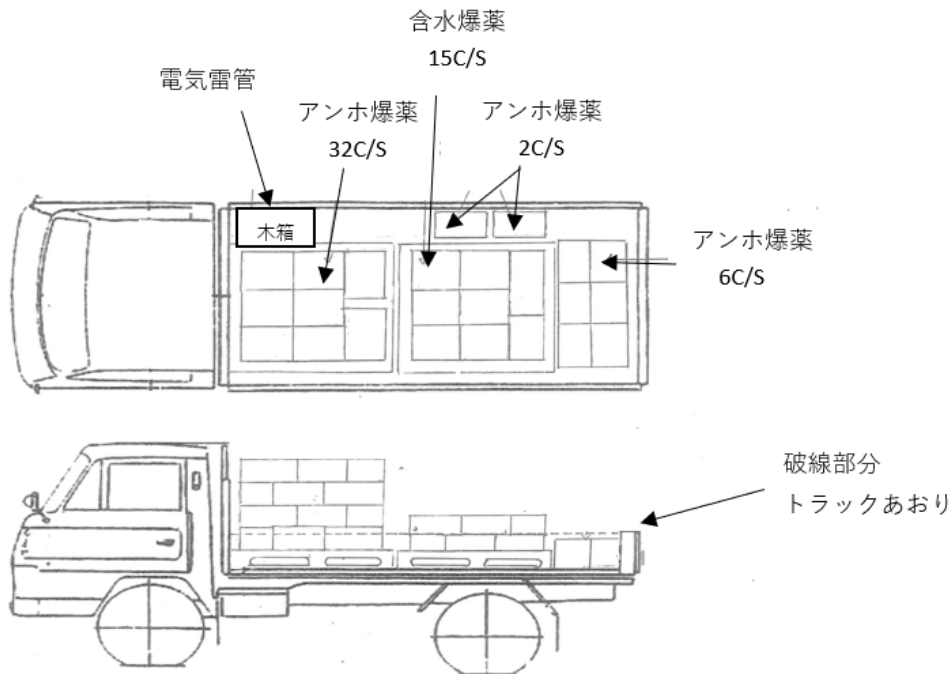
## 事業者からの異常事象報告

1. 発生日時 令和7年3月19日 15時30分頃

2. 発生場所 熊本県宇城市不知火町の国道上

### 3. 異常事象の概要

熊本県山鹿市の火薬庫から、含水爆薬 50×750(30本)15箱、アンホ爆薬 50×750(30本)40箱、爆薬合計 1237.5 kg と瞬発電気雷管 4.5m(500個)1箱を熊本県宇城市三角町の火薬庫へ移庫する際、熊本県宇城市不知火町の国道上で含水爆薬 50×750(30本)15箱のうち2箱(60本)45 kg が落下した。



積載時状況

### 4. 異常事象発覚の経緯

熊本県宇城市三角町の火薬庫に蔵入れ後、伝票と数が合わないことが発覚し、原因を確認していたところ、警察署より連絡が入り含水爆薬が落下していたことが判明した。

### 5. 異常事象発生後の対応

- ・ 落下現場へ従業員 3 名で向かい、落下物を回収した。
- ・ 含水爆薬 2 箱 60 本(45 kg)の中身のうち、48 本(36 kg)は原形のまま回収出来たが、12 本(9 kg)は車に踏まれて飛散しており、飛散物を回収した。(下記写真参照)
- ・ 飛散した含水爆薬 12 本(9 kg)のうち、回収した飛散物は 5.25 kg であった。したがって、9 kg-5.25 kg=3.75 kg の含水爆薬が、国道の舗装面及び不特定数のタイヤに付着したと考えられる。



回収した原形のままの含水爆薬 15 本の例



回収した原形のない飛散物(実測 5.25 kg)

- ・ 翌日、道路の清掃を行い、未回収の物が落ちていないかの確認を再度行った。
- ・ 下記写真の通り、アスファルトに付着した爆薬を 400 L 程の水を使い高圧洗浄機で清掃した。
- ・ 6 日後までに、再度落下場所を中心に範囲を広げ延長 220 m 程を搜索したが、落下物や残渣は発見できなかった。



清掃前



清掃後

## 6. 異常事象の発生原因

熊本県山鹿市の火薬庫で荷造りをした際、指導ではアオリのコンパネを両サイドに立て、シートをかけてゴムバンドで固定し、さらにその上からロープで固定しなければならないとしていたが、当日はシートのみで運搬していたため、シートのゴムバンド 1 か所(トラック左後方)が外れて隙間ができ、そこから積み荷が滑落したと推定される。

## 7. 再発防止策

- ・ 今後は、強固なアオリを荷台の左右と後方に立ててシートで覆い、その上からロープを掛け、運搬中転落することがないように積載方法を講じる事を徹底する。
- ・ 出発前に荷送人も交え、積載状況を確認し、出発前の運搬車の写真を SNS にて社内で共有する。  
(下記写真例参照)
- ・ 運搬経路の中間辺りの安全な場所で、ロープのゆるみがないかをチェックし、このときの運搬車の写真も SNS にて社内で共有する。(下記写真例参照)
- ・ 前項の再発防止策及び火薬類取締法、同規則及び火薬類の運搬に関する内閣府令等、同様の災害の再発を防止するため従業者に対する保安教育の徹底を継続して行う。

### <出発前>



前方



右側面



左側面



後方

### <運搬経路中間辺り>



右側面



左側面

共有する写真の例

## 6. 産業火薬類の玩弄中及びその他の事故等

令和 7 年(2025 年)1～12 月の産業火薬類の「玩弄中」の事故件数は 1 件、「その他」の事故件数は 2 件で、「玩弄中」及び「その他」の異常事象の発生はなかった。

令和 7 年(2025 年)の産業火薬類の「玩弄中」の事故の概要を表 6-1 に、また、産業火薬類の「その他」の事故の概要を表 6-2 に示す。なお、「その他」の事故 No.1 は、**産業火薬類製造部会**で原因、再発防止策等が審議され、その内容は 3. 産業火薬類の製造中の事故等に記載している。

また、参考として、本報告書で取り扱う事故には含まれない「喪失・盗取」の事故について、令和 7 年(2025 年)1～12 月に発生した 3 件の「喪失・盗取」の事故の概要を表 6-3 に示す。なお、火薬類取締法第 46 条に、火薬類の他に譲渡許可証、譲受許可証又は運搬許可証が喪失又は盗取されたときも届出が必要な事故と定められていることから、「喪失・盗取」の事故 No.1 に譲受許可証の紛失事故を挙げている。

表 6-1 産業火薬類の「玩弄中」の事故概要

No.	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	4 月 19 日(土) 15:30	愛媛県 西条市	0	0-1	C1	【廃棄中】60 年以上前に許可を受け所持していた散弾銃の実包 5 個を、倉庫の清掃中に発見し、薬莢を分解して火薬を取り出し、小型焼却炉に入れてライターで点火したところ、想定外の炎が上がり、手及び顔に火傷を負った。

注) 「死」欄は死者数、「傷」欄は重傷者数－軽傷者数、「級」欄は事故分類(A～C2)又は異常事象(H)を示す。

表 6-2 産業火薬類の「その他」の事故概要

No.	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	2 月 6 日(木) 13:30 頃	茨城県 桜川市	0	0-1	C1	【発火】【試験中】火薬類製造所の危険区域外にある分析室で、銃用雷管に用いる爆粉(DDNP を主とする起爆薬)の成分分析のため、乾燥を終え容器の底に固着した爆粉を剥がそうと薬さじで力を加えたときに爆粉(約 2 g)が発火し、従業者が両手に火傷と裂傷を負った。
2	12 月 30 日(火) 15:50 頃	静岡県 静岡市	0	0-0	C2	【火災】高速道路において、高速道路交通警察隊が事故後の活動が終了し、矢印誘導板やラバーコーンを車両のトランクに積み込む作業を行っていたところ、何らかの原因で道路作業用信号炎管(火薬量約 320g)17 本のうち 14 本が発火して車両内で火災が発生し、車両トランクルームの一部、積載物及び衣類の一部を焼損した。

注) 「死」欄は死者数、「傷」欄は重傷者数－軽傷者数、「級」欄は事故分類(A～C2)又は異常事象(H)を示す。

表 6-3 【参考】火薬類の「喪失・盗取」の事故概要

No.	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	1月23日(木) -	富山県 射水市	0	0-0	-	【喪失】電気雷管(爆発抑制装置作動用アクチュエータ)の追加譲受のため、火薬類販売業者へ譲受許可証を郵送したが、販売業者に届いておらず、郵便局等の調査でも発見できなかったため警察へ届け出た。
2	4月17日(木) -	愛知県 豊山町	0	0-0	-	【喪失】航空会社において、廃棄依頼のあったヘリコプタ用レスキューホイストのケーブル切断用カートリッジ(火薬量1.6mg)3個を受領したが、1個だけが梱包材に包まれた状態であったため、他の梱包材と一緒にゴミとして廃棄してしまった。ゴミは収集済みで行先不明。
3	12月31日(水) 07:15~15:46	愛知県 名古屋市	0	0-0	-	【盗取】猟銃等所持者が自宅に設置した保管庫内に散弾実包202発及びライフル実包9発を保管していたところ、何者かに保管庫ごと窃取された。

注) 「死」欄は死者数、「傷」欄は重傷者数－軽傷者数、「級」欄は事故分類(A～C2)又は異常事象(H)を示す。

## 7. 煙火及びがん具煙火関係の事故等

### 7.1 煙火及びがん具煙火関係事故等の概要と検討内容

煙火及びがん具煙火関係の事故等件数の推移を表 7-1 に示す。「事故等件数」とは、事故以外に異常事象の件数も含むという意味である。令和 7 年(2025 年)は煙火消費中の事故等 75 件、がん具煙火消費中の事故等 24 件、その他の事故等 3 件で、合計事故等件数 102 件であった。令和 6 年(2024 年)の合計事故等件数 74 件と比べると、4 割近い増加となった。年間合計事故等件数 102 件は、過去 30 年で最も多かった令和 5 年(2023 年)の 83 件を大きく上回り、令和 7 年(2025 年)は過去 30 年で年間合計事故等件数が最も多い年となった。

人的・物的被害なしの件数は、煙火消費中の 75 件のうち 51 件、がん具煙火消費中 24 件のうち 12 件、その他 3 件のうち 2 件であり、これらを除いた本来の意味での令和 7 年(2025 年)の煙火及びがん具煙火関係の事故件数は 37 件である。この件数についても、令和 5 年(2023 年)の 30 件、令和 6 年(2024 年)の 32 件と比べると、増加傾向にあることがわかる。

煙火消費中の事故における被災者数の推移を表 7-2 に示す。令和 7 年(2025 年)の被災者数は 24 名で、事故等件数と同様に、被災者数についても過去 10 年で最も多い年となった。軽傷者が 5 名発生した事故が 2 件起きたことが、被災者数増加に大きく影響している。

煙火部会において、煙火及びがん具煙火関係の事故等それぞれの事故概要、推定原因、再発防止策等について検討した内容を、次ページから 19 ページにわたって表 7-3 に示す。

表 7-1 煙火及びがん具煙火関係の事故等発生件数の過去 10 年の推移

		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年	
消費 中	煙 火	人的・物的被害 あり	13	10	11	10	0	2	10	12	13	20
		安全距離内の 物的被害のみ	9	4	2	4	1	0	0	5	5	4
		人的・物的被害 なし	23	16	28	23	9	10	20	45	33	51
		小 計	45	30	41	37	10	12	30	62	51	75
	がん具煙火	8	17	18	14	15	8	11	17	22	24	
	製造中	2	0	2	0	0	1	1	1	0	0	
	貯蔵中	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	1	2	0	2	2	2	0	3	1	3	
	合 計	56	49	62	53	27	23	42	83	74	102	

表 7-2 煙火消費中の事故等発生件数と被災者数の過去 10 年の推移

		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
	事故等発生件数	45	30	41	37	10	12	30	62	51	75
被 災 者 数	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	重傷者	3	0	1	2	0	0	1	5	1	4
	軽傷者	10	14	15	8	0	1	14	8	8	20
	合 計	13	14	16	10	0	1	15	13	9	24

## 表 7-3 令和 7 年(2025 年)煙火関連事故等一覧

(令和 7 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

区分：打 1	打揚・仕掛煙火消費中（人的被害又は安全距離外で物的被害が発生したもの）	15(0)件
区分：打 2	打揚・仕掛煙火消費中（人的被害がなく安全距離内で物的被害が発生したもの）	4(0)件
区分：打 3	打揚・仕掛煙火消費中（人的・物的被害が発生しなかったもの）	48(48)件
区分：伝	伝統煙火（手筒煙火等）消費中	5(0)件
区分：動	動物駆逐用煙火等その他の煙火消費中	4(3)件
区分：玩	がん具煙火消費中	24(12)件
区分：製	煙火製造所	0(0)件
区分：他	その他（廃棄中、玩弄中等）	3(2)件

(注 1) 件数は、「事故(A～C2 級)件数」+「異常事象(H)件数」で、カッコ内は「異常事象(H)件数」を示す。

(注 2) 同一の事故を打 1 No.8 と伝 No.2 に分割して記載したため、総件数は本来の 102 件より 1 件多い 103 件となっている。

区分:打1 打揚・仕掛煙火消費中（人的被害又は安全距離外で物的被害が発生したもの）（1/3）

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
1	4月2日(水) 19:40頃 <b>C1級</b> 確報	京都府 京丹波町	演出効果用煙火 音玉2.5号1個 品名：モジ号砲 雷薬25g (中国製) 電気点火 無許可消費	人的：5名軽傷 (左耳鼓膜の 一部損傷1名、 耳鳴り4名) 物的：なし	放送番組制作における戦争シーンの撮影において、音と煙を出す演出効果用煙火(号砲2.5号玉、雷薬25g、中国製)を撮影前に誤って発火させたため、近くにいる5人が耳鳴り等の症状を訴え、うち1人が左耳鼓膜の一部を損傷した。 <b>【その他】</b>	<b>【操作ミス】</b> 使用者の操作ミスにより、誤って手がスイッチに触れてしまったため、想定しないタイミングで点火した。	<b>保安教育の徹底</b> 今後は、安全装置を設定し、最低2人以上で安全確認を実施する。	晴れ 風速0.8m/s
2	4月21日(月) 21:10頃 <b>C2級</b> 確報	千葉県 南房総市	打揚煙火 2号玉30個 2.5号玉30個 3号玉30個 4号玉35個 (中国製) 電気点火	人的：なし 物的：敷地内山林の 立木(杉3本、ブ ナ2本)、下草約 80m <sup>2</sup> 焼損	イベント花火(4号玉まで、中国製)で5分間の打ち揚げを終了し、安全確認を完了して撤収した約90分後に消費位置から約140m 地点(安全距離外)の山林から火が出て、下草約80m <sup>2</sup> 、立木5本を焼損した。 <b>【火災】</b>	<b>【火の粉飛散】</b> 打揚煙火の火の粉が風に流され敷地内の山林に落下し落葉に着火、延焼したと推定。	<b>防火消火対策の徹底</b> 今後は散水車を用意することを報告した。	晴れ 南東の風2m/s 発生地点風下 安全距離110m
3	7月19日(土) 19:40頃 <b>C1級</b> 確報	三重県 伊勢市	スターメイン 4号玉(半割物) 玉名：白フラッシュ千輪 (国産) 電気点火	人的：1名重傷 (右腹部Ⅱ度火 傷、入院1日、全 治1ヶ月) 物的：なし	花火競技大会(10号玉まで)において、スターメインを打ち揚げていたところ、4号千輪の小割が消費位置から約70m(安全距離内)の地上に落下して開発し、近くにいる打揚従事者の脇腹に当たってⅡ度火傷の重傷を負った。 <b>【地上開発】</b>	<b>製品不良</b> 開発時における小割の導火線への伝火不良が原因と考えられる。	<b>製造工程の追跡調査</b> 製造作業の見直しを行う。	晴れ 南南西の風 1.5m/s 発生地点風下 安全距離110m
4	7月23日(水) 20:05頃 <b>C1級</b> 確報	新潟県 上越市	小型煙火24台 (中国製) 電気点火	人的：1名軽傷 (前額部挫創) 物的：なし	祭りで小型煙火(乱玉)24台を消費したところ、小型煙火の内筒の底栓と思われる直径約2cm、高さ約1.5cm の円柱形の石こう状の塊が消費位置から85m(安全距離外)の位置で観覧していた観客の前額部当たり、挫創した。 <b>【部品落下】【異常飛翔】</b>	<b>製品不良</b> 風下で発生したが、それほど強い風ではないので異常飛翔が原因と推定される。後発の内筒の影響を受けた可能性もある。	<b>輸入品の品質管理 点火方法の検討</b> 後発の内筒の影響が考えられるため、同じ打揚台からは1個の小型煙火だけ点火する。	晴れ 北東の風 2.1m/s 発生地点風下 安全距離40m
5	7月26日(土) 7月27日(日) 18:00~21:00 <b>C2級</b> 確報	神奈川県 横浜市	演出効果用煙火 44mmメイン(かすみ草) 1,908個(1日消費量) (国産) 電気点火	人的：なし 物的：T シャツ焦げ 2枚	2日間の野外ライブコンサートにおいて、演出効果用煙火(44mm メイン)を使用したところ、煙火の燃え殻が消費位置から30m 程度の場所にいた観客に当たり、初日に5名、2日目に3名が負傷し、2枚の着用していたTシャツに焦げや穴が生じた。負傷者はいずれも救護室等での手当だけで、医療機関は受診していない。 <b>【部品落下】</b>	<b>風の影響 製品不良</b> 使用した煙火の星が古いものを使用したことが原因と思われる。	<b>製造工程の追跡調査</b> 新しい星を使用し、製造前の星の燃焼テストと製造後の燃焼確認を行う。	晴れ 南の風 最大6m 平均5m 発生地点風下 安全距離20m

区分:打1 打揚・仕掛煙火消費中（人的被害又は安全距離外で物的被害が発生したもの）(2/3)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
6	8月2日(土) 19:30頃 <b>C1級</b> 確報	静岡県 浜松市	スターマイン 10号玉(千輪)1個 (国産) 電気点火	人的：1名軽傷 (右膝部打撲) 物的：なし	花火大会(10号玉まで)において、10号玉千輪の小割(直径5cm)1個が不着火となり、消費位置から230m(安全距離外)にいた観客の右膝に当たり軽傷を負った。 <b>【黒玉(小割)】</b>	<b>製品不良</b> 千輪の小割への着火不良。	<b>製造工程の追跡調査</b> 煙火事業者の実効的な対策を講じるよう指導する。	曇り 南西の風 最大3.5m/s 平均2.6m/s 安全距離180m
7	8月2日(土) 19:30～21:00 <b>C2級</b> 確報	宮城県 大崎市	打揚煙火 2.5号玉1,790個 3号玉2,200個 4号玉1,000個 スターマイン30組 (国産) 小型煙火50台 電気点火	人的：なし 物的：近隣住宅の車両8台に煤が付着	花火大会(4号玉まで)の翌日に、消費位置から約170m から320m(安全距離外)にかけての近隣住宅に停めてあった車両8台に、煙火の残滓が落下し煤が付着していることが判明した。 <b>【残滓】</b>	<b>風の影響</b> 花火の残滓が風で流されたものと推定。	<b>気象情報の把握</b> 次年度以降は打揚場所や風向きを考慮し消費するよう主催者へ口頭指導。	晴れ 南の風 最大3.5m/s 平均1.2m/s 発生地点風下 安全距離110m
8	8月9日(土) 20:06 <b>C1級</b> 確報 (伝 No.2と別記)	岐阜県 高山市	小型煙火(乱玉)15台 (中国製) 無線点火	人的：1名軽傷 (左手火傷及び毛髪焼損) 物的：なし	花火大会において、小型煙火(乱玉)が低空開発して消費位置から約30m(安全距離外)の観客に部品が当たり左手火傷、毛髪焼損の軽傷を負った。 <b>【低空開発】</b>	<b>製品不良</b>	<b>輸入品の品質管理</b> 次期開催に向けた対策会議を開催する。	曇 静穏の風 最大0.6m/s 平均0.1m/s 安全距離20m
9	8月11日(月) 20:41頃 <b>C2級</b> 確報	千葉県 長南町	打揚煙火 3号玉 数量不明 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：車両の天板部分に擦過痕	花火大会(3号玉まで)において、消費位置から約150m(安全距離外)離れた高速道路を走行中の車両に煙火の燃え殻が落下し、車両の天板部分に擦過痕が残った。 <b>【部品落下】</b>	<b>風の影響</b> 事故当時、消費位置から高速道路に向かって最大7.6m/s の強い風が吹いていたため。	<b>適正安全距離の検討</b> 3号玉の消費場所を、高速道路から、さらに30m 離すこととする。	曇 風速 最大7.6m/s 平均4.1m/s 発生地点風下 安全距離100m
10	8月30日(土) 21:30頃 <b>C1級</b> 確報	鹿児島県 曾於市	打揚煙火 3.5号玉 1 個 (国産) 小型煙火30台 (中国製) 電気点火	人的：1名軽傷 (右前額部負傷) 物的：テント1張りの一部溶解	運動公園で開かれた花火大会(4号玉まで)において、小型煙火の石膏製内筒底栓が消費位置から50m 以上離れた場所(安全距離外)にいた観客に当たり、右前額部に軽傷を負った。また、3.5号玉(冠)の火の粉により、テントの一部が溶けて穴が開いた。 <b>【部品落下】【異常飛翔】</b>	<b>製品不良</b> <b>風の影響</b>	<b>輸入品の品質管理</b> <b>適正安全距離の検討</b> 消費場所から観覧場所までの距離をこれまで以上に確保する。	晴れ 南南東の風 平均0.9m/s 安全距離50m

区分:打1 打揚・仕掛煙火消費中（人的被害又は安全距離外で物的被害が発生したもの）(3/3)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
11	9月27日(土) 18:50頃 <b>C1級</b> 確報	愛知県 東栄町	点火具(ロー火) 約20本 (国産)	人的：1名軽傷 (胸部、首、顎に Ⅱ度の火傷) 物的：なし	祭りの煙火消費(8号玉まで)で点火具(ロー火)を投げ込む方式で4号玉打揚筒に点火したところ、当該点火具もしくは打揚火薬の火の粉により、従事者の着衣ポケット(前ポケット)に入っていた点火具20本に着火し、従事者が胸、首、顎にⅡ度の火傷を負った。【その他】	<b>不注意</b> 従事者は、着衣ポケットに予備の点火具(ロー火)を直に入れており、かつ、ポケットの入り口を遮蔽するものがない状態で点火作業を行っていたため。	<b>保安教育の徹底</b> 主催者に対し再発防止策の検討を指示。	
12	10月4日(土) 18:33 <b>C1級</b> 確報	東京都 世田谷区	打揚煙火、スターマイン 2号玉～10号玉 合計4,215発 (国産、中国製) 電気点火	人的：1名重傷 (右目視力異常、右目下負傷) 物的：なし	河川敷の運動施設で行われた花火大会(10号玉まで)において、消費位置から約300mの位置(安全距離外)にいた観客の右目付近に煙火の部品と想定されるものが当たり、右目の下に深さ5mmの切り傷ができるなど手術を要する重傷を負った。【部品落下】【異常飛翔】	<b>その他</b> 何らかの突発的な事象が発生したことにより、10号玉等の比較的大きな玉皮破片が飛散した可能性が高い。	次年度以降の大会開催に向けた再発防止措置の実施及び徹底。	曇り一時雨 北西の風 平均3～4m/s 安全距離240m
13	10月4日(土) 18:50頃 <b>C2級</b> 確報	神奈川県 川崎市	小型煙火 品名:花波尾紅閃瀑布 (Z型)49連1個 (中国製) 電気点火	人的：なし 物的：衣服の一部 変色	河川敷で行われた花火大会(4号玉まで)において、小型煙火(斜め打ち)を消費したところ、小型煙火の内筒が消費位置から約135m(安全距離外)飛翔して観客の腕に当たり、衣服の数が所が変色した。【部品落下】【異常飛翔】	<b>風の影響</b> <b>その他</b> 内筒の飛翔距離が異常に伸びたのは、内筒が観客席前方の構築物に跳ね返ったためと推定された。	<b>品質性能の把握</b> 今後は斜め打ちの内筒型のものに関しては使用せず、他の斜め打ち(星型)に関してもより観客から離れたところで使用する。	雨 北西の風 最大2.6m/s 平均0.7m/s 発生地点風下 安全距離87.5m (斜め打ち)
14	10月11日(土) 18:00頃 <b>C1級</b> 確報	山梨県 甲府市	小型煙火 品名:金冠16連2台 (中国製) 直接点火	人的：5名軽傷 (2名緊急搬送、 3名通院) 物的：なし	小学校の校庭で行われたふるさと祭りで小型煙火を消費したところ、小型煙火の内筒3発が水平に約26m(安全距離外)飛翔して観客席付近で開発し、小学生ら観客5名が火傷を負った。【異常飛翔】	<b>製品不良</b> 打ち揚げた小型煙火の軌道がずれて、観客席付近まで飛んだ。軌道がずれた原因は不明。	<b>保安教育の徹底</b> 煙火事業者に消防から口頭注意。また、県から、各市町村、各消防本部、山梨地区日本煙火協会員へ注意喚起文書を発出。	曇り 西北西の風 最大3.9m/s 平均2.6m/s 安全距離25m
15	10月12日(日) 19:50頃 <b>C1級</b> 確報	愛知県 豊橋市	仕掛煙火(乱玉) 品名：色星乱玉	人的：1名軽傷 (左ひじにⅡ度の火傷) 物的：なし	神社の祭礼において、大筒(噴出煙火)の裏打ちである仕掛煙火(乱玉)が、点火後に筒(鉄管、直径約10cm)から飛び出してばらけ、直径約1cmの星が四方に乱れ飛び、うち1個が消費位置から約35m(安全距離外)の観客に当たり、左ひじに火傷を負った。【異常燃焼】	<b>不注意等</b> 固定筒に乱玉を仕込む際に上下を誤りセットしたと考えられる。	<b>保安教育の徹底</b> 安全教育及び確認会議を定期的実施する。	

区分:打2 打揚・仕掛煙火消費中（人的被害がなく安全距離内で物的被害が発生したもの）（1/1）

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
1	7月26日(土) 20:10頃 <b>C2級</b> 確報	和歌山県 古座川町	水中仕掛煙火 水中金魚1個 (直径5.5cm、 長さ18cm) (国産) 直接点火	人的：なし 物的：伝馬船の一部 (0.3m <sup>2</sup> ) 及び クーラーボックス1 個焼損	祭り行事において、河川上の煙火打揚船から 水面に向けて投げ込まれた水中仕掛煙火(水 中金魚、直径5.5cm、長さ18cm)が、誤って 並行して航行していた伝馬船の船首部分に落 下し、船首の一部及びクーラーボックス1個を 焼損した。 <b>【火災】</b>	<b>取扱い不備</b> 消費者の消費方法不適	<b>消費技術の教育</b> 当事者に対して煙火消 費方法等の改善を指 導。	晴れ時々雨 東南東の風 最大1.4m/s 平均0.5m/s 発生方向風下 安全距離なし
2	8月3日(日) 19:42 <b>C1級</b> 速報	兵庫県 淡路市	打揚煙火 10号玉1個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的： <b>調査中</b>	海上で行われた花火大会(10号まで)におい て、開始から10分後に台船から打ち揚げよう とした10号玉が筒ばねし、安全確保のため大会 は中止された。 <b>【筒ばね】</b>	<b>製品不良</b> 星表面の着火薬の不足と 推定された。	<b>製造工程の追跡調査</b>	南向きの風 2.6m/s
3	8月4日(月) 19:39頃 <b>B1級</b> 確報	神奈川県 横浜市	打揚煙火、スターメイン 2.5号玉～10号玉 8,140個 フラッシュ、メイン、コメッ ト、ローマンキャンドル 14,304個 小型煙火70箱 (国産)(輸入品) 電気点火	人的：なし 物的：台船1隻、発電 機焼損及び損 傷	花火大会(10号玉まで)において、海上の8隻 の台船から煙火を打ち揚げたところ、うち1隻の 台船上において筒ばねが発生して、近くの数発 の煙火が地上(海上)開発し、固定用木枠、 畳、FRP 製打揚筒等に延焼して台船上が火 災となり、煙火が断続的に数時間にわたって打 ち揚がった。被害額が1億円を超えたため B1 級となった。 <b>【火災】【筒ばね】【地上開発】</b>	<b>装薬・装填ミス</b> 8月2日及び3日の設営 作業中に強い降雨があ り、3日以降の火薬装填 時に打揚火薬が吸湿した 可能性が高い。さらに装 薬・装填時に不備が重な った可能性も排除できず、 複合的な原因が考えられ る。また、初期消火が遅れ たことも事故が拡大する一 因となったと思われる。	<b>保安教育の徹底</b> <b>防火消火対策の徹底</b> <b>中止判断基準の検討</b> 打揚筒内確認の徹底。 異常時の対応手順の 明確化及び消費時の 連絡系統の見直し等。	晴れ 南南西の風 最大9m/s 平均6m/s 安全距離300m
4	8月23日(土) 21:20頃 <b>C2級</b> 確報	福岡県 北九州市	打揚煙火 4号玉 1個 玉名：銀冠 (中国製) 電気点火	人的：なし 物的：木造平屋建て 資料館兼倉庫1 棟全焼	祭りで煙火(4号玉まで)を打ち揚げたところ、4 号玉(中国製)が上空で開発せず、消費位置 から約60m 離れた(安全距離内)木造平屋 建ての資料館の屋根を破り、内部で開発した ことにより火災が発生し、資料館が全焼した。 <b>【地上開発】【火災】</b>	<b>製品不良</b> 親導の製品不良又は親 導先端に取り付けている 着火剤の遅燃若しくは不 着火により、地上に落下し た際に衝撃で開発したと 推定。	<b>輸入品の品質管理</b> <b>使用前検査の徹底</b> 煙火業者に対し、煙火 玉装填時に親導の不 良や着火剤の付着状 況を入念に確認するよう 指導。	晴れ 北の風 最大3.7m/s 平均1.9m/s 安全距離110m

区分:打3 打揚・仕掛煙火消費中（人的・物的被害が発生しなかったもの）（1/8）

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
1	2月1日(土) 18:12頃 異常事象 確報	岐阜県 岐阜市	打揚煙火 2.5号玉300個 小型煙火 (メイン)100個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	河川敷で2.5号玉と小型煙火を消費していたところ、火の付いた玉皮の落下が原因と思われる枯草の火災が消費位置から70m 地点(安全距離外)で発生し、枯草170m <sup>2</sup> を焼失した。 【火災】【部品落下】	<b>火の粉飛散</b> 打揚煙火の玉皮に火が付いた状態で地面に落下したため。	<b>防火消火対策の徹底</b> 消防団により散水は実施されていたが、気象状況等により散水範囲を広範囲にする等の対応を実施するとともに、火災・延焼危険が大きい場合は下草の刈り取りを実施する。	曇 無風 安全距離65m
2	2月8日(土) 20:32 異常事象 確報	千葉県 浦安市	打揚煙火 3号玉割物1個 玉名：漣菊 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	テーマパークの定期清掃中に、消費位置から約230m(安全距離外)の施設内建屋の屋根の雨どいに落ちていた黒玉(3号玉)を発見し、水バケツで回収した。 【黒玉】	<b>製品不良</b> 導火線の伝火薬が吸湿もしくは装薬量が適切でなかったため、伝播しなかったと推測される。	<b>製造工程の追跡調査</b> 製造業者の親導組立時における工程を見直し、検査体制を強化することとした。	晴れ 北西の風 最大6.3m/s 平均4.0m/s 発生地点風下 安全距離110m
3	3月29日(土) 19:20頃 異常事象 確報	福岡県 福岡市	打揚煙火 2号玉50個 2.5号玉25個 (国産)(中国製) 導火線点火 無許可消費	人的：なし 物的：なし	イベントで2号玉と2.5号玉(一部中国製)を打ち揚げたところ、火の粉が風で飛ばされて消費位置から約20m と約50m(安全距離内)の2箇所の下草に着火し、下草約520m <sup>2</sup> とフェンスネット約20m を焼失した。 【火災】	<b>火の粉飛散</b> 事前散水が行われていなかったこと、下草処理の不足。	<b>防火消火対策の徹底</b> 下草の処理や事前散水の必要性などを指導。	晴れ 西の風 最大4.0m/s 平均3.0m/s 発生地点風下 安全距離65m
4	4月26日(土) 19:40頃 異常事象 確報	秋田県 大仙市	打揚煙火 10号玉1個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	花火大会(10号玉まで)において、10号玉を打ち揚げたところ、上空で開発せず、消費位置から67m(安全距離内)の地上に落下して開発した。 【地上開発】	<b>製品不良</b> 導火線に取り付ける伝火薬に使用される黒色小粒火薬が黒色がん具火薬に変更したことにより着火性能が低下したと推測。	<b>製造工程の追跡調査</b> 伝火薬の種類を黒色小粒火薬に変更し、着火線を含む数量も増量することとした。	曇時々雨 南西の風 最大7.0m/s 平均2.0m/s 発生地点風下 安全距離240m
5	5月5日(月) 20:20頃 異常事象 確報	秋田県 井川町	打揚煙火 10号玉1個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	イベント花火(10号玉まで)で10号玉を打ち揚げたところ、上空で開発せず、消費位置から165m(安全距離内)の地上に落下して開発した。 【地上開発】	<b>製品不良</b> 導火線に取り付ける伝火薬に使用される黒色小粒火薬が黒色がん具火薬に変更したことにより着火性能が低下したと推測。	<b>製造工程の追跡調査</b> 伝火薬の種類を黒色小粒火薬に変更し、着火線を含む数量も増量することとした。	曇 南西の風 最大4.0m/s 平均1.5m/s 発生地点風下 安全距離240m

区分:打3 打揚・仕掛煙火消費中（人的・物的被害が発生しなかったもの）(2/8)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
6	5月25日(日) 13:37頃 異常事象 確報	福島県 南相馬市	打揚煙火 4号玉吊物、旗入り 1個 (国産) 直接点火(投込み式)	人的：なし 物的：なし	馬追祭りで騎馬武者が争奪する神旗を入れた4号玉を打ち揚げた際、通常は高さ約110mで開発し神旗を放出するところ、何らかの原因で高さ約15mで開発した。 【低空開発】	製品不良 回収した玉皮が、本来二つに割れるはずのものが横方向に開発していたことから、煙火玉に問題があったと考えられる。	製造工程の追跡調査	曇 北西の風 1.0~1.5m/s 安全距離45m
7	5月26日(月) 12:13頃 異常事象 確報	福島県 南相馬市	打揚煙火 3号玉吊物、旗入り 1個 (国産) 直接点火(投込み式)	人的：なし 物的：なし	馬追祭り後の神社で行う付随行事で騎馬武者が争奪する神旗を入れた3号玉を打ち揚げた際、通常は高さ約70mで開発し神旗を放出するところ、何らかの理由で高さ約10mで開発した。 【低空開発】	製品不良 回収した玉皮が横方向に開発していたことから、煙火玉に問題があったと考えられる。	製造工程の追跡調査	晴れ 西の風 2.0~5.0m/s 安全距離40m
8	7月11日(金) 19:33 異常事象 確報	千葉県 千葉市	打揚煙火 2号玉1個 (中国製) 電気点火	人的：なし 物的：なし	スタジアムのイベント花火で打ち揚げた2号玉(中国製)が、打揚筒から発射直後に開発した。 【過早発】	製品不良 親導(2本)の隙間から火が入り打揚直後に割葉に着火したものと考えられる。	輸入品の品質管理	北東の風 最大5.0m/s 平均3.0m/s 安全距離65m
9	7月19日(土) 20:46頃 異常事象 確報	新潟県 糸魚川市	打揚煙火 10号玉1個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	花火大会において、10号玉を打ち揚げたところ、玉が上昇途中で開発した。 【低空開発】	製品不良 導火線が予定より早く燃焼したためと推定される。	製造工程の追跡調査 煙火製造者に導火線や星の充填状況に異常が無い確認徹底を依頼。	晴れ 南の風 最大4.0m/s 平均2.0m/s 安全距離250m
10	7月20日(日) 20:00~20:44 異常事象 確報	宮城県 塩釜市	打揚煙火 2号玉1個 3号玉1個 4号玉1個 (中国製) 電気点火	人的：なし 物的：なし	港祭りで湾内の台船から煙火を打ち揚げたところ、3日後に、船の整備ドッグに引き込まれた海水上で黒玉3個(2号玉、3号玉、4号玉各1個、いずれも中国製)を発見した。 【黒玉】	製品不良 黒玉はドッグに海水が引き込まれるタイミングで流入した可能性がある。	輸入品の品質管理	北東の風 最大2.5m/s 平均0.8m/s 安全距離110m
11	7月20日(日) 21:00頃 異常事象 確報	新潟県 南魚沼市	打揚煙火 スターマイン 2.5号玉~10号玉 電気点火	人的：なし 物的：なし	地域の夏祭りや神社祭礼の協賛花火大会において、スキー場の中腹から煙火を打ち揚げたところ、消費位置から20m下方の原野の下草約25m <sup>2</sup> が焼失した。主催者による事前散水は実施していた。 【火災】	火の粉飛散		無風 安全距離250m

区分:打3 打揚・仕掛煙火消費中（人的・物的被害が発生しなかったもの）(3/8)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
12	7月25日(金) 19:50 <b>異常事象 確報</b>	愛知県 名古屋市	小型煙火 花束40mm 100個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	夏祭りのイベントで仕掛煙火(40mm 花束)を消費したところ、打揚筒がずれて観客席近くまで(安全距離内)星が飛散した。 <b>【異常飛翔】</b>	<b>装薬・装填ミス</b> 筒のずれは、打揚火薬の量が多く威力が強かったためと推定された。	<b>保安教育の徹底</b> 該当する煙火は今後使用しないとともに、より安全な煙火を選択する対策をとる。	南南東の風 最大4.0m/s 平均4.0m/s 安全距離20m
13	7月26日(土) 19:53 <b>異常事象 確報</b>	千葉県 富津市	打揚煙火 4号玉1個 (中国製) 電気点火	人的：なし 物的：なし	海水浴場で開催された市民花火大会において、4号玉(中国製)1発が上空で開発せず、消費位置から約40m(安全距離内)の海面近くまで落下し開発した。 <b>【低空開発】</b>	<b>製品不良</b>	<b>輸入品の品質管理</b>	晴れ 南の風 最大8.5m/s 平均6.0m/s 発生地点風下 安全距離110m
14	7月26日(土) 20:00~21:00 <b>異常事象 確報</b>	岐阜県 恵那市	打揚煙火 3号玉1個	人的：なし 物的：なし	河川ダムのごみ回収施設で、黒玉(3号玉)が発見された。8日前に約80km上流で開催された花火大会の黒玉の可能性もあったが、15日前に当該ダム湖上で開催された水上花火大会の黒玉であると推定された。 <b>【黒玉】</b>	<b>不明</b>		
15	7月26日(土) 20:50頃 <b>異常事象 確報</b>	島根県 大田市	打揚煙火 2号玉300個 2.5号玉300個 3号玉100個 小型煙火8台 乱玉10束 星打ち5台 電気点火、直接点火	人的：なし 物的：なし	花火大会(3号玉まで)が終了して5分後、巡回していた地元消防団員が、消費位置から風下方向に約60m(安全距離内)の枯草が燃えているのを発見し、背負い式水のうで消火した。焼失面積は4m <sup>2</sup> 。 <b>【火災】</b>	<b>火の粉飛散</b>	<b>防火消火対策の徹底</b>	南東の風 平均3.1m/s 発生方向風下 安全距離100m
16	7月26日(土) 21:00頃 <b>異常事象 確報</b>	静岡県 袋井市	スターメイン 最大5号玉10台 最大8号玉8台	人的：なし 物的：なし	花火競技大会(8号玉まで)において、最後のスターメイン消費後、消費位置から約300m(安全距離外)の草地から火が出て、下草・枯草約38m <sup>2</sup> を焼失した。 <b>【火災】</b>	<b>火の粉飛散</b>	<b>防火消火対策の徹底</b>	
17	7月26日(土) 21:10頃 <b>異常事象 確報</b>	新潟県 柏崎市	打揚煙火 10号玉割物1個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	花火大会(30号玉まで)において、10号玉300連発を打揚中、1発だけ打揚筒から約20mの高さで開発する過早発となった。 <b>【過早発】</b>	<b>製品不良</b> 煙火玉運搬中の親導の損傷が考えられる。	<b>製造工程の追跡調査</b> 製造業者に対し、過早発になり得る要因について社内で共有し、再発防止を図るよう注意喚起。	

区分:打3 打揚・仕掛煙火消費中（人的・物的被害が発生しなかったもの）（4/8）

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
18	7月27日(日) 20:25頃 <b>異常事象 確報</b>	福岡県 直方市	仕掛煙火 ナイアガラ464m 1台 (中国製) 電気点火	人的：なし 物的：なし	花火大会(8号玉まで)において、仕掛煙火(ナイアガラ、長さ464m、中国製)を消費したところ、煙火直下の枯草が着火・延焼して、約1,080m <sup>2</sup> を焼失した。 <b>【火災】</b>	<b>火の粉飛散</b> 草刈り及び事前散水を実施していたが、点在していた枯草に着火した。	<b>防火消火対策の徹底</b> 枯草除去、事前散水、消火体制等について検討中。	晴れ 西の風 最大7.0m/s 平均5.0m/s 安全距離30m
19	8月1日(金) 19:00～20:15 <b>異常事象 確報</b>	東京都 府中市	打揚煙火、スターメイン 2号玉 80個 2.5号玉858個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	ポートレース場で行われた花火大会(2.5号玉まで)において、消費位置から120m(安全距離外)の近隣住宅まで煙火の玉皮や残滓が落下し、住宅の屋根及び車を汚損した。 <b>【部品落下】【残滓】</b>	<b>風の影響</b> 地上風速は弱かったが、上空は強かったと推測される。	<b>中止判断基準の検討</b> 都より主催者に対し、消費方法、中断・中止について指示した。	北の風 最大3m/s 平均2m/s 発生方向風下 安全距離65m
20	8月2日(土) 19:50～20:50 <b>異常事象 確報</b>	兵庫県 豊岡市	打揚煙火(割物) 2号玉2個 (中国製) 電気点火	人的：なし 物的：なし	花火大会(10号玉まで)の2日後に、消費位置から約30m 付近(安全距離内)において黒玉(2号玉、中国製)2個が発見された。 <b>【黒玉】</b>	<b>製品不良</b>	<b>輸入品の品質管理</b>	晴れ 風速最大3m/s 発生方向風下 安全距離300m
21	8月2日(土) 20:18頃 <b>異常事象 確報</b>	京都府 木津川市	打揚煙火 7号玉1個 4号玉1個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	市民祭りの花火大会において、7号玉1発が低空開発して火のついた星が散乱し、消費位置から約100m(安全距離内)の枯草に着火・延焼した。さらに、大会最後に4号玉1発が低空開発したが、火災には至らなかった。 <b>【低空開発】【火災】</b>	<b>製品不良 装薬・装填ミス</b>	<b>製造工程の追跡調査 使用前検査の徹底</b>	北北西の風 最大4.0m/s 平均3.0m/s 発生方向風下 安全距離200m
22	8月2日(土) 20:45頃 <b>異常事象 確報</b>	愛知県 愛西市	小型煙火 花束煙火 40個 (中国製) 直接点火	人的：なし 物的：なし	地域の納涼まつりで小型煙火を消費したところ、消費位置から40m(安全距離外)の位置にいた観客2名に小型煙火の燃え残りの内筒が当たり、軽度の火傷と打撲を負った。 <b>【部品落下】</b>	<b>風の影響</b> 煙火消費中に風向きが変わり、地上よりも上空の風速が強かったと推測。	<b>気象状況の把握 適正安全距離の検討</b> 消費業者からの報告及び原因追及。	北北西の風 最大2.0m/s 平均1.5m/s 発生地点風下 安全距離20m
23	8月2日(土) 21:30 <b>異常事象 確報</b>	埼玉県 朝霞市	スターメイン(割物) 最大4号36台 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	市民祭りの花火大会(4号まで)において、打揚煙火の一部が燃えたまま地上に落下し、消費位置から17.5m(安全距離内)の立木の一部及び枯れ木を焼失した。 <b>【火災】</b>	<b>製品不良</b>	<b>製造工程の追跡調査</b>	曇 南南西の風 最大3.0m/s 平均1.0m/s 発生方向風下 安全距離110m

区分:打3 打揚・仕掛煙火消費中（人的・物的被害が発生しなかったもの）(5/8)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
24	8月9日(土) 20:25頃 異常事象 確報	静岡県 浜松市	仕掛煙火 地割花火 2.5号玉40個 3号玉40個 4号玉40個 5号玉15個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	祭典で「地割花火」を消費したところ、消費位置から21m(安全距離内)の下草に着火し、2.5号玉から5号玉まで135個の煙火が連続して開発する地割花火を途中で止められず消火活動を行うことができなかったため、下草が延焼拡大し約1,300m <sup>2</sup> を焼失した。 <b>【火災】</b>	<b>火の粉飛散</b> 地割花火の星が下草に着火し周囲に燃広がった。	<b>防火消火対策の徹底</b> 主催者に対し、下草の除去及び散水の徹底を指導。	曇り 西南西の風 最大1.2m/s 平均0.6m/s 安全距離80m
25	8月10日(日) 20:30 異常事象 確報	福島県 伊達市	打揚煙火 10号玉1個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	夏まつり花火大会において、打ち揚げた10号玉が筒の上空約50m 上空で開発する低空開発となった。 <b>【低空開発】</b>	<b>製品不良</b> <b>装薬・装填ミス</b>	<b>製造工程の追跡調査</b> <b>保安教育の徹底</b> 煙火事業者より再発防止策を報告。	小雨 西南西の風 平均0.1m/s 安全距離250m
26	8月12日(火) 20:00 異常事象 確報	京都府 与謝野町	小型煙火1個 品名：紅紫波白閃響 椰19連 (中国製) 直接点火	人的：なし 物的：なし	イベントで小型煙火(小型19連発花火)をコンクリートブロックで困って消費したところ、一部の打揚筒がブロック外に飛び出し、水平方向に星が飛翔した。 <b>【異常燃焼】【異常飛翔】</b>	<b>製品不良</b>	<b>輸入品の品質管理</b>	安全距離50m
27	8月13日(水) 19:28頃 異常事象 確報	千葉県 勝浦市	打揚煙火 2.5号玉3個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	漁港で行われた花火大会において、2.5号玉3発が過早発となった。 <b>【過早発】</b>	<b>製品不良</b>	<b>製造工程の追跡調査</b>	晴れ 南東の風 最大3.5m/s 平均3.0m/s 安全距離100m
28	8月14日(木) 19:55 異常事象 確報	新潟県 長岡市	打揚煙火 5号玉2個	人的：なし 物的：なし	神社の秋季大祭の奉納煙火打ち揚げにおいて、5号玉2発が黒玉になったのが確認されたが、当日を含めて4日間の探索でも黒玉は発見できなかった。 <b>【黒玉】</b>	<b>製品不良</b>	<b>製造工程の追跡調査</b>	南西の風 最大2.8m/s 平均1.1m/s 安全距離250m
29	8月15日(金) 19:40頃 異常事象 確報	茨城県 龍ヶ崎市	打揚煙火、スターミン 2.5号玉200個 3号玉 6個 4号玉140個 5号玉 50個 (国産) 電気点火	人的：なし 物的：なし	神社の花火大会(5号玉まで)において、消費位置から約300m 地点(安全距離外)の近隣の住宅団地まで、煙火の玉皮や大量の火の粉が飛散した。 <b>【部品落下】</b>	<b>風の影響</b>	<b>適正安全距離の検討</b> 消費位置を変更することを検討する。	晴れ 南から北への風 最大4m/s 平均3m/s 発生方向風下 安全距離180m

区分:打3 打揚・仕掛煙火消費中(人的・物的被害が発生しなかったもの)(6/8)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
30	8月16日(土) 20:10頃 異常事象 確報	愛知県 南知多町	打揚煙火 4号玉1個 (国産) 電気点火	人的:なし 物的:なし	海水浴場で行われた花火大会(8号玉まで)の翌朝、海水浴場を巡回中のライフセーバーが海岸に漂着している黒玉(4号玉)を発見した。 【黒玉】	製品不良	製造工程の追跡調査	南東の風 最大3.7m/s 平均1.9m/s 安全距離130m
31	8月17日(日) 19:10~21:00 異常事象 確報	三重県 熊野市	スターメイン 4号玉1個 (中国製) 電気点火	人的:なし 物的:なし	海上花火大会(30号玉まで)が開催された4日後に、スターメインで打ち揚げられたと思われる4号玉(中国製)の黒玉が、大会会場から約4km離れた海岸に漂着しているのが発見された。 【黒玉】	製品不良	輸入品の品質管理	安全距離110m
32	8月23日(土) 19:48頃 異常事象 確報	千葉県 八千代市	打揚煙火 3号玉1個 (中国製) 電気点火	人的:なし 物的:なし	ふるさと祭りで打ち揚げられた3号玉(中国製)が、打揚筒から発射直後に開発した。 【過早発】	製品不良	輸入品の品質管理 使用前検査の徹底 親導の検査(傷み等無いか)	南の風 最大5m/s 平均3m/s 安全距離100m
33	8月24日(日) 20:30頃 異常事象 確報	宮城県 仙台市	打揚煙火 2.5号玉2個 (国産)(中国製) 電気点火	人的:なし 物的:なし	陸上競技場で行われた花火大会において、競技場内の消費位置から約11m地点(安全距離内)で2.5号玉(中国製)が地上開発した。さらに、その約6分後、競技場外の消費位置から約54m地点(安全距離内)で2.5号玉が低空開発した。 【地上開発】【低空開発】	製品不良	製造工程の追跡調査 輸入品の品質管理	北西の風 最大4.0m/s 平均2.0m/s 安全距離65m
34	8月30日(土) 19:40頃 異常事象 確報	神奈川県 横浜市	スターメイン 3号玉1個 (中国製) 電気点火	人的:なし 物的:なし	海上で行われた花火大会において、台船から打ち揚げた3号玉(中国製)1発が過早発となった。なお、当該煙火は重ね玉であったが、他の玉は通常の高さで開発した。 【過早発】	製品不良 製造段階での導火線の不具合。	輸入品の品質管理 外観検査の徹底	南の風 最大3m/s 平均2m/s 安全距離250m
35	9月13日(土) 19:00頃 異常事象 確報	茨城県 五霞町	打揚煙火 10号玉1個 (国産) 電気点火	人的:なし 物的:なし	河川敷で行われた花火大会(10号玉まで)において、10号玉が黒玉となったことが確認されたが、翌日から延べ8日間にわたる捜索でも黒玉は発見できず、河川に落下したものと推定された。 【黒玉】	製品不良 煙火消費保安基準等の順守と事前準備の強化を指導。	製造工程の追跡調査	曇り時々雨 南から北の風 最大3.3m/s 平均0.8m/s 安全距離240m
36	9月25日(木) 21:20頃 異常事象 確報	福岡県 飯塚市	打揚煙火 3号玉1個 (中国製) 電気点火	人的:なし 物的:なし	河川の中州で行われた花火大会(3号玉まで)において、3号玉(中国製)1個が黒玉となって消費位置から120m地点(安全距離外)の観客の足元に落ちたが、衣服を擦って汚れが付着したものの怪我はなかった。 【黒玉】【異常飛翔】	製品不良 固定不備 打ち揚げの衝撃で筒が傾いたと推定。	輸入品の品質管理 保安教育の徹底 打揚筒の固定方法の改善。	晴れ 南南東の風 最大1.5m/s 平均1.0m/s 安全距離80m

区分:打3 打揚・仕掛煙火消費中（人的・物的被害が発生しなかったもの）(7/8)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
37	9月28日(日) 20:33 異常事象 確報	鹿児島県 西之表市	小型煙火 16連1台 (中国製) 電気点火	人的：なし 物的：なし	花火大会で16連の小型煙火を消費したところ、小型煙火を固定していた土嚢袋に煙火の火が着火して穴が開き、中の土が流れ落ちて煙火を固定できなくなり、最後の2発が斜めに発射されて、道路及び建物の近くまで飛翔した。 【異常飛翔】	固定不備 固定していた土嚢袋が煙火の火で穴が開き、土が岩場に流れ落ち、固定の役目を果たさなくなったため。	保安教育の徹底	晴れ 南西の風 平均6m/s程度 安全距離30m
38	10月12日(日) 15:20頃 異常事象 確報	岡山県 真庭市	打揚煙火 3号玉信号雷14個 (国産) 無許可消費 直接点火	人的：なし 物的：なし	神社例祭のため3号信号雷2発を投げ込み式で打ち揚げた後、次の信号雷を打ち上げるため約1時間20分後に消費場所に戻ったところ、打揚筒周辺の下草が焼失し、打揚筒、固定用木枠、畳及び難燃シートも焼失しているのが発見された。 【火災】	その他 煙火が関係していると思われるが、部品落下が原因かどうかは断定できない。	保安教育の徹底 打揚従事者に対し、消費に際し、周囲の下草等の可燃物の処理を適正に実施するよう指導する	北東の風 最大1.6m/s 平均0.8m/s 安全距離70m
39	10月12日(日) 19:34 19:52 異常事象 確報	千葉県 千葉市	スターマイン 2.5号玉2個 (中国製) 電気点火	人的：なし 物的：なし	サマーフェスティバルでスターマインを打ち揚げたところ、2.5号玉(中国製)2発が過早発となった。 【過早発】	製品不良	輸入品の品質管理 煙火業者に対し、煙火玉の親導周辺に隙間等がある場合は使用しないよう指導した。	南西の風 最大3m/s 平均1m/s 安全距離65m
40	10月18日(土) 18:50頃 異常事象 確報	神奈川県 川崎市	打揚煙火 2.5号玉(割物)4個 (国産) 無線点火	人的：なし 物的：なし	花火大会で無線点火をしたところ、打揚筒(2.5号玉の重ね玉)2本の打揚火薬に着火せず、大会終了後の消費場所の安全確認作業中に突然着火して、従事者近傍で打ち揚がった。 【その他】	装薬・装填ミス 筒への仕込み方法の不具合により、筒内に火が留まっていたものと推定。	保安教育の徹底 消費後十分な時間が経過してから消費場所に近づくことと、装填方法の検証等の安全対策を講じる。	曇 南南西の風 最大2.0m/s 平均1.5m/s 安全距離65m
41	10月18日(土) 19:56 異常事象 確報	千葉県 千葉市	小型煙火1台 (台湾製) 電気点火	人的：なし 物的：なし	市の総合公園で開かれた花火大会において、小型煙火(台湾製)を消費したところ、過早発が発生した。 【過早発】	製品不良	輸入品の品質管理 煙火業者より輸入業者経由で製造会社に対し、製品不良の確認徹底を依頼した。	南の風 最大3m/s 平均2m/s 安全距離60m
42	10月23日(土) 19:50頃 異常事象 確報	京都府 京都市	打揚煙火 2.5号玉1個 (台湾製) 電気点火	人的：なし 物的：なし	イベントで公園内の池に浮かべた台船から2.5号玉を打ち揚げたところ、低空開発となった。 【低空開発】	製品不良 煙火玉の外形にムラがあり原因となった玉はクリアランスが大きかった。	輸入品の品質管理	晴れ 北の風 最大1.5m/s 平均1.9m/s 安全距離80m

区分:打3 打揚・仕掛煙火消費中（人的・物的被害が発生しなかったもの）(8/8)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
43	10月27日(月) 20:34頃 異常事象 確報	千葉県 浦安市	打揚煙火 4号玉1個 玉名:点滅群光芯水 色牡丹(国産) 電気点火	人的:なし 物的:なし	テーマパーク内で打ち揚げた4号玉1発が黒玉となり、9日後に、周遊型アトラクションの従業員が消費位置から32m(安全距離内)の軌道脇にて当該黒玉を発見した。【黒玉】	製品不良 親導内部の火が立ち消えし、割薬まで到達しなかったことによる。	製造工程の追跡調査 製造元への製造管理体制を強化する。	北北西の風 最大4.8m/s 平均4.8m/s 安全距離110m
44	11月1日(土) 17:24頃 異常事象 確報	茨城県 土浦市	打揚煙火 8号玉(信号雷)1個 (国産) 電気点火	人的:なし 物的:なし	花火競技大会の開始を知らせるため、信号雷(8号玉)を打ち揚げたところ、打揚筒から発射後、通常より低い高度(20~30m)で信号雷が開発した。【過早発】	製品不良 煙火玉の導火線異常によるものと考えられる。	製造工程の追跡調査	南南西の風 最大6.9m/s 平均2.2m/s 安全距離210m
45	11月8日(土) 19:25 異常事象 確報	埼玉県 行田市	打揚煙火 10号玉1個 (国産) 電気点火	人的:なし 物的:なし	花火大会において、10号玉が打揚筒から20mほど揚がったところで開発して、星が燃えながら消費位置から半径約100mの範囲(安全距離内)に飛散し、14箇所それぞれ1m <sup>2</sup> 未満の稲わらや枯草を焼失した。【過早発】	製品不良 装薬・装填ミス 煙火玉装填の際の親導の損傷、製造段階での親導の不良が考えられる。	製造工程の追跡調査 保安教育の徹底 再発防止対策の徹底を指導する。	晴れ 東の風 最大4m/s 平均1m/s 安全距離220m
46	11月15日(土) 18:00頃 異常事象 確報	千葉県 千葉市	スターマイン 2号玉 2個 2.5号玉1個 5号玉 1個 (中国製) 電気点火	人的:なし 物的:なし	花火大会でスターマインを消費中、2号玉2発、2.5号玉1発、5号玉1発(いずれも中国製)が過早発及び低空開発となった。【過早発】【低空開発】	製品不良 製品不良と考えられる。	輸入品の品質管理 今回と同様の製品を使用する場合、状態の確認を行い、不良が認められるものは使用しないよう指導。	風速 最大2m/s 平均1m/s 安全距離180m
47	11月15日(土) 18:52頃 異常事象 確報	長崎県 佐世保市	打揚煙火 10号玉1個 (国産) 電気点火	人的:なし 物的:なし	テーマパーク内の海上で行われた花火大会において、台船から打ち揚げようとした10号玉が筒ばねし、隣接した10号玉及び8号玉の打揚筒30本に穴やへこみ等の損傷が発生した。【筒ばね】	製品不良 煙火玉の製品不良と推測される。	製造工程の追跡調査	晴れ 北北東の風 最大3m/s 平均1m/s 安全距離240m
48	12月12日(金) 18:56 異常事象 確報	岐阜県 岐阜市	打揚煙火 2.5号玉、3号玉、4号玉、計390個 (国産) 電気点火	人的:なし 物的:なし	河川敷で行われた花火イベント(4号玉まで)において、打揚煙火の玉皮が火のついた状態で消費位置から160m地点(安全距離外)の対岸に落下し、枯草に燃広がった。【部品落下】【火災】	製品不良 風の影響	製造工程の追跡調査 防火消火対策の徹底 散水範囲の拡大及び草刈り等の実施。	北西の風 最大6.0m/s 平均3.5m/s 安全距離110m

区分:伝 伝統煙火(手筒煙火等)消費中(1/1)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
1	7月18日(金) 21:12頃 <b>C1級</b> 確報	愛知県 豊橋市	手筒煙火 (薬量4kg)1本 (国産)	人的:1名重傷 (右上肢、顔面 等Ⅱ度・Ⅲ度火 傷、右肩等骨 折) 物的:なし	祭礼で、手筒煙火(薬量4kg)を消費中、異常燃焼により筒が破裂し、従事者が右上半身の火傷や右肩の骨折等の重傷を負った。 <b>【異常燃焼】</b>	<b>製品不良</b> 手筒に使用した竹の内側に大きな溝が確認されたことから、通常より燃焼速度が速くなり異常燃焼したと考えられる。	<b>製造工程の追跡調査</b> 竹を切った後に内面を触って確認する等、竹の選び方を徹底させる。	晴れ 東南東の風 最大2.8m/s 平均1.2m/s 安全距離20m 筒の側面17m
2	8月9日(土) 20:30 <b>C1級</b> 確報 (打1No.8と別記)	岐阜県 高山市	手筒煙火 1本 (国産)	人的:1名重傷 (右下腿Ⅱ度火 傷) 物的:なし	花火大会において、手筒煙火の消費中に手筒煙火が異常燃焼(早爆ぜ)し、従事者が右下腿にⅡ度火傷の重傷を負った。 <b>【異常燃焼】</b>	<b>製品不良</b>	<b>製造工程の追跡調査</b> 次期開催に向けた対策会議を開催する。	曇 北北東の風 最大1.3m/s 平均1.4m/s 安全距離20m
3	8月14日(木) 21:43頃 <b>C1級</b> 確報	静岡県 浜松市	手筒煙火 (薬量300g)1本 (国産)	人的:1名軽傷 (腰部及び右背 部Ⅰ度火傷、右 前腕部Ⅱ度火 傷) 物的:なし	神社の祭典において手筒煙火(薬量300g)を消費したところ、手筒の横から火花が噴出し、従事者が腰部、右背部及び右前腕部に火傷を負った。 <b>【異常燃焼】</b>	<b>製品不良</b> 手筒煙火に使用した竹が何らかの原因でひび割れたと推定。また、消費中に従事者の肌の露出が多かった。	<b>製造工程の追跡調査</b> 竹の選別等、再発防止策の徹底指導。	晴れ 南西の風 最大0.6m/s 平均0.4m/s 安全距離5m
4	8月23日(土) 20:56 <b>C1級</b> 確報	長野県 飯田市	噴出煙火 三国 (薬量7.5kg)3基 (国産)	人的:1名軽傷 (右前腕部火傷) 物的:衣類(上着) 2着穴あき等	神社の祭礼において三国煙火(噴出煙火、薬量7.5kg)3基を消費中、最後の「はね火薬」の燃焼による火の粉が想定以上に飛散して、消費位置から約14.7m(安全距離外)の最前列にいた観客に降りかかり、2名の衣服に数か所の穴が開き、うち1名が火傷の軽傷を負った。 <b>【部品落下】</b>	<b>製品不良</b> 噴出した火の粉が想定以上の位置まで達した。	<b>製造工程の追跡調査</b> <b>適正安全距離の検討</b> はね薬(黒色火薬)の使用量を減少する。 主催者と協議し安全距離を見直す。	晴れ 北西の風 最大2.9m/s 平均1.8m/s 発生方向風下 安全距離10m
5	8月24日(日) 19:33 <b>C1級</b> 確報	石川県 白山市	手筒煙火 (薬量1,800g)1本 (国産)	人的:1名軽傷 (右足首から大 腿部にかけてⅡ 度の火傷) 物的:なし	イベントで手筒煙火(薬量1,800g)を消費中、手筒の1本が点火後まもなく異常燃焼で暴発し、従事者の着衣に着火して右下肢にⅡ度の火傷を負った。 <b>【異常燃焼】</b>	<b>製品不良</b> 放揚姿勢が不十分で負傷が大きくなった。異常燃焼は、筒の縄・針金による締め付けの甘さや火薬の湿気不足と推定される。	<b>製造工程の追跡調査</b> 消防から主催者と製造業者に、事故発生原因の究明と報告を指示。	晴れ 東北東の風 1m/s 安全距離20m

区分:動 動物駆逐等その他の煙火消費中 (1/1)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
1	1月14日(火) 8:50頃 <b>異常事象</b> 確報	三重県 鈴鹿市	動物駆逐用煙火 品名:T-3 1本 (中国製)	人的:なし 物的:なし	自宅裏に猿が出たため自治体から配布された動物駆逐用煙火(T-3)を使用したところ、枯草に着火し約171m <sup>2</sup> を焼失した。消費者は自治体主催の保安講習を受講していた。 <b>【火災】</b>	<b>不注意</b> 動物駆逐用煙火の火が枯草に着火した。	<b>防火消火対策の徹底</b> 消防より当事者に対し、同煙火の使用にあたっては、消火器の準備等をするよう口頭指導した。	晴れ 西の風 最大4.0m/s 平均2.0m/s
2	7月28日(水) 16:00頃 <b>異常事象</b> 確報	三重県 鈴鹿市	動物駆逐用煙火 品名:T-3、5連発1本 (中国製)	人的:なし 物的:なし	市の職員が動物駆逐用煙火(T-3、5連発)を使用したところ、3発目と4発目が発射された直後に爆発、5発目は約10m先に落下して不発であったが、麦畑の枯草に着火して延焼し約2,000m <sup>2</sup> を焼失した。 <b>【火災】【異常燃焼】</b>	<b>製品不良</b> 動物駆逐用煙火が畑に落下したことにより、枯草に着火した。	<b>輸入品の品質管理</b>	晴れ 南東の風 最大4m/s 平均2m/s
3	8月14日(木) 17:20頃 <b>異常事象</b> 確報	和歌山県 由良町	動物駆逐用煙火 品名:T-3、5連発1本 (中国製)	人的:なし 物的:なし	猿を追い払うため動物駆逐用煙火(T-3、5連発)を消費していたところ、3発目までは正常に発射されたが、4発目が発射されずに専用ホルダーから動物駆逐用煙火本体が飛び出してみかん畑に落下、その後、5発目が発射されたために畑の枯草に着火し延焼した。 <b>【火災】【異常燃焼】</b>	<b>製品不良</b> 4発目が筒内で暴発したかは不明。	<b>輸入品の品質管理</b>	
4	10月24日(金) 15:30頃 <b>C1級</b> 確報	秋田県 北秋田市	動物駆逐用煙火 (轟音玉) 発音薬量約5g 1個 (国産)	人的:1名軽傷 (左手、左側頭部に火傷、全治4週間) 物的:なし	動物駆逐用煙火(轟音玉、発音薬量5g)による熊の駆逐作業中、右手に持った轟音玉に、次に使用する轟音玉を持ったままの左手のターボライターで点火して投擲したところ、従事者本人が気づかないうちに左手の轟音玉も点火されており、手で爆発し、左手、左側頭部に火傷を負った。 <b>【その他】</b>	<b>取扱い不備</b> 消費時に罹災者は、右手に投げる予定の轟音玉1個、左手に次の使用予定の轟音玉1個とターボライターを持っており、右手の1個を点火後投擲した際の火が本人の知覚がないまま左手の轟音玉に着火し爆発した。	<b>保安教育の徹底</b> 当事者に講習会の指導「1本ずつ取り出し、1本ずつ消費」を遵守させる。	晴れ 北東の風 最大3.8m/s 平均1.1m/s

区分:玩 がん具煙火消費中 (1/4)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
1	1月25日(土) 21:30 異常事象 確報	福岡県 福岡市	がん具煙火 数量不明	人的：なし 物的：なし	自宅の庭でがん具煙火で遊んでいたところ、庭の枯草に着火し約10m <sup>2</sup> を焼失した。 【火災】	不明		
2	1月28日(火) 0:48 異常事象 確報	福岡県 福岡市	がん具煙火 数量不明	人的：なし 物的：なし	空き地でがん具煙火で遊んでいたところ、火のついたがん具煙火を投げたため、下草に着火して延焼し約250m <sup>2</sup> を焼失した。 【火災】	不明		
3	2月15日(土) 15:10頃 C2級 確報	愛知県 岡崎市	がん具煙火 (爆竹)4個	人的：なし 物的：敷地内の木造 瓦葺社の一部 焼損	神社の氏子総代が、神社内の野生動物を追い払おうと巣穴にがん具煙火(爆竹4個)を入れたところ、付近の枯草が延焼し、枯草約100m <sup>2</sup> と建物の一部を焼損した。 【火災】	爆竹に着火後、その場から離れたため。	消防より当事者に対し、 取扱い方法を徹底する よう指導した。	晴れ 南南西の風 最大5.3m/s 平均2.9m/s
4	2月17日(月) 20:06頃 異常事象 確報	神奈川県 横浜市	がん具煙火 緊急保安炎筒 品名:セフテライト H5R-J 1本	人的：なし 物的：なし	バイパス道で車線規制のため緊急保安炎筒を使用したところ、何らかの理由で緊急保安炎筒が転がって法面の枯草約150m <sup>2</sup> を焼失した。 【火災】	緊急保安炎筒が何らかの 原因により転がり、法面の 枯草に着火した。		晴れ 北北西の風 4.0m/s
5	2月19日(水) 16:25頃 異常事象 確報	岐阜県 岐阜市	がん具煙火 (爆竹)20連10個	人的：なし 物的：なし	中学生2名が公園内の桜の木の樹洞内でがん具煙火(爆竹20連10個)を消費したため、桜の木に着火し燃え広がった。 【火災】	植栽の近くでがん具煙火 を使用したため。		
6	3月21日(金) 14:16頃 異常事象 確報	大分県 大分市	がん具煙火 ロケット花火6本	人的：なし 物的：なし	カラスを追い払うためにがん具煙火(ロケット花火)6本を使用したところ、花火の火が周囲の枯草に飛んで着火し、枯草約19m <sup>2</sup> を焼失した。 【火災】	ロケット花火の火花が周 囲の枯草に飛び着火し た。		晴れ 西の風4.3m/s
7	4月9日(水) 17:15 C2級 確報	岐阜県 岐阜市	がん具煙火 10数本	人的：なし 物的：フェンス17枚	公園の枯草から火が出て、枯草307m <sup>2</sup> と公園のフェンス17枚を焼損した。付近に、がん具煙火10数本を使用した形跡があったことから、がん具煙火の火が原因と判断された。 【火災】	何者かが公園内で花火を したことで、公園内の枯草 に着火し燃え広がった。		

区分:玩 がん具煙火消費中 (2/4)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
8	6月20日(金) 9:51頃 <b>C1級</b> 確報	静岡県 藤枝市	がん具煙火 手持ち花火 品名:スパークラー変色 すすき1本	人的:1名軽傷 (火傷) 物的:なし	認定こども園で消防署員による花火教室を行った際に、5歳女児が周辺の状況に気をとられ手持ち花火(スパークラー)を持った手が徐々に下がって、花火の火が長靴の中に入ってくるぶしに火傷を負った。 <b>【火傷】</b>	花火を直視していなかったことから、徐々に右手が下がっていき、園児の長靴に火花が直接入った。		
9	6月21日(土) 10:52頃 <b>異常事象</b> 確報	神奈川県 横浜市	がん具煙火 緊急保安炎筒 品名:サンフレイヤー R-5XE(約80g) 1本	人的:なし 物的:なし	バイパス道で事故処理のため使用していた緊急保安炎筒を、走行中の車両が跳ね飛ばして中央分離帯に落ち、枯草に着火した。 <b>【火災】</b>	同左		
10	6月22日(日) 19:35頃 <b>異常事象</b> 確報	千葉県 千葉市	がん具煙火 品名:とんぼ花火 数量不明	人的:なし 物的:なし	公園で社員ががん具煙火(とんぼ花火)を消費していたところ、花火の火が風に煽られて下草に着火、下草約40m <sup>2</sup> 焼失した。 <b>【火災】</b>	がん具煙火が風に煽られて下草に落下したため。	消防より消費者に対して、がん具煙火消費時の注意事項について説明した。	
11	7月13日(日) 16:00頃 <b>異常事象</b> 確報	兵庫県 神戸市	がん具煙火 詳細不明	人的:なし 物的:なし	中学生3名が公園の東屋で、火をつけた新聞紙の束にがん具煙火を入れるなどの行為をしていたところ、がん具煙火が飛び散って周囲の芝生に着火した。 <b>【火災】</b>	同左	現場警察官より消費者に対し防火について口頭指導。	
12	7月19日(土) 20:05頃 <b>C1級</b> 確報	宮城県 石巻市	がん具煙火 打上げ花火 数量不明	人的:1名軽傷 (Ⅱ度火傷) 物的:なし	親子でがん具煙火(打上げ花火)で遊んでいたところ、何らかの理由で打上げ花火が倒れ、横向きに花火が発射されて、約5m離れたところにいた男児の右下腿部に当たり、火傷を負った。 <b>【火傷】</b>			
13	7月30日(水) 8:50頃 <b>C2級</b> 確報	兵庫県 神戸市	がん具煙火 緊急保安炎筒1本	人的:なし 物的:ガードレールの支柱7本の一部 焼損	高速道路を運転中に車両メーターにエラー表示が出たため、路肩に停車して緊急保安炎筒に点火したところ、誤って炎筒を落下させて法面の雑草に着火・延焼し、雑草約21m <sup>2</sup> とガードレールの支柱7本の一部を焼損した。 <b>【火災】</b>	緊急保安炎筒に点火した際、誤って落下させた。		
14	8月1日(金) 1:31頃 <b>異常事象</b> 確報	千葉県 千葉市	がん具煙火 打上花火 品名:魔球15連	人的:なし 物的:なし	公園内で何者かが、がん具煙火(15連発打上げ花火)を消費して、公園内の下草を焼失した。消防隊到着時、行為者は立ち去っており詳細不明。 <b>【火災】</b>			

区分:玩 がん具煙火消費中 (3/4)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
15	8月1日(金) 20:00 <b>異常事象</b> 確報	鳥取県 岩美町	がん具煙火 打上げ花火 品名:超 RENSHA! 50	人的:なし 物的:なし	海岸でがん具煙火(50連打上げ花火)を消費したところ、消費位置から風下側に約31m離れた草地で火災が発生した。 <b>【火災】</b>			
16	8月2日(土) 20:00頃 <b>C1級</b> 確報	長野県 長野市	がん具煙火 手持ち花火 ススキ花火1本 (全長25cm)	人的:1名軽傷 (Ⅱ度火傷) 物的:なし	保護者立会いの下、2歳男児ががん具煙火(手持ちのススキ花火)で遊んでいたところ、花火を振り回したため、顔面及び左手に火傷を負った。 <b>【火傷】</b>			
17	8月5日(火) 22:30頃 <b>C2級</b> 確報	愛知県 名古屋市	がん具煙火 打上げ花火 10連発3本 品名:彩珠筒10連	人的:なし 物的:公園の照明看板焼損	公園で未成年者ががん具煙火(10連発打上げ花火3本)で遊んでいたところ、誤って植え込みに花火を打ち込んでしまい、植込みの草木と公園の照明看板を焼損した。 <b>【火災】</b>		消防よりがん具煙火の消費の際の注意事項を口頭指導。	
18	8月9日(土) 18:47頃 <b>異常事象</b> 確報	静岡県 浜松市	がん具煙火 打上げ花火(乱玉)6本 品名:昇龍覇、魔閃光	人的:なし 物的:なし	海岸の防潮堤の上から、防災林に向けてがん具煙火(打上げ花火、連発式乱玉)を発射したため、防災林の下草、植栽及び木製フェンスを焼失した。 <b>【火災】</b>		がん具煙火の正しい使い方について消費者に口頭指導。	
19	8月17日(日) 20:00頃 <b>C1級</b> 確報	長野県 松本市	がん具煙火 (打上げ花火)1個 品名:ギンダマン	人的:2名軽傷 (1名:右下腿Ⅱ度火傷、1名:右前頭部Ⅱ度火傷) 物的:なし	自宅前の路上で、小学生が打上げ花火(虎の尾)に点火する際、本来筒底部の導火線に点火すべきところ、筒の上から手持ち花火の火で点火したため、筒から発射された虎の尾の星が小学生の額を直撃し、地面に落ちて燃焼したため、小学生本人と近くにあった中学生が火傷を負った。 <b>【火傷】</b>			
20	8月28日(木) 21:30頃 <b>C1級</b> 確報	愛知県 半田市	がん具煙火 (手持ち花火)	人的:1名軽傷 (右腹部にⅡ度の火傷) 物的:なし	公園で家族でがん具煙火で遊んでいたところ、6歳女児が火のついた手持ち花火を振り回したため、花火の火が母親の腹部に直に当たり、Ⅱ度の火傷を負った。着衣等への着火はなかった。 <b>【火傷】</b>			
21	8月31日(日) 21:15 <b>異常事象</b> 確報	大阪府 大阪市	がん具煙火 (手持ち花火)1本	人的:なし 物的:なし	河川敷で男女4人ががん具煙火(手持ち花火、噴出花火)で遊んでいたところ、花火の火が枯草に着火し、枯草300m <sup>2</sup> とネットフェンスの一部を焼失した。 <b>【火災】</b>		消費者に対し、十分な消火準備をした上でしょっぴりするよう指導。	

区分:玩 がん具煙火消費中 (4/4)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
22	9月3日(水) 21:30 C2級 確報	京都府 京都市	がん具煙火2本 演出用 品名:Birthday Candle 6PCS (中国製)	人的:なし 物的:プラスチック製ご みペール1個焼 失、ドリンクカウン ター及びテント の一部焼損	ホテルの屋上ビアガーデンで、客へのサービスで 使用したがん具煙火(スパーカーあるいは吹き 出し)を、火は消えていると思いごみ箱に捨てた ところ、約20分後にゴム箱から火が出て、ゴミ 箱と近くのカウンター及びテントの一部を焼損し た。【火災】	従業員が消火の不十分 な花火をごみ箱に廃棄し たため。	今後、花火の取扱いを しない。	
23	11月14日(金) 15:35頃 C2級 確報	宮城県 大和町	がん具煙火 ロケット花火1本 品名:新月旅行(小)	人的:なし 物的:丸太ベンチ 一部焼損	中学校の校庭で熊よけのため日課となっている ロケット花火(中国製)の打上げを行っていたと ころ、丸太ベンチに固定し点火した1本のロケッ ト花火が打ち上がらずにベンチ上で燃焼したた め、ベンチの一部を焼損した。【火災】			
24	12月7日(日) 18:30頃 C2級 確報	福岡県 福岡市	がん具煙火1個 種類は不明	人的:なし 物的:店内椅子及び 物品焼損	飲食店内で、ケーキにがん具煙火(パーティ用) を挿して消費中に、火の粉が近くにあった店内 の椅子及び物品に燃え移った。【火災】			

区分:製 煙火製造所 (なし)

区分:他 その他(廃棄中、玩弄中等) (1/1)

No.	発生日時(級)	発生場所	煙火の種類	被害状況	事故概要【事故現象】	推定原因	再発防止対策	備考
1	6月19日(木) 15:16 <b>C1級 確報</b>	京都府 京都市	がん具煙火 平玉 品名:カネキャップ ハイキャップレダ 8連発×12リング	人的:1名重傷 (右手部出血及 び中指の変形、 皮膚移植手術) 物的:なし	男子中学生が平玉(おもちゃのピストルの弾、1 個当たりの薬量2.4mg と5.0mg の2種類) 内の火薬を144個分集めた0.3456g の火薬 をプラスチック筒に詰め、その上に近くにあった乾 電池を入れて押し固めようとしたところ突然爆 発し、右手部からの出血、中指変形の重傷を 負った。 <b>【暴発】</b>	<b>取扱い不備</b> 感度が非常に鋭敏な火 薬を、プラスチック筒内で 乾電池で押し固めようとし たため、摩擦で火薬が発 火したものと推定される。		
2	7月27日(日) 15:20頃 <b>異常事象 確報</b>	岐阜県 土岐市	打揚煙火 2.5号玉225個 スターマイン 2.5号玉2,460個 小型煙火123個 (中国製) 電気点火	人的:なし 物的:なし	河川敷で行なわれた花火大会(中国製2.5号 玉まで)の翌日、車両で煙火打揚場所を整地 していたところ、破裂音とともに周辺の枯草が 火災となり919m <sup>2</sup> を焼失した。火災鎮火後、 打揚場所周辺に未燃焼の星が散乱している のが確認された。 <b>【部品落下】【火災】</b>	<b>製品不良</b> 小型煙火の未着火部品 を草刈り機が巻き込み摩 擦で発火した可能性が大 きい。	<b>輸入品の品質管理</b> 打揚業者に対し、周辺 に火薬が残っていないか 再度確認するよう指 示。	西南西の風 最大6.1m/s 平均2.1m/s 発生地点風下 安全距離65m
3	8月28日(木) 12:00頃 <b>異常事象 確報</b>	宮城県 蔵王町	打揚煙火 3号玉信号雷1個 (国産) 電気点火 無許可消費	人的:なし 物的:なし	休耕田をトラクタで草刈り中、爆発音がして白 煙が発生した。爆発箇所では煙火玉(3号信号 雷)の残骸と雷粒4個が確認された。当該煙 火玉は13日前に無許可消費で打ち揚げられ た信号雷と推定され、爆発箇所は消費位置 から約80m(安全距離外)の地点であった。 <b>【黒玉】【暴発】</b>	<b>製品不良</b>	<b>製造工程の追跡調査</b>	南南西の風 最大1.8m/s 平均0.5m/s 安全距離40m

## 7.2 煙火消費中事故等のまとめ

### (1) 煙火消費中事故等の級別発生件数の推移

令和7年(2025年)5月に経済産業省の火薬類事故の定義及び分類が改定された(旧C1級→C1級+C2級、旧C2級→異常事象等)。この新分類に基づく過去10年間の煙火消費中事故等の分類別発生件数の推移を、表7-4及び図7-1示す。なお、令和2年(2020年)と令和3年(2021年)の煙火消費中の事故等件数が少なくなっているのは、コロナ禍で煙火消費量が減少したからである。

平成28年(2016年)から令和6年(2024年)までの事故等は、新分類に則って再分類した結果である。再分類により、旧C2級はすべて異常事象となったが、その他に、旧C1級105件のうち16件(安全距離外の火災等)が異常事象に分類された。また、旧B1級9件のうち5件がC1級またはC2級に、2件が異常事象に分類され(旧分類において、テレビ全国放送/新聞全国紙等で3社以上の報道がなされたことが理由でB1級に分類されていたため)、B1級のまま再分類されたのは2件のみであった。

表7-4 過去10年の分類別事故等件数(煙火消費中)

事故等分類	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
B1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1
B2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C1	7	9	6	7	0	1	10	7	7	15
C2	5	3	4	5	3	1	0	9	10	7
(事故計)	(12)	(12)	(11)	(12)	(3)	(2)	(10)	(17)	(17)	(24)
異常事象	33	18	30	25	7	10	20	45	34	51
合計	45	30	41	37	10	12	30	62	51	75

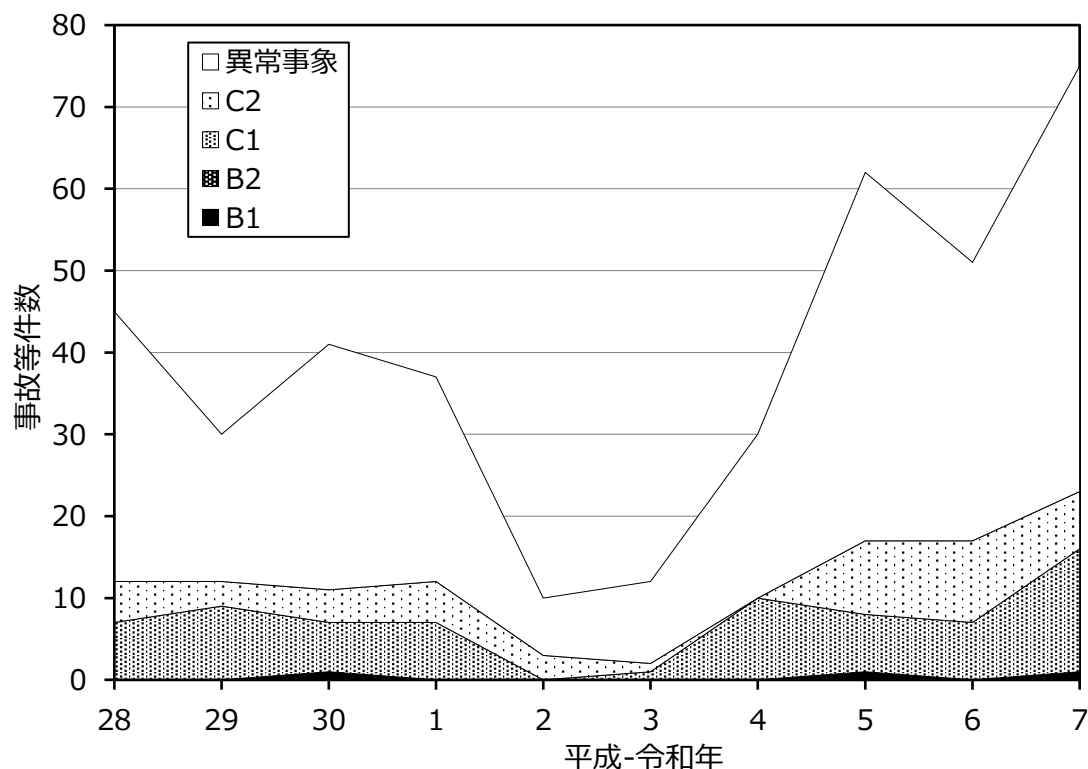


図7-1 過去10年の分類別事故等件数(煙火消費中)

## (2) 煙火消費中事故等の現象別発生状況

別添の「煙火消費中事故の現象、原因及び対策」表に基づいて、事故現象で分類した煙火消費中の事故等件数の推移を表 7-5 及び図 7-2 に示す。令和 7 年(2025 年)の煙火消費中事故等の現象別件数の全体に対する割合を、過去 10 年間(平成 27 年(2015 年)～令和 6 年(2024 年))の平均と比べてみると、「異常飛翔」の割合が過去平均割合の約 2 倍で非常に大きく、次に「過早発」、「低空開発」、「部品落下」、「異常燃焼」、「地上開発」の割合がそれぞれ過去平均割合の約 6 割、約 4 割、約 3 割、約 2 割、約 1 割大きかった。逆に、「火災」、「黒玉」、「筒ばね」の割合がそれぞれ過去平均割合の約 3 割、約 4 割、約 4 割小さかった。

表 7-5 事故現象で分類した過去 10 年の事故等件数 (煙火消費中)

事故現象	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
筒ばね	2(2)	7(4)	1(1)	6(3)	0(0)	0(0)	2(1)	1(0)	4(0)	3(2)
過早発	1(1)	2(0)	2(2)	2(1)	0(0)	1(1)	2(2)	8(8)	13(12)	10(10)
低空開発	1(1)	1(1)	5(5)	6(3)	1(1)	2(2)	3(3)	5(5)	3(3)	10(9)
地上開発	3(2)	2(1)	5(3)	3(0)	0(0)	1(1)	3(1)	3(2)	2(1)	6(3)
黒玉	8(8)	6(6)	11(10)	11(10)	2(2)	3(3)	5(5)	19(17)	6(6)	11(10)
部品落下	5(1)	4(0)	3(2)	1(0)	2(2)	2(1)	2(2)	9(4)	7(2)	12(5)
残滓	2(0)	0(0)	3(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(0)	2(1)
異常燃焼	4(1)	3(2)	2(0)	2(1)	1(0)	1(0)	3(0)	3(1)	3(3)	8(3)
異常飛翔	1(0)	2(1)	1(1)	2(1)	1(1)	0(0)	2(1)	4(3)	5(0)	9(4)
火災	20(17)	4(4)	12(11)	10(9)	6(4)	4(3)	9(8)	16(12)	15(11)	18(14)
その他	3(1)	2(1)	2(1)	1(0)	0(0)	0(0)	4(1)	4(1)	1(0)	4(1)
計	50(34)	33(20)	47(36)	45(28)	13(10)	14(11)	36(24)	72(53)	60(38)	93(62)
事故等件数	45(33)	30(18)	41(30)	37(25)	10(7)	12(10)	30(20)	62(45)	51(34)	75(52)

(注 1) 各欄の件数は、(事故件数)+(異常事象件数)で、カッコ内は(異常事象件数)を表す。

(注 2) 事故等によっては現象が複数あるため、事故現象別件数の計と事故等件数は一致しない。

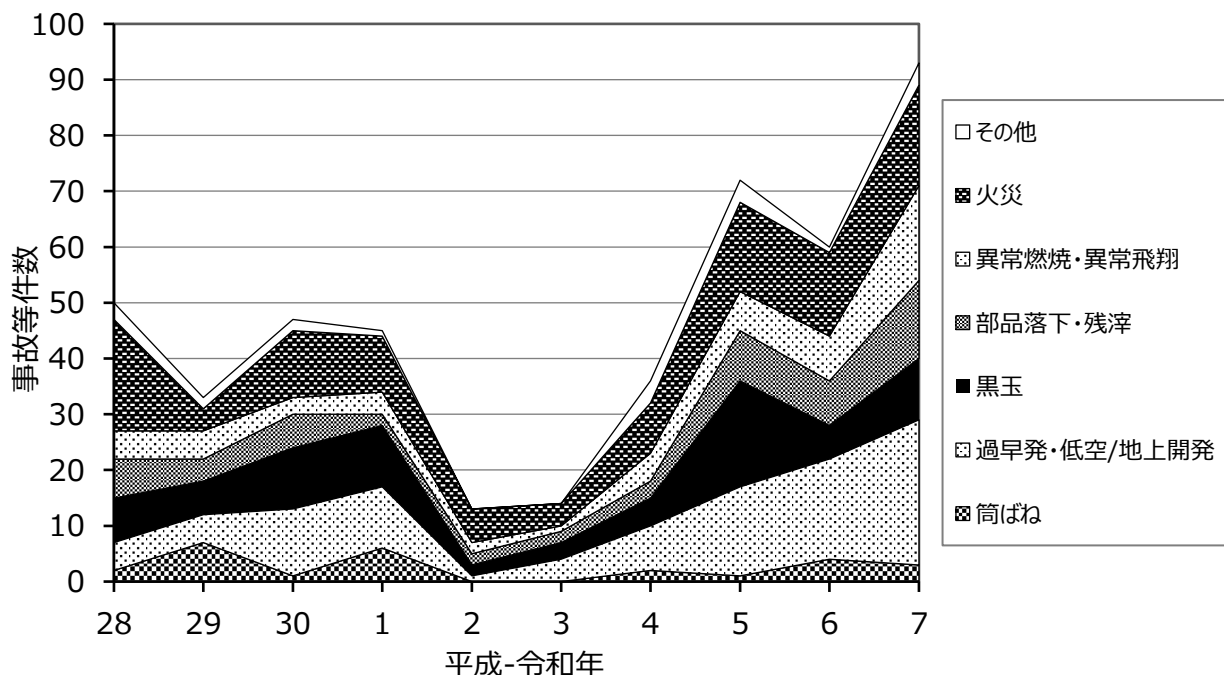


図 7-2 事故現象で分類した過去 10 年の事故等件数 (煙火消費中)

## 7.3 煙火及びがん具煙火関係事故等の特記すべき事項と課題

### (1) 煙火消費中の事故について

#### ・ 異常飛翔について

令和 7 年(2025 年)の煙火消費中の事故等をその現象別にみると、7.2(2)に記したように、「異常飛翔」の全体に占める割合が過去 10 年の平均の割合の約 2 倍と非常に大きかった。令和 7 年(2025 年)の「異常飛翔」の事故件数は 5 件、異常事象が 4 件で、全体で 9 件である。そのうちの 3 件が、仕掛煙火(花束)の筒や小型煙火の固定の不備によるものである。これについては、煙火打揚事業者に対し、仕掛煙火であろうと筒の固定を十分に行うことや小型煙火の固定を徹底して行うことが求められる。また、「異常飛翔」9 件のうち、小型煙火に関する事故等が 6 件であり、特に小型煙火の内筒底栓が安全距離を超えて観客に当たり負傷させる事故が 2 件発生した。小型煙火の内筒底栓による事故は、令和 5 年(2023 年)に 3 件、令和 6 年(2024 年)にも 3 件発生しており、これについては、引き続き、煙火輸入事業者に対して石膏製の底栓を無くすような対応、及び、煙火打揚事業者に対して石膏製の底栓を使用している小型煙火であるかの確認と、石膏製の底栓の場合は十分な安全距離をとる等の対応が求められる。

#### ・ 過早発について

令和 7 年(2025 年)の煙火消費中の事故のうち「過早発」の全体に占める割合は、過去 10 年の平均の割合の 6 割も大きかった。「過早発」の全体に占める割合が、過去平均よりも大きい状態は令和 5 年(2023 年)から続いている。表 7-6 に、過去 10 年の「過早発」の件数と煙火玉の発数、「過早発」を起こした煙火玉の種類の推移をまとめた。令和 5 年(2023 年)から続いている「過早発」事象の傾向は変わらない。即ち、1 件の異常事象で複数の「過早発」が起こった例が多いこと、「過早発」を起こした 10 号玉未満の大きさの煙火玉の殆どが中国製であること、大玉と呼ばれる 10 号玉以上の煙火玉の「過早発」が起きていることである。

「過早発」はほぼすべてが被害のない異常事象ではあるが、ほんの少しでも開発するのが速ければ、重大な人的被害をもたらす「筒ばね」になる可能性がある。その意味からも、「過早発」を少なくする努力が求められる。煙火製造事業者や煙火輸入事業者に対して、親導及び製品全体の品質管理をさらに徹底していく、あるいは求めていく努力が期待される。また、煙火打揚事業者については、中国製煙火の使用前には、特に親導取付け部分に製品不良がないかの点検を徹底して行うことが求められる。

なお、令和 7 年(2025 年)の「筒ばね」の事故等は 3 件のみで負傷者は出なかったが、そのうち 2 件が 10 号玉の「筒ばね」であったことに注意が必要である。煙火製造事業者に対して、引き続き、製造工程管理を徹底していく努力が求められる。

表 7-6 煙火消費中事故の「過早発」の件数及び発数の過去 10 年の推移

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
過早発の件数	1	2	2	2	0	1	2	8	13	10
過早発の発数	1	2	2	2	0	5	2	10	22	16
10 号玉未満の発数 (うち中国製)	1 (1)		2 (2)	1 (0)		5 (5)	2 (1)	8 (6)	16 (15)	14 (10)
10 号玉の発数		1						1	3	2
20 号玉の発数		1							3	
30 号玉の発数								1		
40 号玉の発数				1						

## ・ 手筒煙火について

令和 7 年(2025 年)の煙火消費中の事故のうち「異常燃焼」の全体に占める割合は、過去 10 年の平均の割合の約 2 割大きかった。令和 7 年(2025 年)の「異常燃焼」の事故件数は 5 件、異常事象が 3 件、全体で 8 件である。そのうち半数の 4 件が、手筒煙火の消費中の事故であり、これが「異常燃焼」の全体に対する割合が大きくなった要因となっている。表 7-7 に、伝統煙火の事故等の件数、そのうち手筒煙火の事故の件数、手筒煙火の事故による負傷者数について、過去 10 年の推移をまとめた。表から、令和 7 年(2025 年)は手筒煙火の事故件数が異例に多かったことがわかる。手筒煙火の事故 4 件のうち 2 件が、事故の原因として手筒に使用する竹の不備を挙げており、手筒煙火の製造に係わる煙火製造事業者に対して、手筒に使用する竹などの材料の品質管理や製造工程管理を徹底して監督、指導することが求められる。

表 7-7 伝統煙火の事故等件数、手筒煙火の事故件数と負傷者数の過去 10 年の推移

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年	令和 7 年
伝統煙火の事故等件数	2	1	2	1	0	1	0	5	1	5
うち手筒煙火の事故件数	2		1			1		2		4
手筒煙火の事故の重傷者数	1		1					1		2
手筒煙火の事故の軽傷者数	1					1		1		2

## ・ 火災について

令和 7 年(2025 年)の「火災」の事故等の全体に占める割合は、過去 10 年の平均割合の約 3 割小さくなったが、それでも全体の約 20%が「火災」であり、依然として事故現象の中で最も大きな割合を占めている。火災事故件数を低減させるために、事前の枯草処理や事前散水等による防火対策が徹底されるよう、引き続き、行政機関による特に主催者に対してのさらなる指導が求められる。

## ・ 横浜港における花火大会の事故について

令和 7 年(2025 年)8 月 3 日に横浜港で行われた花火大会において、打揚台船上で筒ばねによって火災が発生し、数時間にわたって煙火が断続的に打ち揚がる事故が発生した。横浜港の花火大会では、36 年前の平成元年(1989 年)8 月 2 日にも、筒ばねによる台船上の火災事故が発生し、死者 2 名、重軽傷者 7 名を出している。その後、煙火の保管方法の改善、遠隔点火の徹底等、種々の安全対策が講じられてきたことにより、今回は 36 年前の事故と違って死傷者は 1 名も出ていない。しかし、本事故ではテレビの全国放送で煙火の断続的な打揚げが継続する映像が報道され、その後数日間、本事故についての全国的な報道が繰り返された。その結果、本事故が多くの人に周知され、花火大会の安全性に対する社会的不安を高めることとなった。中止となる花火大会も出るなど、その影響は大きかった。これらのことから、この花火大会を特記事項として記録しておく。

なお、本事故の社会的影響の大きさから、別添資料に示すように、経済産業省は事故の 4 日後に、(公社)日本煙火協会に対して、花火大会の安全確保のための注意喚起を行い、その旨を全国都道府県・指定都市の火薬担当に通知している(20250808 保局第 1 号)。

また、本事故については原因究明や再発防止策を議論する第三者委員会が設けられ、事故の約 4 か月後に最終報告書が発表された。報告書の提言事項である異常時の打揚げ停止手段の確保、緊急対応体制の整備等のほか、初期消火を妨げる可能性のある大量の煙火の短時間での消費を見直すこと等について、今後、台船を使用して花火大会を行う煙火打揚事業者がこれらを参考にして安全対策を拡充し、花火大会の安全性がさらに向上することが望まれる。

## (2) がん具煙火消費中の事故について

令和 7 年(2025 年)のがん具煙火消費中の事故等について、動物駆逐の目的でがん具煙火を使用して火災となった事故等が 3 件発生した。令和 6 年(2024 年)は 6 件だったので半減した。がん具煙火を動物駆逐のために使用することは、本来、目的外使用であり望ましいことではないが、経済産業省からの動物駆逐目的でがん具煙火を使用する場合の注意喚起を基に、農林水産省はその旨を全国の市町村まで周知し、ホームページでも公開している。注意事項の中に火災を起こさないようにと明記されており、これらの決まりがきちんと守られるように、市町村から使用者への徹底した周知が望まれる。

がん具煙火消費中の事故等は、その殆んどが「火災」と「火傷」の事故等であり、過去 30 年間の累計の「火災」の割合が 68%、「火傷」が 24%である。令和 7 年(2025 年)の事故等は「火災」が 79%、「火傷」事故が 21%で、例年と比べると「火災」が多い傾向であった。なお、「火傷」の事故の中で被害が大きくなりやすい着衣への着火による事故は、令和元年(2019 年)から令和 6 年(2024 年)まで、それぞれ 3 件、3 件、1 件、2 件、3 件、1 件発生していたが、令和 7 年(2025 年)は発生しなかった。

がん具煙火消費中の事故の原因は、消費者の不注意や誤使用による事例が殆どである。今後とも、関係団体による火災予防や安全消費に関する啓発活動を継続して実施していくことが求められる。

煙火消費中事故の現象、原因及び対策

概 要		原 因	再発防止対策
区分（消費方法等）	現 象		
打揚煙火等 （単発打ち揚げ） （連続打ち揚げ） （スターメイン等）  仕掛煙火等 （小型煙火） （伝統煙火） （動物駆逐用煙火） （水中仕掛） （演出効果用煙火） （その他）	筒ばね	製品等	製品 <ul style="list-style-type: none"> <li>使用前検査の徹底</li> <li>製造工程の追跡調査</li> <li>製造技術上の改良</li> <li>品質性能の把握</li> <li>輸入品の品質管理</li> </ul> 器材 <ul style="list-style-type: none"> <li>消費器材の充実</li> <li>消費器材の点検</li> <li>防護用器材の充実</li> <li>点火方法の検討</li> </ul> 人 <ul style="list-style-type: none"> <li>保安教育の徹底</li> <li>消費技術の教育</li> <li>従事者の適正配置</li> </ul> 保安環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>適正安全距離の検討</li> <li>気象情報の把握</li> <li>防火消火対策の徹底</li> <li>初期救護体制の検討</li> <li>中止判断基準の検討</li> <li>観客への注意喚起</li> </ul>
	過早発	製品不良	
	低空開発	星等の燃焼不良	
	地上開発	着火不良	
	黒 玉	作業等	
	部品落下	装薬・装填ミス	
	残 滓	操作ミス	
	異常燃焼	取扱い不備	
	異常飛翔	固定不備	
	火 災	不注意等	
その他	気象等		
	風の影響		
	火の粉飛散		
	その他		

（令和 2 年 2 月 13 日改訂）

- ※現象の定義
- （筒ばね） ⇒ 煙火玉が筒内で開発
  - （過早発） ⇒ 煙火玉が筒から発射直後に開発
  - （低空開発） ⇒ 煙火玉が地上に危険を及ぼす低い高度で開発
  - （地上開発） ⇒ 煙火玉が上空で開発せず地上に落下し開発
  - （黒 玉） ⇒ 不発煙火玉（千輪の小割、水中仕掛等の着火不良の未着火玉を含む）
  - （部品落下） ⇒ 煙火の構成部品（玉皮破片・パイプ・燃え殻・星等）が危険な状態で落下
  - （残 滓） ⇒ 割薬等の燃えかすが落下したもので、着火原因とならなかったもの  
（着火原因となったものは部品落下）

## 経済産業省

20250808保局第1号

令和7年8月8日

公益社団法人日本煙火協会 会長 殿

経済産業省大臣官房産業保安・安全グループ鉦山・火薬類監理官

## 花火大会における煙火消費中の事故発生について（注意喚起）

令和7年8月に開催された花火大会において、煙火消費に伴う火災が発生する事案が発生し、報道で全国的に大きく取り上げられております。

事故原因については、現在、関係機関において調査が進められている段階であり、現時点ではまだ明らかになっておりませんが、引き続き煙火の消費が予想されることから、貴協会傘下の煙火製造及び販売業者に対し、同様の事故を未然に防ぐ観点から、火薬類取締法令の遵守及び消費現場における作業手順や安全対策、万一の火災の発生に備えた適切な対応の再確認の徹底について、注意喚起をお願いいたします。

## 【事故等の概要】

- ・ 令和7年8月4日、花火大会において海上に複数設置された台船上で煙火を消費中、何らかの原因によって、台船上で火災が発生し、他の煙火に燃え移ったもの。
- ・ 被害状況  
人的被害：軽傷1名。

---

(注) 事故当日、救急搬送された従事者がいたことから、「人的被害：軽傷1名」と記載されているが、本注意喚起の発出後に、従事者の症状は熱中症であって煙火の事故とは関係ないことが判明したため、本事故は「人的被害：なし」に修正された。

## 火薬類事故対応 実施細目

### 第 1 章 本実施細目の目的

本実施細目は、「産業保安事故対応マニュアル」（令和 6 年度産業保安・安全グループ）に規定する産業保安に係る事故発生時の対応のうち、火薬類に関しての経済産業省大臣官房産業保安・安全グループ（以下「**保安 G**」という。）及び産業保安監督部（産業保安監督支部並びに産業保安監督事務所を含む。以下「**監督部**」という。）の対応を定めるとともに、当該地域を管轄する都道府県及び指定都市（以下「**担当都道府県等**」という。）の担当部署において行うことが望ましい対応についても「別添 都道府県等における火薬類事故等対応マニュアル」として整理し、火薬類の事故及び異常事象が発生した際、関係者が迅速かつ適切な対応を行えるようにすることを目的とする。

### 第 2 章 定義等

#### 2-1. 火薬類の事故及び異常事象の定義

火薬類の事故及び異常事象（以下「**事故等**」という。）とは、火薬類取締法（昭和 25 年法律第 149 号。以下「**火取法**」という。）の規定の適用を受ける火薬類の製造、販売、貯蔵、運搬、消費、廃棄その他の各取扱いにおいて発生した危険な事象であって、以下、①～④に該当するものとする。

なお、火取法施行規則様式第 47 の「事故等報告書」における「事故等」では、火取法第 39 条「危険時の措置及び届出」も含めて「事故等」と表現しているが、本実施細目における事故等には、火取法第 39 条「危険時の措置及び届出」を含めない。

- ① 火薬類の製造、販売、貯蔵、運搬その他の取扱中に発生した危険な事象
  - 例： ・危険工室における火薬類の爆発又は燃焼
  - ・火薬庫内に貯蔵した火薬類の爆発又は燃焼
  - ・運搬中における火薬類の落下又は散乱
- ② 火薬類の消費又は廃棄中に発生した危険な事象
  - 例： ・発破時の飛石
  - ・落雷（雷による誘導電流を含む。）による爆発
  - ・不要火薬類の廃棄作業中の爆発又は異常燃焼
  - ・火薬類のagan弄中に生じた爆発又は異常燃焼及びこれらに起因する火災
  - ・理化学上の実験における爆発又は異常燃焼及びこれらに起因する火災
  - ・煙火消費中における筒ばね、過早発、低空開発、地上開発、異常飛翔、異常燃焼、黒玉、部品落下及びこれらを起因とする火災など、煙火消費中における危険な事象（詳細は、別紙 1 に規定）
- ③ 火薬類、譲受許可証、譲渡許可証若しくは運搬証明書の喪失又は盗取
  - 例： ・土砂崩れや増水等で火薬庫内や消費場所に保管していた火薬類が流出（火薬類の所在は分かっているが、火薬類が管理できない状態であれば喪失）
  - ・保管中や運搬時の盗難（盗取）
- ④ その他
  - 例： ・火薬類の可能性のある物質（ニトロセルロースなど、事故等の発生時点において火薬か非火薬かの判別が付かないもの）による爆発又は火災

## 2-2. 人的被害及び物的被害の定義

本実施細目における人的被害及び物的被害は、以下のとおり定義する。

- **人的被害**：死者(※1)、重傷者(※2)及び軽傷者(※3)が生じた人的被害であって、通常、医療施設において治療の必要がないと認められる軽度の負傷(※4)を除く。

※1 死者： 事故発生後、5日以内に死亡が確認された者

※2 重傷者： 事故発生後、30日以上の治療を要する負傷をした者

※3 軽傷者： 事故発生後、30日未満の治療を要する負傷をした者

※4 軽度の負傷： 医療機関における治療を要しない程度の負傷（絆創膏の貼付けや家庭用外傷消毒液の塗布で足りるもの）や医療機関において検査、診察又は診断を行ったが特に治療の必要なしと判断された場合 など

(※1～※5については、以下、本細目の同語において同じ。)

- **物的被害**：事故によって直接に生じた物的被害

## 2-3. 事故の規模の分類

火薬類の事故は、人的被害及び物的被害の規模に応じた分類とするが、これに含まれない喪失及び盗取事故は、別に分類する。

また、2-1.①～④に該当する事象であって、火薬類の事故とならなかったものについては、異常事象として分類する。

### ○ A 級事故

- ① 死者5名以上のもの
- ② 死者及び重傷者が合計して10名以上であって、①以外のもの
- ③ 死者、重傷者及び軽傷者が合計して30名以上であって、①及び②以外のもの
- ④ 爆発又は火災等により大規模な建物又は構造物の破壊、倒壊、滅失等の甚大な物的被害（直接に生ずる物的被害の総額が5億円以上）が生じたもの
- ⑤ 大規模な火災等が進行中であって、大きな災害に発展するおそれがあるもの

### ○ B1 級事故

- ① 死者1名以上4名以下のもの
- ② 重傷者2名以上9名以下であって、①以外のもの
- ③ 重傷者及び軽傷者の合計が6名以上29名以下であって、①及び②以外のもの
- ④ 爆発又は火災等により大規模な建物又は構造物の損傷等の多大な物的被害（直接に生ずる物的被害の総額が1億円以上5億円未満）が生じたもの

### ○ B2 級事故

- ① A級、B1級又はC1級事故が発生した日から1年を経過しない間に、同一事業所においてC1級事故が発生した場合
- ② B2級事故が発生した日から1年を経過しない間に、再び同一の事業所においてC1級事故が発生した場合

### ○ C1 級事故

- ① 重傷者及び軽傷者の合計が1名以上5名以下かつ重傷者1名以下のもの
- ② 爆発又は火災等により建物又は構造物の損傷等の物的被害（直接に生ずる物的被害の総額が1千万円以上1億円未満）が生じたもの

### ○ C2 級事故

爆発又は火災等により建物又は構造物の損傷等の物的被害（直接に生ずる物的被害の総額が1千万円未満）が生じたもの

○ 喪失・盗取

火薬類、譲受許可証、譲渡許可証若しくは運搬証明書の喪失又は盗取

○ 異常事象

上記のいずれの事故にも該当しないものの、事故又は災害に繋がる可能性のあった危険な事象（ヒヤリハット事象）で、事故及び災害防止の観点から、広く関係者に共有すべきもの

### 第3章 事故が発生した場合における対応

#### 3-1. 保安 G における対応

2-2.(2)の事故（異常事象を除く。）が発生した場合の保安 G における対応について、詳細を以下のとおり定める。

(1) 事故対応の担当課室等

① 担当課室

・ 鉱山・火薬類監理官付（以下「**鉱火付**」という。）

② 担当課室の課室長

・ 鉱山・火薬類監理官（以下「**監理官**」という。）

③ 担当課室の担当者

・ 火薬担当者（以下「**火薬班**」という。）

(2) 事故に係る情報収集及び連絡

火薬班は、事故が発生した地域を管轄する監督部（以下「**担当監督部**」という。）から、以下の【情報収集項目】に沿って情報を収集し、事故等の分類に応じて、産業保安事故対応マニュアルに規定する関係者に連絡する。

事故発生直後で不明確な項目がある場合には、知り得る限りの情報を連絡することとし、その後情報が得られた項目については、随時追加連絡する。

また、事故の分類にかかわらずテレビ又は新聞等（NHK 全国放送/民間全国放送/全国紙(ネットニュース含む。)）で報道がなされている場合には、B1 級以上の事故と同等の宛先に（報道多数）として共有する。

SNS 等を通じて事故の発生を覚知した場合は、担当監督部を通して事実確認を含めた情報収集を進める。

【情報収集項目】

1. 事故の種類（なお、火薬類取締法以外の法令の適用を受ける場合にあっては、その法令）
2. 事故発生の日時（曜日を記入、時間は 24 時間表記）
3. 事故発生の場所
4. 事故の概要
  - ①取扱いの種類(製造、消費等)、②概要、③事故に関係する事業者及び④火薬類の種類及び数量
5. 事故の被害状況（人的被害(死者、重傷者、軽傷者別)、物的被害の状況等）
6. 事故の原因
7. 事業者及び関係機関の対応状況並びに復旧見通し
8. 法令違反の有無及びその内容
9. 規制主体及び担当都道府県等関係行政機関がとった措置
10. その他参考となる事項（報道状況、職員等派遣状況等）

【収集した情報を省内関係者に報告する際のメール件名】

【○級事故】【第○報】○○株式会社の○○工場での爆発火災事故について(死亡○名/重傷○名)

(3) 事故現場への鉱火付の職員等の現地派遣 [略]

(4) 事故発生直後の緊急措置 [略]

(5) 事故の原因究明、再発防止対策の検討等

- ① 事故を起こした製造業者、販売業者、消費者その他火薬類を取り扱う者（以下「**事故当事者**」という。）に対し、事故の内容に応じて、火取法第 46 条第 2 項の規定に基づく事故報告の提出を求めるよう、鉱火付は、担当監督部又は担当都道府県等に対し指示又は要請する（又は担当監督部若しくは担当都道府県等が自ら実施する）。
- ② 鉱火付は、担当監督部又は担当都道府県等に対し、専門家の意見も踏まえ、重点的に確認すべき項目や対応すべき内容について指示又は要請する。

(6) 事故調査委員会の設置等

- ① 鉱火付は、A 級事故、B1 級事故又はその他保安行政上重要な問題を含んでいると認められる事故であって、事故原因の究明及び今後の対策の検討のため、専門家による組織的な調査が特に必要である場合、事故の内容に応じた学識経験者等により速やかに事故調査委員会（以下「**委員会**」という。）を設置し調査を行う。
- ② 委員会は、当該事故調査に最も適切な学識経験者数名をもって編成する。
- ③ 委員会は、必要に応じて現地調査を行う。
- ④ 委員会は、原因究明のため必要なときは、関係機関の協力を得て、事故の再現実験等所要の実験研究を行う。

(7) その他の措置 [略]

### **3-2. 担当監督部における対応**

- (1) 事故発生の連絡のタイミング [略]
- (2) 情報収集の項目 [略]
- (3) 事故現場等への担当監督部の職員の現地派遣 [略]
- (4) 事故発生直後の緊急措置 [略]
- (5) 事故の再発防止対策等 [略]
- (6) 経済産業局との連携 [略]

## **第 4 章 事故等報告**

### **4-1. 事故等報告の方法**

- (1) 事故報告 [略]
- (2) 異常事象報告 [略]
- (3) 事故等報告の整理及び分析等

#### **附則**（令和 7 年 5 月 30 日 20250526 保局第 1 号）

本実施細目は、令和 3 年 5 月 20 日から施行する。

あわせて火薬類事故措置マニュアル(平成 24 年 9 月 19 日付け 20120919 商局第 50 号)を廃止する。

(別添) 都道府県等における火薬類事故対応マニュアル [略]

(別紙 1) 煙火の消費中事故における危険な事象について [次ページ以降に掲載]

(別紙 2) 煙火消費中事故の原因と対策 [略、本報告書本文最終ページの煙火消費中事故の原因と対策と同じ]

(様式 1-1) 事故等報告（報告段階：速報・中間報告・確報） [略]

(様式 1-2) 添付資料【火薬類の消費中（煙火・がん具煙火を除く。）の事故の場合】 [略]

(様式 1-3) 添付資料【煙火の消費中の事故の場合】 [略]

(様式 2) 煙火消費中の異常事象報告 [略]

(様式 2) がん具煙火消費中の事故・異常事象の報告 [略]

## 煙火の消費中事故における主な事象について

## 1. 煙火消費中における危険な事象とその分類の例示

煙火消費中に発生した危険な事象については、主な事象ごとに、以下に整理した例示に沿って、C2 級以上の事故又は異常事象として分類する。その他の事象が発生した場合は、これらの例示を参考に個別に判断すること。

なお、各事象の定義については、別紙 2「煙火消費事故の原因と対策」を参照のこと。

## (1) 火災

人的被害あり	-			C1 級以上
人的被害なし	物的被害あり	-		C2 級以上 (被害金額に応じて)
	物的被害なし	安全距離外(※1)で、 下草・枯草・芝生の焼失のみ(※3)	-	異常事象
		安全距離内(※2)で、 下草・枯草・芝生の焼失のみ(※3)	火災認定あり(※4)	異常事象
		火災認定なし(※4)	事故・異常事象としない	

※1 安全距離外：煙火の設置又は消費場所から見て、人の集合する場所及び建物等に対して確保した安全な距離の外側のこと。

※2 安全距離内：煙火の設置又は消費場所から見て、人の集合する場所及び建物等に対して確保した安全な距離の内側のこと。

※3 がん具煙火を除く。

※4 火災認定の有無は、消防の判断による。

## (2) 黒玉

人的被害あり	-			C1 級以上
人的被害なし	物的被害あり	-		C2 級以上 (被害金額に応じて)
	物的被害なし	規制開始から現場片付け及び清掃が完全に終了するまでに発見	安全距離外	異常事象
			安全距離内	事故・異常事象としない
		上記以降に発見	-	異常事象

## (3) 落下物 (部品落下、残滓)

人的被害あり	-	C1 級以上
人的被害なし	物的被害あり	C2 級以上 (被害金額に応じて)
	物的被害なし	事故・異常事象としない

注) 物的被害のない場合、原則として事故等としない。ただし、煙火が正常に開発すれば発生しない想定外の大きさのものが観客席やその近傍に落下した場合や、煙火の部品が安全な距離をはるかに超え、想定外の距離まで飛散した場合等、危険な事象であると都道府県等が判断するものは、異常事象とする。

## (4) 過早発・低空開発

人的被害あり	-	C1 級以上
人的被害なし	物的被害あり	C2 級以上 (被害金額に応じて)
	物的被害なし	異常事象

(5) 地上開発・筒ばね・異常飛翔・異常燃焼

人的被害あり	—	C1 級以上
人的被害なし	物的被害あり	C2 級以上 (被害金額に応じて)
	物的被害なし	異常事象

(6) その他

- ・ 誤発射は、原則として事故等としない。ただし、作業員の準備作業中に作業員の近傍で発生したもの等、危険な事象であると都道府県等が判断するものは、異常事象とする。
- ・ 未着火及び未発射については、事故及び異常事象としない。

**2. 物的被害について**

煙火消費に伴う物的被害とは、事故によって直接に生ずる物的被害のこととし、その有無の判断は都道府県等で行う。

なお、火災における物的被害については、消防が火災報告する際の損害額の有無によって判断する。（損害額が発生していれば、物的被害ありと判断する。）

(物的被害となる例)

- ・ 建物や林野などの火災で、消防による火災報告において損害額が発生した場合
- ・ 筒ばね等によって発生した破片が飛散し、他者の所有物が破損した場合

(物的被害とならない例)

- ・ 河川敷の下草火災などで、消防による火災報告において損害額が発生していない場合
- ・ 消費に使用する消費者所有の設備又は機器に被害が生じた場合（筒ばねによる煙火筒の破損、動物用駆逐煙火の異常燃焼によるホルダー破損等）

## 過去 10 年間の事故等一覧表

(注) 「死」欄は死者数、「重傷」欄は重傷者数、「軽傷」欄は軽傷者数、「旧級」欄は事故等発生年当時の事故分類、「新級」欄は令和 7 年に改正された分類定義で見直した事故等分類で、「H」は異常事象を表す。

### 事故一覧 (平成 28 年)

No.	種類	取扱	発生日時	発生場所	死	重傷	軽傷	旧級	新級	事故概要
1	産業火薬	消費中	2016/1/8 10:35 頃	千葉県 鋸南町	0	0	0	C	C2	【その他】採石場において、硬岩掘削の発破作業の振動により、県道鴨川保田線に長さ 10m にわたり岩石が落下した。また、それに伴い NTT 及び KDDI の光ケーブルが断線した(翌日に配線場所を変更して復旧済み)。発破作業 1 分前から上下線とも通行止にしていたため通行車両等に被害はなし。流出した土石撤去及び崩落危険の岩石撤去後、19 日間片側交互通行規制を行った。
2	産業火薬	消費中	2016/1/18 12:15 頃	岩手県 陸前高田市	0	0	0	B	B2	【その他】高台移転工事、陸前高田今泉地区南進入路造成のため、せん孔長 3.7m×75 孔、せん孔長 3.0m×5 孔の合計 80 孔を、冠水箇所を挟んで 2 箇所の発破を行った。80 孔のうちの 1 孔が弱装薬による鉄砲現象を発生させゴムマットを破損(2 分割)大きく吹き上げらせ、強風に乗り約 52m 離れた民家の屋根に当たり、瓦 9 枚、雨樋約 1m を破損した。※同一事業所における 1 年以内の事故のため B 級事故となる。
3	産業火薬	製造中	2016/2/2 13:35 頃	千葉県 市原市	0	1	2	C	C1	【発火】充填工室において、作業員 5 名が信号炎管(自動車用緊急保安炎筒)に発炎薬を充填機により充填作業中に、充填槽付近にて発火し、充填槽内の発炎薬に着火し火災が発生し(発火後、約 5 分後に鎮火)、近傍で作業をしていた 1 名が重傷(顔面 2 度・腹部熱傷)、2 名が軽傷(手の熱傷 1 名、右耳の痛み 1 名)を負った。
4	煙火	消費中	2016/2/6 20:45 頃	山梨県 笛吹市	0	0	0	C	H	【火災】河川敷にて冬花火の打揚げ(4 号まで)が実施されていたところ、煙火の残り火が風にあおられ消費位置から約 160m 離れた対岸(安全距離外)の枯草に落下し、延焼拡大した。[晴れ、風速 4m/s、安全距離 65m]
5	煙火	その他	2016/3/29 9:53 頃	宮城県 宮崎市	0	0	0	C	C2	【火災】花火大会で不発となった通称小型煙火の中空紙パイプ 1 本(消費場所で水を掛ける等の処置済み)を、外装の段ボール等とともにドラム缶で焼却していたところ、中空紙パイプから星が飛散し、焼却場所から約 30m 離れた山林の斜面中腹に着火し、約 140m <sup>2</sup> 延焼した。
6	煙火	製造中	2016/4/15 14:10 頃	福岡県 北九州市	0	0	0	C	C2	【火災】煙火製造所において、星の日乾準備として直射日光を避けるため、資材倉庫(屋根は半透明の塩化ビニール製波板)にて星の選別作業を行っていたところ、ステンレス製のボウルに入れていた星から発火。星の他、資材(もみ殻、綿実、プラスチックケース等)に延焼。作業をしていた社長が直ちに 119 番通報するとともに、全従業員に対し退避を指示。消防において約 30 分後に鎮圧した。
7	産業火薬	その他	2016/4/25 14:50 頃	高知県 須崎市	0	1	0	C	C1	【暴発】家族 3 人(父親、兄、女兒)で釣りをしていた 10 歳の女兒が、岸壁で「筒状」の物体(信号火せんとは判明)を見つけて物体の下部を回していたところ、突然爆発して顔面を負傷(顔面 7 針縫う裂傷、陥没骨折)した。
8	がん具煙火	消費中	2016/5/22 16:15 頃	島根県 出雲市	0	0	0	C	H	【火災】中学生 3 人でロケット花火 20 個を打ち上げていたところ、風に乗って花火が河川敷の枯草に落ちて着火し、908m <sup>2</sup> を焼失した。[最大風速 7.9m/s]
9	煙火	消費中	2016/6/2 19:50 頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	C	H	【火災】花火大会で、消費を終えた通称小型煙火が着火し、台船上で 10 分間にわたり燃焼した。花火大会終了後に従事者が消火した。[晴れ、最大風速 7.1m/s、安全距離 70m]
10	煙火	消費中	2016/6/15 20:35 頃	静岡県 静岡市	0	0	0	C	H	【地上開発】神社奉納花火大会において、仕掛煙火(2.5 号の玉皮半分)に星と雷粒 2 個をのせ、スターメイン方式で打ち揚げたものを消費中に、雷粒 1 個が消費位置から約 55m(安全距離外)の道路上に落下し開発した。[曇り、風速 1m/s、安全距離 30m]
11	産業火薬	製造中	2016/6/20 9:20 頃	福島県 西郷村	0	0	2	C	C1	【発火】硝酸塩を主とする火薬を混和するため原料を混和機で混和中、混和していた原料 100kg が発火した。操作者は遠隔で操作していたが、混和室の隣室にいた作業員 2 名が軽傷を負った。物的被害としては、混和機 1 台焼損、ドア及び窓のガラス数箇所の割れがあった。
12	煙火	消費中	2016/6/25 19:40 頃	秋田県 由利本庄市	0	0	0	C	H	【火災】漁港まつりで打ち揚げられ開発した煙火(4 号まで)の一部が風に流され、消費位置から約 600m 離れた林野(安全距離外)に落下し着火、国有林約 10m <sup>2</sup> を焼失した。火災は当該祭りのため配置されていた消防団員により消された。[曇り一時雨、最大風速 6m/s、安全距離 110m]
13	煙火	消費中	2016/7/7 20:30 頃	滋賀県 甲賀市	0	0	0	C	H	【異常燃焼】神社七夕まつりにおいて、総数 25 本の手筒煙火を順次消費中に、火薬量 2,400g(6 本目)が保持する前にハネを起こし、その後同火薬量の(9 本目)が従事者の保持直後に斜め状態でハネを起こした。また、火薬量 1,600g(21 本目)が同様に斜め状態でハネを起こし、詰め物(新聞紙等)や砂利が後方に飛散したため、従事責任者の判断により 4 本を残し、消費を中止した。[最大風速 5.4m/s、安全距離 17m]
14	煙火	消費中	2016/7/17 20:16 頃	愛知県 常滑市	0	0	0	B	H	【過早発】神社奉納花火において、発射の約 2 秒後に消費される通称小型煙火が、発射直後に消費されたため、打ち揚げを一時中断し、消防及び警察で設置済みの煙火に異常が無いことを確認の上、打ち揚げを再開した。※同一事業所における 1 年以内の事故のため B 級事故となる。[曇り、風速 2.7m/s、安全距離 50m]

15	煙火	消費中	2016/7/22 20:00~21:00 頃	三重県 鳥羽市	0	0	0	C	C2	【部品落下】花火大会において、打揚煙火(10号まで)の燃え残りにより消費位置から約350m地点(安全距離外)の屋上で購入待ちをしていた観客1名のかバン及びスポンが焦げた。[曇り、最大風速5.4m/s、安全距離240m]
16	煙火	消費中	2016/7/24 20:40頃	北海道 七飯町	0	0	0	C	H	【筒ばね】花火大会における煙火消費中に、電気点火により台船から打ち揚げ予定だった煙火(2号玉スターメイン1発)が筒ばねを起こした。[曇り、風速1m/s、安全距離80m]
17	煙火	消費中	2016/7/30 20:51~21:00 頃	福島県 いわき市	0	0	0	C	H	【黒玉】花火大会で、スターメイン用2.5号玉2個が消費位置から約10m付近(安全距離内)に開発せず落下した。打揚場所はパークゴルフで利用される場所で、当該黒玉は草むらに落下していたため、翌々日の朝まで発見に至らなかった。[晴れ、最大風速5.0m/s、安全距離130m]
18	煙火	消費中	2016/7/30 20:30頃	福島県 福島市	0	0	0	C	H	【火災】花火大会において、煙火の火の粉が公園外縁部に燃え移り、消費位置から15~20m地点(安全距離内)の下草2箇所(5.6m×6.1m、15.2m×5.2m)を焼失した。なお火災は、予め待機していた消防の消火活動により鎮火した。[晴れ、最大風速6.4m/s、安全距離250m]
19	煙火	消費中	2016/8/2 20:37頃	岐阜県 下呂市	0	0	0	C	C2	【部品落下】花火大会において、通称小型煙火100個を消費中、消費場所から約80m離れた歩道橋上(安全距離外)で見物していた女性のハンドバッグ内に燃え残りが入り、ハンドバッグ及び収容物が焦げた。[雨、最大風速5.4m/s、安全距離65m]
20	煙火	消費中	2016/8/3 6:00頃	福島県 北塩原村	0	0	1	C	C1	【異常燃焼】【その他】動物駆逐用煙火(5連発)を猿の追い払いのため、手持ち(素手、専用ホルダなし)で使用していたところ、1~3発目が不発のまま、4発目が暴発し、左人差し指に軽傷を負った。なお、当該煙火は、回収品とは知らずに村が昨年度購入し配布したものの。
21	煙火	消費中	2016/8/6 19:20頃	東京都 板橋区	0	0	0	C	H	【部品落下】花火大会において、招待席(安全距離外)で観覧していた女性の左胸に、直径1.5cm長さ5cm程の円柱状の燃えかすが当たった。救護所ですぐに診療し、本人が痛みを訴えたため、病院へ搬送したが、外傷はなく、検査は行わずに診察を終了した。[晴れ、風速1m/s、安全距離65m]
22	がん具煙火	消費中	2016/8/6 20:15頃	岐阜県 多治見市	0	0	1	C	C1	【火傷】3歳女児が、手持ち噴出花火を持って遊んでいたところ、吹き出している火花を自分の胸元に向けたため、衣服が燃え胸部に火傷を負った。
23	煙火	消費中	2016/8/7 20:20頃	静岡県 浜松市	0	0	0	C	H	【地上開発】湖上の花火大会において、打揚煙火20号玉1個が上空で開発せず、消費位置(打揚台船)から約20m(安全距離内)の湖上に落下し、水中で開発した。[晴れ、最大風速3.7m/s、安全距離300m]
24	煙火	消費中	2016/8/7 20:50頃	長野県 千曲市	0	0	0	C	H	【火災】花火大会において、中州で煙火(7号まで)を打ち揚げたところ、消費位置から約200m離れた中州(安全距離内)の下草に煙火の火の粉が着火し、下草約3,515m <sup>2</sup> が焼損した。[晴れ、風速2.8m/s、安全距離250m]
25	煙火	消費中	2016/8/8 20:20頃	滋賀県 大津市	0	0	0	C	H	【火災】湖上の花火大会において、水中スターメイン(10号まで)を消費中、煙火の火の粉が飛散し、消費位置から約150m(安全距離内)離れた防波堤上の刈り取った枯草に着火し、枯草約10m <sup>2</sup> が焼失した。[晴れ、最大風速8.3m/s、安全距離280m]
26	煙火	消費中	2016/8/10 20:00頃	山形県 酒田市	0	0	0	C	H	【黒玉】老人ホームの夏祭りにおいて、打揚煙火消費中、4号玉1個が開発せずに消費位置から約20m地点(安全距離内)の水が入っている水田に落下した。なお、黒玉については2日間捜索が行われたが発見には至らなかった。[晴れ、最大風速5.1m/s、安全距離55m]
27	がん具煙火	消費中	2016/8/11 15:30頃	岡山県 井原市	0	0	0	C	C2	【火災】自宅で、スズメを追い払うためにロケット花火3発を水田に向け、1発を自宅付近の山林擁壁に向けて消費したところ、消費から約3時間後に消費方向付近の自宅物置から出火した。なお、自宅付近に向けた1発は不発と考えられる。
28	煙火	消費中	2016/8/11 17:50頃	宮城県 東松原市	0	0	0	C	H	【黒玉】夏まつりにおいて煙火(3号玉)打揚を行った5日後に、付近住民が消費場所から130m離れた空地(私有地で安全距離外)から黒玉1個を発見した。[晴れ、風速1.3m/s、安全距離60m]
29	がん具煙火	消費中	2016/8/12 4:47頃	大阪府 泉大津市	0	0	0	C	H	【火災】大学生4人で、がん具煙火(打上げ花火)で遊んでいたところ、周囲の雑草に燃え移り、雑草約6m <sup>2</sup> 焼損した。[最大風速3.2m/s]
30	煙火	消費中	2016/8/12 11:00頃	鹿児島県 奄美市	0	0	0	C	H	【黒玉】港内にて海面に不発の煙火玉(4号玉)が浮いているのが発見された。当該煙火玉は1週間前に発見位置から1.5km離れた場所で煙火消費が行われた際に発生した黒玉と推測される。[雨、最大風速10.1m/s、安全距離110m]
31	煙火	消費中	2016/8/13 6:00頃	岐阜県 中津川市	0	0	0	C	H	【黒玉】花火大会が開催された翌日の早朝に、関係者が清掃作業中に消費場所から100m地点(安全距離内)で黒玉(4号玉)を発見した。[曇り、最大風速4.8m/s、安全距離110m]
32	煙火	消費中	2016/8/13 9:40頃	和歌山県 白浜町	0	0	0	C	H	【黒玉】海岸で行われた花火大会において、水中煙火3号玉1個(投げ込み式)が黒玉となり、3日後に消費位置から約440m離れた病院敷地内(安全距離外)において発見された。なお、黒玉は何者かが浜辺から拾って運んできたと推測される。[晴れ、風速4.6m/s、安全距離150m]
33	煙火	消費中	2016/8/13 19:25頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	C	H	【火災】マリナーでのイベント花火(2.5号まで)において、消費終了から10分後に消費場所から120mの地点の空き地(安全距離外)の雑草に着火していることを発見し、主催者及び煙火業者が消火器で3分後に鎮火させた。着火面積は数m <sup>2</sup> 程度。[曇り、風速3m/s、安全距離50m]
34	煙火	消費中	2016/8/13 20:25頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C	H	【火災】スポーツ施設公園における音楽コンサートにおいて、フィナーレ演出用の打揚煙火(2.5号玉)を消費中に、消費位置より40m及び50m地点(安全距離内)の下草に星が落下し、2箇所(合計12m <sup>2</sup> )が焼失した。火は、煙火業者が散水車及び背負い式消火水囊により消火した。[最大風速5.0m/s、安全距離100m]

35	煙火	消費中	2016/8/13 21:00頃	愛媛県 西予市	0	0	3	C	C1	【地上開発】【異常燃焼】海辺のカーニバルにおいて、通称小型煙火を1台目から順番に点火を行い、5台目に点火後に地上で開発し、火花が横に飛び出したため、消費位置から約45m地点(安全距離外)の観客3名に星が当たり負傷した。また、飛び出した星により駐車していた車に傷がついた。[晴れ、最大風速1.0m/s、安全距離40m]
36	煙火	消費中	2016/8/13 21:00頃	北海道 石狩市	0	0	0	C	H	【火災】野外音楽イベントにおいて、スターミン(2号玉、輸入品)の火の粉が、消費位置から約2m~35m(安全距離内)に落下し、雑草の一部の4カ所94.95m <sup>2</sup> を焼いた。[晴れ、最大風速5.0m/s、安全距離50m]
37	がん具煙火	消費中	2016/8/13 19:58頃	大阪府 阪南市	0	0	1	C	C1	【火傷】大学生数人ががん具煙火を消費中、地上に置いた打上げ火花が風にあおられ転倒し、横方向に飛翔した火花が衣類に着火し、1名が火傷を負った。
38	煙火	消費中	2016/8/14 19:58頃	栃木県 茂木町	0	0	0	B	H	【火災】火花大会において、地割れ火花(地面で開花させる火花)5号10発を消費中に、燃えかすが消費位置付近(安全距離内)の下草に着火し、約260m <sup>2</sup> を消失した。※同一事業所における1年以内の事故のためB級事故となる。[晴れ、最大風速6.0m/s、安全距離165m]
39	煙火	消費中	2016/8/14 20:30頃	島根県 安来市	0	0	1	C	C1	【火災】【その他】火花大会において、水中打ち込み煙火(2.5号玉、輸入品)の開発により、消費位置から約78mの安全距離内に自生する枯草が燃え、安全距離内に侵入し見物していた第1発見者が、火たたきによる消火作業を実施中に、誤って側溝に落ち両膝を負傷した。[晴れ、風速2m/s、安全距離90m]
40	煙火	消費中	2016/8/14 20:38頃	愛媛県 松山市	0	0	0	C	H	【火災】祭りの最終イベントであるスターミン(2.5号玉、輸入品)の火花が消費位置から約80m(安全距離外)の小山斜面に落下し、落ち葉等約2m <sup>2</sup> を消失した。[最大風速2.1m/s、安全距離65m]
41	がん具煙火	消費中	2016/8/14 21:45頃	長野県 長野市	0	0	0	C	H	【火災】河川の堤防道路で、がん具煙火(打上げ火花)を消費中、堤防法面の枯草に着火・燃焼し、153.8m <sup>2</sup> を焼失した。
42	煙火	消費中	2016/8/15 20:00頃	大阪府 堺市	0	0	0	C	H	【火災】火花大会において消費した煙火のいずれかの火の粉が、消費場所周辺約20m(安全距離内)の竹林へ落下し、雑草等約500m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、無風、安全距離150m]
43	煙火	消費中	2016/8/16 9:00頃	福井県 敦賀市	0	0	0	C	H	【その他】火花大会において、埠頭に係留された台船上で電気点火による消費準備作業中に、電気導火線の導通試験を実施しようとしたところ、スターミン(2.5号玉連続発射1組)15発が誤って打ち揚がった。[曇り、最大風速5.9m/s、安全距離300m]
44	煙火	消費中	2016/8/20 19:30頃	神奈川県 川崎市	0	0	0	C	H	【火災】【低空開発】火花大会において、煙火消費中に消費済みの通称小型煙火(品名:混合錦冠、玉径70mm、25連)に着火し、周囲の同型煙火にも延焼した。煙火業者が10数分後に消火したが、再び着火し、終了後に鎮火させた。また、当日は雨のため地盤が緩んでいたためか、低空開発の発生が見られた。[雨、最大風速4m/s、安全距離65m]
45	煙火	消費中	2016/8/20 20:40頃、 21:30頃	山形県 鶴岡市	0	1	2	B	C1	【部品落下】火花大会(8号と20号)において、煙火玉の破片が上空の強風に流され消費位置から約270m及び約260m地点(安全距離外)の観客席に落下し、観客2名が軽傷を負い、その後消費位置から約380m地点(安全距離外)に破片が落下し、観客1名が重傷(前頭骨骨折)を負った。※全国紙報道3社以上のためB級事故となる。[晴れ、最大風速8.9m/s、安全距離8号210m、20号300m]
46	煙火	消費中	2016/8/20 22:00頃	福岡県 北九州市	0	0	0	C	H	【火災】火花大会において、煙火(3号まで)消費終了後に、消費位置から約40m(安全距離内)の竹林で火災が発生し、待機していた消防団と煙火業者が消火したが、約3時間後に同一竹林内の別の個所で火災が発生した。竹林内3箇所243m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、風速3m/s、安全距離80m]
47	がん具煙火	消費中	2016/8/21 19:53頃	大阪府 泉大津市	0	0	0	C	H	【火災】河川敷で男子高校生ががん具煙火(連発式打上げ火花と思われる)の打上げが終わったと思い、当該火花を下に向けたところ、残っていた2発が発射し雑草等に燃え移り、約500m <sup>2</sup> を焼損した。
48	煙火	消費中	2016/8/26 19:20~19:50 頃	神奈川県 平塚市	0	0	2	C	C1	【部品落下】【残滓】火花大会(10号まで)で、打ち揚げた煙火の破片等が消費位置から約400m地点(安全距離外)の観覧席に落下し、見物客2名が負傷。70代女性が破片の落下により額を切り3鉢縫い、男児の目に残滓が入ったもの。[晴れ、最大風速5.5m/s、安全距離300m]
49	煙火	消費中	2016/8/27 20:00頃	福島県 いわき市	0	1	0	C	C1	【異常飛翔】夏まつりにおいて、最後の通称小型煙火(ブロック4個で固定)を消費した際に、導火線に点火し避難しようとしたところ、発射された煙火部品(内筒と思われる。)が想定する方向とは別方向に飛び、点火者に当たった。[雨後曇り、風速3m/s、安全距離20m]
50	煙火	消費中	2016/8/27 20:30頃	福岡県 福岡市	0	0	0	C	H	【火災】学校の夏祭りにおいて、グラウンドで通称小型煙火を消費終了後に、消費位置から約20m(安全距離内)の空き地(雑草地)で出火を確認。直ちに関係者が消火器3本による初期消火を実施したが鎮火しなかったため、消防車が出動し消火した。焼失面積は8m <sup>2</sup> 。[風速3m/s、安全距離30m]
51	産業火薬	消費中	2016/8/29 16:10頃	山口県 山口市	0	0	0	C	C2	【その他】道路改良工事(主要県道山口徳山線)において、法面岩盤掘削のため破碎を行ったところ、破碎した岩石及び土砂が落石防止用に設置してあった工所用矢板を破壊して一部県道へ流出し、約1週間の通行止めとなった。
52	産業火薬	その他	2016/9/6 16:10頃	愛知県 豊山町	0	0	1	C	C1	【発火】航空機用の火工品を取り出す作業中に当該火工品が発火し、作業員1名が軽傷(左指熱傷及び挫創。縫合処置等は不要で塗薬の塗布のみ。)を負った。
53	煙火	消費中	2016/9/11 9:00頃	愛知県 豊橋市	0	0	0	C	H	【黒玉】祭典において打揚煙火(5号玉)を消費中、4発目を打ち揚げたところ開発しなかったため、すぐに周囲を捜索したが、周囲が暗くなり確認が難しくなったため、捜索を翌朝に延期した。翌朝、捜索開始前に市民が消費位置から約220m地点(安全距離外)で黒玉を発見し110番通報し回収した。[曇り、風速2m/s、安全距離160m]

54	煙火	消費中	2016/9/18 20:05 頃,20:35 頃	長野県 阿南町	0	0	0	C	H	【黒玉】煙火大会において、打揚煙火 2 個が黒玉となり地上に落下した。黒玉は打揚後直ちに関係者が搜索し 8 号玉は消費位置から約 20m 地点、5 号玉は消費位置から約 40m 地点(いずれも安全距離内)で発見回収した。[雨、安全距離 8 号 120m、5 号 40m]
55	がん具煙火	消費中	2016/9/24 19:40 頃	山口県 和木町	0	0	1	C	C1	【火傷】4 歳男児ががん具煙火(手持ち花火)で遊んでいたところ、火のついた花火を振り回したことにより、履いている長靴の中に約 5cm の花火の灰が入り火傷を負った。
56	煙火	消費中	2016/10/1 19:05 頃	愛知県 新城市	0	1	1	C	C1	【異常燃焼】神社祭礼において、手筒煙火 2 本を同時に消費中、内 1 本が始めのうちは炎の噴出が少なく様子をうかがっていたところ、炎が噴き出し始め、通常通り炎が安定してきたので、消費者が手筒を抱え垂直になるように抱え上げようとしたところで手筒が突然破裂し、従事者 2 名が負傷した。[曇り、風速 0.4m/s、安全距離 20m]
57	煙火	消費中	2016/10/8 20:20 頃	埼玉県 鴻巣市	0	0	0	C	H	【筒ばね】花火大会で 40 号玉打ち揚げの際、筒ばねと推定される事象が発生。打揚筒は鋼製で上部約 1.3m が、内側から外側にめくれるように破損し、大部分は周囲に飛散した。[曇り、最大風速 1.9m/s、安全距離 700m]
58	煙火	消費中	2016/10/16 14:21 頃	愛知県 安城市	0	0	0	C	H	【火災】打揚煙火(3 号玉)を単発打揚消費中、火種(ロー火)が煙火玉の発射と同時に筒の外へ飛びだし、消費位置から約 3m 付近(安全距離内)の稲株等に着火し、約 2,800m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、風速 6m/s、安全距離 100m]
59	煙火	消費中	2016/10/22 19:50 頃	愛知県 名古屋市	0	0	0	C	C2	【火災】煙火(3 号まで)を消費中、台船に装備されているアンカーワイヤー巻取り機の保護用シート及びスイッチボックスを焼損した。[曇り、最大風速 3m/s、安全距離 100m]
60	煙火	消費中	2016/11/6 15:03 頃	愛知県 岡崎市	0	0	0	C	H	【火災】例大祭において、打揚煙火 3 号玉 15 個を消費中、最後の 3 個を打ち揚げた際、消費位置から約 240m 地点の田(安全距離外)に煙火の火の粉が落下し、稲わら等約 22.5m <sup>2</sup> が焼損した。[晴れ、最大風速 9.6m/s、安全距離 100m]
61	産業火薬	消費中	2016/11/22 10:00 頃	岩手県 遠野市	0	0	0	C	C2	【飛石】岩石採取のため、1 孔当たり 16.55kg の発破孔を 2.5m 間隔で 10 本使用し発破を行ったところ、約 500m にある民家に飛石が飛散し、トタン屋根 20cm×15cm が破損した。
62	煙火	消費中	2016/11/26 17:50 頃	長野県 安曇野市	0	0	0	C	C2	【残滓】結婚式会場で演出効果として煙火(2 号玉)を消費中に、火の粉の一部が消費位置から約 35m 離れた民家(安全距離外)の塩化ビニル製の屋根に落下し、直径 5mm~1cm 焼損した。[晴れ、風速 5m/s、安全距離 30m]
63	煙火	消費中	2016/12/3 23:27 頃	埼玉県 秩父市	0	0	0	C	C2	【火災】夜祭の煙火(10 号まで)消費において、煙火の火の粉等により消費位置から約 200m 地点(安全距離内)の牧場内で火災が発生し、畜舎等約 100m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、最大風速 1.0m/s、安全距離 220m]
64	産業火薬	その他	2016/12/7 7:15 頃	愛媛県 伊予市	0	0	1	C	C1	【廃棄中】自宅納屋を清掃して出た廃棄物を、自身が所有するみかん畑脇の道路付近でまとめて焼却していたところ、突然爆発し、負傷(顔面、頸部、前胸部、両手首、右ひざに 2 度熱傷。2 日間入院。全治 10 日。)した。
65	煙火	製造中	2016/12/12 15:45 頃	静岡県 藤枝市	0	2	0	B	B1	【発火】煙火製造所内において、露天のテント内で試製中の煙火(配合薬と思われる)が何らかの原因で発火、爆発し、作業員 1 名が全身火傷と左手首先失(その後 12/20 に死亡)、もう 1 名が顔面・手首に火傷を負った。直径 40cm、深さ 5cm の漏斗孔があいていることから、威力の強い配合薬もあったと思われる。なお、試製場所に存置していた配合薬の種類、薬量、組成等については当事者以外には把握しておらず、特定されていない。
66	産業火薬	その他	2016/12/20 16:00 頃	大阪府 岸和田市	0	0	1	C	C1	【廃棄中】68 歳男性が自宅付近の河川敷にて実包約 20 個を廃棄するため焼却していたところ、爆発し、金属部分が前額部にあたり負傷(前額部打撲挫創)した。

事故一覧（平成 29 年）

No.	種類	取扱	発生日時	発生場所	死	重傷	軽傷	旧級	新級	事故概要
1	産業火災	消費中	2017/2/27 8:50 頃	宮城県 石巻市	0	1	0	C1	C1	【暴発】用材採取用の粘板岩(幅 11m、奥行 1.9m、高さ 0.8m)を上下に割るため、ドリルで水平に穿孔(直径 2.6cm、深さ 67cm)し、その孔内にビニール袋に入れた黒色火薬及び導火線を入れ、砂利(3mm~5mm)による詰め物を行い、真鍮製の詰め棒で突き固めをしていたところ爆発し、負傷した。(重傷 1 名:左手指第 4,5 指欠損)
2	産業火災	その他	2017/3/14 15:20 頃	大阪府 大阪市	0	0	1	C1	C1	【暴発】倉庫内において、訓練用発煙用品と誤認して、火工品(火薬量 2g)をスチール缶に入れて着火したところ、スチール缶が破裂し、軽傷(右手第 3, 4 指の打撲)を負った。
3	がん具煙火	消費中	2017/3/20 14:26 頃	山形県 東根市	0	0	0	C2	H	【火災】空港において、鳥追いのために使用したロケット花火の残り火が枯草に着火し、着陸帯及び草地 8,750m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、風速 5m/s]
4	がん具煙火	消費中	2017/3/30 11:00 頃	富山県 射水市	0	0	0	C2	H	【火災】ゴルフ場のコース内で、モグラ駆逐のため、着火した緊急保安炎筒を巣穴に入れたところ、火が周辺に燃え広がった。当該作業は、今回初めて試験的に実施したもので、付近に水を入れたバケツを準備していたが、消火しきれず燃え広がり、ゴルフコース内の雑草等約 940m <sup>2</sup> を焼失した。
5	産業火災	製造中	2017/4/5 15:20 頃	群馬県 高崎市	0	0	0	C1	C2	【試験中】誘導弾の機能試験中に、ロケットモータが発火し、試験装置等が破損した。
6	産業火災	消費中	2017/4/18 22:37 頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	C1	C2	【火災】高速道路入口の消火栓箱の点検において、車線規制のために道路作業用信号焰管を使用。その際、点火された信号焰管が道路上のラバーポールに接触したため、時間の経過とともに着火した。当該入口を車で通過した者が火災を発見し、ペットボトルの水で消火した後で料金所の職員に知らせた。職員から連絡を受けた管制室が消防へ通報。(消防による消火活動はないものの、火災認定はあり。)
7	煙火	消費中	2017/5/1 20:01 頃	和歌山県 白浜町	0	0	0	C1	H	【火災】テーマパークにおいてショー演出のために仕掛煙火(乱玉方式で内筒を発射するもの)を消費中に、消費位置から約 80m(安全距離外)の敷地内の雑木林を焼失した。[曇り、最大風速 4.1m/s、安全距離 50m]
8	産業火災	消費中	2017/5/19 10:00 頃	鹿児島県 肝付町	0	0	0	C1	C2	【飛石】採石場において火薬類消費中に飛石(20cm 大)が発生し、約 400m 離れた民家の軒 1 箇所を貫通し、窓ガラス等を破損した。
9	がん具煙火	消費中	2017/5/25 5:40 頃	宮城県 気仙沼市	0	0	1	C1	C1	【火災】ガラスの鳴き声がうるさかったため、住宅 2 階の窓からロケット花火 3 本に火をつけて屋外に向け打ち上げ、部屋を離れた後、同室のカーテンから炎が上がり住宅が全焼した。初期消火を行った居住者が軽傷を負った。
10	煙火	その他	2017/5/25 13:50 頃	長野県 上田市	0	0	1	C1	C1	【暴発】高齢の女性が、亡くなった配偶者の遺留品を整理し、不要になったものを自宅敷地内で焼却処分していたところ、燃えている不要品の中から異音が生じたため覗き込んだ際に突然破裂し、顔に火傷を負った。現場に駆け付けた消防が、近隣住民や親族から聞いた状況及び残された残骸等から推測すると、不要品の中に混じっていたらつきょう型煙火(長さ 6cm、球状部直径 3cm)が破裂したと思われる。
11	がん具煙火	消費中	2017/5/25 21:00 頃	北海道 札幌市	0	0	0	C1	C2	【火災】一般住宅屋外のウッドデッキ上で、がん具煙火(手持ち花火)を使用したところ、ウッドデッキが焼損した。
12	煙火	消費中	2017/5/27 20:45 頃	山口県 山口市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会終了後、警戒に当たっていた消防隊が消費位置から約 30m 付近(安全距離内)の隣接する松林内から煙が上がっているのを確認したため、松林内を探索したところ雑木及び下草(約 6m <sup>2</sup> )が燃えているのを発見し消火した。[晴れ、風速 1.5m/s、安全距離 220m]
13	産業火災	消費中	2017/5/29 15:40 頃	福島県 いわき市	1	0	0	B1	B1	【飛石】採石場にて発破作業をしていたところ、発破で飛散した岩石が、砕石作業用のショベルカーの窓を破り、乗車していた男性作業員の腹部に直撃した。事故発生時、当該ショベルカーは発破場所から 50m 離れて待機していたものの、岩石が想定を超えて飛散したものと考えられる。負傷者は現場に到着のドクターヘリによる応急処置の後、同様に現場へ到着した救急車にて病院へ搬送し、集中治療室で処置を行ったものの、同日 20 時頃に死亡。
14	がん具煙火	消費中	2017/6/4 15:50 頃	香川県 高松市	0	0	0	C1	C2	【火災】男子中学生 5 名が、がん具煙火(煙玉)等で遊んでいたところ、風に吹かれた煙玉が転がり下草火災が発生。予め用意していたバケツの水で消火を行うとするも、消火できないと当事者自らが判断し、消防へ通報した。火災の結果、下草約 44m <sup>2</sup> を焼失、電柱支持線保護カバー 2 本の一部を焼損した。
15	煙火	消費中	2017/7/16 20:52 頃	大分県 津久見市	0	0	0	C1	C2	【過早発】花火大会において、台船上で 10 号玉の 60 段打ちを実施中に、11 発目が過早発となり、台船のキャビンの窓ガラス 3 枚を破損した。[晴れ、風速 1.6m/s、安全距離 250m]
16	がん具煙火	消費中	2017/7/16 21:38 頃	和歌山県 由良町	0	0	1	C1	C1	【火傷】子供数人が手持ち花火で遊んでいたところ、火花が幼児の顔に当たり、軽傷(火傷)を負った。(事故発生時、大人は不在。)
17	がん具煙火	消費中	2017/7/17 16:04 頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C2	H	【火災】河川敷で高校生 5 人程度が、がん具煙火に火をつけて投げて遊んでいたところ、枯草に火種が着火し、周囲の枯草約 470m <sup>2</sup> を焼失した。
18	がん具煙火	消費中	2017/7/18 20:00 頃	長野県 長野市	0	0	0	C2	H	【火災】公園において家族で花火をしていたところ、当事者である小学生(低学年)が手持ち花火を立ち木に向け消費中に、花火の火が立ち木に燃え移った。
19	煙火	消費中	2017/7/22 20:15 頃	三重県 紀北町	0	0	0	C2	H	【黒玉】港で開催された花火大会において、7 号玉を単発(電気点火)で消費中に、1 発が開発せずに海中(堤防の外)へ落下。当日及び翌日に黒玉を探索したが、発見できなかった。[晴れ、安全距離 210m]
20	煙火	消費中	2017/7/22 20:20 頃	岐阜県 各務原市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会において、打ち揚げた 2.5 号玉が上空で開発せず消費位置より約 115m(安全距離外)の観覧場所対岸の墓地内に落下した。なお、黒玉は花火鑑賞者が発見し消防団員に渡した。[晴れ、最大風速 7.2m/s、安全距離 65m]

21	煙火	消費中	2017/7/22 20:41 頃	愛知県 名古屋	0	0	0	C2	H	【異常飛翔】花火大会において、通称小型煙火 1 個が発射による反動で傾き、消費位置から約 41m 地点(安全距離外)の観客がいる方向へ内筒が 3 発ほど飛翔し開発した。[晴れ、最大風速 5.1m/s、安全距離 20m]
22	煙火	その他	2017/7/26 13:50 頃	香川県 坂出市	0	1	1	B1	C1	【火災】煙火製造所で火災が発生して煙火が爆発し、代表者が重傷、従業員 1 名が軽傷を負った。なお、火災は消防車 9 台が出動し約 2 時間後に鎮火した。※全国紙報道 3 社以上のため B1 級事故となる。
23	がん具煙火	消費中	2017/7/26 19:41 頃	北海道 札幌市	0	0	0	C1	C2	【火災】屋外でがん具煙火(手持ち花火)を消費したところ、付近にあったスタッドレスタイヤ 4 本、建物の外壁等が焼損した。
24	煙火	消費中	2017/7/27 20:35 頃	和歌山県 白浜町	0	0	0	C2	H	【黒玉】海岸で行われた花火大会において、4 号玉の斜め打ち(割物)1 発が開発せず海に落下した。大会翌日から 1 週間、主催者及び煙火業者による黒玉の探索がなされたが発見に至らなかった。[晴れ、最大風速 5.8m/s、安全距離 150m]
25	煙火	消費中	2017/7/29 20:00 頃	岐阜県 大垣市	0	0	0	C1	C2	【過早発】花火大会にて煙火(20 号玉 1 個)が、打揚げ直後に開発し、花火大会関係者の車両 2 台が一部損傷した。なお、点火方法は電気点火で、筒上部の複数の星が入った袋に着火させ、燃焼した星が落下し発射筒に点火する方式であった。[晴れ、最大風速 8.2m/s、安全距離 300m]
26	煙火	消費中	2017/7/29 20:10 頃	広島県 廿日市市	0	0	0	C2	H	【低空開発】【筒ばね】【地上開発】花火大会において、スターメイン 4 号玉 20 発を消費中、最初から 7 発目が地上約 10m で開発した後、筒ばね 2 発と地上開発 1 発が発生した。[晴れ、風速 0.3m/s、安全距離 150m]
27	煙火	消費中	2017/7/30 19:50 頃	山形県 新庄市	0	0	2	B1	C1	【筒ばね】花火大会において、スターメイン(3 号と 2.5 号の重ね玉 10 筒、4 号と 2.5 号の重ね玉 1 筒)を直接点火(速火線ヘガスバーナー点火)で消費中に、1 筒目は通常通り打ち揚がったが、2 筒目から 10 筒目が筒ばねし従事者 2 名(点火係及び防火紙を外す助手)がステンレス製打揚筒の破片に当たり負傷した。※全国紙報道 3 社以上のため B1 級事故となる。[晴れ、最大風速 5.4m/s、安全距離 110m]
28	煙火	消費中	2017/8/3 20:45 頃	島根県 邑南町	0	0	0	C2	H	【黒玉】夏祭りで 2.5 号玉を早打ち(焼金式)で消費中、1 発が開発せず地上へ落下した。落下場所は、消費位置直近の水田の中で、3 日間探索したが発見されなかった。[晴れ、風速 1m/s、安全距離 100m]
29	がん具煙火	消費中	2017/8/4 20:40 頃	北海道 札幌市	0	0	2	C1	C1	【火傷】花火大会(がん具煙火のみ使用)において、親子でがん具煙火(市販されている打上げ花火)を鑑賞していたところ、がん具煙火の火の粉が着衣に着火し親子が負傷(火傷)した。
30	煙火	消費中	2017/8/5 20:00 頃	宮城県 仙台市	0	0	0	C2	H	【その他】花火大会終了後、現場確認を行っていたところ、グラスファイバ製の 3 号打揚筒 1 本が破損しているのを発見した。[曇り、風速 1.7m/s、安全距離 110m]
31	煙火	消費中	2017/8/5 20:15 頃	千葉県 千葉市	0	0	0	C1	H	【筒ばね】花火大会において、スターメインの 4 号玉が筒ばねを起こし、ステンレス製筒 4 本を破損した。[晴れ、風速 2m/s、安全距離 120m]
32	煙火	消費中	2017/8/5 20:02 頃	埼玉県 三郷市	0	0	2	C1	C1	【部品落下】河川敷で行われた花火大会(4 号まで)において、消費位置から約 140m 地点(安全距離外)に煙火の一部分が落下し、その火花により花火を鑑賞していた観客 2 名が火傷を負った。[曇り、最大風速 6.0m/s、安全距離 110m]
33	煙火	消費中	2017/8/10 19:40 頃	栃木県 那須町	0	0	1	C1	C1	【異常飛翔】【異常燃焼】湖畔で連日にわたり開催された花火大会において、通称小型煙火(水面打ち出し仕掛 48 連)を発射角度 45 度で消費中に、星の一部と推定される火の粉が消費位置から約 100m 地点(安全距離外)の観客席に飛び込み、観客 2 名が火傷を負った。[濃霧、安全距離 40m]
34	煙火	消費中	2017/8/13 20:15 頃	京都府 京丹波町	0	0	0	C2	H	【筒ばね】花火大会において、2.5 号玉(輸入品)の打揚時(ロングヒューズヘバーナー点火)に打揚筒から星が吹き上がるかたちで開発した。[晴れ、風速 1m/s、安全距離 80m]
35	がん具煙火	消費中	2017/8/13 22:00 頃	愛知県 名古屋	0	0	0	C1	C2	【火災】がん具煙火の火種により木造平屋建て倉庫の壁体の一部焼損した。なお、火災発生時、がん具煙火の消費者は既に現場を立ち去っていた。
36	煙火	消費中	2017/8/12 20:15 頃	愛知県 東海市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会終了 2 日後に、打揚場所周辺の清掃を行っていた清掃業者が消費位置から約 50m 地点(安全距離内)で黒玉(3 号玉)1 個を発見した。[晴れ、最大風速 4.2m/s、安全距離 100m]
37	煙火	消費中	2017/8/14 20:30 頃	島根県 安来市	0	0	2	C1	C1	【部品落下】港で開催された花火大会において、打揚筒から打ち込んだ水中煙火(2.5 号玉)が安全距離外で開発し、強風に流された火の粉や燃え殻が発射位置から約 350m 離れた対岸岸壁のイベント会場付近で見物していた観客に当たり、2 名が軽傷(火傷)を負った。[雨、最大風速 7m/s、安全距離 90m]
38	煙火	消費中	2017/8/15 20:15	京都府 京丹後市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会において、開始 15 分後に打ち揚げた 5 号玉(輸入品?)が開発せず、近くの茂み(安全距離外で主催者の管理地)で落下音がしたため、黒玉発生と判断し探索を実施したが、発見に至らなかった。[小雨、風速 0.5m/s、安全距離 120m]
39	煙火	消費中	2017/8/15 20:30 頃	富山県 富山市	0	0	1	C1	C1	【部品落下】花火大会において、通称小型煙火の部品(25mm 程度の石膏製の底栓と思われる)が消費位置から約 55m 付近(安全距離外)に飛散し、見物していた観客 1 名の額に当たり軽傷を負った。[曇り、最大風速 5.1m/s、安全距離 40m]
40	がん具煙火	消費中	2017/8/16 20:00 頃	静岡県 富士市	0	0	1	C1	C1	【火傷】手筒煙火を消費中に、従事者の腹掛けポケットに入れていたがん具煙火(子供対象の手筒花火体験用に小型の手筒に固定するため外装を外した吹出し花火)に、手筒煙火の火の粉が着火し従事者が火傷を負った。
41	煙火	消費中	2017/8/16 21:00 頃	兵庫県 朝来市	0	0	0	C1	C2	【筒ばね】花火大会の最終プログラムで、スターメイン 3 号玉(号砲、輸入品、3 号と 3 号の重ね玉 5 筒)一斉点火で筒ばねが発生し、消費場所付近(安全距離内)の施設等が破損した。[晴れ、風速 3.0m/s、安全距離 150m]

42	煙火	消費中	2017/8/20 21:15 頃	長崎県 雲仙市	0	0	1	C1	C1	【部品落下】花火大会において、終了直前の 2.5 号玉打揚中(直接点火で振り込み式)に、女兒が消費位置から約 80m(安全距離外)のグラウンド横車道側歩道を歩行中、煙火の残滓と考えられるものが足に当たり両足に火傷を負った。[晴れ、風速 1m/s、安全距離 65m]
43	がん具煙火	消費中	2017/8/21 00:56 頃	千葉県 千葉市	0	0	0	C2	H	【火災】がん具煙火を消費中、下草に着火し約 10m <sup>2</sup> 焼失した。なお消費者は、消防隊到着時には立去ってしまったため、細部は不明。
44	がん具煙火	消費中	2017/8/23 20:30 頃	大阪府 阪南市	0	0	1	C1	C1	【火傷】大学生数人が、がん具煙火(打上げ花火)を消費中、誤って筒を覗き込んだところ、飛翔した火花により顔面に軽傷(火傷)を負った。
45	煙火	消費中	2017/8/26 19:48 頃	宮城県 仙台市	0	0	0	C2	H	【筒ばね】花火大会において、3 号打揚筒 3 本(グラスファイバー製)で筒ばねが発生した。[曇り、風速 1.7m/s、安全距離 110m]
46	がん具煙火	消費中	2017/8/28 20:25 頃	和歌山県 田辺市	0	0	0	C2	H	【火災】県所有の荷さき場で少年 2 名が吹出し花火を行っていたところ、花火の火が下草に着火し燃え広がり、下草約 17m <sup>2</sup> を焼失した。
47	がん具煙火	消費中	2017/9/1 22:35 頃	愛知県 田原市	0	0	0	C2	H	【火災】がん具煙火(乱玉)を 4 本同時に着火したところ、いずれかの火花が椰子の木上部に当たり出火し、椰子の木上部の一部及び芝生 1m <sup>2</sup> を焼失した。
48	煙火	消費中	2017/9/2 21:00 頃	宮城県 都城市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会において、ファイナルに 3.5 号玉冠(カムロ)を打ち揚げたところ、火の粉が消費位置から 61m 地点(安全距離内)の竹藪に自生する下草及び落ち葉に落下し、約 0.4m <sup>2</sup> を焼失した。[曇り、最大風速 1.0m/s、安全距離 100m]
49	がん具煙火	消費中	2017/9/5 16:39 頃	愛知県 岡崎市	0	0	0	C1	C2	【火災】果樹園に現れた猿を威嚇するため使用したロケット花火 4 本のうちの 1 本が、物置内に飛び、物置内の梨袋に着火し、物置及び周辺の枯草に燃え広がった。
50	煙火	消費中	2017/9/18 20:07 頃	愛知県 田原市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会(10 号まで)開催中に、煙火の火の粉が飛散し、消費位置から約 100m 地点(安全距離内)の枯草に燃え移り約 42m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 10.7m/s、安全距離 200m]
51	煙火	消費中	2017/9/19 14:45 頃	宮城県 小林市	0	0	1	C1	C1	【地上開発】中学校の運動会終了の合図のために音花火(3.5 号玉)を打ち揚げた際に、着火しなかったため再点火しようと打揚筒に近づいたところ、煙火玉が約 5m 程度まで打ち揚がり、筒から約 4.7m 離れた地点に落下した後に開発し、従事者(教員)1 名が軽傷を負った。[晴れ、最大風速 5.8m/s、安全距離 100m]
52	産業火薬	消費中	2017/9/25 10:00 頃	兵庫県 赤穂市	0	1	0	C1	C1	【試験中】火薬を使用した押し装置の試験作業において、作業者が試験装置に点火用火工品を取り付けた際に当該火工品が発火し、同作業者が左手親指指先を裂傷する重傷を負った。発火の原因は、無線を使用した点火装置が、変調した信号をトリガー信号と誤認識して誤動作したものの。
53	煙火	消費中	2017/10/7 16:42 頃	愛知県 豊橋市	0	0	0	C2	H	【異常燃焼】「大のし(台付きの大筒噴出煙火)」へ、振込棒で点火しようとしたところ、点火までの間に底抜けを生じた。さらに予備の振込棒を使用したところ、点火間際に破裂したため、最終的に別の方法(ロー火)により点火を行った。[晴れ、風速 5m/s、安全距離 20m]
54	煙火	消費中	2017/10/7 20:25 頃	宮城県 都城市	0	0	2	C1	C1	【筒ばね】祭りの煙火消費中に(直接点火で振り込み方式と思われる)、3 号玉 1 発が筒内で破裂し、従事者(高齢者)が軽傷を負うとともに、消費位置から約 60m 離れた遊具(安全距離内)で遊んでいた女兒に筒の破片の一部が当たり軽傷を負った。[曇り、最大風速 3.7m/s、安全距離 100m]
55	産業火薬	消費中	2017/10/17 11:30 頃	千葉県 鋸南町	0	0	0	C1	C2	【その他】採石場において、硬岩掘削の発破作業の振動により、県道鴨川保田線に長さ 20m にわたり土砂が崩落。落石防止フェンスの一部が損壊した。また、それに伴い NTT 及び KDDI の光ケーブルが土石の重みによりたわんだ(機能的には問題なし)。発破作業 1 分前から、上下線とも通行止にしていたため通行車両等に被害はなし。流出した土石撤去及び崩落の危険性がある岩石の撤去を行い、安全性が確認されるまで全面通行止めの規制を行った。
56	煙火	消費中	2017/10/20 15:40 頃	神奈川県 伊勢原市	0	0	0	C2	H	【異常燃焼】ツキノワグマを追い払うため、動物駆逐用煙火(連続発射式)をホルダ(長さ約 1m の竹筒)に設置して使用していたところ、3 連発の内 1 発目が、煙火の筒体部の出口付近で暴発し、先端約 10cm が吹き飛んだ。なお、ホルダ(竹筒)に破損はなかった。
57	煙火	消費中	2017/11/26 9:30 頃	千葉県 四街道市	0	0	2	C1	C1	【その他】サバイバルゲーム場において、サバイバルゲームの開始合図として動物駆逐用煙火を使用したところ、途中で導火線の火が消えてしまったため、再度導火線に点火し、投てきしようとしたところ途中で爆発し、使用者が右手首の付け根に裂創を負った。また、爆発の際に使用者の周囲に 3 名がいたが、内 1 名が腹部に切り傷を負った。
58	産業火薬	その他	2017/12/26 12:00 頃	東京都 あきる野市	0	0	0	C2	H	【廃棄中】信号焰管発火薬の残薬を廃棄処理中、塊を砕こうと新聞紙で包み、ビニール袋に入れ、皮手袋を付けた右手で近くにあった石を持って叩いたときに発火。その際、持っていた石が跳ね飛ばされ、1 名の右手がやや腫れた(治療は不要)。

事故一覧（平成 30 年）

No.	種類	取扱	発生日時	発生場所	死	重傷	軽傷	旧級	新級	事故概要
1	産業火薬	消費中	2018/1/18 16:05 頃	群馬県 高崎市	0	0	1	C1	C1	【試験中】実験用施設(屋外)で、火薬の燃焼実験のため黒色火薬 30g を袋に入れ地面に置いた状態で、信号焰管を使用して火薬の上から火を点けたため、燃焼火炎が上昇し、1 名が顔面及び前腕部の火傷(1 度熱傷)を負った。
2	産業火薬	消費中	2018/2/13 21:00 頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	C1	C2	【火災】高速道路上で道路の補修作業をするために通行止め規制帯を設置中、燃えているカラーコーン、矢印板及び土嚢袋を発見し、粉末消火器を使用して初期消火を実施。何らかの理由により通行規制帯で使用中の信号焰管が移動したために、信号焰管の炎がカラーコーンに接触して出火したものと推定される。
3	煙火	製造中	2018/2/14 15:00 頃	三重県 熊野市	0	0	0	C1	H	【火災】煙火製造所付近で、従業員が鉄製のパイプで星(直径約 13~14mm、3 個)の燃焼試験を行っていた最中に、火の粉が風に乗り、試験場所から通りを挟んで約 50m 先にある休耕田に燃え移り、枯草約 1,500m <sup>2</sup> が焼損した。[晴れ、風速 6.9m/s]
4	がん具煙火	消費中	2018/3/28 13:12 頃	岡山県 井原市	0	0	0	C2	H	【火災】荒れ田でイノシシを威嚇するため、がん具煙火(爆竹 20 連)にマッチで火をつけ使用したところ、周囲の枯草が延焼した。[晴れ、最大風速 7.8m/s]
5	産業火薬	消費中	2018/4/2 16:40 頃	福岡県 飯塚市	0	0	0	C2	H	【飛石】ベンチ発破(ベンチ高さ 10m、孔径 76mm、孔数 15 孔(3 列)、孔長 11m、孔間隔 2.5m、最小抵抗線 3.0m)を行ったところ採石場敷地外へ飛石(4 個、最大径 15cm 程度)が発生した。
6	産業火薬	消費中	2018/4/10 16:40 頃	北海道 小樽市	0	0	0	C1	C2	【飛石】採石場内の連絡道路を拡張するため(道路を塞ぐように大岩があったため)、発破を行ったところ、採石場内の岩壁を越え、付近の自動車道まで飛石が発生。走行していたトラックの屋根に石が突き刺さったもの。
7	煙火	消費中	2018/4/14 19:52~20:17	神奈川県 伊勢原市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会(8 号まで)にて煙火消費中及び終了後に消費位置から約 104m 地点(安全距離内)に煙火の残火が落下し、落葉 2m <sup>2</sup> 及び立ち木 1 本(地上 3.5m~4.5m)を焼損した。[曇り、最大風速 6m/s、安全距離 150m]
8	煙火	消費中	2018/5/5 12:00 頃	宮城県 仙台市	0	0	0	C2	H	【黒玉】社社の祭事で信号用 3 号玉 10 個を打ち揚げたところ、内 4 個が黒玉となり、消費位置から約 80m 地点(安全距離外)に落下した 2 個の内、1 個を付近住民が発見し警察へ通報した。なお、発生した黒玉はすべて打揚従事者が回収した。[晴れ、風速 1.7m/s、安全距離 40m]
9	煙火	消費中	2018/5/10 14:00~15:00	千葉県 香取市	0	0	0	C2	H	【黒玉】市民から、前日に打ち揚げた煙火の黒玉が、消費位置から約 80m 地点(安全距離外)の河川敷緑地広場にあつたとの通報が市役所にあり、市役所から県に連絡後、主催団体の煙火業者が現地向かい回収した。[晴れ、最大風速 2.0m/s、安全距離 65m]
10	産業火薬	消費中	2018/5/21 15:05 頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	C2	H	【火災】高速道路において、中央分離帯除草作業のため信号焰管を使用し、車線規制を行っていたところ、信号焰管が風で動き、雑草に燃え移ったもの。
11	煙火	製造中	2018/6/27 8:59 頃	静岡県 浜松市	2	0	0	B1	B1	【発火】煙火製造所内の硝酸塩類配合工室で火薬の発火・爆発が発生したと推定され、当該工室及び隣接する填薬工室が爆発により破壊、配合工室と填薬工室にいた従業員 2 名が死亡した。なお、配合工室にいた従業員は工室の外で倒れていたが 2 日後に死亡した。
12	煙火	貯蔵中	2018/7/4 17:34~17:35	群馬県 安中市	0	0	0	C1	C1	【火災】煙火製造所に隣接する火薬庫 2 棟の内 1 棟から出火、貯蔵した火薬類が燃焼し、木造の内壁及び貯蔵した火薬類が全焼した。なお、避雷針はそのまま倒れたが、コンクリート壁は破損しなかった。
13	がん具煙火	消費中	2018/7/10 21:05 頃	山口県 山口市	0	0	1	C1	C1	【火災】【火傷】大人 2 名が、がん具煙火を消費していたところ、河川の法面の雑草に着火し、雑草を約 40m <sup>2</sup> 焼失した。当事者の男性 1 名が自動車のフロアマットで初期消火中に、右手首に約 2cm の火傷を負った。
14	がん具煙火	消費中	2018/7/13 03:02 頃	京都府 京都市	0	0	0	C2	H	【火災】大学に置かれた量でできた立看板に向け、数名が座りながら手持花火をしているのを確認し、その後立看板からの白煙を確認、行為者は立去り、消防により鎮火させた。
15	煙火	消費中	2018/7/14 19:40 頃	北海道 函館市	0	0	0	C1	C2	【残滓】高校学園祭の花火大会において、高校グラウンド内で煙火を消費したところ、煙火の残滓が消費位置から約 170m 地点(安全距離外)の自動車販売事業者の敷地に落下し、車両 91 台に付着し、シミが付いた。[曇り、風速 3m/s、安全距離 50m]
16	煙火	消費中	2018/7/15 21:08 頃	長野県 千曲市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会クライマックスのスターメイン(8 号まで)で火の粉が消費位置から約 10m 地点(安全距離内)の下草に着火し、下草約 60m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、風速 2.9m/s、安全距離 220m]
17	煙火	消費中	2018/7/21 19:45~20:45	岐阜県 各務原市	0	0	0	C2	H	【黒玉】7 月 30 日、池に浮遊していた 2.5 号の黒玉を住民が発見し回収して市役所に連絡、市から報告を受けた消防本部が黒玉を引き取り煙火業者に引き渡した。同黒玉は 7 月 21 日の花火大会に消費した煙火玉。
18	煙火	消費中	2018/7/21 20:12 頃	三重県 いなべ市	0	0	1	C1	C1	【部品落下】企業納涼祭りの花火大会において、通称小型煙火の部品(紙製の内筒及び詰め物の石膏)と思われるものが、消費位置から約 50m 地点(安全距離外)にいた観客の肩に当たり負傷した。[安全距離 20m]
19	がん具煙火	消費中	2018/7/21 20:15 頃	神奈川県 川崎市	0	0	0	C1	C2	【火災】町内会の夏祭りにおいて、複数のがん具煙火(打上げ花火)を消費中、1 本が転倒して周囲に火花が飛び、約 10m 離れた場所に敷かれたレジャーシート 1 枚が部分的に燃えた。
20	煙火	消費中	2018/7/21 20:55 頃	熊本県 苓北町	0	0	0	C2	H	【部品落下】花火大会の最後に打ち揚げられた 6 号玉の残骸が風にあおられ、消費位置から約 130m(安全距離外)にいた観客の背中に落下し、それを手で払ったため左手の親指付け根に軽い火傷を負ったが、医療施設における治療の必要はなかったと思われる。[曇り、最大風速 3.5m/s、安全距離 110m]
21	がん具煙火	消費中	2018/7/25 20:00 頃	大阪府 箕面市	0	0	1	C1	C1	【火傷】公園で大人 3 名による監視のもと、子供 4 名で花火遊びをしていたところ、子供が手持ち花火と勘違いし、打上げ花火を手を持ったまま着火し、地面に向けたところ、火花が跳ね返り顔面に火傷を負った。

22	煙火	消費中	2018/7/28 19:50頃	岩手県 二戸市	0	0	1	B1	C1	【地上開発】温泉まつりの最終イベントで煙火を消費中、スターマインの3号玉(輸入品)1発が消費位置から約60m地点(安全距離内)の地面に落下し開発し、観客1名が軽傷を負った。※全国放送/全国紙報道3社以上のためB1級事故となる。[晴れ、風速0.6m/s、安全距離65m]
23	煙火	消費中	2018/7/28 20:20頃	宮城県 南三陸町	0	0	0	C2	H	【低空開発】花火大会において、終盤の単発打揚時に、経年劣化したFRP製打揚筒が点火時の圧力により破損したため、圧力低下により打ち揚げられた7号玉が低空で開発した。[曇り、最大風速7.7m/s、安全距離220m]
24	煙火	消費中	2018/7/29 19:30~20:30	東京都 墨田区	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会終了後、消費位置から約65m~115m地点(安全距離外)において、近隣住民及び消防署員が黒玉2個を発見。翌朝に近隣住民及び区職員が黒玉2個を発見し、回収の上、煙火打揚業者に引き渡した。[晴れ、最大風速1.0m/s、安全距離65m]
25	煙火	消費中	2018/7/29 20:20頃	愛知県 豊田市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会(10号まで)において、煙火消費中に打揚煙火の火の粉により安全距離内(位置は特定できず)で火災が発生し、枯草9m <sup>2</sup> が焼損した。[晴れ、最大風速3.6m/s]
26	がん具煙火	消費中	2018/7/29 22:08頃	京都府 京都市	0	0	0	C2	H	【火災】大人が遊歩道から手持花火をかざし消費中、橋桁内にあった段ボール等のゴミに着火し、放置されたダンボール等のゴミ0.2m <sup>2</sup> 及び橋下に設置されたガス配管被覆の一部を焼損した。
27	煙火	消費中	2018/8/2又は 8/3 19:20~21:10	新潟県 長岡市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会で発生した黒玉(2号玉、輸入品)を、8月4日若しくは5日の5:00頃に、河川敷内でパークゴルフをしていた人が、付近の草むらの中で発見し自宅に持ち帰った。持ち帰った黒玉については、地元交番の警察官が自宅を巡回訪問した際に渡そうと思いついて保管しており、平成31年1月27日訪問時に警察官から消防へ通報し、消防職員が回収した。[(両日)晴れ、風速2.5m/s、安全距離250m]
28	煙火	消費中	2018/8/3 13:40頃	山形県 米沢市	0	0	0	C2	H	【火災】猿が出没したため、市農林課から地区コミュニティーセンターに置かれている動物駆逐用煙火を分けてもらい、自宅敷地内で猿を追い払おうと手に持って使用したところ、枯草に燃え移り火災になり、枯草約36m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速9.7m/s]
29	煙火	消費中	2018/8/4 19:13頃	岐阜県 美濃加茂市	0	1	0	C1	C1	【異常燃焼】夏祭りで手筒煙火4本を地面に置いて点火し、約8秒後に火が安定したため起こそうとした際、その内の1本が暴発し、手筒の外側に巻いてあるゴザ及び縄から、紙製筒(長さ約55cm、直径約8cm)が抜けて飛び、消費位置から35m地点(安全距離外)の観客に当たった。[晴れ、風速4m/s、安全距離15m]
30	煙火	消費中	2018/8/4 19:45頃	山形県 酒田市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会(10号まで)において、打ち揚げられた煙火が開発した際に発生した燃えかすが、消費位置から北へ約20m地点(安全距離内)に落下し、約50m <sup>2</sup> の範囲が焼失した。[晴れ、風速0.2m/s、安全距離240m]
31	煙火	消費中	2018/8/4 19:54頃	岐阜県 揖斐川町	0	0	0	C2	H	【過早発】【異常飛翔】【火災】祭りの花火において、スターマイン(3号と2.5号の重ね玉、輸入品)点火後、何らかの原因で過早発となり異常飛翔、消費位置から約150m離れた場所(安全距離内)の枯草20m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、風速2m/s、安全距離240m]
32	煙火	消費中	2018/8/4 20:00頃	静岡県 浜松市	0	0	0	C2	H	【黒玉(小割)】花火大会2日後の朝に、消費位置から約270m離れた社員寮(安全距離外)の入居者が、駐車場内に黒玉(10号千輪の小割2号玉)が落ちているのを発見するも、煙火とは気づかず未報告。翌日の同時刻に再度発見し上司に報告。上司が現場に出向き回収後、消防署に連絡した。[晴れ、風速1.7m/s、安全距離270m]
33	煙火	消費中	2018/8/4 20:00~23:00	茨城県 古河市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会において、打ち揚げられた30号玉の破片に火が付いたまま、消費位置から約250m地点(安全距離内)に落下し、群生していた草が焼失した。[晴れ、風速6.4m/s、安全距離600m]
34	がん具煙火	消費中	2018/8/4 20:07頃	東京都 八王子市	0	0	0	C2	H	【火災】夏祭りにおいて、がん具煙火(ロケット花火)を使用したところ、消費位置から約65m離れた客席に落下し、レジャーシート及びゴミ袋の一部が焼損した。[最大風速2m/s]
35	煙火	消費中	2018/8/4 20:35頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会(10号まで)において、台船上で消費したいずれかの煙火の火の粉が固定台船の緩衝タイヤに飛び火して着火し、火災に至った。[風速2.0m/s、安全距離250m]
36	煙火	消費中	2018/8/4 20:50頃	石川県 川北町	0	0	0	C2	H	【地上開発】花火大会において、打ち揚げられた10号玉が上空で開発せずに落下し、消費位置から約73m地点(安全距離内)で地上開発した。[晴れ、最大風速3.0m/s、安全距離180m]
37	がん具煙火	消費中	2018/8/4 21:20頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C2	H	【火災】河川敷において、10人程度ががん具煙火で遊んでいたところ、雑草に火花が着火し河川敷周囲の雑草500m <sup>2</sup> を焼損した。火災は、目撃者がクーラーボックスの水で初期消火を試みたが失敗したため消防に通報した。
38	がん具煙火	消費中	2018/8/6 22:15頃	愛知県 名古屋	0	0	0	C2	H	【火災】河川敷野球場付近において、がん具煙火の火種により、土手の雑草が約32m <sup>2</sup> 焼損した。なお、火災発生時、がん具煙火の消費者は既に現場を立ち去っていた。
39	煙火	消費中	2018/8/10 19:45頃	千葉県 館山市	0	0	0	C1	C2	【火災】花火大会において、8号玉水中仕掛け(直接点火で花火船からの投げ込み方式)の火の粉が、消費位置から約450m地点(安全距離外)のショッピングセンター敷地内にある保安林に落下して燃え移り、保安林の一部とフェンスを焼失した。[晴れ、最大風速10.3m/s、安全距離210m]
40	煙火	消費中	2018/8/10 20:05頃	岐阜県 各務原市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会において、煙火消費中に花火の火の粉が飛散し、消費位置から約150m地点(安全距離外)の枯草約4m <sup>2</sup> が焼損した。[晴れ、最大風速7.8m/s、安全距離100m]

41	煙火	消費中	2018/8/11 20:15頃	愛知県 東海市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会 8 日後の午前中に、一般の公園利用者が市役所庁舎外ゴミ置き場で黒玉 1 個を発見し、市役所へ届け出た(落下地点は不明)。(晴れ、最大風速 5.0m/s、安全距離 100m)
42	煙火	消費中	2018/8/11 20:20頃、 21:37頃	岡山県 岡山市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会(4 号まで)において、煙火の火の粉が消費位置から約 35m 地点と 45m 地点(安全距離内)の 2 箇所に落下し、落ち葉及び枯草に着火したため火災となり、合計約 3.6m <sup>2</sup> を焼失した。(晴れ、最大風速 2.5m/s、安全距離 100m)
43	煙火	消費中	2018/8/12 20:15頃	新潟県 新潟市	0	0	1	C1	C1	【残滓】花火大会において、消費位置から約 180m 地点(安全距離外)の観覧席で花火を見ていた小学生の目に浮遊していた花火の残滓が入ったため、現地救護所で洗眼を行って帰宅したが、目の違和感が取れなかったため、2 日後に医療機関を受診した際、左眼球に浅い傷が確認された。(晴れ、最大風速 3m/s、安全距離 110m)
44	がん具煙火	消費中	2018/8/12 22:00頃	大分県 中津市	0	0	0	C1	C1	【火災】温泉宿泊施設において、火災が発生し宿泊棟 4 棟が全焼した。警察及び消防は目撃証言等からがん具煙火の消費によるものと推定。
45	煙火	消費中	2018/8/13 20:10頃	千葉県 勝浦市	0	0	0	C2	H	【部品落下】花火大会(8 号まで)において、花火の燃えかすと思われるものが、消費位置から約 237m 地点(安全距離外)の本部テント付近で観覧中の観客の左前額部に当たり、たんこぶ(2~3cm 大)ができて救護所に申し出があり、応急措置後、病院へ搬送した。なお、病院で検査を行ったところ異常なしの診断を受け、治療等は行われなかった。(曇り、風速 3m/s、安全距離 210m)
46	煙火	消費中	2018/8/14 19:55頃	宮城県 仙台市	0	0	0	C1	C2	【黒玉】夏祭りにおいて、煙火を打ち揚げたところ、2 号玉 1 個が黒玉となって消費位置から約 120m 地点(安全距離外)の民家の屋根に落ち、瓦 1 枚を破損した。(晴れ、風速 0.2m/s、安全距離 65m)
47	煙火	消費中	2018/8/15 19:50頃	宮城県 大崎市	0	0	1	C1	C1	【その他】夏祭りアトラクションの煙火消費中(2 号玉、直接点火で投げ込み式)に、補助作業者が打揚筒の雨除けのための段ボール製の蓋を一つずつ外しながら、打揚従事者が火種を打揚筒の中に入れ打ち揚げていた際、打揚筒の中に指が入った状態で、誤って火種を筒の中に落としたため、補助作業者が負傷した。(雨、風速 0.9m/s、安全距離 40m)
48	煙火	消費中	2018/8/15 20:15頃	神奈川県 三浦市	0	0	0	C2	H	【筒ばね】【地上開発】花火大会において、台船上に設置された通称小型煙火に点火したところ、箱内の 1 発で筒ばねが発生し、影響を受けた箱内の煙火が地上開発した。(晴れ、風速 4m/s、安全距離 110m)
49	煙火	消費中	2018/8/15 21:10頃	大分県 由布市	0	0	0	C2	H	【過早発】【低空開発】煙火消費中に、2.5 号玉(銀椰子、輸入品)1 発が過早発となり、その影響で打揚筒が斜めに傾いたため、2 発が斜め方向の低空で開発した。
50	煙火	消費中	2018/8/16 16:30頃	島根県 江津市	0	0	0	C2	H	【その他】【低空開発】花火大会において、消費前の導通試験時に、モジュールの不良により漏電し 3 号玉 1 個が誤発射した。なお、打揚筒の上を防災シートで覆った状態で誤発射したため、約 2m で低空開発した。(曇り一時雨)
51	煙火	消費中	2018/8/16 21:00頃	佐賀県 白石町	0	0	0	C1	C2	【残滓】夏まつりの煙火消費において、消費位置から 305m 地点(安全距離外)のハウスの寒冷紗に打揚煙火の残滓が飛散し、7 ヶ所に穴が開いた。(曇り一時雨、風速 4m/s、安全距離 110m)
52	煙火	消費中	2018/8/18 19:53頃	神奈川県 相模原市	0	0	0	C2	H	【地上開発】祭りのフィナーレで通称小型煙火(内筒打ち出し 25 連)を消費中に、内一本が斜め方向に打ち出され、消費位置から約 20m 地点(安全距離内)の地上にて開発した。(晴れ、風速 0.8m/s、安全距離 30m)
53	煙火	消費中	2018/8/18 20:10頃	埼玉県 新座市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会において、打揚煙火(4 号玉、早打ち方式)の一部が、完全に燃えきらない状態で地上に落下し、消費位置から 50m 地点(安全距離内)の河川敷の葦及び枯草 42m <sup>2</sup> を焼損した。(晴れ、最大風速 4m/s、安全距離 110m)
54	がん具煙火	消費中	2018/8/18 20:45頃	大阪府 寝屋川市	0	0	1	C1	C1	【火傷】家族が公園で花火をしていた際に、親が着火した手持花火を子供に渡したところ、花火の火が綿製の浴衣に燃え移り子供の両大腿部に火傷を負った。
55	がん具煙火	消費中	2018/8/19 21:07頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C2	H	【火災】河川敷において、家族でがん具煙火(手持花火)20~30 本を使用していたところ、枯草に花火の火が燃え移り、雑草 200m <sup>2</sup> を焼損した。
56	がん具煙火	消費中	2018/8/19 21:15頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C2	H	【火災】河川敷において、大人 3 名ががん具煙火(打上げ花火等)30 本程度を最初は通常に消費していたが、途中から当事者同士で打ち合いを始めたところ、枯草に花火の火が燃え移り、枯草 180m <sup>2</sup> を焼損した。
57	がん具煙火	消費中	2018/8/19 22:37頃	大阪府 寝屋川市	0	0	0	C2	C2	【火災】家族が駐車場で花火をしていた際に、噴出花火 1 本に点火したところ、火花が風に煽られて付近の枯草に着火し、電灯柱の一部にも延焼し約 50m <sup>2</sup> を焼損した。
58	産業火薬	消費中	2018/8/23 08:38頃	茨城県 桜川市	1	0	0	B1	B1	【暴発】採石場内で、火薬庫から火薬類をトラックに積み込む作業の準備を行っていたところ、何らかの原因で火薬類が爆発した。トラックの運転手 1 名が死亡(12 月 5 日認定死亡)。
59	がん具煙火	消費中	2018/8/28 19:24頃	山口県 山口市	0	0	0	C1	C2	【火災】老人ホーム職員が、苑内行事のため敷地内にてがん具煙火を消費していたところ、打ち上げたがん具煙火が隣接する 2 階のベランダ天井に接触し、立て掛けていたよじろが燃え出した。
60	がん具煙火	消費中	2018/8/29 23:56頃	愛知県 常滑市	0	0	0	C2	H	【火災】がん具煙火の消費中に火災が発生し、旧市民病院敷地内の枯草約 48m <sup>2</sup> 及び旧市民病院の雨樋を焼損した。
61	がん具煙火	消費中	2018/8/30 00:00頃	鳥取県 若桜町	0	0	1	C1	C1	【火傷】宿泊施設の敷地内で、宿泊客数名ががん具煙火(打上げ花火)を消費中、がん具煙火が付近にいた男性の顔面及び頸部に当たり負傷した。
62	産業火薬	消費中	2018/8/30 11:50頃	北海道 札幌市	0	0	1	C1	C1	【飛石】採石を行うために発破を行ったところ、飛石が発生し、敷地内事務所壁体及び事務所付近にいた取引事業者の従業員に岩石が当たったもの。負傷の程度は左足裂傷(軽傷)。

63	煙火	消費中	2018/8/30 17:45頃、 20:10~20:20	神奈川県 相模原市	0	0	0	C2	H	【低空開発】【黒玉】神社祭礼花火大会において、開催を知らせる3号玉(5段雷)1個が低空開発し、4段5段目が消費位置から5m地点へ落下し開発した。その後、4号玉2個が黒玉となり安全距離内の畑内に落下したが、当日の規制時間内に発見できず、翌日に1個が消費位置から10m地点で、13日後に1個が70m地点で発見された。[晴れ、最大風速3.8m/s、安全距離100m]
64	がん具煙火	消費中	2018/9/2 19:38頃	北海道 札幌市	0	0	0	C1	C2	【火災】がん具煙火を消費していたところ、がん具煙火の火花が付近に設置されたネットフェンスに着火し、火災となった。[風速3m/s]
65	産業火薬	消費中	2018/9/12 07:46頃	福井県 大野市	0	0	0	C2	H	【暴発】トンネル切羽において、装薬・結線作業中に装薬・結線済の1孔(天端部)が突然暴発した。
66	煙火	消費中	2018/9/23 6:00頃	鹿児島県 大崎町	0	0	0	C2	H	【黒玉】小学校運動会の開催合図のために、信号煙火(3号玉)を打ち揚げたところ、1個が不発となった。なお現時点で黒玉は未発見。[晴れ、安全距離50m]
67	煙火	消費中	2018/10/6 18:21頃	茨城県 土浦市	0	0	10	B1	B1	【地上開発】花火競技大会において、スターマインの4号玉が消費位置から約200m地点(安全距離外)で地上開発したため、観覧者10名に負傷者が出た。[晴れ、最大風速12.1m/s、安全距離110m]
68	煙火	消費中	2018/10/13 18:20頃	神奈川県 川崎市	0	0	0	C2	H	【低空開発】花火大会において、2.5号玉1発が低空開発となった。
69	煙火	消費中	2018/10/27 19:50頃	広島県 広島市	0	0	1	C1	C1	【異常燃焼】神社境内に設置された神楽の舞台上において、傘火と呼ばれる仕掛煙火(回転式の噴出煙火と思われる)に祭り関係者及び仕掛煙火の保持者がそれぞれ点火したところ、当該煙火が通常より速く激しく燃焼し、その際に保持者が顔面等に火傷を負った。[晴れ、風速3m/s、安全距離9m]
70	煙火	消費中	2018/11/2 22:00頃	新潟県 長岡市	0	0	0	C2	H	【黒玉】神社奉納花火において、打揚煙火3号玉1個が開発せず落下し、黒玉となった。なお、黒玉の落下場所は山林で、人が立ち入ることはなく、現在も黒玉は見つかっていない。[曇り、最大風速3.1m/s、安全距離110m]
71	産業火薬	消費中	2018/11/15 22:30頃	長崎県 長崎市	0	0	0	C1	C2	【飛石】トンネルの新設工事において、新設のトンネル側と供用中の旧トンネルの間の「避難連絡坑」を貫通発破作業中に飛石が発生した。また、同時に爆風により1.5m先の防護用鉄板(厚さ4mm)及び旧トンネル側に設けられた閉鎖中の避難連絡坑扉(ステンレス製3枚引戸の1枚)を破損し、供用中の旧トンネル側に飛石が飛散した。これにより片側交互通行中の軽車両が、飛散した小石数10個(直径5~6cm)に乗り上げて、右側前輪及び左側後輪のタイヤがパンクした。
72	産業火薬	消費中	2018/12/5 19:05	神奈川県 横浜市	0	0	0	C2	H	【火災】高速道路において、道路脇の雑草が幅約80cmにわたってくすぶっている炎を発見した。信号炎管の火が原因と推定される。

事故一覧（令和元年）

No.	種類	取扱	発生日時	発生場所	死	重傷	軽傷	旧級	新級	事故概要
1	煙火	消費中	2019/1/1 00:00~00:10	千葉県 浦安市	0	0	0	C2	H	【黒玉】テーマパークにおいて、カウントダウン花火の消費中に黒玉(4号玉1個)が発生し、消費位置から約40m付近(安全距離内)の施設内建物屋上にて屋上清掃を行った2月12日(約1か月後)に発見された。[晴れ、風速2m/s、安全距離110m]
2	煙火	廃棄中	2019/1/1 18:00	山梨県 市川三郷町	0	1	0	C1	C1	【その他】カウントダウンの仕事を終え17:00頃に社員2名で工場に戻り、当日18:00頃片づけを終え帰宅したが、年末に残しておいた私物の処分を思い立ち、自己判断で工場へ行き、敷地内の危険区域外にある空地のドラム缶で焼却処分を行った。その際、配合を誤った火薬類も同時に焼却処分しようと思い、ドラム缶の近くに置いていたところ、火の粉が燃え移り着火。被害者が慌てて消火しようとしたところ、ダウンジャケットに着火し火傷を負った。
3	産業火薬	消費中	2019/1/10 08:30	長崎県 長崎市	0	0	0	C2	H	【飛石】トンネル(2期線)の新設工事において、2期線側と1期線(供用中)の間の避難連絡坑を2期線側より発破を行った際、弱層部の一部が開口(貫通)し、1期線側の安全帯に小石数個が飛散した。
4	煙火	消費中	2019/1/14 -	宮城県 登米市	0	0	0	C2	H	【黒玉】冬まつりの花火大会において発生したと考えられる黒玉(3号玉)が、5月6日(約4か月後)に近隣住民によって消費位置から90m離れた水田(安全距離内)で発見された。[曇り、風速2m/s、安全距離300m]
5	がん具煙火	消費中	2019/1/15 15:00頃	神奈川県 川崎市	0	0	0	C1	C2	【火災】自宅ベランダのプラスチックケース内で、がん具煙火(手持花火)を消費した際、火の粉が可燃物に飛び散り着火し出火した。
6	煙火	消費中	2019/2/2 18:15頃	北海道 帯広市	0	0	0	C1	H	【火災】花火大会のファイナルで打ち揚げた煙火(3号錦冠と推測される)の火の粉が、消費位置から約140m離れた施設の作業畑(安全距離外)に落下し、枯草部分約4m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速8.6m/s、安全距離50m]
7	産業火薬	消費中	2019/3/9 14:05頃	熊本県 和水町	0	1	0	C1	C1	【飛石】発破を行ったところ飛石が発生。1個が点火地点(発破箇所のほぼ正面の60m地点)まで飛散し、被災者(点火者)の左足首に当たり、骨折した。さらに、重機方向にも飛石が発生し、重機を切羽に対して垂直に向けていたことから、退避していた補助者の耳部に破片が接触した(負傷には至らず)。
8	煙火	消費中	2019/3/27 18:47頃	山梨県 市川三郷町	0	0	0	C2	H	【低空開発】【火災】河川敷において、煙火業者が3号玉と4号玉の試験打揚を行っていたところ、4号玉1個の上昇高度が低く、燃焼したままの星が消費位置から約30m地点(安全距離内)に落下し、下草火災(約1.4ha)が発生した。[晴れ、最大風速4m/s、安全距離110m]
9	煙火	消費中	2019/4/3 19:40頃	埼玉県 幸手市	0	0	0	C1	C2	【火災】花火大会(4号まで)において、打揚煙火の火の粉が消費位置から約350m地点(安全距離外)の企業グラウンド内に落下し、杉の立ち木の一部とその周辺が焼損した。[晴れ、最大風速8.7m/s、安全距離110m]
10	煙火	消費中	2019/4/13 21:25頃	愛知県 豊川市	0	0	3	C1	C1	【異常燃焼】神社境内において祭礼煙火奉納中、大筒(おおのし)の点火に用いる振込棒が異常燃焼を起こし暴発し、振込棒を持っていた点火者1名及び補助者2名が負傷した。[晴れ、風速3.6m/s]
11	煙火	消費中	2019/4/14 20:50頃	群馬県 伊勢崎市	0	0	0	C2	H	【火災】オートレース場において、最終レース終了後に花火打揚(2号及び3号玉)を行ったところ、落下した火の粉により消費位置から20m~40m付近(安全距離内)の走路内芝生の一部で火災が発生した。[曇り、風速3m/s、安全距離50m]
12	がん具煙火	消費中	2019/4/16 09:56頃	神奈川県 川崎市	0	0	0	C2	H	【火災】写真撮影の演出のため、河川敷内でがん具煙火(煙を出すことを主とするもの)を消費したところ、枯草に着火し枯草約120m <sup>2</sup> を焼失した。
13	煙火	消費中	2019/5/26 08:40	北海道 遠軽町	0	0	0	C2	H	【黒玉】中学校体育祭の開会式で、打ち揚げた3号玉(5段雷)が開発せず落下し、行方不明となった。[晴れ、最大風速2.9m/s、安全距離25m]
14	がん具煙火	消費中	2019/6/9 20:57頃	山口県 秋芳町	0	0	1	C1	C1	【火傷】知人3人とアルコール(度数96%)を飲みながら、上半身裸の状態で、がん具煙火(手持花火)をしていたところ、口に含んだアルコールが首から前胸部に垂れ、持っていた花火の火が引火し、頸部及び前胸部に火傷を負った。なお、知人により水(ペットボトル)を用いて消火した。
15	煙火	消費中	2019/6/14 16:40頃	新潟県 新発田市	0	0	0	C2	H	【黒玉】神社の祭礼花火において、1発目の煙火玉(4号ボカ物)をセットし点火したが、開発せず落下。打揚終了後1名、翌日10名で探索したが発見に至らなかった。[曇り、風速1m/s、安全距離110m]
16	産業火薬	消費中	2019/6/20 15:50	兵庫県 養父市	0	0	0	C1	C2	【飛石】砕石のために発破を実施したところ、飛石が約220m先の民家前まで飛び、駐車場の車両に当たった。
17	煙火	その他	2019/7/5 10:36頃	東京都 中央区	0	0	1	C1	C1	【暴発】消防署庁舎移転に伴い、旧庁舎ゴミ置き場にてゴミの分別処分をしていた際、分別された1989年製の発煙筒を確認したため、当該発煙筒を消費し処分するため、取扱説明に従い蓋を開けて紐を引いたところ爆発し受傷した。
18	煙火	消費中	2019/7/14 21:00頃	長野県 千曲市	0	0	0	C2	H	【黒玉】一般の住民から市役所へ前日の夏祭り花火大会の不発の花火(5号玉)が消費位置から約10m付近の見晴台付近(安全距離内)にあると通報。その後警察署が見晴台側溝で黒玉を確認。打揚従事者へ連絡し回収した。[雨、最大風速0.4m/s、安全距離180m]
19	がん具煙火	消費中	2019/7/21 13:45頃	兵庫県 神戸市	0	0	1	C1	C1	【火傷】手持花火で遊んでいた際に、左脇に挟んでいた花火をとっさに掴んでしまい負傷した。
20	煙火	消費中	2019/7/27 15:03頃	福島県 南相馬市	0	0	0	C2	H	【黒玉】祭礼行事の煙火打揚中、4号玉15発の内1発が開発せず打揚場所から南東方向へ落下した。なお、行事終了後約2週間、落下推測地点周辺を探索したものの発見できなかったことから、黒玉は河川に落下し、流されたものと推定される。

21	煙火	消費中	2019/7/27 19:11	長野県 飯田市	0	0	0	B1	H	【異常燃焼】【異常飛翔】花火大会において、通称小型煙火消費中、地盤面に固定してあった小型煙火が、異常燃焼により箱の向きが変わり、内筒が観客の方向へ飛び、消費位置から約 45m 地点(安全距離外)で開発した。なお、その際に観客の小中学校生 3 名が負傷したが、現場に居合わせた医師により、いずれも医療施設の治療が必要ないと認められる軽度の負傷と判断された。※全国版 3 社以上報道のため B1 級。[雨、最大風速 4.2m/s、安全距離 30m]
22	煙火	消費中	2019/7/27 20:00~21:10	神奈川県 川崎市	0	0	0	C2	H	【低空開発】【筒ばね】花火大会において、打揚煙火 4 号玉 1 発が低空開発、通称小型煙火 3 台中の 13 発が低空開発、3 発が筒ばねとなった。
23	煙火	消費中	2019/7/27 20:25 頃	兵庫県 姫路市	0	1	0	C1	C1	【筒ばね】海上花火大会の台船において、フィナーレ近くに 5 号玉の筒ばねが発生し、点火位置で待機していた従事者のでん部にステンレス製打揚筒の破片が刺さり重傷を負った。
24	煙火	消費中	2019/7/27 20:36 頃	埼玉県 越谷市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会において、スターメイン 2.5 号玉の火の粉が消費位置から約 120m 地点の河川敷の土手(立入禁止区域内)に落下し、刈り取った草に着火し約 2m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 11.9m/s、安全距離 60m]
25	がん具煙火	消費中	2019/7/28 18:30 頃	愛媛県 西予市	0	0	0	C2	H	【火災】煙の雀を追い払うために、ロケット花火を筒状の竹に入れて消費したところ、高速道路の法面に落下し、火花が雑草に燃え広がって雑草約 133m <sup>2</sup> を焼失した。
26	煙火	消費中	2019/7/28 20:40 頃	福井県 南越前町	0	0	0	C2	H	【黒玉(未着火玉)】8 月 1 日(花火大会終了 4 日後)に、警察署駐在所に落とし物として段ボールに入った水中花火(3 号及び 4 号玉各 7 個、輸入品)が届けられ、段ボールに祭り名が記載されていたため、主催者に確認したところ、記載された祭り水中花火を行った際の不発煙火と判明した。[曇り、風速 2m/s、安全距離 110m]
27	煙火	消費中	2019/8/1 21:00 頃	北海道 函館市	0	0	0	C1	C2	【低空開発】花火大会翌日、主催者及び打揚業者が清掃作業を実施中、消費位置から約 15m(安全距離内)の港湾関連施設の転落防止柵が一部損傷しているのを発見した。周囲の状況から、煙火玉が地上から 5m 以内の高さで開発し、その爆風或いは玉皮の破片により柵が湾曲し、海中に飛ばされたと推測。なお、煙火事業者が動画等で分析したところ、フィナーレで打ち揚げた 10 号玉が約 18 秒後に開発しており、遅延燃焼によるものと推測。[晴れ、風速 4m/s、安全距離 300m]
28	煙火	消費中	2019/8/2 20:40 頃	東京都 小金井市	0	0	1	C1	C1	【部品落下】夏祭りの花火において、通称小型煙火の部品(直径 3cm の軽石状)が消費位置から約 75m 地点(安全距離外)で観賞していた観客の右目に落下し軽傷を負った。[晴れ、風速 3m/s、安全距離 40m]
29	煙火	消費中	2019/8/3 19:30 頃	神奈川県 小田原市	0	1	0	C1	C1	【黒玉】花火大会において、スターメインの 2.5 号玉(重ね玉)が黒玉となり、消費位置から 70m(安全距離外)の観覧席で観覧中の観客 1 名に当たり膝を負傷した。伝火葉が未装填であった。[晴れ、最大風速 2m/s、安全距離 65m]
30	煙火	消費中	2019/8/3 19:30~20:45	山形県 小国町	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会翌朝行った打揚現場清掃作業にボランティアとして参加していた中学生が、不発の煙火玉 2 個(2.5 号及び 3 号玉、輸入品)を発見し、玉ねぎと思い自宅に持ち帰った。同日、生徒保護者が不発煙火を所持していることを発見し、7 日早朝(3 日後)に警察署に届け出た。[晴れ、安全距離 90m]
31	煙火	消費中	2019/8/3 19:41 頃	岐阜県 美濃加茂市	0	0	0	C2	H	【筒ばね】花火大会において、スターメイン 4 号玉(輸入品)消費中に地上付近での破裂を消防官が目視したため、消費を中断し関係者が現場確認したところ、4 号打揚筒が炸裂しているのを確認した。[晴れ、風速 3m/s、安全距離 110m]
32	煙火	消費中	2019/8/3 20:25 頃	東京都 昭島市	0	0	0	C1	C2	【筒ばね】【地上開発】花火大会において、エンディング前のスターメインの 2.5 号玉が筒ばねし、その直後に複数の煙火玉が地上開発した。[晴れ、風速 1.5m/s、安全距離 65m]
33	がん具煙火	消費中	2019/8/3 20:45 頃	鹿児島県 鹿児島市	0	0	1	C1	C1	【火傷】夏祭りの催しの一つとして、がん具煙火(打上げ花火)を消費したところ、がん具煙火が傾いて消費位置から約 5m にいた男児に火花が降りかかり、火傷を負ったと推測される。
34	産業火薬	消費中	2019/8/9 18:45 頃	愛知県 小牧市	0	0	1	C1	C1	【その他】交通事故事案で出勤中の消防隊が道路作業用信号焰管 1 本を誤って車中で着火させ、右手掌部に熱傷を負った。
35	煙火	消費中	2019/8/9 20:30 頃	高知県 高知市	0	0	1	C1	C1	【筒ばね】【低空開発】花火大会において、後半を過ぎたころ 4 号玉の筒ばねが発生。4 号筒(5 連筒)が破損するとともに、筒の破片らしき金属片(直径約 15cm~20cm、重さ 233g)が消費位置から約 190m 地点(安全距離外)へ飛翔し、観客 1 名の頭部に当たり軽傷を負った。また、筒ばね発生時に防災シートに覆われた隣の打揚筒に着火し打ち揚げた際、シートが影響し低空開発も発生した。[晴れ、微風、安全距離 100m]
36	がん具煙火	消費中	2019/8/10 19:55 頃	宮城県 大和町	0	0	1	C1	C1	【その他】養護施設において、入居者家族が施設敷地内でがん具煙火(打上げ花火で連発式)を消費中に、消費が終了したと思い、筒を真上から覗いたところ、発射したがん具煙火が左目に直撃し負傷した。
37	煙火	消費中	2019/8/10 20:07 頃	東京都 新宿区	0	0	0	B1	C2	【過早発】【地上開発】【低空開発】花火大会において、スターメイン 3 号玉 1 セットを消費中に 1 筒が過早発を起こし、当該スターメインの他の打揚筒に何らかの影響を及ぼし、4 個の煙火玉が斜めに飛び、1 個が野球室内練習場屋根で開発、2 個は屋根と隣接道路を飛び越えて球場直近で開発、1 個は球場スタンド上空で開発し、スタンド上空で開発した煙火の火花が道路にいた観客に飛んで 1 名が受傷(救護所での応急措置のみ)した。なお、4 個はいずれも観客の立入禁止区域内で開発している。※全国版 3 社以上報道のため B1 級。[晴れ、風速 1.5m/s、安全距離 65m]
38	煙火	消費中	2019/8/11 20:02 頃	岐阜県 下呂市	0	0	2	C1	C1	【その他】夏祭りの花火打揚時に、打揚前の煙火玉(1.5 号玉)が入った段ボール箱が燃えて煙火玉が開発したため、従事者 3 名が退避した際に 2 名が火傷を負った。なお、消費中は無風状態で、打ち揚げた煙火玉の火の粉や玉皮が真下に落ちてくる状況であった。[無風、安全距離 65m]

39	がん具煙火	消費中	2019/8/11 20:25頃	京都府 京都市	0	0	1	C1	C1	【火傷】自宅ガレージ内において手持花火を消費中に、女性の衣料(綿製のロングスカート)に花火の火が着火、一部を焼失し火傷を負った。
40	煙火	消費中	2019/8/11 20:30頃	京都府 亀岡市	0	0	0	C2	H	【火災】河川敷で行われた花火大会において、フィナーレで打ち揚げた煙火(7号銀冠)の火の粉が消費位置から約100m離れた道路法面(安全距離内)に落下し、刈り取られていた枯草7箇所、計約100m <sup>2</sup> を焼失した。
41	がん具煙火	消費中	2019/8/13 21:10頃	宮城県 白石市	0	0	1	C1	C1	【火傷】自宅敷地内において、親戚の子供8名でがん具煙火を消費中に、ロケット花火を手持ち花火と誤認し、本来着火させるべき導火線ではなく花火先端の火薬に直接着火したため、飛翔することなく破裂し、着火元のろうそくを取り囲んでいた近くの女子の目に火花が入り負傷した。
42	がん具煙火	消費中	2019/8/13 23:25頃	大阪府 松原市	0	0	0	C2	H	【火災】20代の男女3名が河川敷でがん具煙火(走行する花火)を消費していた際、がん具煙火が風に煽られ付近の枯草に燃え移り、枯草約339m <sup>2</sup> を焼失した。(強風注意報発令中)
43	がん具煙火	消費中	2019/8/14 22:50頃	大阪府 寝屋川市	0	0	0	C2	H	【火災】学生10名で手持ち花火をしていたところ、河川敷内法面の枯草に炎が燃え移り、枯草約4600m <sup>2</sup> を焼失した。
44	がん具煙火	消費中	2019/8/15 20:00頃	神奈川県 横浜市	0	0	1	C1	C1	【火傷】親子で花火をしていた際、手持ち花火の炎が風に煽られ子供の着衣に着火したため、父親が消火用バケツの水を服にかけ消火したが、子供が腹部に火傷を負った。
45	煙火	消費中	2019/8/17 20:02頃	神奈川県 相模原市	0	0	1	C1	C1	【残滓】祭りのフィナーレで通称小型煙火を消費中、消費位置から約38m付近(安全距離外)で花火を鑑賞していた女性の右目に煙火の残滓が入ったため、現地救護所で洗眼を実施したが、目の痛みが取れず当日中に医療機関を受診し診断の結果、右眼球に傷が認められた。[晴れ、最大風速1.6m/s、安全距離30m]
46	がん具煙火	消費中	2019/8/17 20:10頃	大阪府 大阪市	0	0	1	C1	C1	【火傷】大人4名、子供5名で、がん具煙火(手持ち花火)で遊んでいたところ、花火の火が女兒の浴衣の袖に燃え移り、右腕に火傷を負った。
47	煙火	消費中	2019/8/17 20:32頃	長野県 塩尻市	0	0	0	C1	H	【筒ばね】花火大会のフィナーレで打ち揚げたワイドスターメイン(5号+2.5号玉、笛・雷・ザラ星入り)で筒ばねが発生、鉄製打揚筒が破損した。なお、筒ばねは最初に1列に並べた3本の打揚筒の内、中央の1本で発生し、中央の筒が破裂した力で両側の筒が変形し煙火玉の出口が塞がれた状態となり両側2本の打揚筒内で煙火玉が開発し、結果として3本とも筒ばねしたと推測される。また、筒ばねにより消費位置から最大36m程度打揚筒の破片が飛散した。[曇り、最大風速4.3m/s]
48	煙火	消費中	2019/8/18 20:20頃	北海道 岩見沢市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会において、打ち揚げた4号玉が何らかの原因で開発せず、消費位置より約40m地点(安全距離内)の雑木林に落下した。花火大会終了後黒玉を探索したが発見できず、翌日以降も探索を続け、2日後の20日に黒玉の一部(破片)を発見した。[晴れ、最大風速4m/s、安全距離100m]
49	煙火	消費中	2019/8/23 19:25頃	埼玉県 三郷市	0	0	0	C2	H	【低空開発】花火大会において、スターメインの打揚中に2.5号玉1発が消費位置から約20m地点(安全距離内)で低空開発した。[曇り、最大風速5.3m/s、安全距離110m]
50	がん具煙火	消費中	2019/8/25 23:00頃	愛知県 名古屋	0	0	0	C2	H	【火災】がん具煙火の火種により、枯草が約150m <sup>2</sup> 焼損した。なお、火災発生時、がん具煙火の消費者は既に現場を立ち去っていた。
51	煙火	消費中	2019/9/4又は 9/5 20:30~20:35	千葉県 浦安市	0	0	0	C2	H	【黒玉】9月19日(煙火消費2週間後)にテーマパークにおいて、従業員が消費位置から約35m地点(安全距離内)で黒玉を発見し、直ちに自衛消防隊に報告し回収した。[両日とも曇り、最大風速5.7m/s、5.6m/s、安全距離110m]
52	煙火	消費中	2019/9/7 20:30頃	京都府 与謝野町	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会において、仕掛煙火(滝)に点火後に風で火の粉が飛散、消費位置から約3m付近(安全距離内)の畑あぜ道から出火し、枯草約96m <sup>2</sup> を焼失した。[曇り後晴れ、最大風速5m/s、安全距離110m]
53	煙火	消費中	2019/9/9 22:00	新潟県 小千谷市	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会において、打ち揚げた40号玉1発が過早発となった。[晴れ、最大風速2.6m/s、安全距離700m]
54	煙火	消費中	2019/9/15 20:43頃	香川県 丸亀市	0	0	0	C2	H	【火災】テーマパークの花火イベントにおいて、演出効果用煙火を消費中に、消費位置から約2m付近(安全距離内)の下草から煙が出ていたため、煙火業者が消火用水で消火したが、下草約4m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、風速1m/s、安全距離40m]
55	煙火	消費中	2019/9/22 23:15頃	長野県 長野市	0	0	0	C2	H	【火災】神社の例大祭のために消費していたナイアガラの滝の花火が風に煽られ消費位置から2.8m付近(安全距離内)の下草に落ち、消費終了後しばらくして燃え上がり、下草約10.86m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、風速2m/s]
56	煙火	消費中	2019/10/26 18:35頃	茨城県 土浦市	0	0	0	B1	C2	【異常飛翔】【地上開発】花火競技大会において、打ち揚げられたスターメインの2.5号玉(輸入品、4号と2.5号の重ね玉)が、消費位置から約260m地点(安全距離外)に落下し開発した。※全国版3社以上報道のためB1級。[晴れ、最大風速1.9m/s、安全距離110m]
57	煙火	消費中	2019/11/30 18:05頃	北海道 函館市	0	0	0	C1	H	【火災】クリスマスイベントのため煙火打揚(5号まで)を実施したところ、消費位置から約180m地点(安全距離外)の草地から煙が上がっていたのを発見し、打揚業者のスタッフが消火器で消火作業を実施した。その後消防車が到着し、消防職員が現場を検分し鎮火を確認したが念のため放水を行った。[曇り、最大風速3m/s、安全距離100m]

事故一覧（令和 2 年）

No.	種類	取扱	発生日時	発生場所	死	重傷	軽傷	旧級	新級	事故概要
1	がん具煙火	消費中	2020/1/18 10:33 頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C1	C2	【火災】事故発生場所居住者の男児が、ベランダでがん具煙火(手持ち花火) 1 本を消費していた際に、ベランダ内の雑品に燃え移り火災となった。[晴れ、風速 2.7m/s]
2	煙火	消費中	2020/2/1 19:40 頃	福井県 大野市	0	0	0	C2	H	【低空開発】花火大会で打揚げ予定だった 1.5 号玉スターメイン 7~8 個が低空開発した。[晴れ、風速 2m/s、安全距離 65m]
3	煙火	消費中	2020/2/17 08:23 頃	宮城県 加美町	0	0	0	C1	C2	【火災】ビニールハウスの上に登っていた猿を追い払うため、動物駆逐用煙火(連続発射式)を猿に向けて発射したところ、2 本目の煙火の閃光体がビニールハウスの上部の穴から入り込み、ロール稲わらの上で爆発し延焼した。なお、専用ホルダーを使わない手持ち使用であった。[晴れ、最大風速 2.2m/s]
4	煙火	消費中	2020/2/22 19:38 頃	鹿児島県 日置市	0	0	0	C1	H	【火災】イベント用の演出効果用煙火を消費したところ、火の粉が落ちてきて、消費位置から 22m 付近(安全距離外)の施設の空地の枯草及び竹藪 696m <sup>2</sup> を焼失した。[曇り、風速 4m/s、安全距離 20m]
5	がん具煙火	消費中	2020/3/7 12:55 頃	愛知県 名古屋市	0	0	1	C1	C1	【火傷】カフェ店内において、パースデーケーキの演出用としてがん具煙火(スパークラー)をケーキに差して点火(火薬塗布部分と柄の境目付近)して客に提供したところ、がん具煙火の先端部分が落ちて、客の女性が火傷を負った。
6	がん具煙火	消費中	2020/4/4 20:05 頃	愛知県 名古屋市	0	0	0	C2	H	【火災】がん具煙火(笛ロケット)の火種により、枯草が約 75m <sup>2</sup> 焼失した。
7	がん具煙火	消費中	2020/5/7 21:30 頃	島根県 松江市	0	0	0	C2	H	【その他】複数の未成年者が、がん具煙火(打上花火)を手を持ち、公園に設置された野外モニュメントに向けて発射させた。警備員が防犯カメラの映像を確認し、現場に駆け付けたが、行為者 4 名は既に立ち去っていた。当該モニュメントにはコーティング等の焼け焦げはなく、煤が複数箇所に付着した状態であった。
8	がん具煙火	消費中	2020/5/12 15:38	愛知県 常滑市	0	0	0	C2	H	【火災】がん具煙火(地上回転花火)を消費中、誤って付近の枯草に着火し、枯草約 315m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 8.7m/s]
9	産業火薬	消費中	2020/5/25 11:30 頃	福岡県 飯塚市	0	0	0	C1	C2	【飛石】採石場において発破による飛石が発生し、場内約 200m 離れた巡回車のフロントガラスに放射状のひび割れ、県道をまたいだ約 450m 離れた当該事務所駐車場の乗用車の後部ドア 2 か所に当たり傷が発見された。
10	煙火	消費中	2020/6/1 20:04 頃	北海道 札幌市	0	0	0	B1	H	【部品落下】【火災】花火プロジェクトによる打揚花火を行ったところ、煙火の部品(報告は残滓)が山中の地上に落下し、消費位置から 26m 付近(安全距離内、風上)の枯草約 20m <sup>2</sup> 、消費位置から 120m 付近(安全距離外、風下)の枯草約 300m <sup>2</sup> を焼失した。※全国紙 3 社以上報道のため B1 級。[晴れ、最大風速 4m/s、安全距離 80m]
11	がん具煙火	消費中	2020/6/10 14:20 頃	新潟県 長岡市	0	0	0	C2	H	【火災】畑の近くで猿の鳴き声が聞こえ、畑を荒されと思い、威嚇目的で鳴き声のする山林にロケット花火を 4 本使用した(がん具煙火の目的外誤使用)ところ、枯草に着火し、雑木や枯草等 6,700m <sup>2</sup> を焼失した。
12	がん具煙火	消費中	2020/8/8 20:45 頃	神奈川県 川崎市	0	0	1	C1	C1	【火傷】公園において男児が手持ち花火を消費していた際、自身が持っていた燃焼中の花火の火を利用して友人の花火に点火しようと友人と向かい合ったところ、点火した友人の花火が自身の着衣である半ズボンに接触して出火し、火傷を負った。
13	煙火	その他	2020/8/8 23:48 頃	愛媛県 鬼北町	0	0	0	C1	C1	【火災】煙火製造所内にある倉庫(危険区域外)で火災が発生し、倉庫 5 棟(がん具煙火を庫外貯蔵していたものを含む)及び車両 2 台に延焼した。なお、火災の範囲は倉庫エリアのみで、火薬庫及び製造所危険工室等への延焼はなかった。花火大会で消費後持ち帰った通称小型煙火の残り火が原因と考えられる。
14	がん具煙火	消費中	2020/8/16 20:45 頃	愛知県 名古屋市	0	0	0	C2	H	【火災】がん具煙火のゴミを公園内に存置されていた枯草等の可燃物が入ったゴミ袋に入れて立ち去った後、ゴミ袋内部から出火し、ゴミ袋及び公園柵が焼損した。[晴れ、風速 4.7m/s]
15	がん具煙火	消費中	2020/8/16 20:50 頃	愛知県 名古屋市	0	0	0	C2	H	【火災】高校生 7 名でがん具煙火を消費中、内 1 名が燃焼中の手持ち花火を友人に向け投げたところ、河川敷の枯草に着火し、約 100m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、風速 3.9m/s]
16	がん具煙火	消費中	2020/8/19 21:48 頃	大阪府 岸和田市	0	0	1	C1	C1	【火傷】女兒が手持ち花火(スパークラー)を消費中、着衣に燃え移り火傷を負った。[晴れ、風速 1.0m/s]
17	がん具煙火	消費中	2020/8/23 19:12 頃	愛知県 岡崎市	0	0	0	C2	H	【火災】河川敷において家族でがん具煙火を消費中、打上花火が倒れ、花火が枯草に着火し、枯草等約 323m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 4.7m/s]
18	産業火薬	消費中	2020/8/27 11:30	神奈川県 横浜市	0	0	0	C1	C2	【試験中】航空機装備品の火工品を使用した動作試験中に異常が発生し、航空機装備品の一部が破損、飛散した。
19	煙火	消費中	2020/8/28 19:30~20:30	岡山県 吉備中央町	0	0	0	C2	H	【黒玉】【異常飛翔】公園内で煙火消費が行われた翌日の 14 時頃、消費場所から 190m 離れた場所(安全距離外)を訪れた一般人が黒玉を発見し、警察署に通報した。[晴れ、最大風速 2.5m/s、安全距離 100m]
20	がん具煙火	消費中	2020/8/29 09:05 頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	C1	C2	【火災】道路規制作業のために道路作業用発炎筒(がん具煙火)を路肩に投下した際、発炎筒の先端部が欠けて跳ねたことにより、国道との分離帯に落下し、分離帯の雑草と管理用フェンスを焼損した。[曇り、風速 4.0m/s]
21	がん具煙火	消費中	2020/8/29 19:36 頃	京都府 京都市	0	0	1	C1	C1	【火傷】家族 4 人でがん具煙火を消費中、女兒が手持ち花火の消費中に、着衣のワンピースにがん具煙火の火が着火し、ワンピースの一部を焼損し、火傷を負った。
22	がん具煙火	消費中	2020/9/2 19:20 頃	新潟県 村上市	0	0	0	C2	H	【火災】キャンプ中の男性 4 名ががん具煙火(ロケット花火 10 連発)を打ち上げたところ、近くの高さ約 20m の岩の中腹に落下し、立木(松)と草の数が所に燃え移った。

23	がん具煙火	その他	2020/9/10 09:45 頃	長野県 下條村	0	0	1	C1	C1	【その他】当事者(負傷者)が屋外で自宅車庫の片付けで出た段ボール等の不要品を焼却していたところ、ゴミに紛れていたがん具煙火等にゴミ焼の火が着火し、自身が着用していた衣服に延焼し火傷を負ったと推定。[曇り、風速 1.6m/s]
24	煙火	消費中	2020/9/26 18:00~19:00	秋田県 大仙市	0	0	0	C2	H	【黒玉(小割)】河川敷で煙火消費が行われた 3 日後に消費位置から約 200m 離れた地点(安全距離内)を訪れた一般人が黒玉(直径 7cm 程度) 1 個を発見し、消防に通報した。[曇り、風速 3m/s、安全距離 240m]
25	産業火薬	消費中	2020/10/7 8:40 頃	高知県 梶原町	0	0	1	C1	C1	【火災】猟銃製造工場内の試射場においてライフルを試射していたところ、発射先の床面から発火し、試射場の一部を焦がすとともに、1 名が顔に火傷を負った。
26	煙火	消費中	2020/10/18 20:00 頃	神奈川県 川崎市	0	0	0	C1	C2	【異常燃焼】打揚煙火(5 号玉)が約 200m の高さで開発したものの、多数の星が異常燃焼により地面に落下し、付近の野球場防護ネットに着火し、出火した。
27	煙火	消費中	2020/11/5 15:43 頃	宮城県 丸森町	0	0	0	C1	C2	【火災】猿が出没したため、農作物被害防止のため町より提供された動物駆逐用煙火(連続発射式)を杉林に向けて消費したところ、付近の落葉等に着火し、山林に延焼拡大した。専用ホルダーに装着しての手持ち使用であった。
28	産業火薬	消費中	2020/11/11 14:00 頃	宮城県 登米市	0	0	1	C1	C1	【飛石】採石場において法面の修正発破を実施した際、飛石が発破箇所から 43m 地点にいた点火者の手のひら及び付近にあった自家用車に衝突した。
29	産業火薬	消費中	2020/11/16 13:33 頃	宮城県 仙台市	0	0	0	C2	H	【火災】信号炎管操作訓練において携帯用信号炎管を消費したところ、信号炎管から噴出した火花が鉄道枕木に着火し火災に至った。
30	がん具煙火	消費中	2020/11/25 02:50 頃	愛知県 名古屋市	0	0	0	C2	H	【火災】ディスコバーにおいて、演出用ががん具煙火をセットした 4 段のバースデーケーキのハリボテをパーティー会場に持ち込む前に、がん具煙火に点火したところ、火花が天井付近に当たっていることに気付かず、室内の物品及び埋め込み式パッケージエアコンが焼損した。
31	煙火	消費中	2020/12/5 20:05 頃	兵庫県 丹波篠山市	0	0	0	C2	H	【部品落下】【火災】煙火玉 1,220 個(仕掛煙火含む)を消費予定のゴルフ場での花火大会において、開始 15 分頃に消費位置付近(安全距離内)で火災が発生し、枯れ草等約 7m <sup>2</sup> を焼失した。なお、火災は従事者 2 名が水消火器で消火したが、現場の消防団の通報による消防本部の到着、現場確認及び消火作業の間、消費を中断していたところ、許可時限に至ったため花火大会は中止となった。[晴れ、風速 1.4m/s、安全距離 300m]
32	煙火	消費中	2020/12/31 18:40 頃	兵庫県 たつの市	0	0	0	C2	H	【火災】年越し花火終了後に、消費位置から約 40m 付近(安全距離内)の河川敷で火災が発生し自生のススキが燃えた。[晴れ、最大風速 4.0m/s、安全距離 180m]

事故一覧（令和3年）

No.	種類	取扱	発生日時	発生場所	死	重傷	軽傷	旧級	新級	事故概要
1	煙火	消費中	2021/1/1 00:00 頃	群馬県 伊勢崎市	0	0	0	C2	H	【火災】新年の合図に伴う3号玉10個の打揚げを行い、終了後に消費位置から3m付近(安全距離内)の枯れ草等から煙が出ていたため煙火業者が足で踏み消して引きあげた。その後、近所の住民から煙内に火が見える通報があり、消防が消火活動を実施、畑約10m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、風速1m/s、安全距離50m]
2	産業火薬	消費中	2021/1/28 21:20	広島県 三次市	0	0	1	C1	C1	【飛石】トンネル掘削工事現場構内で発破を行ったところ、発生した飛石がトンネル内壁に当たって方向が変わり、発破場所から約110m離れた位置で大型重機の背面に退避していた伝達役1名の右胸部に当たり負傷した。
3	産業火薬	消費中	2021/2/1 15:30 頃	熊本県 熊本市	0	0	0	C1	C2	【その他】採石場においてベンチを横孔で発破したところ、切羽から約5m離れた場所に停車していたままになっていた軽トラック(従業員所有)に破砕された岩石が崩れ落ち埋没した。
4	煙火	消費中	2021/2/24 18:45 頃	愛知県 西尾市	0	0	0	C1	C2	【部品落下】【火災】煙火試験のため煙火を消費したところ、煙火の部品(4号玉の玉皮の一部)が消費位置から約380m地点(安全距離外)の廃屋(倒壊していた倉庫)に落下し、廃屋、立木及び隣地のフェンスの一部を焼損した。[晴れ、最大風速10.6m/s、安全距離130m]
5	煙火	消費中	2021/3/20 19:00 頃	群馬県 高崎市	0	0	0	C2	H	【地上開発】花火競技会において、4号玉10発、7号玉1発で構成されたスターマインの最後に打ち揚げた7号玉が消費位置から約120m地点(安全距離内)で地上開発した。[雨、風速2.0m/s、安全距離130m]
6	煙火	その他	2021/4/13 09:50 頃	愛知県 豊橋市	0	1	0	C1	C1	【廃棄中】煙火製造所内の廃棄焼却場において、製造所従事者が星を複数回に分けて1人で焼却処分をしていたところ、1回目の焼却作業後散水し、30分後に2回目の焼却作業の準備をしていたときに星が発火し、その炎が廃棄焼却場の出入口付近に置いていたバケツ内の星にも着火・延焼した結果、従事者の着衣にも着火し負傷した。
7	煙火	消費中	2021/5/4 19:25 頃	愛知県 日進市	0	0	0	C2	H	【火災】3号・4号玉200個、小型煙火25台(中国製)を消費終了後、消費位置から約40m地点(安全距離内)で竹等が燃焼しているのを発見し、消防が出動した。[晴れ、最大風速6.2m/s、安全距離130m]
8	煙火	消費中	2021/6/4 時間不明	静岡県 熱海市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会が開催された翌日に、一般者が消費位置から約10m地点(安全距離内)で燃焼不良の2.5号トラの尾(中国製)の内部(直径6cm程度)を発見して消防本部に届け出た。[雨、最大風速8.8m/s、安全距離130m]
9	がん具煙火	消費中	2021/7/9 10:45 頃	静岡県 浜松市	0	0	1	C1	C1	【火傷】こども園にて開催された花火教室において、がん具煙火(打上花火、中国製)を消費中、がん具煙火が風により倒れ、園児の方向に発射され、園児1名が負傷した。[晴れ、風速1.4m/s]
10	煙火	消費中	2021/7/10 19:55 頃	宮城県 仙台市	0	0	0	C2	H	【低空開発】プロ野球試合終了後のイベント花火で3号玉2,100発を打ち揚げたところ、その内の1発が低空開発した。[曇り、最大風速4.7m/s、安全距離100m]
11	がん具煙火	消費中	2021/7/19 21:42 頃	京都府 京都市	0	0	1	C1	C1	【火傷】河川敷内で、手持ちのがん具煙火を消費しようと、ライターの火を近づけたが着火せず、さらに火をあぶっていたところ、突然がん具煙火に着火し、火が右手に当たり負傷した。
12	煙火	消費中	2021/7/24 20:05 頃	島根県 西ノ島町	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会において、スターマイン4号玉5発(中国製)が消費位置から0.9mの高さで開発した。[晴れ、風速2.0m/s、安全距離220m]
13	がん具煙火	消費中	2021/7/28 20:48 頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	C2	H	【火災】自宅敷地内で花火をしていた際、立木1本の根元付近に手持ち花火の花火が着火し出火。庭の散水ホースで初期消火を試みたが鎮火しなかったため、消防に通報した。
14	がん具煙火	消費中	2021/8/5 16:40 頃	大阪府 枚方市	0	0	0	C1	C2	【火災】煙を出すタイプのがん具煙火を、民家の立木にできたスズメバチの巣の近くで使用したところ、その直前にスプレーした殺虫剤の石油系成分に引火し、立木の一部を焼損した。なお、初期消火が行われたが失敗し、消防隊の放水により鎮火した。
15	がん具煙火	消費中	2021/8/5 20:10 頃	大阪府 寝屋川市	0	0	1	C1	C1	【火傷】公園でがん具花火を消費していた際、友人のがん具煙火の火炎が女兒の衣類に着火し、衣類の一部を損傷し、女兒が火傷を負った。[曇り、風速1m/s]
16	煙火	消費中	2021/8/11 19:35 頃	山形県 鶴岡市	0	0	0	C2	H	【黒玉】煙火30発打ち揚げの内、3号玉1発が開発せず黒玉となって落下したと推定。主催者が地域住民へ周知するとともに黒玉探索を3日間実施したが発見には至らなかった。なお黒玉発生については、動画画像及び当日発数を数えて確認した。[最大風速1.8m/s、安全距離210m]
17	煙火	消費中	2021/8/16 19:30 頃	静岡県 三島市	0	0	1	C1	C1	【異常燃焼】お祭りで行った手筒花火において、ハネ(花火の終わりに下に火花が抜ける事象)が不完全であった手筒に水を注入したところ火の粉が噴出し、水の注入を行っていた1名が顔面に火傷を負った。[曇り、風速0.7m/s、安全距離20m]
18	がん具煙火	消費中	2021/9/13 21:10 頃	愛知県 名古屋	0	0	0	C1	C2	【火災】男女2名が公園内で花火をしていたところ燃焼中のがん具煙火(煙玉)が植栽の方へ転がっていき放置したため植栽に着火し、掲示板等及び植栽約8m <sup>2</sup> を焼損した。
19	煙火	製造中	2021/10/5 09:58 頃	北海道 小樽市	0	1	2	C1	C1	【発火】煙火製造所の危険区域内の物置において火災が発生し、隣接する物置と車両2台に延焼し、従事者1名が重傷、2名が軽傷を負った。
20	煙火	その他	2021/10/22 16:25 頃	山口県 岩国市	0	0	1	C1	C1	【その他】小学校校舎内の印刷室において、負傷者男性が、他の教員に煙火の点火方法を指導していたところ、3号玉2個(ボックス内に収納した状態)が室内で開発した。
21	がん具煙火	消費中	2021/10/28 23:50 頃	岐阜県 岐阜市	0	0	0	C2	H	【火災】何者かがロケット花火を使用したところ、付近に存置されていた刈り取られた枯草に落下し枯草に燃え広がった。

22	煙火	消費中	2021/11/6 19:31 頃	群馬県 桐生市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火プロジェクトにおいて、2.5 号玉 1 発(ベトナム製)が黒玉となった。なお、花火当日から 2 週間、関係機関との連携により重点的に探索を行ったが、発見に至らなかった。[晴れ、最大風速 2.2m/s、安全距離 30m]
23	煙火	消費中	2021/11/7 20:40 頃	静岡県 熱海市	0	0	0	C2	H	【低空開発】花火大会において、スターマインの一部が消費位置から約 180m 地点(安全距離外)で低空開発した。低空開発したのは 4 号又は 5 号玉(中国製)で、2 年前に輸入したものであった。[曇り、最大風速 6.8m/s、安全距離 130m]
24	がん具煙火	消費中	2021/11/29 19:48 頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	C2	H	【火災】道路規制作業のために、作業車両の助手席窓から点火した緊急保安炎筒(がん具煙火適用品)を投下していたところ、緑地帯の枯草に着火して約 1m <sup>2</sup> を焼損した。
25	産業火薬	玩弄中	2021/12/22 00:30 頃	青森県 弘前市	0	0	2	C1	C1	【その他】中学生が、曾祖父が残したと思われる雷管 7 個を曾祖母の単筒の中から見つけ、住宅内の自分の部屋で乾電池を使用して雷管 1 個を点火、爆発させた(爆発した雷管の側に乾電池が転がっていた)ことにより、本人及び隣の居間に居た父親の身体に雷管の破片が刺さり、救急搬送された。父親は当日退院、本人は 5 日後に退院した。
26	煙火	消費中	2021/12/22 19:50 頃	山梨県 富士川町	0	0	0	C2	H	【部品落下】【火災】花火大会において、打ち揚げられた 10 号玉の玉皮の火の粉が消えずに、消費位置から約 400m 地点(安全距離外)の河川敷の枯れ草に着火し、約 5900m <sup>2</sup> に延焼した。[晴れ、最大風速 10.0m/s、安全距離 300m]
27	産業火薬	製造中	2021/12/29 11:30 頃	群馬県 渋川市	0	0	1	C1	C1	【発火】排気ダクトホースの取替え工事を実施中、電動工具(インパクトドライバ)で作業していたところ、ダクト内部に付着していた埃が発火した。このため、ダクト出口付近にいた作業者が右手に火傷(軽傷)を負った。製造作業は事故発生日の前々日までに終了しており、当日は製造作業を行っておらず、年末の大掃除を実施していた。

事故一覧（令和4年）

No.	種類	取扱	発生日時	発生場所	死	重傷	軽傷	旧級	新級	事故概要
1	煙火	消費中	2022/1/29 19:10頃	広島県 広島市	0	0	0	C2	H	【部品落下】【火災】飛行場跡地内でサプライズ花火(4号まで)を打ち揚げたところ、一部の星が火種の残ったまま落下したため枯草に着火し、安全距離内の廃屋の一部及び枯草等 7,059m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、最大風速 2.7m/s、安全距離 150m]
2	産業火薬	消費中	2022/2/3 14:50	兵庫県 姫路市	0	0	2	C1	C1	【飛石】砕石場において、発破後に一部残った崖や突起物を取り除くために、切羽成形ベンチ発破及び盤下げ発破を行ったところ、想定外の方向に多数の飛石が生じ、約 50m 離れた位置に退避していた従事者 2 名が被災した。
3	煙火	消費中	2022/2/12 20:15頃	和歌山県 串本町	0	0	0	C2	H	【火災】煙火消費中、火の粉が消費位置から 17m(安全距離内)の林野に落ち下草に着火、延焼した。なお、無許可消費の範囲を超えて、5号玉 2個を打ち揚げていた。
4	煙火	製造中	2022/2/18 13:15頃	埼玉県 日高市	0	0	1	C1	C1	【試験中】火工品製造所の試験場において、音響警告弾(煙火適用品)の製品試験を実施中、従事者が投擲した警告弾がドラム缶に当たって方向が変わり、別の測定担当従事者付近で爆発し、足に火傷を負った。
5	産業火薬	玩弄中	2022/2/22 12:45頃	大阪府 河南町	0	0	1	C1	C1	【暴発】倉庫の整理中に出てきた猟銃用実包を潰して廃棄しようとして、玄関で実包を金槌で叩いたところ暴発し、実包を保持していた左手を負傷した。
6	産業火薬	製造中	2022/3/1 13:51頃	宮崎県 延岡市	1	0	7	B1	B1	【暴発】設備工事のため 11 日間稼働停止していた洗浄工室において、稼働を再開し、ジエチレングリコールジナイトレート(DEGN)の計量・払出し作業及びニトログリセリンの貯槽から濾過槽への移送準備作業を行っていたところ、何らかの理由でニトログリセリン約 1.9 トン、DEGN16kg(推定)が爆発し、工室内にいた作業員 1 名が死亡、工場内外の軽傷者 7 名、工場内及び隣接関連事業所内の建屋 86 棟損傷(全半壊 18 棟)、工場外の住宅等 125 棟にガラス破損等の被害を及ぼした。
7	煙火	消費中	2022/3/5 19:15、19:43	群馬県 高崎市	0	0	0	C2	H	【火災】花火競技会(7号まで)において、打揚煙火の火の粉が落下し、消費位置から約 160m 付近(安全距離外)の河川敷中州の枯草 3 箇所(計約 260m <sup>2</sup> )が焼損した。[晴れ、風速 4.5m/s、安全距離 130m]
8	煙火	消費中	2022/4/10 07:20頃	千葉県 浦安市	0	0	0	C2	H	【黒玉】テーマパークの半年に一度の夜間清掃において、打揚終了後の点検では見回らない消費位置から約 30m(安全距離内)の建屋の屋根の雨どいに落ちた黒玉(4号玉)を発見し、水バケツで回収した。[安全距離 110m]
9	産業火薬	製造中	2022/4/25 11:30頃	埼玉県 日高市	0	0	0	C2	H	【廃棄中】製造所内の試験場において信号火せんを廃棄していたところ、上下を逆向きに設置して燃焼させたため信号火せんが飛翔し、試験場の金網を突き破って、製造所外の会社敷地内へ落下した。(推定飛距離 約 90m)
10	煙火	消費中	2022/5/4 20:05頃	福岡県 北九州市	0	0	1	C1	C1	【異常燃焼】【異常飛翔】イベントの煙火消費中に、小型煙火が異常燃焼及び異常飛翔したことにより、消費位置から 70m 付近(安全距離外)で花火を見ていた女兒が右足すね付近に火傷を負った。[晴れ、風速 1m/s、安全距離 40m]
11	がん具煙火	消費中	2022/5/8 20:30頃	大阪府 泉大津市	0	0	0	C2	H	【火災】家族で公園内にて花火遊びをしていたところ、打上花火を固定せずに手に持って使用したため付近の植樹の幹の樹皮約 0.5m <sup>2</sup> が燃焼した。
12	煙火	消費中	2022/5/10 20:34	千葉県 浦安市	0	0	0	C2	H	【過早発】テーマパークで打ち揚げた 3号玉 46発、4号玉 189発のうち 4号玉 1発が過早発となった。[晴れ、最大風速 4.8m/s、安全距離 110m]
13	がん具煙火	消費中	2022/5/14 20:20	愛知県 武豊町	0	0	0	C1	C2	【火災】がん具煙火(噴出花火)使用時に花火の火が風で流されて付近の植木及び下草(8m <sup>2</sup> )に燃え広がった。[最大風速 8.4m/s]
14	がん具煙火	消費中	2022/5/20 15:05頃	愛知県 半田市	0	0	0	C1	C2	【火災】がん具煙火(ロケット花火)消費中、公園内の刈り取った枯草に着火し、フェンス、立木及び枯草約 82m <sup>2</sup> を焼損した。[最大風速 3.4m/s]
15	産業火薬	その他	2022/5/24 14:57	山梨県 甲府市	0	0	1	C1	C1	【暴発】故人の遺品を整理するため段ボール等を焼却処分していたところ、段ボール内の雷管が爆発し軽傷を負った。また、雷管が爆発した際に付近の枯草に延焼(約 10m <sup>2</sup> )した。
16	がん具煙火	消費中	2022/6/11 22:03頃	大阪府 泉大津市	0	0	0	C2	H	【火災】通行人が公園内の立ち木からの火の粉及び煙を発見し、付近の水道でペットボトルに水を汲み消火した(立木 0.5m <sup>2</sup> 焼損)。出火前に複数の者が花火をしているのが目撃されており、消費後のがん具煙火(打上花火)が残されていた。[曇り、最大風速 8.5m/s]
17	がん具煙火	消費中	2022/6/25 20:20頃	広島県 広島市	0	0	1	C1	C1	【火傷】自宅の庭で女兒が手持ち花火で遊んでいたところ、両親が目を離した間に手持ち花火の火が衣服に着火し、軽度の火傷を負った。
18	煙火	消費中	2022/7/16 18:00~20:00	岐阜県 各務原市	0	0	0	C2	H	【黒玉】池の中の台船から打ち揚げる花火大会(3号まで)終了後の翌朝、池に浮遊している黒玉を関係者が発見し、現場で煙火業者へ引き渡した。[雨、最大風速 2m/s、安全距離 65m]
19	煙火	消費中	2022/7/16 20:02頃	香川県 高松市	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会(7号まで)において、2.5号玉(中国製)が打揚筒から発射直後に開発した。花火大会は中断することなく最後まで進行して終了した。[晴れ、最大風速 4m/s、安全距離 200m]
20	煙火	消費中	2022/7/23 20:02頃	神奈川県 川崎市	0	0	0	C2	H	【異常飛翔】花火大会(4号まで)において、仕掛煙火(がん具煙火を電気点火に加工したもの)を消費した際、8個のがん具煙火のうち 4個が転倒して異常飛翔となり、火の粉が消費位置から約 40m(安全距離外)の河川敷まで到達した。[晴れ、風速 1m/s、安全距離 30m]
21	煙火	消費中	2022/7/30 20:40頃	三重県 名張市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会において、仕掛煙火(綱仕掛、中国製)を実施した際、落下した火の粉が真下の中州の葦等の雑草に着火し、約 35m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、風速 0m/s、安全距離 20m]

22	煙火	消費中	2022/7/31 20:08頃	富山県 射水市	0	0	2	C1	C1	【その他】【火災】花火大会において4号玉(中国製)早打ちを2名(打揚担当及び取出し担当)で実施中、火の粉が煙火玉ケースに入って4号玉30個近くが地上で開発したため、打揚従事者2名が負傷した。また打揚現場付近の枯草564m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、風速1.5m/s、安全距離220m]
23	がん具煙火	消費中	2022/8/2 02:27頃	福岡県 福岡市	0	0	0	C1	C2	【火災】ふ頭においてがん具煙火を消費していたところ、近くのフレコンバグにがん具用煙火が接触して出火し、木製パレットやフレコンバグ等を200個以上焼損した。
24	煙火	消費中	2022/8/5 20:07	福岡県 久留米市	0	0	0	C1	C1	【地上開発】花火大会(10号まで)において、打ち揚げられた10号玉が開発せず、消費位置から260m(安全距離外)の高等専門学校の弓道場に落下して開発し、弓道場が全損した。当該煙火玉は、導火線に着火せず不発となり、弓道場の屋根に当たった衝撃で開発したと推定される。[晴れ、最大風速2.9m/s、安全距離250m]
25	煙火	消費中	2022/8/6 19:40頃	北海道 美幌町	0	0	0	C2	H	【低空開発】【火災】花火大会(5号まで)において、3号玉(中国製又はベトナム製)が低空開発して星が燃え尽きる前に地表に落下したため、消費位置から47m(安全距離内)の草地で火災が発生し、枯草389m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速3.1m/s、安全距離100m]
26	煙火	消費中	2022/8/6 20:05頃	茨城県 古河市	0	0	0	C1	H	【火災】花火大会において、4号玉の火の粉により消費位置から約250m(安全距離外)の河川堤防法面において火災が発生し、河川敷下草約3.8m <sup>2</sup> が焼失した。[曇り、最大風速3.4m/s、安全距離110m]
27	がん具煙火	消費中	2022/8/9 02:50	兵庫県 神戸市	0	0	0	C2	H	【火災】広場で花火をしていたところ、点火した打上花火が転倒し、花火の火で近くの河岸法面上の雑草約50m <sup>2</sup> を焼損した。
28	がん具煙火	消費中	2022/8/9 19:20頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	C2	H	【火災】河岸堤防上の歩行者から土手の火災通報があった。出火直前に何者かが花火をしている姿が目撃されており、打ち上げた花火の火で雑草20m <sup>2</sup> を焼失したと思われる。[晴れ、風速5m/s]
29	煙火	消費中	2022/8/10 19:53頃	長野県 松本市	0	0	0	C2	H	【地上開発】花火大会(4号まで)で打ち揚げた2.5号玉が上空で開発せず、消費位置から50m(安全距離外)の高校グラウンドに落下し、開発した。[晴れ、最大風速9m/s、安全距離40m]
30	がん具煙火	消費中	2022/8/11 20:30頃	熊本県 荒尾市	0	0	0	C2	H	【火災】男女2名が空き地でがん具煙火(打上花火)を消費中、花火の火が枯草に着火し、枯草約60m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、風速2m/s]
31	煙火	消費中	2022/8/13 20:07	京都府 京丹後市	0	0	0	C2	H	【黒玉】納涼祭で煙火を消費中、2号玉(2インチ玉、径約5cm)が上空で開発せず、消費位置から10m付近(安全距離内)の水田に落下した。[無風、安全距離50m]
32	煙火	消費中	2022/8/14 12:00頃	岐阜県 中津川市	0	0	0	C2	H	【低空開発】【筒ばね】昼花火として3号玉(号砲)を3発打ち揚げたところ、1発目は玉が高く打ち揚がらず低空開発、2発目は通常通り開発、3発目は筒ばねを起こした。[晴れ、無風、安全距離65m]
33	産業火薬	その他	2022/8/19 12:42	岩手県 八幡平市	0	2	1	C1	C1	【廃棄中】火薬商の社員が、採石場の一部を借用して含水爆薬を廃棄するための燃焼処理中、燃焼促進のためオイルを散布したところ、突然含水爆薬が爆発し、3名が負傷した。
34	煙火	消費中	2022/8/21 19:55頃	新潟県 上越市	0	0	1	C1	C1	【異常燃焼】夏祭り煙火(3号まで)を消費中、噴出仕掛煙火(噴水、中国製)5個に点火したところ、1個が異常燃焼により破裂し、筒を囲んでいた飛散防止用のコンパネ板の破片が消費位置から約40m(安全距離外)にいた観客に当たり擦過創を負った。[風速1m/s、安全距離40m]
35	煙火	消費中	2022/8/21 20:24頃	静岡県 熱海市	0	0	0	C2	H	【低空開発】海上花火大会(10号まで)において、単発打揚の5号玉(中国製)が低空開発(地上30~40m)した。[小雨、最大風速1.8m/s、安全距離130m]
36	がん具煙火	消費中	2022/8/22 22:00頃	神奈川県 川崎市	0	0	1	C1	C1	【火傷】公園で男児ががん具煙火(手持ち花火)2~3本を右手に持ち遊んでいたところ、誤って火炎を左手手背に浴びて火傷を負った。
37	がん具煙火	消費中	2022/8/27 19:59頃	神奈川県 川崎市	0	0	2	C1	C1	【火傷】公園で女児ががん具煙火(手持ち花火)で遊んでいたところ、花火の火が浴衣の左袖付近に着火し、女児及び保護者が火傷を負った。
38	煙火	消費中	2022/8/27 19:00~19:45	愛知県 知多市	0	0	0	C2	H	【黒玉】海上台船から打ち揚げる花火大会(6号まで)終了後の翌朝、台船から約1km離れた海岸の砂浜で黒玉(5号玉)が発見された。[安全距離170m]
39	煙火	消費中	2022/9/4 17:00頃	宮城県 加美町	0	0	1	C1	C1	【異常燃焼】猪の駆逐のため、動物駆逐用煙火(中国製)を本来使用すべき専用手持ちホルダを用いず使用したところ、5発目が筒内で暴発し、煙火を保持していた右手中指を負傷した。
40	産業火薬	消費中	2022/9/21 05:25頃	神奈川県 相模原市	0	1	0	C1	C1	【飛石】トンネル掘削工事のため、坑口から601m地点の岩盤を発破したところ、飛石(12cm)が発生し、点火から数秒後に点火退避場所(切羽から137mの位置)から出た切羽監視員に当たり左足脛骨骨折の重傷を負った。
41	産業火薬	消費中	2022/10/5 14:25	北海道 仁木町	0	0	1	C1	C1	【飛石】トンネル掘削工事において、切羽から138m地点の点火小屋内とその背部に退避して発破を行ったところ、飛石が発生し、点火小屋背部にいた従事者1名の右手小指に飛石が当たり裂傷を負った。
42	煙火	消費中	2022/10/9 18:15頃	千葉県 佐倉市	0	0	1	C1	C1	【筒ばね】5連木枠に装填した打揚煙火2.5号玉(3インチ玉、台湾製)を打ち揚げたところ、そのうちの紙筒1本が破裂し、打揚従事者が持っていたポリカーボネート盾が割れ、破片で軽い打撲を負った。[雨、風速1m/s、安全距離80m]
43	煙火	消費中	2022/10/17 20:35頃	埼玉県 皆野町	0	0	2	C1	C1	【地上開発】打揚煙火2号玉1発が上空で開発せず、消費位置から40m(安全距離内)の駐車場に落ちて開発し、消費位置から105m付近(安全距離外)で煙火を見ていた中学生22名が負傷して引率教師が応急処置を行った。そのうち2名が、翌日、火傷と耳の不調で病院を受診した。[曇り、最大風速1m/s、安全距離100m]

44	煙火	消費中	2022/10/22 19:43	大分県 中津市	0	0	0	C2	H	【火災】夏祭りのサプライズ花火(6号まで)において、消費位置から約55mと約68m地点(安全距離内)の埋立地の雑草が燃え、約16m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速2.9m/s、安全距離190m]
45	煙火	消費中	2022/10/22 19:50頃	島根県 松江市	0	0	0	C2	H	【黒玉】結婚披露宴で2号玉(中国製)20個を打ち揚げたところ、そのうちの1個が上空で開発せず黒玉となった。[晴れ、微風、安全距離90m]
46	煙火	消費中	2022/10/29 19:00頃	愛知県 岡崎市	0	1	0	C1	C1	【その他】奉納花火で3号玉を打揚げる際、左手が筒口に掛かった状態で火種(ロー火)を投入したため、引き遅れた左手に煙火玉が当たり、左手指3本の骨折・裂傷・一部欠損の重傷を負った。[晴れ、最大風速3.6m/s、安全距離100m]
47	煙火	消費中	2022/11/12 16:20頃	神奈川県 厚木市	0	0	0	C2	H	【その他】導通確認のため、点火器の電源を入れたところ、数秒したのち小型煙火(噴水8本)が消費された。
48	産業火薬	製造中	2022/11/18 18:15頃	福岡県 北九州市	0	0	0	C1	C2	【廃棄中】廃棄処理設備において、加熱燃焼炉による爆薬(トリトナル)の廃棄処理を16時に終了後、18時15分頃に処理設備の警報を確認、出社した従業員が19時15分頃に加熱燃焼炉のバッファータンク下部がオレンジ色に発光し、発煙しているのを発見した。
49	煙火	消費中	2022/11/19 17:40頃	宮城県 村田町	0	0	0	C2	H	【部品落下】【火災】花火大会(10号まで)において、4号玉打揚げ中に、落下した星が消費位置から30~50m(安全距離内)の事前散水範囲外の落葉等に着火し、周辺の枯草2カ所(27m <sup>2</sup> 及び12m <sup>2</sup> )を焼損した。[晴れ、風速1m/s、安全距離150m]
50	煙火	消費中	2022/12/3 18:45頃	岡山県 岡山市	0	0	5	C1	C1	【その他】結婚式場の中庭において、披露宴の催し物で仕掛煙火(乱玉方式、中国製)を使用した際に、煙火の筒を誤って上下逆に設置して点火したため、筒すべてが転倒し、煙火が消費位置から6m(安全距離内)の列席者に向けて噴射され、11名の着衣を焦がし、5名が火傷の軽傷を負った。なお、当該事業所は同煙火をがん具煙火として購入し使用していた。[晴れ、最大風速2.9m/s、安全距離20m]
51	煙火	消費中	2022/12/18 18:10頃	愛知県 豊山町	0	0	1	C1	C1	【残滓】花火大会で小型煙火及び噴出煙火(台付手筒)を消費していたところ、消費位置から80m付近(安全距離外)で花火を見ていた観客の目に花火の飛散物が入り、角膜損傷の軽傷を負った。[晴れ、最大風速5.5m/s、安全距離50m]

事故一覧（令和5年）

No.	種類	取扱	発生日時	発生場所	死	重傷	軽傷	旧級	新級	事故概要
1	煙火	消費中	2023/01/01 0:02	岡山県 倉敷市	0	0	0	C1	H	【火災】カウントダウンイベントで小型煙火と打揚煙火(2.5号玉まで、中国製)を消費中、火の粉が周囲の林野に落ち、下草へ着火、安全距離内外の4箇所約140m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、風速1.8m/s、安全距離50m]
2	煙火	消費中	2023/01/01 18:55	滋賀県 彦根市	0	0	0	C2	H	【部品落下】【火災】花火大会(4号玉まで)において、星の破片が河川敷に落下し、安全距離内に自生した雑草へ燃え移り14m <sup>2</sup> を焼失した。[曇り、風速2.3m/s、安全距離130m]
3	煙火	消費中	2023/01/17 20:44頃	千葉県 浦安市	0	0	0	C2	H	【過早発】テーマパークで打ち揚げた3号玉46発、4号玉189発のうち3号玉1発が過早発となった。[雨、最大風速2.0m/s]
4	煙火	消費中	2023/02/04 19:00~21:00	新潟県 長岡市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会(4号玉まで)で2.5号玉が黒玉となって消費位置から約40m(安全距離内)の水田に落下し、約2か月後、農作業をしていた一般人により発見された。[曇り、最大風速2.2m/s、安全距離110m]
5	産業火薬	その他	2023/02/28 16:30頃	宮城県 岩沼市	0	0	0	C1	C2	【廃棄中】廃棄物処理業者の工場において、陸上自衛隊から廃弾(鉄くず)として収集した75mm砲弾をガス溶断器で廃棄処理中に爆発し、破片で工場及び隣接住宅の壁面を損傷した。
6	煙火	その他	2023/03/02 12:46	愛知県 岡崎市	0	0	0	C1	C2	【廃棄中】製造所近くの廃棄処分場において、不要となった火薬(星3~4kg)を燃焼廃棄中、突然の強風により付近の枯草に飛び火して、枯草630m <sup>2</sup> を焼失し、電柱カバーを焼損した。[風速4.7m/s]
7	がん具煙火	製造中	2023/03/16 13:50頃	愛媛県 宇和島市	0	0	1	C1	C1	【発火】がん具煙火製造所における収函作業中、クラッカーの引玉2本が付着していたため、それを剥がそうとしたところ発火し、手元にあった引き玉5,000本(火薬量約50g)に着火して、従業員が火傷等の軽傷を負った。
8	煙火	消費中	2023/04/02 19:45頃、 21:00頃	熊本県 熊本市	0	0	0	C2	H	【火災】港の埋立地で行われた花火大会(10号玉まで)において、落下した煙火の火の粉が消費位置から約50mと約100m(安全距離内)の枯草に2回にわたり着火し、それぞれ360m <sup>2</sup> 及び4,800m <sup>2</sup> の枯草を焼失した。[曇り、最大風速6.3m/s、安全距離200m]
9	がん具煙火	消費中	2023/04/24 15:31	山形県 東根市	0	0	0	C2	H	【火災】空港において、鳥の駆除のためがん具煙火(ロケット花火、中国製)2本を使用したところ、花火の火により滑走路横の草地約1,664m <sup>2</sup> を焼失した。
10	がん具煙火	消費中	2023/05/03 15:35頃	広島県 北広島町	0	0	0	C2	H	【火災】休耕田でがん具煙火(打上花火)2本を地面に設置し火をつけたところ、導火線の火花が周囲の枯草に着火し、枯草532m <sup>2</sup> を焼失した。[最大風速6.4m/s]
11	がん具煙火	消費中	2023/05/03 20:38	山梨県 忍野村	0	0	0	C2	H	【火災】川沿いの空き地でがん具煙火(打上花火、中国製)で遊んでいたところ、点火した花火が転倒し、打ち出された花火の火で対岸の枯草約4m <sup>2</sup> を焼失した。
12	がん具煙火	消費中	2023/05/03 21:25	鳥取県 鳥取市	0	0	0	C2	H	【火災】駐車場でがん具煙火(打上花火)で遊んでいたところ、枯草近くに落ちた花火の火により枯草約72m <sup>2</sup> を焼失した。
13	煙火	消費中	2023/05/23 20:33	千葉県 浦安市	0	0	0	C2	H	【黒玉】テーマパークの定期清掃中に、消費位置から約70m(安全距離内)の施設の屋根の雨どいに落ちていた黒玉(3号玉)を発見し、水バケツで回収した。記録映像から清掃日の13日前に打ち揚げた玉であることを確認した。[安全距離110m]
14	産業火薬	消費中	2023/05/24 13:17	岡山県 岡山市	0	0	0	C2	H	【火災】高速道路での交通事故処理中、警察官が使用した道路作業用信号炎管が路側帯まで転がって、下草約7m <sup>2</sup> を焼失した。[最大風速7.9m/s]
15	がん具煙火	消費中	2023/06/03 13:50頃	熊本県 荒尾市	0	0	0	C2	H	【火災】男女6名でがん具煙火(打上花火)で遊んでいたところ、60m離れた草地に花火の火が落下して下草約90m <sup>2</sup> を焼失した。[風速11m/s]
16	産業火薬	製造中	2023/07/13 15:30頃	福島県 西郷村	0	0	0	C2	H	【廃棄中】長期保管していた信管を分解処理しようとして、水中に浸漬し火薬部分に水を含ませた後、竹串で火薬部分を崩そうと力を加えたところ爆発し、飛散した金属破片で従業員が軽い怪我を負った。火薬はトリシネート系爆粉であった。
17	産業火薬	消費中	2023/07/14 9:01頃	秋田県 能代市	0	0	0	C2	H	【試験中】固体ロケットモータ(推進薬量約18トン)の燃焼試験中に燃焼中の推進薬が爆発し、当該試験棟が全壊、周囲の7棟の建屋の窓、壁、扉等を破損した。
18	煙火	消費中	2023/07/16 20:30頃	大分県 津久見市	0	0	0	C2	H	【地上開発】港祭り花火大会(15号玉まで)において、台船から10号玉30発を打ち揚げたところ、最後の10号玉が台船から約50m(安全距離内)の海上に落下した後に開発した。[晴れ、最大風速6.6m/s、安全距離250m]
19	煙火	消費中	2023/07/17 17:18頃	大阪府 大阪市	0	3	0	B1	B1	【その他】コンサート会場において演出効果用煙火(音効果、米国製)に電気点火したところ、発音薬5gが入った鉄管が半分に割れて飛散し、消費位置から11m~35mにいた観客3名に破片が当たって頭蓋骨折等の重傷を負った。
20	煙火	消費中	2023/07/19 20:00頃	新潟県 南魚沼市	0	0	0	C2	H	【低空開発】【黒玉】花火大会(10号玉まで)において、7号玉の打揚げの際にFRP製打揚筒が破損して低空開発となり、周囲の打揚げ前の6個の煙火に着火して打ち揚げられ、そのうち2個の10号玉が低空開発した。また、4日後に消費場所付近の公園内で黒玉(3号玉)が発見された。[雨、最大風速4.0m/s、安全距離250m]
21	煙火	その他	2023/07/22 13:00頃	兵庫県 川西市	0	0	0	C1	C2	【発火】高校のオープンハイスクールにおける理科実験で、塩素酸カリウム/硫黄/活性炭/炭色用金属塩を混合した火薬を葉包紙に包み竹ひごに巻き付けて手持ち花火を製作し、燃焼実験を行った。参加した中学生のうち1名が余った4本の花火をビニール袋に入れて持ち帰ったところ、約1時間45分後に鞆の中の花火がパチパチと音を立てて発火し鞆の中の物が焦げた。

22	煙火	消費中	2023/07/22 19:57	群馬県 前橋市	0	0	0	C2	H	【部品落下】【地上開発】【異常飛翔】花火大会(4号玉まで)において、小型煙火に点火したところ、打ち揚げられた内筒の1発が安全距離を超え、消費場所から約75m、観客の前方向約7mの位置に落下して開発した。[晴れ、最大風速8.7m/s、安全距離60m]
23	煙火	消費中	2023/07/22 20:15~20:20	北海道 中富良野町	0	0	2	C1	C1	【部品落下】花火大会(4号玉まで)において、小型煙火の内筒や軽石と思われる煙火の部品が観客席に落ち、消費位置から約70m地点(安全距離外)の観客2名が頭部裂傷等の軽傷を負った。[晴れ、風速1.7m/s、安全距離20m]
24	煙火	消費中	2023/07/22 20:30頃	北海道 千歳市	0	0	1	C1	C1	【部品落下】花火大会(2.5号玉まで)において、玉皮や小型煙火の軽石と思われる煙火の部品が観客席に落ち、消費位置から62m地点(安全距離外)にいた女兒1名が顔に切傷を負った。[晴れ、風速4m/s、安全距離40m]
25	煙火	消費中	2023/07/22 20:40頃	静岡県 浜松市	0	1	0	C1	C1	【異常燃焼】夏祭りで手筒煙火を消費中、1本の手筒煙火が異常燃焼して激しく火花が噴出し、従事者が右腕にII度火傷の重傷を負った。[風速1.7m/s、安全距離5m]
26	煙火	消費中	2023/07/23 20:33頃	沖縄県 宮古島市	0	0	0	C1	C2	【火災】夏祭りで打ち揚げた3.5号玉が4号玉の火の粉が消えずに消費位置から約50m(安全距離内)の植栽に落下して着火し、植栽200m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、最大風速6m/s、安全距離200m]
27	がん具煙火	消費中	2023/07/28 8:38頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	C1	C2	【火災】高速道路において交通規制のために使用した道路作業用発煙筒(がん具煙火)が風に押されて移動し、セーフティガイドブロックに接触して着火し、一部焼損した。[晴れ、風速2.7m/s]
28	煙火	消費中	2023/07/28 20:15頃	神奈川県 大磯町	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会(7号玉まで)において、5号玉(輸入品)1発が過早発となった。[晴れ、風速6m/s、安全距離220m]
29	煙火	消費中	2023/07/30 20:00頃	千葉県 佐倉市	0	0	0	C2	H	【火災】【部品落下】花火大会(4号玉まで、中国製含む)において、スターマインに使用した煙火の部品の落下による火災が消費位置から20m付近(安全距離内)で発生し、山林200m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速1.5m/s、安全距離110m]
30	煙火	消費中	2023/07/30 20:01	群馬県 桐生市	0	0	0	C1	C2	【火災】祭り会場にて長さ20mのナイアガラ(中国製)を消費したところ、消費位置から1m(安全距離内)の檜の紅白垂れ幕が火の粉により着火し、一部を焼損した。[最大風速7.5m/s]
31	煙火	消費中	2023/07/31 19:35頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会(10号玉まで)において、台船上から打ち揚げた10号玉1発が過早発となった。[晴れ、最大風速7.6m/s、安全距離300m]
32	がん具煙火	消費中	2023/08/02 19:30頃	長野県 宮田村	0	1	0	C1	C1	【火傷】老人ホーム施設の入居者と職員ががん具煙火(手持ち花火)を楽しんでいたところ、車いすに乗っていた入居者のひざ掛けに花火の火が着火し、着衣に燃え移って重度の火傷を負った。
33	産業火薬	玩弄中	2023/08/03 13:00頃	広島県 庄原市	0	0	1	C1	C1	【その他】空き家となった祖父の家の蔵の中で発見した黒色猟用火薬800g、猟用雷管252個を母屋へ搬送中、黒色火薬約100gがこぼれたため、湿気ていないか確認しようと火の着いた口ウソクを投げ込んだが、すぐに着火しないため覗き込んだところ爆発し、顔面及び両手に火傷を負った。
34	煙火	消費中	2023/08/05 19:03,19:06, 19:15	神奈川県 海老名市	0	0	0	C2	H	【過早発】河川敷で行われた花火大会(4号玉まで)において、2.5号玉(中国製)が3回にわたり過早発となった。[晴れ、最大風速3m/s、安全距離65m]
35	煙火	消費中	2023/08/05 19:43頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会において、河川上の台船から打ち揚げられたスターマインの10号玉4発のうち1発が黒玉となり、大会の翌朝、近くの河川上に浮いているのが発見された。[晴れ、最大風速4.1m/s、安全距離250m]
36	煙火	消費中	2023/08/05 20:08頃	東京都 板橋区	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会において、全長700mのナイアガラ(中国製)による火の粉で河川敷の下草が着火し、安全距離内外の下草約2,000m <sup>2</sup> が焼失した。[晴れ、最大風速3m/s、安全距離20m]
37	煙火	消費中	2023/08/05 20:14	神奈川県 相模原市	0	0	0	C1	C2	【火災】中学校敷地内で開催されたふるさと祭りにおいて、長さ40m、炎管55本のナイアガラの火の粉により、消費位置から10m以遠の敷地内(安全距離外)の植栽(シロの木)及び防球ネットを焼損した。[晴れ、風速7m/s、安全距離10m]
38	煙火	消費中	2023/08/05 20:42頃	大阪府 岸和田市	0	0	0	C2	H	【低空開発】【異常飛翔】小学校敷地内で小型煙火を消費中、通常よりも低く開発したため、中断して残りの小型煙火の安全確認後、安全距離を5m延ばして50mに変更して再開したところ、低空開発及び異常飛翔が見られたため直ちに消費を中止した。[晴れのち雨、風速0m/s、安全距離45m]
39	煙火	消費中	2023/08/06 19:20~19:40	宮城県 大和町	0	0	0	C2	H	【黒玉】夏祭りの花火イベント(4号玉まで)翌日の清掃作業時に、消費位置から120m地点(安全距離外)で黒玉(4号玉)が発見された。[晴れ、最大風速6.5m/s、安全距離110m]
40	煙火	消費中	2023/08/06 21:00頃	熊本県 和水町	0	0	0	C2	H	【火災】お祭りで打揚煙火(6号玉まで)を消費中、点火用の速火線の火の粉が風に煽られ、消費位置から約35m(安全距離内)の対岸法面の枯草に着火し、約20m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、風速4m/s、安全距離110m]
41	がん具煙火	消費中	2023/08/07 19:50頃	千葉県 千葉市	0	0	0	C2	H	【火災】高校生3人が海岸の草地でがん具煙火で遊んでいたところ、下草に着火し、延焼拡大して約200m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速7.5m/s]
42	煙火	消費中	2023/08/09 19:50頃	京都府 京丹後市	0	0	0	C2	H	【黒玉】海岸の公園で行われた花火大会(2号玉まで)において、黒玉(2号玉)が発生し、消費位置から約80mの海上(安全距離外)に停泊していた漁船内で発見された。[曇り、最大風速6.0m/s、安全距離50m]
43	煙火	消費中	2023/08/09 20:00~21:00	高知県 高知市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会(8号玉まで)で丘の上から打ち揚げた7号玉(ベトナム製)が黒玉となって消費位置から約90m(安全距離内)の墓地に落下し、約1年後、墓参りに来た一般人により発見された。[晴れ、最大風速3m/s、安全距離200m]

44	がん具煙火	消費中	2023/08/09 21:49	鳥取県 鳥取市	0	0	0	C2	H	【火災】駐車場でがん具煙火で遊んでいたところ、付近の枯草に着火し、風に煽られ駐車場脇の枯草約 196m <sup>2</sup> を焼失した。[風速 5.0m/s]
45	がん具煙火	その他	2023/08/09 22:00頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C1	C2	【火災】乗用車のトランクに積載していたがん具煙火のセットもの 1 袋が、バックドアを閉めた際にドアに挟まり、その打撃または摩擦でがん具煙火が発火した。
46	がん具煙火	消費中	2023/08/11 0:31	鳥取県 鳥取市	0	0	0	C2	H	【火災】海水浴場でがん具煙火(手持ち花火)で遊んでいたところ、砂防林法面の下草に着火して延焼し、防砂林の下草及び落葉約 630m <sup>2</sup> を焼失した。[風速 6m/s]
47	がん具煙火	消費中	2023/08/11 0:43	鳥取県 鳥取市	0	0	0	C2	H	【火災】駐車場でがん具煙火(噴出花火)で遊んでいたところ、風により花火が倒れ、その火花により枯草に着火して約 105m <sup>2</sup> を焼失した。[風速 6m/s]
48	煙火	消費中	2023/08/12 19:53頃	神奈川県 清川村	0	0	0	C2	H	【過早発】お祭りで打揚煙火(3号玉まで)を消費中、2.5号玉(中国製)1発が過早発となった。[晴れ、最大風速 1m/s、安全距離 25m]
49	煙火	消費中	2023/08/14 20:00頃	岡山県 奈義町	0	0	0	C2	H	【黒玉】夏祭りで打揚煙火を消費中、8号玉 1発が黒玉となり、消費位置から約 50m(安全距離内)の水田に落下した。黒玉は、当日及び後日 3日にわたる捜索でも発見されなかったが、約 1か月半後に稲刈りを行っていた住民が発見した。[晴れ、風速 2m/s、安全距離 130m]
50	煙火	消費中	2023/08/15 20:30	新潟県 刈羽村	0	0	0	C1	H	【火災】【異常飛翔】花火大会(10号玉まで)において、消費位置から約 1km離れた箇所(安全距離外)の草竹約 1m <sup>2</sup> が焼失した。現場に煙火の破片が散乱していたことから、強風(最大風速 11.7m/s)による煙火の火の粉飛散が原因と特定された。[晴れ、最大風速 11.7m/s、安全距離 250m]
51	煙火	消費中	2023/08/16 20:55頃	山形県 大石田町	0	0	0	C2	H	【部品落下】【火災】花火大会において、20号玉を打ち揚げたところ、消費位置から約 300m離れた河川敷(安全距離外)の下草が出火し、約 3m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 1m/s、安全距離 300m]
52	煙火	消費中	2023/08/19 19:30頃	埼玉県 所沢市	0	0	0	C1	C2	【黒玉】野球場の夏祭り 2.5号玉 1200発(重ね玉)を打ち揚げたところ、4発が黒玉となり、そのうちの 1発が消費位置から 85m(安全距離外)の道路で信号停車していた乗用車のフロントガラスとボンネットの間に落下してカウルトップパネルを破損した。なお、翌々日に消費位置から 70m(安全距離外)程度離れた建物屋根に 2個、雑木林に 1個の黒玉を発見した。[雨、最大風速 5.9m/s、安全距離 65m]
53	煙火	消費中	2023/08/19 20:20頃	岐阜県 大垣市	0	0	0	C2	H	【低空開発】花火大会(3号玉まで)において、3号玉 2個が上空で開発せず、地上 1m まで落下して低空開発した。[晴れ、最大風速 1.7m/s、安全距離 180m]
54	煙火	消費中	2023/08/19 20:30頃	愛知県 幸田町	0	0	0	C2	H	【低空開発】夏祭りにおいて、73台の小型煙火を消費したところ、うち 2台の 100発中 1発、計 2発の内筒が 5~6mの高さで低空開発した。[晴れ時々曇り、最大風速 7.5m/s、安全距離 20m]
55	煙火	消費中	2023/08/20 19:33頃	千葉県 富津市	0	0	0	C2	H	【過早発】観光牧場で打揚煙火(4号玉まで)を消費したところ、1.3号玉(中国製)1発が過早発となった。[晴れ、最大風速 3m/s、安全距離 120m]
56	がん具煙火	消費中	2023/08/21 23:59	京都府 京都市	0	0	0	C1	C2	【火災】河川敷で大学生 4名ががん具煙火(打上花火)を消費中、打ち上がった花火が松の木に接触し、樹木の一部を焼損した。
57	がん具煙火	消費中	2023/08/22 20:00頃	岡山県 和気町	0	0	1	C1	C1	【火傷】宿泊研修施設の駐車場において、教員と中学生でがん具煙火で遊んでいたところ、女子生徒 1名の足の甲に線香花火の火球が落下し、III度の火傷を負った。
58	煙火	消費中	2023/08/26 17:10頃	岐阜県 土岐市	0	0	0	C2	H	【その他】花火大会の準備中、打揚場所周辺に雷雲が発生し待機していたところ、打揚場所近くに雷が落ち、設置していたスターマインの一部(2.5号及び 3号玉 70個)と小型煙火 13台が誤発射となった。[雨、最大風速 8.8m/s、安全距離 100m]
59	煙火	消費中	2023/08/26 19:15~20:15	熊本県 熊本市	0	0	0	C2	H	【黒玉(小割)】公園内で行われた花火大会の当日及び翌日の清掃時には発見できなかった黒玉(5号千輪菊の小割、直径 4.5cm)を、大会の翌々日、通行人が公園内(安全距離内)で発見した。
60	煙火	消費中	2023/08/26 20:32頃	神奈川県 川崎市	0	0	0	C1	C2	【部品落下】【火災】お寺におけるイベントで小型煙火を消費中、煙火の部品が燃焼しながら消費位置から約 10m(安全距離内)にある墓の植木に落下し、植木 1本を焼損した。[晴れ、風速 1.3m/s、安全距離 30m]
61	煙火	消費中	2023/08/26 20:40頃	宮崎県 日南市	0	0	0	C1	C2	【黒玉】花火大会(5号玉まで)において、小型煙火の黒玉(直径 5cm)が発生し、消費位置から 60m 付近(安全距離外)に駐車中の警察車両のボンネット上に落下して窪みをつくった。[晴れ時々雨、最大風速 5m/s、安全距離 50m]
62	煙火	消費中	2023/08/27 20:00頃	徳島県 阿南市	0	0	3	C1	C1	【異常燃焼】【異常飛翔】公民館グラウンドにおいて、保存会が吹筒煙火の実演を開始したところ、吹筒煙火のうち千本桜 10本中 1本が暴発して、外径 10cm、長さ 60cmの筒が観客の上空を火の粉を落としながら約 35m(安全距離外)飛翔し、この火の粉により観客 3名が火傷を負った。[晴れ、微風、安全距離 20m]
63	煙火	消費中	2023/08/27 20:25	鳥取県 米子市	0	0	1	C1	C1	【その他】花火大会(10号玉まで)において、3号玉(中国製)を早打ち(焼金式)で消費中に、次の玉を出すため煙火玉収納箱の防災シートをめくったところ、上空で開発した玉の火の粉が収納箱の中に入り、3号玉 1個の打揚火薬に着火して収納箱内で開発し、残りの 3号玉 8個が散乱してすべて地上で開発した。[晴れ、最大風速 3.3m/s、安全距離 80m]
64	がん具煙火	消費中	2023/09/02 23:50頃	愛知県 碧南市	0	0	0	C2	H	【火災】がん具煙火の火の粉が河川敷の枯草に着火して延焼し、枯草約 63m <sup>2</sup> を焼失した。消費者と思われる数名の者が現場を立ち去ったとの目撃証言あり。
65	がん具煙火	消費中	2023/09/03 19:40頃	愛知県 安城市	0	0	1	C1	C1	【火傷】女兒 3名ががん具煙火(手持ち花火)で遊んでいたところ、花火の火が女兒 1名のワンピースに着火し、大腿部等に火傷を負った。

66	煙火	消費中	2023/09/09 21:20頃	長野県 飯田市	0	0	0	C2	H	【異常燃焼】神社の奉納煙火において、三国煙火 15 基に点火したところ、そのうち 2 基が点火後それぞれ約 20 秒後及び約 30 秒後に異常燃焼して、爆音とともに破裂した。[晴れ、最大風速 6.1m/s、安全距離 13m]
67	がん具煙火	消費中	2023/09/10 21:00頃	新潟県 新潟市	0	0	0	C2	H	【火災】河川敷の枯草約 490m <sup>2</sup> を焼失した。消費したがん具煙火が散乱していたことから、がん具煙火消費後の火の不始末が原因と推定された。[風速 2.6m/s]
68	煙火	消費中	2023/09/10 21:30頃	新潟県 小千谷市	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会(40 号玉まで)において、30 号玉が打揚げ直後に上空約 50m で開発し、過早発となった。[晴れ、最大風速 1.9m/s、安全距離 600m]
69	がん具煙火	消費中	2023/09/15 19:33頃	大分県 別府市	0	0	1	C1	C1	【火傷】家族でがん具煙火を消費中、回転上昇する花火(中国製)に火をつけたところ、2m ほど離れていた男児の胸部に向かって花火が飛び、男児の着衣に着火、胸部及び両手に火傷を負った。[風速 4m/s]
70	煙火	消費中	2023/09/16 20:27頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会(4 号玉まで)において、3 号玉を打ち揚げたところ、過早発となった。[晴れ、最大風速 4.7m/s、安全距離 100m]
71	煙火	消費中	2023/09/23 14:43	静岡県 静岡市	0	0	0	C2	H	【黒玉】神社で打ち揚げられた龍勢煙火の一つが黒玉(落下傘を開く黒色火薬が不着火)となり、消費位置から約 1,500m(安全距離外)離れた高校の敷地内で翌々日に発見された。[曇り、最大風速 5.2m/s、安全距離 300m]
72	煙火	消費中	2023/09/23 19:30頃	新潟県 南魚沼市	0	0	0	C2	H	【低空開発】花火大会(10 号玉まで)において、2 か月前に打ち揚げる予定だったスターマインを消費したところ、4 号玉 1 発が低空開発した。[晴れ、最大風速 3.1m/s、安全距離 250m]
73	煙火	消費中	2023/09/24 19:00頃	東京都 調布市	0	0	0	C2	H	【黒玉】県境の河川敷で行われた花火大会の黒玉(8 号千輪の小割)が、約 7 か月後の翌年になって消費位置から約 200m(安全距離内)の対岸の河川敷の清掃を行っていた一般人により発見された。[晴れ、最大風速 1.0m/s、安全距離 210m]
74	煙火	消費中	2023/09/30 20:39	静岡県 熱海市	0	0	0	C1	C2	【筒ばね】花火大会において、防波堤から 20 号玉を打ち揚げようとしたところ筒ばねし、打揚筒固定具や周囲のフェンス等を破損した。長さ 2.4m の打揚筒は、上部約 1.5m が破断し、無くなっていた。[曇り、最大風速 2.5m/s、安全距離 300m]
75	煙火	消費中	2023/10/07 18:20頃	愛知県 常滑市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会で 3 号、4 号玉及び仕掛煙火百花園(すべて中国製)を消費したところ、消費位置から風下側に約 500m 離れた地点(安全距離外)の枯草に火が着き、約 54m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 8.1m/s、安全距離 130m]
76	煙火	消費中	2023/10/08 17:57頃	愛知県 豊橋市	0	0	1	C1	C1	【その他】神社の祭礼で 5 人立ちで手筒煙火を消費中、隣の「はね」の炸裂音を自身の手筒煙火のもので消費が終了したと勘違いし、体勢を変えた直後に自身の手筒煙火の「はね」が炸裂して、飛び出した込め物が右足に当たり負傷した。[雨、最大風速 5.5m/s、安全距離 20m]
77	煙火	消費中	2023/10/08 19:40~20:30	千葉県 船橋市	0	0	0	C1	C2	【部品落下】港の親水公園で開かれた花火大会(2.5 号玉まで)において、安全距離外に係留していたボート 7 艇に煙火の燃えかすが落下して、塗装が剥げる等の損傷が発生した。
78	煙火	消費中	2023/10/21 17:45~18:00	新潟県 長岡市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火イベントにおいて、農道でスターマインを消費したところ、4 号玉 1 個が黒玉となり、約 1 ヶ月にわたり黒玉を捜索したが発見できなかった。[雨、最大風速 4.3m/s、安全距離 180m]
79	煙火	消費中	2023/10/21 20:30頃	宮崎県 都城市	0	0	0	C2	H	【黒玉】公園で行われた花火大会(5 号玉まで)終了後の翌日、消費位置から 10m(安全距離内)の公園グラウンドに黒玉(2.5 号玉)が落ちているのを関係者が発見した。[晴れ、最大風速 2m/s、安全距離 65m]
80	煙火	消費中	2023/11/04 18:06	茨城県 土浦市	0	0	0	C1	C2	【地上開発】花火競技大会において、打ち揚げられた 10 号玉が上空で開発せず、消費位置から 11m(安全距離内)の駐車場に落ちたと同時に開発し、落下地点へこみかできたほか、点火小屋やショッピングモール壁面、雨樋等に穴や傷ができた。[晴れ、最大風速 2.6m/s、安全距離 240m]
81	煙火	消費中	2023/11/11 8:00~18:50	岡山県 高梁市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会(6 号玉まで)において、3 号信号雷を延べ 60 個打ち揚げたところ、雷粒 1 個(直径約 4cm)が不発となって消費位置から約 110m の畑内(安全距離外)に落ち、約 1 か月後に畑の所有者により発見された。[晴れ、最大風速 9.2m/s、安全距離 50m]
82	煙火	消費中	2023/11/11 18:03頃	埼玉県 日高市	0	0	0	C1	H	【火災】花火大会(3 号玉まで)において、消費位置から約 150m 地点(安全距離外)の企業所有の運動グラウンドで火災が発生し、刈り込まれ集積された芝約 12m <sup>2</sup> を消失した。[曇り、最大風速 8.0m/s、安全距離 100m]
83	煙火	消費中	2023/11/11 18:00~20:00	徳島県 三好市	0	0	0	C2	H	【黒玉(小割)】公園で行われた花火大会(10 号玉まで)の 9 日後に、消費位置から約 20m 地点(安全距離内)で、公園利用者が落ちている小花を発見した。[晴れ、風速 1.0m/s、安全距離 150m]
84	煙火	消費中	2023/11/18 19:15頃	福岡県 北九州市	0	1	0	C1	C1	【部品落下】花火大会(2.5 号玉まで)において、煙火の破片(小型煙火の石膏止めと推定される)が消費位置から 75m(安全距離外)の最前列で観覧していた観客の眉間に当たり、眉間部裂傷及び鼻骨骨折の重傷を負った。[晴れ、最大風速 2m/s、安全距離 65m]
85	煙火	消費中	2023/12/13 19:40頃	群馬県 富岡市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会(5 号玉まで)の 3 日後に、打揚業者が消費場所で黒玉(2 号玉、輸入品)を発見し回収した。[晴れ、最大風速 7.5m/s、安全距離 100m]
86	煙火	消費中	2023/12/23 18:20	高知県 高知市	0	0	0	C2	H	【火災】海岸の公園で行われた花火大会(4 号玉まで)において、フィナーレのスターマインで打ち揚げた 4 号玉(錦冠、中国製)の火の粉が落下し、消費位置から約 50m(安全距離内)の公園内の山林約 10m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、風速 1.9m/s、安全距離 100m]

87	煙火	消費中	2023/12/24 17:46頃	埼玉県 越谷市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会(4号玉まで)において、4号玉(中国製)が上空で開発して いないのが確認され、数日にわたり黒玉を捜索したが発見されなかった。 [晴れ、最大風速 2.4m/s、安全距離 110m]
88	煙火	消費中	2023/12/29 20:45頃	香川県 丸亀市	0	0	0	C2	H	【火災】テーマパークの花火イベント(2号玉まで)において、小型煙火の火の粉に より消費位置から 10m 以内(安全距離内)の樹木に着火したが、発見した打 揚従事者の放水により直ぐに鎮火した。 [晴れ、最大風速 4m/s、安全距離 65m]

事故一覧（令和6年）

No.	種類	取扱	発生日時	発生場所	死	重傷	軽傷	旧級	新級	事故概要
1	煙火	消費中	2024/1/2 12:54	宮城県 白石市	0	0	0	C1	C2	【火災】物置の屋根にいた猿を駆除するため自治体から提供された動物駆逐用煙火(駆逐用閃光球 5 連)を使用したところ、1 発が物置に積載された薪上部へ飛んで薪に着火して延焼し、物置及びこれと接続する住宅を全焼、山林 10m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、最大風速 4.8m/s]
2	産業火薬	消費中	2024/2/15 0:05	大分県 佐伯市	0	1	0	C1	C1	【暴発】トンネル掘進工事において、20 孔の穿孔・装薬完了後、発破準備作業中に 1 孔が暴発し、作業員 1 名が噴き出した岩石により足を負傷した。当該孔の穿孔時にジャミングが発生し、赤熱するほど高温になったピットの先端からチップが落ちて孔内に残存し、孔内温度が異常に高かったことが原因と推定される。
3	煙火	消費中	2024/3/4 15:57頃	滋賀県 甲賀市	0	0	0	C2	H	【火災】【異常燃焼】自宅横の傾斜地にいた猿を駆除するため自治体から提供された動物駆逐用煙火(T-3、5 連)を使用したところ、煙火の火により傾斜地の中腹より上部の枯草約 500m <sup>2</sup> を焼失した。なお、5 連発の煙火の最後の 5 発目は、消費者の手元で暴発したが火傷等はなかった。[晴れ、最大風速 10.8m/s]
4	産業火薬	玩弄中	2024/3/6 12:00頃	熊本県 和水町	0	1	0	C1	C1	【その他】空き家に残存していた黒色火薬約 5kg を畑で焼却中、正午近くになって残りの約 1kg の黒色火薬を一度に燃焼させようと手に持って火に近づいたところ爆発し、頭部に III 度の火傷、右掌及び右膝に II 度の火傷を負った。
5	がん具煙火	消費中	2024/3/11 14:00頃	愛知県 岡崎市	0	0	0	C1	C2	【火災】自宅裏山にいた猿を駆逐しようと、がん具煙火(ロケット花火)を地面に刺し点火したところ、飛翔せずその場で燃焼したため、付近の枯草に着火して延焼し、枯草約 25m <sup>2</sup> を焼失、太陽熱温水器の給湯ホースを焼損した。[晴れ、最大風速 6.2m/s]
6	産業火薬	消費中	2024/3/13 11:01頃	和歌山県 串本町	0	0	0	C2	H	【火災】ロケットの発射直後、何らかの異常発生により自動制御の指令破壊が機能し、固体推進薬約 20 トンが破壊され、破片となって燃焼しながら落下し、発射場周辺の林野の下草を焼失した。
7	煙火	その他	2024/3/18 13:30頃	北海道 芽室町	0	0	1	C1	C1	【廃棄中】速火線 400m の焼却処分中、焼却場所と風上 8m に設けた焼却品存置場所との中間点に中継地点を設けて、焼却作業者に渡す速火線を持って待機していたところ、それまでとは逆の方向に突風が吹いて焼却場所から舞い上がった火の粉が持っていた速火線に着火し、顔面に火傷を負った。さらに、転倒した際に着火した速火線が放り出され、焼却品存置場所の速火線にも着火した。[風速 5m/s]
8	がん具煙火	消費中	2024/3/21 20:05	兵庫県 神戸市	0	0	0	C1	C2	【火災】レストランの厨房で、エスプレッソマシンの上に置いた金属製円筒にがん具煙火(スパークラー)1 本を立てて点火し、すぐに金属製円筒を持ち客に提供した後に厨房に戻ると、作業台として使用したエスプレッソマシン上部から炎が上がっているのを発見、エスプレッソマシンの一部を焼損した。
9	産業火薬	消費中	2024/3/26 12:00頃	長崎県 対馬市	0	0	0	C1	C2	【飛石】トンネル掘進工事において、トンネル入り口付近の底盤インパットの掘削を当初は機械掘削で施工予定であったが、地山が非常に堅硬なため盤打ち発破に施工方法を変更して、含水爆薬 6.6kg を用いて発破したところ飛石が発生し、発破場所から約 100m 以内の民家 3 戸の窓ガラス、樋及び瓦を破損した。なお、事故報告は人的被害が発生したときのみとの誤認から、警察や県への事故報告が行われなかった。
10	産業火薬	その他	2024/3/26 14:30~17:00	山梨県 忍野村	0	0	0	C1	C2	【廃棄中】射撃場で、電気雷管約 20 本を束にした 4 束を直径 1.6m、深さ 1.6m の穴の隅に互いに 40cm 程度離して置き、土を被せて爆発廃棄処理(約 80 本/回)を連続して行い、計 3841 本を処理したところ、作業終了後に現場の防護壁裏に停車していた乗用車のフロントガラスと車体上部の計 5 箇所に飛石によると思われる傷が入っているのを発見した。
11	がん具煙火	消費中	2024/4/13 11:42頃	広島県 福山市	0	0	0	C2	H	【火災】猪を追い払うために 20 連の爆竹 2 束を使用したところ、付近の雑木等に延焼し 200m <sup>2</sup> を消失した。
12	煙火	消費中	2024/4/13 18:10頃	長野県 上田市	0	0	0	C1	H	【火災】煙火打揚従事者を対象とした講習会において、打揚煙火(2.5 号玉)の試し打ちを行ったところ、火の粉が風によって流され、消費位置から約 160m(安全距離外)の山林に燃え移り、約 40m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 6.2m/s、安全距離 30m]
13	産業火薬	消費中	2024/4/20 13:45頃	北海道 旭川市	0	0	4	C1	C1	【試験中】科学館のサイエンスショーで、アクリルパイプを用いた断熱圧縮装置でティッシュを可燃物として発火実験を行ったものの発火しないため、可燃物を自主製作したニトロセルロースに替えて実験したところ、ニトロセルロースの発火によりアクリルパイプが破裂して、破片で 4 名が軽傷を負った。
14	煙火	消費中	2024/5/5 12:55頃	長野県 高森町	0	0	0	C1	C1	【火災】ガラスを追い払うために動物駆逐用煙火(T-3、5 連)を使用したところ、林野の斜面で開発、周囲の竹藪に着火して延焼し、建物 13 棟(全焼 10 棟、半焼 1 棟)、林野約 2,900m <sup>2</sup> 、畑約 700m <sup>2</sup> を焼損した。[晴れ、風速 8.8m/s]
15	がん具煙火	消費中	2024/5/5 19:50頃	新潟県 新潟市	0	0	1	C1	C1	【火傷】家族でがん具煙火で遊んでいたところ、親が持っていた花火に男児が不用意に近づいたため、顔面に火傷を負った。
16	煙火	消費中	2024/5/12 12:00頃	北海道 岩見沢市	0	0	0	C1	C2	【部品落下】宗教法人の敷地内で 3 号玉(5 段雷)2 発を打ち揚げたところ、半球状の玉皮が消費位置から約 160m(安全距離外)の近隣住民の自家用車に落下してボンネットを損傷した。[曇り、最大風速 10.8m/s、安全距離 25m]

17	がん具煙火	消費中	2024/5/16 04:15頃	新潟県 村上市	0	0	1	C1	C1	【火傷】【火災】自宅寝室で床に置いた丼に向かってがん具煙火(手持ち花火)3本を消費していたところ、丼が割れても花火を続けたために床に火が着き、ペットボトルの水で消火を試みたものの火が腰の高さになったため避難、自身は顔面、頸部、右手甲に火傷を負い、自宅は全焼、隣接する住宅3棟が部分焼、2棟がぼやとなった。
18	煙火	消費中	2024/5/19 19:45頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C1	C2	【異常飛翔】コンサート会場において、演出効果用煙火(マイン、薬量 15g)の筒が他の煙火消費による衝撃で横向きに倒れ、火花が観客席に飛び込み、消費位置から30m地点(安全距離外)の観客の団扇が一部変色した。[安全距離 5m]
19	煙火	消費中	2024/5/21 20:32頃	千葉県 浦安市	0	0	0	C2	H	【過早発】テーマパークの毎日定時の花火打揚げにおいて、燃焼した星が上空へ向け放射状に飛翔し、その状況から4号玉割物1個の過早発と判断された。[曇り時々晴れ、最大風速 6.3m/s、安全距離 110m]
20	がん具煙火	消費中	2024/5/24 08:50	長野県 木曾町	0	0	0	C1	C2	【火災】野生鳥獣を追い払うためにがん具煙火(ロケット花火)4本を使用したところ、周辺の下草に着火して延焼し、物置小屋(約 20m <sup>2</sup> )と小屋の中にあつた軽四輪貨物車が全焼し、山林約 165m <sup>2</sup> を焼失した。[曇り、最大風速 4.2m/s]
21	産業火薬	消費中	2024/5/26 08:42	兵庫県 神戸市	0	0	0	C2	H	【火災】高速道路において、故障車両のレッカー移動の際に後方で使用した信号炎管の火が道路脇の枯草に着火し、法面 45m <sup>2</sup> を焼失した。
22	がん具煙火	消費中	2024/6/6 17:45頃	広島県 北広島町	0	0	0	C2	H	【火災】害獣(鹿)駆除のためにがん具煙火(ロケット花火、中国製)7本を打ち上げたところ、水田法面の下草約 5m <sup>2</sup> 及び廃タイヤ4本を焼失した。
23	煙火	消費中	2024/6/15 20:50頃	青森県 弘前市	0	0	0	C2	H	【過早発】【火災】河川敷の公園で開催された花火大会において、大玉15連打打揚げ中、10号玉1発が地上近くで過早発し、安全距離内の3箇所の枯草に着火したが発射者が直ちに消火した。[晴れ、最大風速 2m/s、安全距離 200m]
24	産業火薬	消費中	2024/6/21 16:30	秋田県 男鹿市	0	0	0	C1	C2	【飛石】採石場でベンチ発破を行ったところ、飛石が発生し、切羽から約 230mの場内に駐車していた事業車両に当たり、車両後部を破損した。
25	産業火薬	消費中	2024/6/27 10:37頃	岐阜県 各務原市	0	0	1	C1	C1	【その他】工場内で航空機操縦席の点検作業中、座席射出用火工品の点火ラインの切り離しを忘れて作業を行ったため、火工品9個(爆薬量 7.4g)が不時作動し、1名が軽傷を負った。
26	がん具煙火	消費中	2024/7/7 20:15頃	神奈川県 川崎市	0	0	1	C1	C1	【火傷】女兒が公園で初めてがん具煙火(手持ち花火)で遊んでいたところ、火の粉が飛散して前額部と右手に火傷を負った。
27	煙火	消費中	2024/7/12 19:40頃	千葉県 千葉市	0	0	0	C2	H	【過早発】野球場のイベントで煙火(4号玉まで)を打ち揚げたところ、2.5号玉(中国製)1発が過早発となった。[曇り、最大風速 6.2m/s、安全距離 65m]
28	がん具煙火	消費中	2024/7/13 17:20頃	北海道 根室市	0	0	0	C1	C2	【火災】鹿を追い払うためにがん具煙火(ロケット花火、中国製)3本を使用したところ、廃材に着火して牛舎に延焼し、牛舎が半焼、中にいたヤギ1頭が死亡した。
29	煙火	消費中	2024/7/13 19:55頃	神奈川県 横須賀市	0	0	0	C2	H	【低空開発】海岸で行われた花火大会(4号玉まで)において、2号玉1発が低空開発となった。[曇り時々雨、最大風速 5m/s、安全距離 150m]
30	がん具煙火	消費中	2024/7/20 18:45	大阪府 四條畷市	0	0	0	C1	C2	【火災】一般住宅内において、子供ががん具煙火(連発打上花火)に火を着けたため、花火の火で玄関付近のカーペット 0.3m <sup>2</sup> を焼損した。
31	煙火	消費中	2024/7/20 19:30~19:40	神奈川県 伊勢原市	0	0	1	C1	C1	【部品落下】【異常飛翔】大学の納涼祭で小型煙火を消費したところ、消費位置から 80m の位置(安全距離外)で見学していた大学生の額に小型煙火の部品(約 25mm の大きさの内筒の石膏製底栓と思われる)が当たって軽傷を負った。[晴れ、最大風速 2m/s、安全距離 40m]
32	がん具煙火	消費中	2024/7/20 20:15	大阪府 大東市	0	1	0	C1	C1	【火傷】小学生が両親と公園でがん具煙火(手持ち花火)で遊んでいたところ、花火の火が浴衣に着火し、パニックになって 20 秒ほび逃げ回ったため右上肢に重度の火傷を負った。
33	煙火	消費中	2024/7/20 20:35頃	新潟県 糸魚川市	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会(10号玉まで)において、10号玉1発が過早発となり、高さ約 30m で開発した。[晴れ、最大風速 4m/s、安全距離 250m]
34	煙火	消費中	2024/7/27 19:41	静岡県 袋井市	0	0	0	C2	H	【火災】河川沿いの公園で開催された花火大会(8号玉まで)においてスターマインを打ち揚げたところ、消費位置から約 50m 地点(安全距離内)の対岸堤防の下草に煙火の火が着火して延焼し、約 215m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 2.0m/s、安全距離 150m]
35	煙火	消費中	2024/7/27 20:10頃	新潟県 長岡市	0	0	0	C2	H	【低空開発】花火大会(10号玉まで)において、10号玉1発が低空開発となった。[曇り、最大風速 4.3m/s、安全距離 250m]
36	煙火	消費中	2024/7/27 20:15頃	東京都 台東区	0	0	0	C1	C2	【火災】花火大会(4号玉まで)において、打揚台船近くの河川敷遊歩道横(消費位置から約 13m、安全距離内)の下草に煙火の火が着火して下草約 3.3m <sup>2</sup> を焼失、遊歩道照明用の電気配管の一部等が溶解した。[曇り、風速 1.2m/s、安全距離 110m]
37	がん具煙火	消費中	2024/7/28 20:03頃	岡山県 岡山市	0	0	1	C1	C1	【火傷】地域の夏祭りにおいて、がん具煙火(打上げ花火)11本を木枠で固定し横に並べて順次点火していたところ、そのうちの1本が倒れて観客方向へ発射され、消費位置から 31m 離れた観客1名の右耳に当たり火傷を負った。[晴れ、風速 2.6m/s]
38	がん具煙火	消費中	2024/7/28 20:24頃	愛知県 名古屋	0	0	0	C2	H	【火災】未成年者2名ががん具煙火(セットもの、中国製)で遊んでいたところ、がん具煙火の火により河川敷の枯草約 80m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 6.0m/s]
39	煙火	消費中	2024/8/1 20:30頃	福井県 高浜町	0	0	0	C2	H	【黒玉】港で行われた花火大会(10号玉まで)において、打ち揚げた 2.5号玉1発が黒玉となり、さらに導火線への点火不良により投げ込み式の水中心花火10号玉1発が黒玉となった。花火大会の1週間後に近隣の海岸で10号玉が発見されたが、2.5号玉は発見できていない。[晴れ、最大風速 2.9m/s、安全距離 180m]

40	がん具煙火	消費中	2024/8/2 14:10頃	和歌山県 紀の川市	0	0	0	C2	H	【火災】中学生ががん具煙火(15 連発打上花火)を用水路に向け撃って遊んでいたところ、一部が近くの竹藪に入り、竹及び下草に着火し、約 240m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、風速 2.7m/s]
41	煙火	消費中	2024/8/3 19:00~20:00	神奈川県 海老名市	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会(4 号玉まで)において、2.5 号玉 3 個及び 4 号玉 3 個(いずれも中国製)の計 6 個の煙火玉が打揚筒から発射後すぐに楕円状に開発する過早発となった。[晴れ、最大風速 3m/s、安全距離 110m]
42	煙火	消費中	2024/8/3 19:30~21:00	宮城県 石巻市	0	0	0	C1	C2	【残滓】花火大会(10 号玉まで)において、煙火の残滓が風の影響で消費位置から約 650m(安全距離外)の中古車販売店に落下し、車両 63 台の塗装が変色した。事故の発生は、翌年の花火大会実行委員会と消防本部との打合せ会議において覚知された。[曇り、最大風速 7.2m/s、安全距離 250m]
43	煙火	消費中	2024/8/3 19:50頃	広島県 安芸高田市	0	1	0	C1	C1	【その他】地域の夏祭り、投込みによる直接点火方式で 3 号玉を消費中、打揚筒へ 6 発目の打揚火薬を入れ、3 号玉を投入し底へ着いたのでつり紐を離れたときに 3 号玉が打ち揚がって、従事者の右手に当たり、手首及び指 3 箇所を骨折した。[晴れ、最大風速 1.0m/s、安全距離 100m]
44	煙火	消費中	2024/8/3 20:20頃	三重県 伊賀市	0	0	0	C1	C2	【筒ばね】夏祭りのイベントで小型煙火を消費中、筒ばねが発生し、消費位置から 100m 地点(安全距離外)に停車していた車両 2 台の側面に白い焼け跡等が複数残った。[晴れ、最大風速 2m/s、安全距離 45m]
45	煙火	消費中	2024/8/4 20:24	群馬県 前橋市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会の開始 8 分後に、2 号玉(中国製)が黒玉となって落下するのが確認され、翌日にかけて探索したが発見できなかった。[雨、最大風速 3m/s、安全距離 30m]
46	煙火	消費中	2024/8/4 20:30頃	岡山県 津山市	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会(4 号玉まで)の 2 日後、主催者による煙火消費場所周辺の清掃時に、消費位置から 40m 地点(安全距離内)で 2.5 号玉の黒玉 1 個を発見した。[晴れ、最大風速 2.9m/s、安全距離 65m]
47	煙火	消費中	2024/8/5 19:32~20:17	京都府 京丹波町	0	0	0	C2	H	【黒玉】花火大会の翌朝、会場の公園を清掃していたボランティアが黒玉(3 号玉 1 個、雷粒 1 個)を発見した。[晴れ、最大風速 1m/s、安全距離 100m]
48	煙火	消費中	2024/8/8 20:15~20:20	大阪府 茨木市	0	0	1	C1	C1	【部品落下】花火大会(4 号玉まで、中国製)において、消費位置から約 200m(安全距離外)の観覧場所にいた観客に火のついた煙火の部品が落下し、頸部に軽度の火傷を負った。[晴れ、最大風速 3m/s、安全距離 110m]
49	産業火薬	消費中	2024/8/10 10:35	熊本県 山鹿市	0	1	0	C1	C1	【飛石】採石場におけるベンチ発破(横孔、高さ 5m、幅 20m)において、飛石が発生し、切羽から 93m の位置に退避していた従事者に当たって、右肩甲骨及び鎖骨の骨折、肺挫傷等の重傷となった。
50	煙火	消費中	2024/8/10 20:50頃	愛知県 常滑市	0	0	0	C1	H	【火災】【部品落下】地域の盆踊り大会で 2 号玉及び 3 号玉(いずれも中国製)を打ち揚げたところ、消費位置から約 180m(安全距離外)の風下側で落ち葉等約 1m <sup>2</sup> を焼失した。現場周辺には、玉皮の破片が散乱していたことから、煙火の火が原因と判断された。[晴れ、最大風速 5.3m/s、安全距離 100m]
51	がん具煙火	消費中	2024/8/11 20:20	新潟県 見附市	0	0	1	C1	C1	【火傷】男児が家族とがん具煙火(手持ち花火)で遊んでいたところ、誤って他の人が持つ花火に接触して、右前腕に火傷を負った。
52	煙火	消費中	2024/8/11 20:34頃	千葉県 長南町	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会(4 号玉まで)において、2 号玉及び 3 号玉(いずれも中国製)の重ね玉を打ち揚げたところ過早発となった。[晴れ、最大風速 3.3m/s、安全距離 100m]
53	煙火	消費中	2024/8/11 20:57頃	岐阜県 大垣市	0	0	0	C2	H	【火災】花火大会(4 号玉まで)において、3 号玉水中スターマインを湖面に打ち込んだところ、消費位置から 90m(安全距離内)の山林の枯草に着火して約 24m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 11m/s、安全距離 100m]
54	がん具煙火	消費中	2024/8/14 17:06頃	長崎県 新上五島町	0	0	0	C2	H	【火災】未成年者が墓地内の空き地において、がん具煙火(手持ち花火)で遊んでいたところ、枯草に着火し約 27m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、風速 3.7m/s]
55	がん具煙火	消費中	2024/8/14 18:40頃	和歌山県 那智勝浦町	0	0	1	C1	C1	【その他】遊歩道において、中学生数人ががん具煙火(ロケット花火)で遊んでいたところ、花火の 1 発が 1 人の顔面を直撃し、右内眼角付近に軽傷を負った。[晴れ、最大風速 1.9m/s]
56	煙火	消費中	2024/8/14 19:45	岐阜県 関市	0	0	0	C2	H	【黒玉】河川敷で行われた花火大会(4 号玉まで)において、4 号玉 2 個が連続して黒玉となったため、残りの 4 号玉の打揚げを中止し、大会後及び翌日に黒玉を捜索した結果、1 個は消費位置から約 110m(安全距離内)の河川の中で発見したが、もう 1 個は発見に至らなかった。[曇り、最大風速 1m/s、安全距離 110m]
57	煙火	消費中	2024/8/14 20:00頃	栃木県 茂木町	0	0	0	C1	C2	【筒ばね】レジャー施設で行われた花火大会(20 号玉まで)において、20 号玉が筒ばねとなり打揚筒の破片が飛散し、消費位置から約 500m(安全距離外)の駐車場の車両 4 台のフロントガラス等が破損、損傷した。[曇り、無風、安全距離 350m]
58	煙火	消費中	2024/8/15 21:20頃	三重県 尾鷲市	0	0	0	C2	H	【火災】地区主催の精霊供養花火(4 号玉まで)において、仕掛煙火(ナイアガラ、中国製)を消費したところ、消費位置から約 3m 地点(安全距離内)で下草火災が発生した。[晴れ、無風、安全距離 10m]
59	煙火	消費中	2024/8/16 20:30頃	島根県 江津市	0	0	0	C2	H	【火災】河川敷で行われた花火大会(8 号玉まで)において、消費位置から約 50m 地点(安全距離内)で 3 号玉の火によると思われる火災が発生し、河川敷の下草約 500m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 7.6m/s、安全距離 100m]
60	がん具煙火	消費中	2024/8/16 21:10頃	愛知県 名古屋	0	0	0	C2	H	【火災】未成年者 6 名ががん具煙火(手持ち花火と打上げ花火、中国製)で遊んでいたところ、がん具煙火の火により河川敷の枯草約 630m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 6.0m/s]
61	がん具煙火	消費中	2024/8/17 11:31頃	徳島県 徳島市	0	0	0	C2	H	【火災】河川敷でがん具煙火(回転花火)で遊んでいたところ、花火の火が熱くなり手を離れたため、枯草に着火して延焼し、河川敷の枯草約 1400m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速 7.9m/s]

62	煙火	消費中	2024/8/17 20:00~20:10	神奈川県 厚木市	0	0	0	C2	H	【過早発】地区の夏祭りで、2.5号玉及び3号玉(いずれも中国製)を打ち揚げたところ、2.5号玉1発が打揚筒から発射後すぐに楕円状に開発する過早発となった。[晴れ、最大風速1.5m/s、安全距離60m]
63	煙火	消費中	2024/8/23 14:10頃	和歌山県 串本町	0	0	0	C2	H	【火災】猿を追い払うため動物駆逐用煙火(T-3、5連)を使用したところ、付近の枯草約31m <sup>2</sup> を焼失した。保安講習は未受講であった。[晴れ、最大風速3.2m/s]
64	がん具煙火	消費中	2024/8/23 19:45	兵庫県 神戸市	0	0	0	C1	C2	【火災】自宅敷地内でがん具煙火(連発打上花火)を地面に立てて火をつけたところ、倒れて横向きになって花火が発射され、法面の雑草に着火して102m <sup>2</sup> を焼失し、さらに自宅や隣宅の雨樋、網戸、フェンス等に延焼し焼損した。
65	煙火	消費中	2024/8/23 20:45頃	埼玉県 入間市	0	0	0	C2	H	【部品落下】企業主催の花火大会(2.5号玉まで)において、消費位置から約110m(安全距離外)の近隣住宅2棟の屋根や車両3台に玉皮等の煙火部品が落下し、汚損した。[晴れ、最大風速5.1m/s、安全距離60m]
66	煙火	消費中	2024/8/24 20:00頃	東京都 稲城市	0	0	1	C1	C1	【部品落下】【異常飛翔】花火大会(2.5号玉まで)で小型煙火を消費したところ、内筒の底栓と思われる固形物が花火仕様の20mをはるかに超え、約70m(安全距離外)飛翔して観客の右目に当たり、軽傷を負わせた。[曇り、風速1m/s、安全距離40m]
67	煙火	消費中	2024/8/24 20:00~20:20	神奈川県 開成町	0	0	0	C1	C2	【筒ばね】【過早発】花火大会(7号玉まで)において、4号玉(中国製)3発が過早発となり、さらに4号玉と3号玉(いずれも中国製)の重ね玉が筒ばねし、電気配線が切断されて消費が中断され、安全距離内のサッカーゴールネットの一部を破損した。[曇り、最大風速1.5m/s、安全距離220m]
68	がん具煙火	消費中	2024/8/24 20:02頃	広島県 広島市	0	0	0	C2	H	【火災】がん具煙火(噴出花火と打上げ花火)で遊んでいたところ、花火の火が法面の枯草に着火し、枯草2m <sup>2</sup> を焼失した。
69	煙火	消費中	2024/8/24 21:09	鹿児島県 西之表市	0	0	0	C2	H	【火災】【異常燃焼】花火大会(5号玉まで)のスターマインで打ち揚げた3.5号玉(銀冠)の星が異常燃焼し、地上まで落下したため消費位置から101m(安全距離内)の田畑の枯草に着火して延焼し、77m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速2.9m/s、安全距離105m]
70	煙火	消費中	2024/8/25 20:50	埼玉県 川口市	0	0	0	C1	H	【地上開発】オートレース場内の花火大会(3号玉まで)でスターマインを打ち揚げたところ、2.5号玉(銀冠)が上空で開発せず、消費位置から約80m地点(安全距離内)のレースコート上に落下して地上開発した。[晴れ、最大風速8.6m/s、安全距離100m]
71	煙火	消費中	2024/8/25 20:50頃	新潟県 新潟市	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会(20号玉まで)でスターマインを打ち揚げていたところ、20号玉1発が過早発し、打揚筒が筒固定用単管に倒れ掛かっていた。[曇り、最大風速3.6m/s、安全距離300m]
72	煙火	消費中	2024/9/14 20:06~20:21	大分県 中津市	0	0	4	C1	C1	【部品落下】【異常飛翔】企業の夏祭りで小型煙火を消費したところ、内筒の底栓と思われる約25mmの固形物約80個が消費位置から最長約150m飛翔し、消費位置から約40~70m(安全距離外)の観客11名に当たり、うち1名が頭部挫傷で救急搬送され、3名が打撲、アザ等の軽傷を負った。[晴れ、最大風速7.2m/s、安全距離40m]
73	煙火	消費中	2024/9/15 19:56頃	大阪府 枚方市	0	0	0	C2	H	【火災】河川敷で行われた花火大会(8号玉まで)において、消費位置から約100m(安全距離内)の河川敷で火災が発生し、枯草約300m <sup>2</sup> を焼失した。[晴れ、最大風速1.2m/s、安全距離250m]
74	煙火	消費中	2024/9/15 20:03頃	福岡県 久留米市	0	0	1	C1	C1	【異常飛翔】神社の奉納花火(3号玉まで)で伝統煙火「動乱蜂」を消費したところ、紙筒に10gの火薬を詰めた蜂の1つが異常飛翔して、消費位置から102m(安全距離外)の観客席後方の木に当たり、その衝撃で中の燃え殻が観客席最後方の観客に降りかかり、観客1名が火傷を負った。[曇り、最大風速5.1m/s、安全距離86m]
75	煙火	消費中	2024/9/15 20:03	長野県 阿南町	0	0	0	C2	H	【過早発】寺院の秋例祭花火大会において、スターマイン最後の20号玉を打ち揚げたところ、打揚筒から推定10mの高さで過早発した。[晴れ、風速1.0m/s、安全距離400m]
76	煙火	消費中	2024/9/29 19:30頃	神奈川県 秦野市	0	0	0	C1	C2	【筒ばね】【地上開発】花火大会(7号玉まで)において、3号玉及び4号玉(いずれも中国製)の重ね玉の上玉である3号玉が筒ばねして、隣接する3号玉7個、4号玉3個、5号玉6個が開発及び3号玉2個が斜め方向で開発し、掲示板を破損、車両2台の塗装を損傷した。[曇りのち雨、最大風速4.0m/s、安全距離220m]
77	煙火	消費中	2024/10/25 20:27頃	大阪府 大阪市	0	0	0	C1	C2	【火災】テーマパークの劇場内での定例公演中に演出効果用煙火(米国製、薬量14g)を消費したところ、煙火の火花が舞台装飾のプラスチック製の造花1個に着火し焼損した。
78	煙火	消費中	2024/10/26 20:00頃	宮崎県 都城市	0	0	0	C2	H	【異常燃焼】花火大会(5号玉まで)において、扇形に星を打ち上げる花束(メイン)の打揚筒固定台の接合部が発射の衝撃で破損し、花束(メイン)が異常燃焼を起こして、打揚筒が約20mの範囲に散乱した。[曇り、最大風速9.9m/s、安全距離40m]
79	煙火	消費中	2024/11/4 18:06	茨城県 茨城町	0	0	0	C2	H	【低空開発】花火大会(10号玉まで)において、5号玉(中国製)1発が低空開発し、星が周辺に飛散した。[晴れ、風速1m/s、安全距離180m]
80	煙火	消費中	2024/11/9 19:30	宮城県 川崎町	0	0	0	C2	H	【黒玉】公園内で行われた花火大会(2.5号玉まで)において、翌朝、公園の清掃業者が消費位置から57m(安全距離外)の位置で2.5号玉(中国製)の黒玉1個を発見した。[晴れ、最大風速2m/s、安全距離40m]
81	煙火	消費中	2024/11/17 17:45~18:15	神奈川県 海老名市	0	0	0	C2	H	【過早発】花火大会(4号玉まで)において、2.5号玉(中国製)が打揚筒から発射直後に楕円状に開発する過早発が2発発生した。[晴れ、最大風速3m/s、安全距離110m]

82	煙火	消費中	2024/11/17 18:30	静岡県 焼津市	0	0	0	C2	H	【過早発】海上花火大会(20号玉まで)において、スターメイン打揚げの際に10号玉1発及び20号玉1発が通常の高さまで上昇しないで開発する過早発となった。[晴れ、最大風速6.2m/s、安全距離300m]
83	煙火	消費中	2024/11/17 20:35頃	福岡県 上毛町	0	0	0	C2	H	【過早発】地域イベントの煙火消費中(3号玉まで)において、3号玉(中国製)1発が地上約10mで開発する過早発が発生した。[曇り時々雨、最大風速3.5m/s、安全距離80m]
84	産業火薬	消費中	2024/11/25 09:40	群馬県 みどり市	0	0	0	C1	C2	【飛石】採石場でベンチ発破を行ったところ、飛石が発生し、採石場に隣接する民家2軒の屋根瓦1枚と納屋のガラス1枚を破損した。
85	がん具煙火	消費中	2024/11/25 11:00頃	岐阜県 関ヶ原町	0	0	0	C2	H	【火災】猿を追い払うため、自治会から配付されている爆竹20連5束を投げたところ、しばらくして竹林で火災が発生し、約122m <sup>2</sup> を焼損した。
86	産業火薬	消費中	2024/11/26 08:31頃	鹿児島県 南種子町	0	0	0	C2	H	【火災】【試験中】小型固体燃料ロケット「イブロンS」の第2段モータ(推進薬量約18トン)の地上燃焼試験において、点火後約49秒で何らかの原因により異常燃焼が起きて、モータが爆発し周辺に火災が発生した。
87	産業火薬	製造中	2024/12/5 09:30頃	群馬県 高崎市	0	1	0	C1	C1	【廃棄中】火薬類製造工場の廃棄焼却施設で、照明薬(硝酸ナトリウム、マグネシウム、バインダ他)を5kgずつ燃焼皿で焼却していたところ、3回目の廃棄をセットしていたときに突然廃棄が発火し、作業者が全身火傷の重傷を負った。
88	産業火薬	その他	2024/12/11 09:25	熊本県 天草市	0	0	2	C1	C1	【暴発】山道において猟友会のメンバ4名によるカラスの駆除作業中、1名の猟銃が暴発し、発射された散弾が地面に跳ね返り他の1名の頭と肩、もう1名の手と太ももに当たり軽傷を負った。

事故一覧（令和7年）

No.	種類	取扱	発生日時	発生場所	死	重傷	軽傷	旧級	新級	事故概要
1	煙火	消費中	2025/1/14 08:50頃	三重県 鈴鹿市	0	0	0	-	H	【火災】自宅裏に猿が出没したため自治体から配布された動物駆逐用煙火(T-3)を使用したところ、枯草に着火し約 171m <sup>2</sup> を消失した。消費者は、自治体主催の保安講習を受講していた。[晴れ、最大風速 4m/s]
2	がん具煙火	消費中	2025/1/25 21:30	福岡県 福岡市	0	0	0	-	H	【火災】自宅の庭でがん具煙火で遊んでいたところ、庭の枯草に着火し約 10m <sup>2</sup> を消失した。
3	がん具煙火	消費中	2025/1/28 00:48	福岡県 福岡市	0	0	0	-	H	【火災】空き地でがん具煙火で遊んでいたところ、火のついたがん具煙火を投げたため、下草に着火して延焼し約 250m <sup>2</sup> を消失した。
4	産業火薬	製造中	2025/1/30 14:40頃	大分県 大分市	0	0	0	-	H	【火災】【試験中】火薬類製造所の燃焼試験室において、過塩素酸塩を主とする火薬(推進薬)約 1.2kg の燃焼試験中、燃焼室内圧力が異常に上昇したため、圧力を解放する安全装置が作動して火薬の一部が試験室外に飛散し、試験室周囲と土堤法面の下草に着火、延焼して約 71m <sup>2</sup> を消失した。[晴れ、風速 5m/s]
5	産業火薬	消費中	2025/1/31 12:37頃	広島県 広島市	0	0	0	-	H	【火災】高速道において、管理会社の従業員が道路作業用信号炎管(火薬量約 320g)を使用後、消火するため踏みつけたところ衝撃で信号炎管内の火薬が飛散し、付近の法面枯草に着火し約 39m <sup>2</sup> を消失した。[晴れ、最大風速 4.2m/s]
6	煙火	消費中	2025/2/1 18:12頃	岐阜県 岐阜市	0	0	0	-	H	【火災】【部品落下】河川敷で 2.5 号玉と小型煙火を消費していたところ、火のついた玉皮の落下が原因と思われる枯草の火災が消費位置から 70m 地点(安全距離外)で発生し、枯草約 170m <sup>2</sup> を消失した。[曇り、無風、安全距離 65m]
7	産業火薬	その他	2025/2/6 13:30頃	茨城県 桜川市	0	0	1	-	C1	【発火】【試験中】火薬類製造所の危険区域外にある分析室で、銃用雷管に用いる爆粉(DDNP を主とする起爆薬)の成分分析のため、乾燥を終え容器の底に固着した爆粉を剥がそうと菜箸で力を加えたときに爆粉(約 2g)が発火し、従業員が両手に火傷と裂傷を負った。
8	煙火	消費中	2025/2/8 20:32	千葉県 浦安市	0	0	0	-	H	【黒玉】テーマパークの定期清掃中に、消費位置から約 230m(安全距離外)の施設内建屋の屋根の雨どいに落ちていた黒玉(3 号玉)を発見し、水バケツで回収した。[晴れ、最大風速 7.4m/s、安全距離 110m]
9	産業火薬	消費中	2025/2/10 10:50	埼玉県 さいたま市	0	0	0	-	H	【火災】鉄道会社の訓練センターで信号炎管(火薬量 50g)10 本を用いた訓練を行っていたところ、信号炎管の火が付近の枯草に着火して約 1m <sup>2</sup> を消失した。[晴れ、風速 1.3m/s]
10	がん具煙火	消費中	2025/2/15 15:10頃	愛知県 岡崎市	0	0	0	-	H	【火災】神社の氏子総代が、神社内の野生動物を追い払おうと巣穴にがん具煙火(爆竹 4 個)を入れたところ、付近の枯草が延焼し、枯草約 100m <sup>2</sup> と建物の一部を焼損した。[晴れ、最大風速 5.3m/s]
11	がん具煙火	消費中	2025/2/17 20:06頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	-	H	【火災】バイパス道で車線規制のため緊急保安炎筒を使用したところ、何らかの理由で緊急保安炎筒が転がって法面の枯草約 150m <sup>2</sup> を消失した。[晴れ、風速 4m/s]
12	がん具煙火	消費中	2025/2/19 16:25頃	岐阜県 岐阜市	0	0	0	-	H	【火災】中学生 2 名が公園の桜の木の樹洞内でがん具煙火(爆竹 20 連 10 束)を消費したため、桜の木に着火し燃え広がった。
13	産業火薬	消費中	2025/2/25 15:30頃	滋賀県 草津市	0	0	0	-	C2	【飛石】採石場でベンチ発破を行ったところ、発破場所から約 70m の隣接敷地の建物まで飛石と込め物(7 号砕石)が飛散し、建物屋根の太陽光パネル 1 枚を損傷した。
14	産業火薬	運搬中	2025/3/19 15:30頃	熊本県 宇城市	0	0	0	-	H	【散乱】含水爆薬、硝安油剤爆薬及び電気雷管を火薬類運搬車で国道を運搬中、荷台にかけたシートを固定するゴムバンドの 1 本が外れて隙間ができ、そこから含水爆薬 60 本(45kg)が道路上に落下したことを、到着後の火薬庫搬入時に覚知した。警察からの連絡により、道路上に散乱した含水爆薬 48 本(36kg)は袋のまま、12 本(9kg)は車両に踏まれ飛散した状態で回収した。
15	がん具煙火	消費中	2025/3/21 14:16頃	大分県 大分市	0	0	0	-	H	【火災】カラスを追い払うためにがん具煙火(ロケット花火)6 本を使用したところ、花火の火が周囲の枯草に飛んで着火し、枯草約 19m <sup>2</sup> を消失した。[晴れ、風速 4.3m/s]
16	煙火	消費中	2025/3/29 19:20頃	福岡県 福岡市	0	0	0	-	H	【火災】イベントで 2 号玉と 2.5 号玉(一部中国製)を打ち揚げたところ、火の粉が風で飛ばされて消費位置から約 20m と約 50m(安全距離内)の 2 箇所の下草に着火し、下草約 520m <sup>2</sup> とフェンスネット約 20m を焼失した。[晴れ、最大風速 3m/s、安全距離 65m]
17	煙火	消費中	2025/4/2 19:40頃	京都府 京丹波町	0	0	5	-	C1	【その他】放送番組制作における戦争シーンの撮影において、音と煙を出す演出効果用煙火(号砲 2.5 号玉、雷薬 25g、中国製)を撮影前に誤って発火させたため、近くにいた 5 人が耳鳴り等の症状を訴え、うち 1 人が左耳鼓膜の一部を損傷した。
18	がん具煙火	消費中	2025/4/9 17:15頃	岐阜県 岐阜市	0	0	0	-	C2	【火災】公園の枯草から火が出て、枯草 307m <sup>2</sup> と公園のフェンス 17 枚を焼損した。付近に、がん具煙火 10 数本を使用した形跡があったことから、がん具煙火の火が原因と判断された。
19	産業火薬	消費中	2025/4/17 12:40頃	長野県 筑北村	0	0	0	-	H	【火災】高速道において、管理会社の従業員が道路作業用信号炎管(火薬量約 130g)を使用したところ、信号炎管が何らかの理由で法面に移動し、法面下草に着火し約 3,000m <sup>2</sup> を消失した。[晴れ、風速 8.6m/s]
20	産業火薬	玩弄中	2025/4/19 15:30	愛媛県 西条市	0	0	1	-	C1	【廃棄中】60 年以上前に許可を受け所持していた散弾銃の実包 5 個を、倉庫の清掃中に発見し、薬莖を分解して火薬を取り出し、小型焼却炉に入れてライターで点火したところ、想定外の炎が上がり、手及び顔に火傷を負った。

21	煙火	消費中	2025/4/21 21:10頃	千葉県 南房総市	0	0	0	-	C2	【火災】イベント花火(4号玉まで、中国製)で5分間の打揚げを終了し、安全確認を完了して撤収した約90分後に消費位置から約140m地点(安全距離外)の山林から火が出て、下草約80m <sup>2</sup> 、立木5本を焼損した。[晴れ、風速2m/s、安全距離110m]
22	煙火	消費中	2025/4/26 19:40頃	秋田県 大仙市	0	0	0	-	H	【地上開発】花火大会(10号玉まで)において、10号玉を打ち揚げたところ、上空で開発せず、消費位置から67m(安全距離内)の地上に落下して開発した。[曇り時々雨、最大風速7m/s、安全距離240m]
23	煙火	消費中	2025/5/5 20:20頃	秋田県 井川町	0	0	0	-	H	【地上開発】イベント花火(10号玉まで)で10号玉を打ち揚げたところ、上空で開発せず、消費位置から165m(安全距離内)の地上に落下して開発した。[曇り、最大風速4m/s、安全距離240m]
24	産業火薬	消費中	2025/5/20 08:25頃	長野県 安曇野市	0	0	0	-	H	【火災】高速道において、管理会社の従業員が道路作業用信号炎管(火薬量約130g)を使用したところ、信号炎管の火の粉が風で舞い、法面下草に着火し約130m <sup>2</sup> を消失した。[晴れ、風速5.8m/s]
25	煙火	消費中	2025/5/25 13:37頃	福島県 南相馬市	0	0	0	-	H	【低空開発】馬追祭りで騎馬武者が争奪する神旗を入れた4号玉を打ち揚げた際、通常は高さ約110mで開発し神旗を放出するところ、何らかの理由で高さ約15mで開発した。[曇り、風速1.5m/s、安全距離45m]
26	煙火	消費中	2025/5/26 12:13頃	福島県 南相馬市	0	0	0	-	H	【低空開発】馬追祭り後の神社で行う付随行事で騎馬武者が争奪する神旗を入れた3号玉を打ち揚げた際、通常は高さ約70mで開発し神旗を放出するところ、何らかの理由で高さ約10mで開発した。[晴れ、風速2.5m/s、安全距離40m]
27	産業火薬	消費中	2025/6/6 13:15頃	長野県 安曇野市	0	0	0	-	H	【火災】高速道において、管理会社の従業員が道路作業用信号炎管(火薬量約320g)を使用したところ、信号炎管の火が風で飛ばされ法面下草に着火し約540m <sup>2</sup> を消失した。[晴れ、風速9.5m/s]
28	がん具煙火	玩弄中	2025/6/19 15:16	京都府 京都市	0	1	0	-	C1	【暴発】男子中学生が平玉(おもちゃのピストルの弾、1個当たりの薬量2.4mgと5.0mgの2種類)内の火薬を144個分集めた0.3456gの火薬をプラスチック製の筒に詰め、その上に近くにあった乾電池を入れて押し固めようとしたところ爆発し、右手部からの出血、中指変形の重傷を負った。
29	がん具煙火	消費中	2025/6/20 09:51頃	静岡県 藤枝市	0	0	1	-	C1	【火傷】認定こども園で消防署員による花火教室を行った際に、5歳女児が周囲の状況に気をとられ手持ち花火(スパークラー)を持った手が徐々に下がって、花火の火が長靴の中に入ってくるぶしに火傷を負った。
30	がん具煙火	消費中	2025/6/21 10:52頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	-	H	【火災】バイパス道で事故処理のため使用していた緊急保安炎筒を、走行中の車両が跳ね飛ばして中央分離帯に落ち、枯草に着火した。
31	がん具煙火	消費中	2025/6/22 19:35頃	千葉県 千葉市	0	0	0	-	H	【火災】公園で会社員ががん具煙火(とんぼ花火)を消費していたところ、花火の火が風に煽られて下草に着火、下草約40m <sup>2</sup> を焼失した。
32	煙火	消費中	2025/7/11 19:33	千葉県 千葉市	0	0	0	-	H	【過早発】スタジアムのイベント花火で打ち揚げた2号玉(中国製)が、打揚筒から発射直後に開発した。[曇り、最大風速5m/s、安全距離65m]
33	がん具煙火	消費中	2025/7/13 16:00頃	兵庫県 神戸市	0	0	0	-	H	【火災】中学生3名が公園内の東屋で、火をつけた新聞紙の束にがん具煙火を入れるなどの行為をしていたところ、がん具煙火が飛び散って周囲の芝生に着火した。
34	煙火	消費中	2025/7/18 21:12	愛知県 豊橋市	0	1	0	-	C1	【異常燃焼】祭りで、手筒煙火(薬量4kg)を消費中、異常燃焼により筒が破裂し、従事者が右上半身の火傷や右腕の骨折等の重傷を負った。[晴れ、最大風速2.8m/s、安全距離20m]
35	煙火	消費中	2025/7/19 19:40頃	三重県 伊勢市	0	1	0	-	C1	【地上開発】花火競技大会(10号玉まで)において、スターマインを打ち揚げたところ、4号千輪の小割が消費位置から約70m(安全距離内)の地上に落下して開発し、近くにいた打揚従事者の腹部に当たってII度火傷の重傷を負った。[晴れ、風速1.5m/s、安全距離110m]
36	がん具煙火	消費中	2025/7/19 20:05頃	宮城県 石巻市	0	0	1	-	C1	【火傷】親子でがん具煙火(打上げ花火)で遊んでいたところ、何らかの理由で打上げ花火が倒れ、横向きに花火が発射されて、約5m離れたところにいる8歳男児の右下腿部に当たり火傷を負った。
37	煙火	消費中	2025/7/19 20:46頃	新潟県 糸魚川市	0	0	0	-	H	【低空開発】花火大会において、10号玉を打ち揚げたところ、玉が上昇途中で開発した。導火線が予定より早く燃焼したためと推定される。[晴れ、最大風速4m/s、安全距離250m]
38	煙火	消費中	2025/7/20 20:00~20:44	宮城県 塩釜市	0	0	0	-	H	【黒玉】港祭りで湾内の台船から煙火を打ち揚げたところ、3日後に、船の整備ドッグに引き込まれた海水上で黒玉3個(2号玉、3号玉、4号玉各1個、いずれも中国製)を発見した。[最大風速2.5m/s、安全距離110m]
39	煙火	消費中	2025/7/20 21:00頃	新潟県 南魚沼市	0	0	0	-	H	【火災】地域の夏祭りや神社祭礼の協賛花火大会において、スキー場の中腹から煙火を打ち揚げたところ、消費位置から約20m下方の原野の下草約25m <sup>2</sup> が焼失した。主催者による事前散水は実施していた。[無風、安全距離250m]
40	煙火	消費中	2025/7/23 20:05頃	新潟県 上越市	0	0	1	-	C1	【部品落下】【異常飛翔】祭りで小型煙火(乱玉)24台を消費したところ、小型煙火の内筒の底栓と思われる直径約2cm、高さ約1.5cmの円柱形の石こう状の塊りが異常飛翔し、消費位置から85m(安全距離外)の位置で観覧していた観客の前額部に当たり、挫創した。[晴れ、風速2.1m/s、安全距離40m]
41	煙火	消費中	2025/7/25 19:50	愛知県 名古屋市	0	0	0	-	H	【異常飛翔】夏祭りのイベントで仕掛煙火(40mm花束)を消費したところ、打揚筒がずれて観客席近くまで(安全距離内)星が飛散した。筒のずれは、打揚火薬の量が多く威力が強かったためと推定された。[風速4m/s、安全距離20m]

42	煙火	消費中	2025/7/26 18:00~21:00	神奈川県 横浜市	0	0	0	-	C2	【部品落下】2日間の野外ライブコンサートにおいて、演出効果用煙火(44mm メイン)を使用したところ、煙火の燃え殻が消費位置から 30m 程度の場所に いた観客に当たり、初日に 5 名、2 日目に 3 名が負傷し、2 枚の着用していた T シャツに焦げや穴が生じた。負傷者はいずれも救護室等での手当だけで、医療 機関は受診していない。[晴れ、最大風速 6m/s、安全距離 20m]
43	煙火	消費中	2025/7/26 19:53	千葉県 富津市	0	0	0	-	H	【低空開発】海水浴場で開催された市民花火大会において、4 号玉(中国 製)1 発が上空で開発せず、消費位置から約 40m(安全距離内)の海面近く まで落下して開発した。[晴れ、最大風速 8.5m/s、安全距離 110m]
44	煙火	消費中	2025/7/26 20:00~21:00	岐阜県 恵那市	0	0	0	-	H	【黒玉】河川ダムのごみ回収施設で、黒玉(3 号玉)が発見された。8 日前に約 80km 上流で開催された花火大会の黒玉の可能性もあったが、15 日前に当 該ダム湖上で開催された水上花火大会の黒玉であると推定された。
45	煙火	消費中	2025/7/26 20:10 頃	和歌山県 古座川町	0	0	0	-	C2	【火災】祭り行事において、河川上の煙火打揚船から水面に向けて投げ込ま れた水中仕掛煙火(水中金魚、直径 5.5cm、長さ 18cm)が、誤って並行して 航行していた伝馬船の船首部分に落下し、船首の一部及びクーラーボックス 1 個を焼損した。[晴れ時々雨、最大風速 1.4m/s]
46	煙火	消費中	2025/7/26 20:50 頃	島根県 大田市	0	0	0	-	H	【火災】花火大会(3 号玉まで)が終了して 5 分後、巡回していた地元消防団 員が、消費位置から風下方向に約 60m(安全距離内)の枯草が燃えているの を発見し、背負い式水ので消火した。焼失面積は 4m <sup>2</sup> 。[風速 3.1m/s、 安全距離 100m]
47	煙火	消費中	2025/7/26 21:00 頃	静岡県 袋井市	0	0	0	-	H	【火災】花火競技大会(8 号玉まで)において、最後のスターメイン消費後、消 費位置から約 300m(安全距離外)の草地から火が出て、下草・枯草約 38m <sup>2</sup> を焼失した。[最大風速 4.0m/s、安全距離 150m]
48	煙火	消費中	2025/7/26 21:10 頃	新潟県 柏崎市	0	0	0	-	H	【過早発】花火大会(30 号玉まで)において、10 号玉 300 連発を打揚げ中、 1 発だけ打揚筒から約 20m の高さで開発する過早発となった。[晴れ、最大風 速 2.8m/s、安全距離 250m]
49	煙火	その他	2025/7/27 15:20 頃	岐阜県 土岐市	0	0	0	-	H	【部品落下】【火災】河川敷で行われた花火大会(中国製 2.5 号玉まで)の翌 日、車両で煙火打揚場所を整地していたところ、破裂音とともに周辺の枯草が 火災となり 919m <sup>2</sup> を焼失した。火災鎮火後、打揚場所周辺に未燃焼の星が 散乱しているのが確認された。
50	煙火	消費中	2025/7/27 20:28 頃	福岡県 直方市	0	0	0	-	H	【火災】花火大会(8 号玉まで)において、仕掛煙火(ナイアガラ、長さ 464m、 中国製)を消費したところ、煙火直下の枯草が着火・延焼して、約 1,080m <sup>2</sup> を焼失した。事前の草刈り、枯草撤去、散水は実施していた。[晴れ、最大風 速 7.0m/s、安全距離 30m]
51	煙火	消費中	2025/7/28 16:00 頃	三重県 鈴鹿市	0	0	0	-	H	【火災】【異常燃焼】市の職員が動物駆逐用煙火(T-3、5 連発)を消費したと ころ、3 発目と 4 発目が発射された直後に爆発、5 発目は約 10m 先に落下 して不発であったが、麦畑の枯草に着火して延焼し約 2,000m <sup>2</sup> を消した。
52	産業火薬	消費中	2025/7/29 13:10 頃	茨城県 笠間市	0	1	0	-	C1	【その他】岩石採取のための発破作業中、水孔だったので親ダイを薬量の大き いものに作り変えるため、発破場所において、含水爆薬(Φ30mm×100g)から 電気雷管(MS5 段、脚線 6m)を指で摘んで引き抜いた際に雷管が暴発し、 従事者 1 名が右手指 2 本を欠損する重傷を負った。
53	がん具煙火	消費中	2025/7/30 08:50 頃	兵庫県 神戸市	0	0	0	-	C2	【火災】高速道を運転中に車両メータにエラー表示が出たため、路肩に停車して 緊急保安炎筒に点火したところ、誤って炎筒を落下させて法面の雑草に着火・ 延焼し、雑草約 21m <sup>2</sup> とガードレール支柱 7 本の一部を焼損した。
54	がん具煙火	消費中	2025/8/1 01:31 頃	千葉県 千葉市	0	0	0	-	H	【火災】公園で何者かががん具煙火(15 連発打上げ花火)を消費して、公園 内の下草を焼失した。消防隊到着時、行為者は立ち去っており詳細不明。
55	煙火	消費中	2025/8/1 19:00~20:15	東京都 府中市	0	0	0	-	H	【部品落下】【残滓】ボートレース場で行われた花火大会(2.5 号玉まで)にお いて、消費位置から 120m(安全距離外)の近隣住宅まで煙火の玉皮や残滓が 飛散し、住宅の屋根及び車両を汚損した。[最大風速 3m/s、安全距離 65m]
56	がん具煙火	消費中	2025/8/1 20:00	鳥取県 岩美町	0	0	0	-	H	【火災】海岸でがん具煙火(50 連打上げ花火)を消費したところ、消費位置か ら風下側に約 31m 離れた草地で火災が発生した。[風速 3m/s]
57	煙火	消費中	2025/8/2 19:30 頃	静岡県 浜松市	0	0	1	-	C1	【黒玉(小割)】花火大会(10 号玉まで)において、10 号玉千輪の小割(直径 5cm)1 個が不着火となり、消費位置から 230m(安全距離外)にいた観客の 右ひざに当たり軽傷を負った。[曇り、最大風速 3.5m/s、安全距離 180m]
58	煙火	消費中	2025/8/2 19:30~21:00	宮城県 大崎市	0	0	0	-	C2	【残滓】花火大会(4 号玉まで)の翌日に、消費位置から約 170m から 320m (安全距離外)にかけての近隣住宅に停めてあった車両 8 台に、煙火の残滓が 落下し煤が付着していることが判明した。[晴れ、最大風速 3.5m/s、安全距 離 110m]
59	煙火	消費中	2025/8/2 19:50~20:50	兵庫県 豊岡市	0	0	0	-	H	【黒玉】花火大会(10 号玉まで)の 2 日後に、消費位置から約 30m 付近(安 全距離内)において黒玉(2 号玉、中国製)2 個が発見された。[晴れ、最大風 速 2.3m/s、安全距離 300m]
60	がん具煙火	消費中	2025/8/2 20:00 頃	長野県 長野市	0	0	1	-	C1	【火傷】保護者立会いの下、2 歳男児ががん具煙火(手持ちのスキ花火)で 遊んでいたところ、花火を振り回したため、顔面及び左手に火傷を負った。
61	煙火	消費中	2025/8/2 20:45 頃	愛知県 愛西市	0	0	0	-	H	【部品落下】地域の納涼祭りで小型煙火を消費したところ、消費位置から 40m(安全距離外)の位置にいた観客 2 名に小型煙火の燃え残りの内筒が当 たり、軽度の火傷と打撲を負った。[最大風速 2.0m/s、安全距離 20m]
62	煙火	消費中	2025/8/2 20:18 頃	京都府 木津川市	0	0	0	-	H	【低空開発】【火災】市民祭りの花火大会において、7 号玉 1 発が低空開発し て火のついた星が散乱し、消費位置から約 100m(安全距離内)の枯草に着 火・延焼した。さらに、大会最後に 4 号玉 1 発が低空開発したが、火災には至 らなかった。[最大風速 4m/s、安全距離 200m]

63	煙火	消費中	2025/8/2 21:30	埼玉県 朝霞市	0	0	0	-	H	【火災】市民祭りの花火大会(4号玉まで)において、打揚煙火の一部が燃えたまま地上に落下し、消費位置から17.5m(安全距離内)の立木の一部及び枯木を焼失した。[曇り、最大風速3.0m/s、安全距離110m]
64	煙火	消費中	2025/8/3 19:42	兵庫県 淡路市	0	0	0	-	C1	【筒ばね】海上で行われた花火大会(10号玉まで)において、開始から約10分後に台船から打ち揚げようとした10号玉が筒ばねし、安全確保のため大会は中止された。筒ばねの原因は、星表面の着火薬の不足と推定された。[最大風速2.6m/s]
65	煙火	消費中	2025/8/4 19:39頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	-	B1	【火災】【筒ばね】【地上開発】花火大会(10号玉まで)において、海上の8隻の台船から煙火を打ち揚げたところ、うち1隻の台船において筒ばねが発生して近くの数発の煙火が地上(海上)開発し、固定用木枠、畳、FRP製打揚筒等に延焼して台船上が火災となり、煙火が断続的に数時間にわたって打ち揚がった。被害額が1億円を超えたためB1級となった。[晴れ、最大風速9m/s、安全距離300m]
66	がん具煙火	消費中	2025/8/5 22:30頃	愛知県 名古屋市	0	0	0	-	C2	【火災】公園で未成年者ががん具煙火(10連発打上げ花火3本)で遊んでいたところ、誤って植込みに花火を打ち込んでしまい、植込みの草木と公園の照明看板を焼損した。
67	がん具煙火	消費中	2025/8/9 18:47頃	静岡県 浜松市	0	0	0	-	H	【火災】海岸の防潮堤の上から、防災林に向けてがん具煙火(打上げ花火、連発式乱玉)を発射したため、防災林の下草、植栽及び木製フェンスを焼失した。
68	煙火	消費中	2025/8/9 20:06、20:30	岐阜県 高山市	0	1	1	-	C1	【低空開発】【異常燃焼】花火大会において、小型煙火(乱玉)が低空開発して消費位置から約30m(安全距離外)の観客に煙火の部品が当たり左手火傷、毛髪焼損の軽傷を負った。さらに、その約24分後に手筒煙火が異常燃焼(早爆せ)し、従事者が右下腿にII度火傷の重傷を負った。[曇り、最大風速1.3m/s、安全距離20m]
69	煙火	消費中	2025/8/9 20:25頃	静岡県 浜松市	0	0	0	-	H	【火災】祭典で「地割花火」を消費したところ、消費位置から21m(安全距離内)の下草に着火し、2.5号玉から5号玉まで135個の煙火が連続して開発する地割花火を途中で止められず消火活動を行うことができなかったため、下草が延焼拡大し約1,300m <sup>2</sup> を焼失した。[曇り、最大風速1.2m/s、安全距離80m]
70	煙火	消費中	2025/8/10 20:30	福島県 伊達市	0	0	0	-	H	【低空開発】夏まつり花火大会において、10号玉が筒の上空約50mで開発する低空開発となった。[小雨、風速0.1m/s、安全距離250m]
71	煙火	消費中	2025/8/11 20:41頃	千葉県 長南町	0	0	0	-	C2	【部品落下】花火大会(3号玉まで)において、消費位置から約150m(安全距離外)離れた高速道路を走行中の車両に煙火の燃え殻が落下し、車両の天板部分に擦過痕が残った。[曇り、最大風速7.6m/s、安全距離100m]
72	煙火	消費中	2025/8/12 20:00頃	京都府 与謝野町	0	0	0	-	H	【異常燃焼】【異常飛翔】イベントで小型煙火(小型19連発花火)をコンクリートブロックで囲って消費したところ、一部の打揚筒がブロック外に飛び出し、水平方向に星が飛翔した。[安全距離50m]
73	煙火	消費中	2025/8/13 19:28頃	千葉県 勝浦市	0	0	0	-	H	【過早発】漁港で行われた花火大会において、2.5号玉3発が過早発となった。[晴れ、最大風速3.5m/s、安全距離100m]
74	煙火	消費中	2025/8/14 17:20頃	和歌山県 由良町	0	0	0	-	H	【火災】【異常燃焼】猿を追い払うため動物駆逐用煙火(T-3、5連発)を消費していたところ、3発目までは正常に発射されたが、4発目が発射されずに専用ホルダから動物駆逐用煙火本体が飛び出してみかん畑に落下、その後、5発目が発射されたために畑の枯草に着火し延焼した。
75	煙火	消費中	2025/8/14 19:55	新潟県 長岡市	0	0	0	-	H	【黒玉】神社の秋季大祭の奉納煙火打揚げにおいて、5号玉2発が黒玉になったのが確認されたが、当日を含めて4日間の捜索でも黒玉は発見できなかった。[最大風速2.8m/s、安全距離250m]
76	煙火	消費中	2025/8/14 21:43	静岡県 浜松市	0	0	1	-	C1	【異常燃焼】神社の祭典において手筒煙火(薬量300g)を消費したところ、手筒の横から火花が噴出し、従事者が腰部、右背部及び右前腕部に火傷を負った。[晴れ、最大風速0.6m/s、安全距離5m]
77	煙火	消費中	2025/8/15 19:40頃	茨城県 龍ヶ崎	0	0	0	-	H	【部品落下】神社の花火大会(5号玉まで)において、消費位置から約300m(安全距離外)の近隣の住宅団地まで、煙火の玉皮や大量の火の粉が飛散した。[晴れ、最大風速4m/s、安全距離180m]
78	煙火	消費中	2025/8/16 20:10頃	愛知県 南知多町	0	0	0	-	H	【黒玉】海水浴場で行われた花火大会(8号玉まで)の翌朝、海水浴場を巡回中のライフセーバーが海岸に漂着している黒玉(4号玉)を発見した。[最大風速3.7m/s、安全距離130m]
79	煙火	消費中	2025/8/17 19:00~21:30	三重県 熊野市	0	0	0	-	H	【黒玉】海上花火大会(30号玉まで)で打ち揚げられたと思われる4号玉(中国製)の黒玉が、開催日の4日後に大会会場から約4km離れた海岸に漂着しているのが発見された。
80	がん具煙火	消費中	2025/8/17 20:00頃	長野県 松本市	0	0	2	-	C1	【火傷】自宅前の路上で、小学生が打上げ花火(虎の尾)に点火する際、本来筒底部の導火線に点火するべきところ、筒の上から手持ち花火の火で点火したため、筒から発射された虎の尾の星が小学生の額を直撃し、地面に落ちて燃焼したため、小学生本人と近くにあった中学生が火傷を負った。
81	煙火	消費中	2025/8/23 19:48頃	千葉県 八千代市	0	0	0	-	H	【過早発】ふるさと祭り打ち揚げた3号玉(中国製)が、打揚筒から発射直後に開発した。[最大風速5m/s、安全距離100m]
82	煙火	消費中	2025/8/23 20:56	長野県 飯田市	0	0	1	-	C1	【部品落下】神社の祭礼において三国煙火(噴出煙火、薬量7.5kg)3基を消費中、最後の「はね火薬」の燃焼による火の粉が想定以上に飛散して、消費位置から14.7m(安全距離外)の最前列にいた観客に降りかかり、2名の衣服に数か所穴が空き、うち1名が火傷の軽傷を負った。[晴れ、最大風速2.9m/s、安全距離10m]

83	煙火	消費中	2025/8/23 21:20頃	福岡県 北九州市	0	0	0	-	C2	【地上開発】【火災】祭りで煙火(4号玉まで)を打ち揚げたところ、4号玉(中国製)が上空で開発せず、消費位置から約60m離れた(安全距離内)木造平屋建ての資料館の屋根を破り、内部で開発したことにより火災が発生し、資料館が全焼した。[晴れ、最大風速 3.7m/s、安全距離 110m]
84	煙火	消費中	2025/8/24 19:33	石川県 白山市	0	0	1	-	C1	【異常燃焼】イベントで手筒煙火(薬量 1,800g)を消費中、手筒の1本が点火後もまもなく異常燃焼で暴発し、従事者の着衣に着火して右下肢にII度の火傷を負った。[晴れ、風速 1m/s、安全距離 20m]
85	煙火	消費中	2025/8/24 20:30頃	宮城県 仙台市	0	0	0	-	H	【地上開発】【低空開発】陸上競技場で行われた花火大会において、競技場内の消費位置から約11m地点(安全距離内)で2.5号玉(中国製)が地上開発した。さらに、その約6分後、競技場外の消費位置から約54m地点(安全距離内)で2.5号玉が低空開発した。[最大風速 4.0m/s、安全距離 65m]
86	産業火薬	消費中	2025/8/28 11:10頃	岐阜県 各務原市	0	0	0	-	H	【その他】工場内で航空機の飛行試験前の点検中、緊急時に座席シートベルトを外すための火工品が何らかの原因で不時作動した。
87	煙火	その他	2025/8/28 12:00頃	宮城県 蔵王町	0	0	0	-	H	【黒玉】【暴発】休耕田をトラクタで草刈り中、爆発音がして白煙が発生した。爆発箇所が煙火玉(3号信号雷)の残骸と雷粒4個が確認された。当該煙火玉は、13日前に無許可消費で打ち揚げられた信号雷と推定され、爆発箇所は消費位置から約80m(安全距離外)の地点であった。[安全距離 40m]
88	がん具煙火	消費中	2025/8/28 21:30頃	愛知県 半田市	0	0	1	-	C1	【火傷】公園で家族でがん具煙火で遊んでいたところ、6歳女兒が火のついた手持ち花火を振り回したため、花火の火が母親の腹部に直に当たり、II度の火傷を負った。着衣等への着火はなかった。
89	煙火	消費中	2025/8/30 19:40頃	神奈川県 横浜市	0	0	0	-	H	【過早発】海上で行われた花火大会において、台船から打ち揚げた3号玉(中国製)1発が過早発となった。なお、当該煙火は重ね玉であったが、他の玉は通常の高度で開発した。[最大風速 4m/s、安全距離 250m]
90	煙火	消費中	2025/8/30 21:30頃	鹿児島県 曾於市	0	0	1	-	C1	【部品落下】【異常飛翔】運動公園で開かれた花火大会(4号玉まで)において、小型煙火の石膏製内筒底栓が消費位置から50m以上離れた場所(安全距離外)にいた観客に当たり、右前額部に軽傷を負った。また、3.5号玉(冠)の火の粉により、テントの一部が溶けて穴が空いた。[晴れ、風速 0.9m/s、安全距離 50m]
91	がん具煙火	消費中	2025/8/31 21:15	大阪府 大阪市	0	0	0	-	H	【火災】河川敷で男女4人ががん具煙火(手持ち花火、噴出花火)で遊んでいたところ、花火の火が枯草に着火し、枯草約300m <sup>2</sup> とネットフェンスの一部を消失した。
92	産業火薬	製造中	2025/9/2 10:00頃	愛知県 武豊町	0	1	2	-	C1	【暴発】【試験中】火薬類製造所の爆発試験場において、試作した電気雷管の性能評価試験を実施した後、未作動であった3本の電気雷管を取り扱っていたときに、そのうちの1本が暴発して、作業員3名が負傷し、うち1名は手指欠損の重傷を負った。
93	がん具煙火	消費中	2025/9/3 21:30	京都府 京都市	0	0	0	-	C2	【火災】ホテル屋上のビアガーデンで、客へのサービスで使用したがん具煙火(スパーカーあるいは吹出し)を、火は消えていると思いゴミ箱に捨てたところ、約20分後にゴミ箱から火が出て、ゴミ箱と近くのカウンター及びテントの一部を焼損した。
94	煙火	消費中	2025/9/13 19:00頃	茨城県 五霞町	0	0	0	-	H	【黒玉】河川敷で行われた花火大会(10号玉まで)において、10号玉が黒玉となったことが確認されたが、翌日から延べ8日間にわたる捜索でも黒玉を発見できず、河川に落下したものと推定された。[曇り時々雨、最大風速 3.3m/s、安全距離 240m]
95	産業火薬	消費中	2025/9/22 12:40	兵庫県 神戸市	0	0	0	-	H	【火災】高速道の設備点検のため道路作業用信号炎管(火薬量約330g)を高速道に設置していたところ、信号炎管が走行車両に跳ね飛ばされて法面の雑草に着火し約15m <sup>2</sup> を消失した。[晴れ、風速 0.4m/s]
96	煙火	消費中	2025/9/25 21:20頃	福岡県 飯塚市	0	0	0	-	H	【黒玉】【異常飛翔】河川の中洲で行われた花火大会(3号玉まで)において、3号玉(中国製)1個が黒玉となって消費位置から120m(安全距離外)の観客席にいた観客の足元に落ちたが、衣服を擦って汚れが付着したものの怪我はなかった。[晴れ、最大風速 1.5m/s、安全距離 80m]
97	煙火	消費中	2025/9/27 18:50頃	愛知県 東栄町	0	0	1	-	C1	【その他】祭りの煙火消費(8号玉まで)で点火具(ロー火)を投込む方式で4号玉打揚筒に点火したところ、当該点火具もしくは打揚火薬の火の粉により、従事者の着衣ポケットに入っていた点火具約20本に着火し、従事者が胸、首、顎にII度の火傷を負った。[曇り、安全距離 200m]
98	煙火	消費中	2025/9/28 20:33	鹿児島県 西之表市	0	0	0	-	H	【異常飛翔】花火大会で16連の小型煙火を消費したところ、小型煙火を固定していた土嚢袋に煙火の火が着火して穴が開き、中の土が流れ落ちて煙火を固定できなくなり、最後の2発が斜め方向に発射されて、道路及び建物の近くまで飛翔した。[晴れ、風速 6m/s、安全距離 30m]
99	煙火	消費中	2025/10/4 18:33頃	東京都 世田谷区	0	1	0	-	C1	【部品落下】【異常飛翔】河川敷の運動施設で行われた花火大会(10号玉まで)において、消費位置から約300mの位置(安全距離外)にいた観客の右目付近に煙火の部品と想定されるものが当たり、右目の下に深さ5mmの切り傷ができるなど手術を要する重傷を負った。[曇り一時雨、風速 3~4m/s、安全距離 240m]
100	煙火	消費中	2025/10/4 18:50頃	神奈川県 川崎市	0	0	0	-	C2	【部品落下】【異常飛翔】河川敷で行われた花火大会(4号玉まで)において小型煙火(斜め打ち)を消費したところ、小型煙火の内筒が消費位置から約135m(安全距離外)飛翔して観客の腕に当たり、衣服の数が所が変色した。内筒の飛翔距離が異常に伸びたのは、内筒が観客席前方の構造物に跳ね返ったためと推定された。[雨、最大風速 2.6m/s、安全距離 87.5m]

101	煙火	消費中	2025/10/11 18:00頃	山梨県 甲府市	0	0	5	-	C1	【異常飛翔】小学校の校庭で行われたふるさと祭りでの小型煙火を消費したところ、小型煙火の内筒3発が水平に約26m(安全距離外)飛翔して観客席付近で開発し、小学生ら観客5名が火傷を負った。[曇り、最大風速3.9m/s、安全距離25m]
102	煙火	消費中	2025/10/12 15:20頃	岡山県 真庭市	0	0	0	-	H	【火災】神社祭礼のため3号信号雷2発を投込み方式で打ち揚げた後、次の信号雷を打ち揚げるため約1時間20分後に消費場所に戻ったところ、打揚筒周囲の下草が焼失し、打揚筒、固定用木杭、畳及び難燃性シートも焼損しているが発見された。
103	煙火	消費中	2025/10/12 19:34,19:52	千葉県 千葉市	0	0	0	-	H	【過早発】サマーフェスティバルでスターマインを打ち揚げたところ、2.5号玉(中国製)2発が過早発となった。[最大風速3m/s、安全距離65m]
104	煙火	消費中	2025/10/12 19:50頃	愛知県 豊橋市	0	0	1	-	C1	【異常燃焼】神社の祭礼において、大筒(噴出煙火)の裏打ちである仕掛煙火(乱玉)が、点火直後に筒(鉄管、直径約10cm)から飛び出してばらけ、直径約1cmの星が四方に乱れ飛び、うち1個が消費位置から約35m(安全距離外)の観客に当たり、左ひじに火傷を負った。
105	産業火薬	消費中	2025/10/17 14:50	兵庫県 神戸市	0	0	0	-	H	【火災】高速道の設備点検のため道路作業用信号炎管(火薬量約330g)を高速道に設置していたところ、信号炎管の火の粉により法面の雑草約62m <sup>2</sup> を消失した。[晴れ、風速1.0m/s]
106	煙火	消費中	2025/10/18 18:50頃	神奈川県 川崎市	0	0	0	-	H	【その他】花火大会で無線点火をしたところ、打揚筒(2.5号玉の重ね玉)2本の打揚火薬に着火せず、大会終了後の消費場所の安全確認作業中に突然着火して、従事者の近傍で打ち揚がった。[曇り、最大風速2m/s、安全距離65m]
107	煙火	消費中	2025/10/18 19:56	千葉県 千葉市	0	0	0	-	H	【過早発】市の総合公園で開かれた花火大会において、小型煙火(台湾製)を消費したところ、過早発が発生した。[最大風速3m/s、安全距離60m]
108	産業火薬	製造中	2025/10/23 09:12頃	広島県 江田島市	0	0	0	-	C1	【暴発】火薬類製造所の仕上工室で、砲弾内にRDXを主とする爆薬(Comp.A-3)を入れ油圧プレスで圧填作業を行っていたところ、突然、爆薬1.75kgが爆発し、油圧プレス・シリンダ、搬送架台、監視モニタ等の設備と工室の窓、壁、屋根等を破損した。
109	煙火	消費中	2025/10/23 19:50	京都府 京都市	0	0	0	-	H	【低空開発】イベントで公園内の池に浮かべた台船から2.5号玉(台湾製)を打ち揚げたところ、低空開発となった。[晴れ、最大風速1.5m/s、安全距離80m]
110	煙火	消費中	2025/10/24 15:30頃	秋田県 北秋田市	0	0	1	-	C1	【その他】動物駆逐用煙火(轟音玉、発音薬量約5g)による熊の駆逐作業中、右手に持った轟音玉に、次に使用する轟音玉を持ったままの左手のターボライターで点火して投擲したところ、従事者本人が気づかないうちに左手の轟音玉も点火されており、手元で爆発し、左手及び左側頭部に火傷を負った。
111	煙火	消費中	2025/10/27 20:34頃	千葉県 浦安市	0	0	0	-	H	【黒玉】テーマパーク内で打ち揚げた4号玉1発が黒玉となり、9日後に、周遊型アトラクションの従業員が消費位置から32m(安全距離内)の軌道脇に当該黒玉を発見した。[最大風速4.9m/s、安全距離110m]
112	煙火	消費中	2025/11/1 17:24頃	茨城県 土浦市	0	0	0	-	H	【過早発】花火競技大会の開始を知らせるため、信号雷(8号玉)を打ち揚げたところ、打揚筒からの射出後、通常よりも低い高度(20~30m)で信号雷が開発した。[最大風速6.9m/s、安全距離210m]
113	煙火	消費中	2025/11/8 19:25	埼玉県 行田市	0	0	0	-	H	【過早発】花火大会において、10号玉が打揚筒から20mほど揚がったところで開発して、星が燃えながら消費位置から半径約100mの範囲内(安全距離内)に飛散し、14箇所それぞれ1m <sup>2</sup> 未満の稲わらや枯草を焼失した。[晴れ、最大風速4m/s、安全距離220m]
114	産業火薬	製造中	2025/11/12 11:30頃	福岡県 北九州市	0	0	0	-	H	【その他】石灰石鉱山において移動式製造設備で硝安油剤爆薬を製造中、エアータンクの異常による圧縮空気漏れのため製造を中止して火薬類を排出した後、移動区域外の硝安倉庫まで製造設備を移動してタンク内の硝安を排出しようとしたところ、誤って製造のスイッチを入れたため硝安800kgと硝安油剤爆薬200kgをフレコンバッグ内に排出してしまった。
115	がん具煙火	消費中	2025/11/14 15:35頃	宮城県 大和町	0	0	0	-	C2	【火災】中学校の校庭で熊よけのため日課となっているロケット花火(中国製)の打上げを行っていたところ、丸太ベンチに固定して点火した1本のロケット花火が打ち上がらずにベンチ上で燃焼したため、ベンチの一部を焼損した。
116	煙火	消費中	2025/11/15 18:00頃	千葉県 千葉市	0	0	0	-	H	【過早発】【低空開発】花火大会でスターマインを消費中、2号玉2発、2.5号玉1発及び5号玉1発(いずれも中国製)が過早発及び低空開発となった。[最大風速2m/s、安全距離180m]
117	煙火	消費中	2025/11/15 18:52頃	長崎県 佐世保市	0	0	0	-	H	【筒ばね】テーマパーク内の海上で行われた花火大会(10号玉まで)において、台船から打ち揚げようとした10号玉が筒ばねし、隣接した10号玉及び8号玉の打揚筒30本に穴やへこみ等の損傷が発生した。[最大風速3.0m/s、安全距離240m]
118	がん具煙火	消費中	2025/12/7 18:30頃	福岡県 福岡市	0	0	0	-	C2	【火災】飲食店内で、ケーキにがん具煙火(パーティー用)を挿して消費中に、火の粉が近くにあった店内の椅子及び物品に燃え移った。
119	煙火	消費中	2025/12/12 18:56	岐阜県 岐阜市	0	0	0	-	H	【火災】【部品落下】河川敷で行われた花火イベント(4号玉まで)において、打揚煙火の玉皮が火のついた状態で消費位置から160m(安全距離外)の対岸に落下し、枯草に燃え広がった。[最大風速6.0m/s、安全距離110m]
120	産業火薬	消費中	2025/12/18 11:00	宮崎県 えびの市	0	0	0	-	H	【飛石】採石場でベンチ発破を行ったところ、飛石が生じ、切羽から約200mの市道に約4cmの大きさの4個の石が飛散した。
121	産業火薬	その他	2025/12/30 15:50頃	静岡県 静岡市	0	0	0	-	C2	【火災】高速道において、高速道路交通警察隊が事故後の活動が終了し、矢印誘導板やラバーコーンを車両のトランクに積み込む作業を行っていたところ、何らかの原因で道路作業用信号炎管(火薬量約320g)17本のうち14本が発火して車両内で火災が発生し、車両トランクルームの一部、積載物及び衣類の一部を焼損した。